MODEL Art

MODELING MAGAZINE

2026年2月1日発行
月刊モデルアート2月号(通巻1174号)

No.1174

2026 February

2





特集

New Release!

TAMIYA 1/72
F-14D TOMCAT

F-14
トムキャット

2026 Next Starts Here.

2026 MODEL Art 60th Anniversary Year

特別記事

無敵艦隊(アルマダ)最後の翼
EAV-8B+マタドールII

NEW KIT REVIEW

- ブラッツ/BEEMAX 1/12
  マクラーレン MP4/4 1988 ワールドチャンピオン
- トランペッター 1/16
  ドイツ連邦軍 レオパルド2A6主力戦車
- アオシマ1/32 ホンダ DC2インテグラ タイプR
- アカデミー1/35 UH-1Y ヴェノム"アメリカ海兵隊"

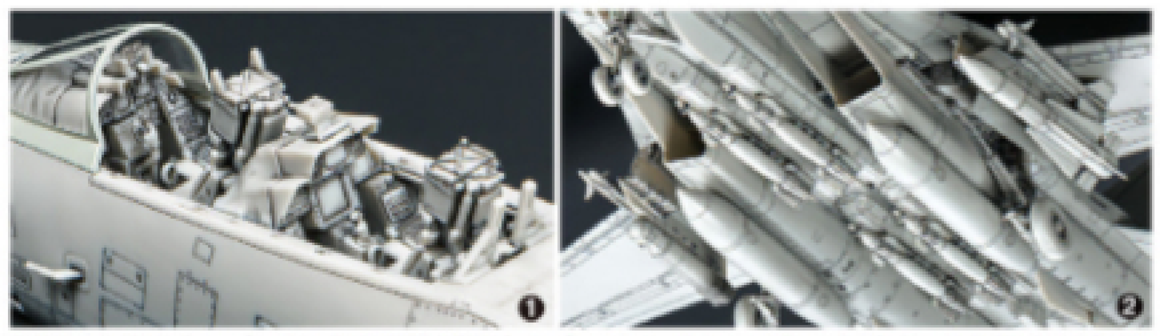


1/72 ウォーバードコレクション NO.95
グラマン F-14D トムキャット
(60795)《2026年1月10日ごろ発売》5,500円(本体価格5,000円)

1/72 SCALE

新たなタミヤのトムキャット

1974年の配備開始から2006年の退役まで、世界最強の艦上戦闘機として活躍したF-14トムキャット。1980年発売の1/32、2016年発売の1/48に続き、新たなタミヤのトムキャットがコレクションに最適な1/72スケールで加わります。F-14最終型のD型を流麗で量感あるプロポーションはもちろん、キャノピーやエアインテークの形状、各部のパネルラインなど、機体細部のディテールまで忠実にモデル化。可変機構を持つ主翼はギヤのかみ合わせによって両翼が連動して可動し、差し替え式で用意した前進/後退それぞれの状態のエアバッグ・シーリングパネルで完成後も2つの姿を楽しめます。さらに、着座姿勢の搭乗員の人形2体に加え、空対空ミサイルやレーザー誘導爆弾などの豊富な兵装アクセサリーも魅力です。1/48の優れた設計を受け継ぎながらパーツ分割を再構成し、理想のモデルを追求したタミヤの1/72トムキャット。更に磨きをかけたこの入魂のモデルからタミヤの矜持を感じ取ってください。



❶前席の多機能ディスプレイや、後席の戦術情報ディスプレイなど、D型のコクピットのディテールを詳細にモデル化。
❷AIM-54Cフェニックスや GBU-12などの豊富な兵装類が付属。※上の写真は完成品を一部塗装しスミ入れをしたものです。

《5種類のマーキングをセット》

5種類のアメリカ海軍のマーキングを用意。機体側面の補強パネルを再現したメタルステッカーもセット。



1/72スケール タミヤ製 新規開発製品



★機首右側面の給油プローブ、左側面の搭乗用ラダーと足掛けは開閉選択式。★主翼作動痕はスライドマークで表現。★塗装に役立つキャノピー用マスクシール、カラー塗装図付き。



F-14D Tomcat™ is a trademark of Northrop Grumman® and is used under license by Tamiya, Incorporated.

TAMIYA

●価格はメーカー希望小売価格です。●掲載されているモデルはキットを組み立て、塗装したものです。●写真は実際の製品と仕様が異なる場合があります。

株式会社タミヤ 〒422-8610 静岡市駿河区恩田原3-7 [www.tamiya.com] ●ネットでかんたんショッピング。タミヤショップオンライン [tamiyashop.jp]
製品に関するお問い合わせはタミヤ・カスタマーサービスまで。TEL 054-283-0003[静岡] 03-3899-3765[東京] (静岡へ自動転送) [営業時間] 平日 9:00~18:00 土、日、祝 8:00~12:00、13:00~17:00

MR. HOBBY ミスターホビー 新商品情報

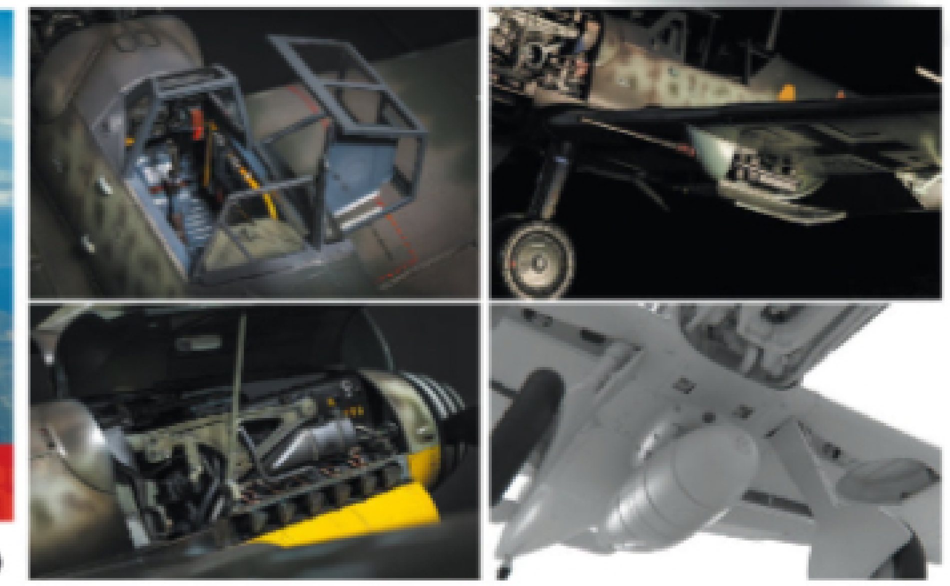
AIRFIX

完全新金型



1/24 という大迫力のスケール、完全新金型でドイツ空軍を支えた名機、Bf109 が登場します。
エンジンカウルは MTT 製と ERLA 社製それぞれの仕様が付属。キャノピーも 2 種類が付属します。300L 増槽および翼下機関砲が付属。動翼部とラジエーターは開閉状態を選択可能。
個々の機体ごとの差異を再現できるよう、ラダーペダルや照準器、トリムホイールなどの内装や主脚ホイールが複数付属。キャノピーや、プロペラスピナーの渦巻き部の塗装に便利なカット済みマスキングシートが同梱されています。
計 5 種のカルトグラフ社製デカールが付属します。





X17003 1/24 メッサーシュミット Bf109G-5/G-6 24,200円(税込)

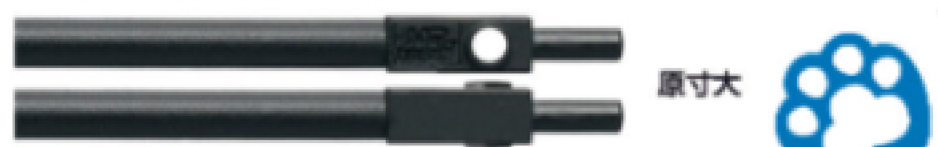
Mr.ネコの手・持ち手棒に新基軸登場

塗装作業支援ツール Mr.ネコの手・持ち手棒
3mmジョイント
Mr.ALMIGHTY HANDLE 3mm JOINT TYPE

多くのプラモデルで採用されている3mm軸に対応した新感覚の塗装持ち手です。
3mm径の穴に挿し込む、もしくは3mm径の軸を挿し込んでパーツを固定できます。塗膜で軸径を変えることなく、スムーズに塗装作業を進めることが可能です。ポリエチレン一体成型により、高い剛性と耐溶剤性を実現しました。



©BANDAI SPIRITS 2019
©BANDAI SPIRITS 2021
©BANDAI SPIRITS 2023



原寸大



意匠登録出願中
Design in process of registration
已申请外观设计专利

GT90 Mr.ネコの手・持ち手棒との高さ比較

GT133
Mr.ネコの手 持ち手棒 3mmジョイント<20本入>
2月発売予定
1,100円(税込)

株式会社GSIクレオス ホビー部 GSI Creos Corporation Hobby Dept.
〒105-0014 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル 3-8-2, Shiba, Minato-ku, Tokyo, 105-0014, Japan
お客様相談室/TEL.0570-041-223
受付時間 10:00~12:00・13:00~17:00
最新情報はこちらで https://www.mr-hobby.com/

MR. HOBBY ミスターホビー

エアブラシのアフターパーツなどはMr.ホビーオンラインショップ[EOS]でダイレクトにお買い求めいただけます。
https://mrhobby.theshop.jp/

ACADEMY HOBBY MODEL KITS

ACADEMY
ACADEMY PLASTIC MODEL CO., LTD.

合身戦隊 メカンダーロボ

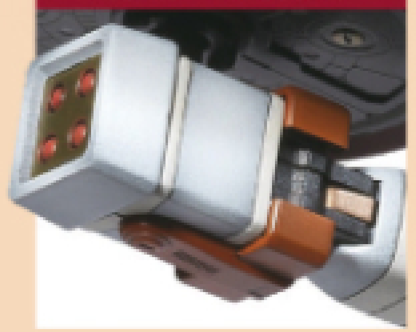


1977年に放映されたテレビアニメ「合身戦隊メカンダーロボ」に登場するメカンダーロボが完全新金型プラモデルで登場。接着剤なしで組立可能なスナップキットです。多色成型(MCP／マルチカラーパーツ)キットゆえ塗装せずに完成させることも可能です。軟質樹脂パーツにより各部関節がスムーズに可動します。

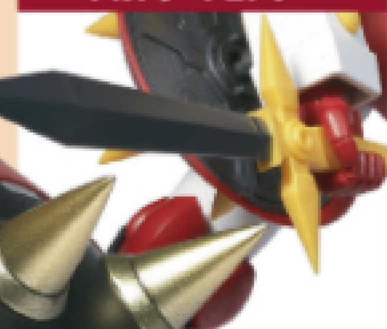
メカンダーUFO
メカンダーフェンサー
メカンダーロケットガン
空中大型魚雷ジョーズ
メカンダーマックス
オメガミサイル
ハンドパーツ
付属

Samples built by 半島の中牛

メカンダーロケットガン



メカンダーフェンサー



ハンドパーツ



空中大型魚雷ジョーズ



メカンダーキックフェンサー



아카데미 ACADEMY

製品番号：15821L ▼商品ページ

メカンダーロボ
全長:200mm 部品数:285+
発売中 税込 ¥7,480

アカデミー"문방구(文房具)"シリーズ

1970～80年代、学校の近所の文房具屋さんで出会ったような懐かしいプラモデルや玩具たちを復刻再現したブランドです。



画像は塗装を施した製作例です(塗装せずに完成させることも可能です)

本製品のパッケージには旧ロゴが使用されています

価格は総額表示です

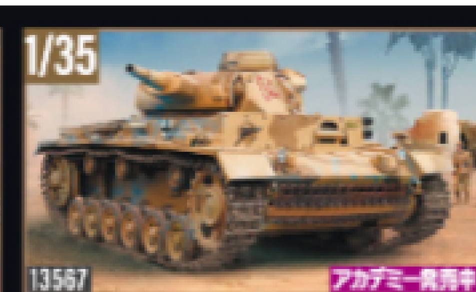
株式会社インターアライド 取扱ブランド

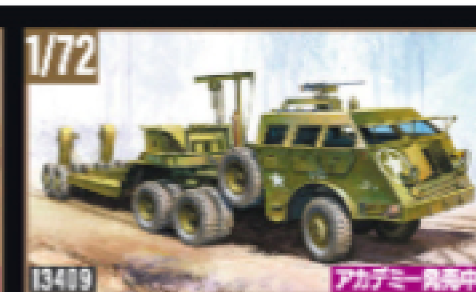
インターアライド

アカデミー プラモデル 輸入販売代理 / モノクローム プラモデル・完成品 企画・製造 / ハイ・ストーリー ミニカー 企画・製造

1/35

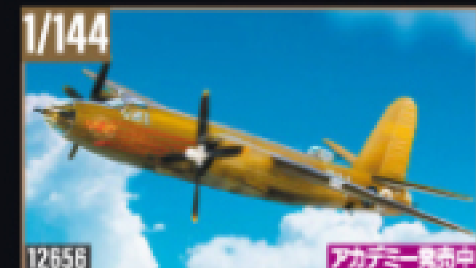
13569 アカデミー2月発売
装甲兵員輸送車 K808 ベクホ
全長206 全高60mm
プラモデル 税抜4800 ¥5,280

1/35

13567 アカデミー発売中
III号戦車 N型 北アフリカ戦線
全長183 全高159mm
プラモデル 税抜5800 ¥6,380

1/72

13409 アカデミー発売中
アメリカ軍 M26ドラゴンワゴン
プラモデル 税抜2800 ¥3,080

1/700

14229 アカデミー発売中
アメリカ海軍 戦艦 BB-63 ミズーリ
モデラーズエディション エッチングパーツ付属
プラモデル 税抜5200 ¥5,720

1/144

12656 アカデミー発売中
B-26B マローダー
全長123mm (旧ミニクラフト金型)
プラモデル 税抜1200 ¥1,320

1/144

12657 アカデミー発売中
シーハリアー FRS.1
全長101mm (旧ミニクラフト金型)
プラモデル 税抜1200 ¥1,320

4D Kit

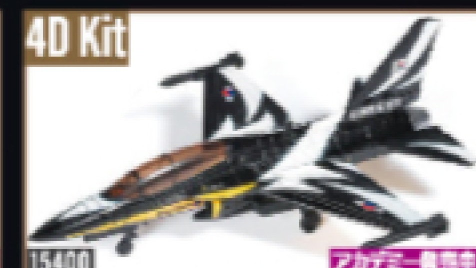
15402 アカデミー発売中
K2 ブラックパンサー戦車
パーツ塗装済 29ピース 立体パズル
ABSキット 税抜2200 ¥2,420

4D Kit

15403 アカデミー発売中
K9A1自走榴弾砲
パーツ塗装済 27ピース 立体パズル
ABSキット 税抜2200 ¥2,420

4D Kit

15406 アカデミー発売中
F-35A ライトニング2
パーツ塗装済 38ピース 立体パズル
ABSキット 税抜2200 ¥2,420

4D Kit

15400 アカデミー発売中
T-50B ブラックイーグルス
パーツ塗装済 28ピース 立体パズル
ABSキット 税抜2200 ¥2,420

1/35

MCT906 モノクローム2月再入荷
陸上自衛隊 1/2tトラック【牽引車】
全長114 全幅54mm 部品数210+
プラモデル 税抜5280 ¥5,808

1/43 マツダ株式会社 許諾取得

HS485 ハイ・ストーリーご予約受付中
MAZDA M2 1001 (1991)
ブルーブラック
レジン製 税抜13000 ¥14,300

1/43 マツダ株式会社 許諾取得

HS486 ハイ・ストーリーご予約受付中
MAZDA M2 1002 (1992)
ブレイブブルーマイカ
レジン製 税抜13000 ¥14,300

1/43 マツダ株式会社 許諾取得

HS487 ハイ・ストーリーご予約受付中
MAZDA M2 1028 (1994)
ダークブルー／シャストホワイト
レジン製 税抜13000 ¥14,300

1/43 三菱自動車工業株式会社 許諾取得

HS542 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
MITSUBISHI DELICA D:5 アジアクロスカントリーラリー2024 サポートカー
レジン製 税抜14000 ¥15,400

1/43 三菱自動車工業株式会社 許諾取得

HS544 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
MITSUBISHI DELICA MINI アジアクロスカントリーラリー2024 サポートカー
レジン製 税抜14000 ¥15,400

1/43 三菱自動車工業株式会社 許諾取得

HS543 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
MITSUBISHI DELICA D:5 (2024)
カスタマイズ 3色
レジン製 税抜12000 ¥13,200

1/43 三菱自動車工業株式会社 許諾取得

HS545 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
MITSUBISHI DELICA MINI (2023)
カスタマイズ 3色
レジン製 税抜12000 ¥13,200

1/43 トヨタ自動車株式会社 許諾取得

HS529 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
Toyota SPRINTER TRUENO
BZ-R (1997) 4色
レジン製 税抜11000 ¥12,100

1/43 トヨタ自動車株式会社 許諾取得

HS523 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
Toyota MR2 GT (1997)
4色
レジン製 税抜11000 ¥12,100

1/43 トヨタ自動車株式会社 許諾取得

HS564 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
Toyota GR86 特別仕様車 RZ 10th Anniversary Limited (2022)
フレイムオレンジ ダイキャスト製 税抜8800 ¥9,680

1/43 トヨタ自動車株式会社 許諾取得

HS565RE ハイ・ストーリー近日ご予約開始
Toyota GR86 特別仕様車 RZ 40th Anniversary Limited (2023)
スパークレッド ダイキャスト製 税抜8800 ¥9,680

1/43 トヨタ自動車株式会社 許諾取得

HS565WH ハイ・ストーリー近日ご予約開始
Toyota GR86 特別仕様車 RZ 40th Anniversary Limited (2023) クリスタルホワイトパール
ダイキャスト製 税抜8800 ¥9,680

1/43 トヨタ自動車株式会社 許諾取得

HS566 ハイ・ストーリー近日ご予約開始
Toyota GR86 特別仕様車 RZ Ridge Green Limited (2024) リッジグリーン
ダイキャスト製 税抜8800 ¥9,680

INTER ALLIED 輸入／販売元 株式会社インターアライド
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町543-1
045-549-3031 info@interallied.co.jp
SHOPPING INTERALLIED インターアライド通信販売部 スターショッピング
1万円以上ご購入で送料手数料0円 代金引換可
045-549-3033 AM11:00～PM3:00

CONTENTS

■ 特集：F-14トムキャット 2026 Next Sterts Here.

■ 特別記事

■ NEW KIT REVIEW

■ 連　載

■ 情　報

MODEL Art MODELING MAGAZINE
2026 Feb No.1174

10









モデルアート 2026年2月号 第1174号
印　刷：2025年1月24日／発　行：2026年2月1日
発行人：井田耕平
編集長：戸倉 健／編集：谷崎英也 猪股一大 内藤純一 金澤尚憲 木船智尋
広　告：佐々木 学 木本恵美子／営　業：井田真平
発行所：有限会社モデルアート社
〒110-0016 東京都台東区台東2-3-9 KHビル 4F
TEL：03-6240-1936（代表）　FAX：03-6240-1937
印刷所：シナノ印刷株式会社
撮　影：岩永友宏（スタジオパレット）、南部智則
デザイン：アイダックデザイン、ADARTS、アラブルカ
価　格：1,400円（税込）
MODEL ART Co.,Ltd. 4F, 2-3-9, Taito, Taitoku, Tokyo,110-0016



F-14 特集 トムキャット

F-14トムキャットは、日本の飛行機好きたちの心を強く掴んで離さない。厚木に姿を現した可変翼が描くあの独特のシルエット―どれもが鮮烈で、今なお脳裏に焼き付いている。「あの"猫"を自分の手で作りたい」。そんな思いを胸に、多くのモデラーがプラモデル売り場へ足を運んだ時代があった。あれから数十年。技術は進化し、キットは精密さも組みやすさも格段にレベルアップした。あの頃、憧れの対象だったトムキャットは、今や「最良の形」でデスクトップに着艦する。模型として触れることであの時代の空気が蘇る―。　本特集では、タミヤがリリースする最新1/72キットをはじめ、F-14の魅力を再確認していく。







2026 Next Starts Here.



A New Generation Tomcat

Launches in 1/72



最新 F-14キット登場

遂にタミヤから1/72スケールでトムキャットが姿を現す。1/48の忠実な再現と作りやすさを両立した設計はそのままに、スケールに合わせて随所がブラッシュアップされており、まさに「決定版」と呼べる内容である。丁寧に積み上げられたディテールと設計の妙が、スケールを超えた存在感を与えてくれる。ここでは発売に先立ち、組み立て工程から塗装、仕上げまでをじっくり追い、キットの魅力と実践的なポイントを紹介する。あなたの「次のトムキャット製作」を後押ししたい。

■ タミヤ1/72　グラマン F-14D トムキャット

■ 製作・文：安藤隼也

～可変翼のロマン　を1/72に凝縮～





The Ultimate Fleet Defender is Coming!

待ちに待った「タミヤ製」ナナニイトムキャットだ!









●はじめに

1/48の発売から約10年、待望の1/72のトムキャットが遂に発売となります。構成は1/48を踏襲しながらも、スケールを考慮したものにブラッシュアップされています。キットは5種類のマーキングから選択して製作できる仕様となっていますが、それぞれの作業が異なるパートがあるので、説明書は事前にひととおり目を通しておくことをお勧めします。

●各部に配慮された設計

製作はコクピットからスタートします。コンソールはモールドの上からデカールを貼る仕様となっています。モールド、デカールともに非常に解像度が高いので、そのまま製作するだけでも十分な精密感を得られます。塗装指示も細かく指定されているので、これに従って塗り分けました。

機首から胴体の組み立てには組みやすさに配慮されたポイントが散りばめられています。インテーク内部は塗り分けに迷うポイントですが、キットにはマスキングシートが付属しており、ホワイトを塗装した後にマスキングシートを貼り、機体色を吹くことで簡単に塗り分けられるようになっています。F-14の特徴でもある可変翼は基部をビス止めする方式のため強度は十分で、主翼は塗装後に差し込める設計です。また、胴体と機首の接合部は接着面積が大きく取られているため、がっちりと取り付けられます。

合わせ目を消すためにパテを使う箇所はほぼありませんが、垂直尾翼は片面が上下に分割された構成となっており、ここはどうしても合わせ目が生じてしまうため、タミヤ瞬間接着剤(イージーサンディング)を盛って処理しました。足周りの脚柱やカバーなどの繊細なパーツ群は接着面積が大きく設計されているため、強度を保って組むことが出来ます。細かいパーツ以外の組み立てが完了したら塗装に入ります。

●塗装とマーキング

今回はVF-101グリムリーパーズを選択しました。最初に透け防止と下地を兼ねて、GSIクレオスのMr.カラー C137 タイヤブラックで全体を塗装します。次に下面にC308 グレー FS36375を、下地がわずかに透ける程度に吹きます。下面をマスキングしてから機首周りにC307 グレー FS36320を吹き、さらに機首周りをマスキングして胴体上面にC337 グレイッシュブルー FS35237を吹きました。機体色はホワイトを混ぜたハイライト色をパネルの中心などにランダムに吹き、変化を持たせています。機首上面と垂直尾翼はC92セミグロスブラックで塗り分けました。全体の塗装後、スミ入れ前に塗膜の保護とデカールのシルバリング防止を兼ねて、Mr.カラー GGXのLG112 GGXクリアー UVカットでコートしています。

VF-101は当時機種転換部隊だったためウェポン類は搭載しない指示となっていますが、今回は迫力を優先してフル装備で製作します。GBU-12×4、AIM-9M×2、AIM-54フェニックスとLANTIRNを搭載しました。ウェポン類にも詳細なデカールが付属しています。機体のデカールワークが完了したら仕上げにMr.カラー GXのGX114 スーパースムースクリアーつや消しで表面を整え、細部パーツを取り付けて完成です。

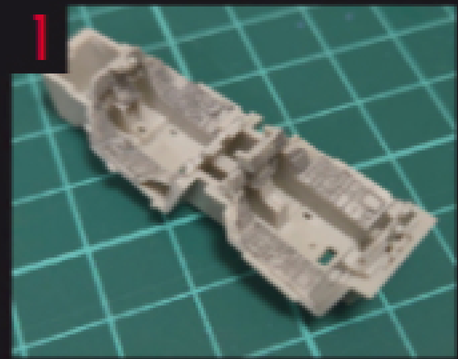
●おわりに

このキットは精密さと作りやすさを高い次元で両立させたキットです。1/72ながらパーツ数は多めで、確かな作りごたえを感じさせながらも、作り手に配慮された設計により、誰でも格好良いトムキャットを作り上げることが出来ます。タミヤの技術が詰まったキットを、是非多くの方にチャレンジしてほしいと思います。

Crafting a High-Precision Aircraft Model- TAMIYA F-14D

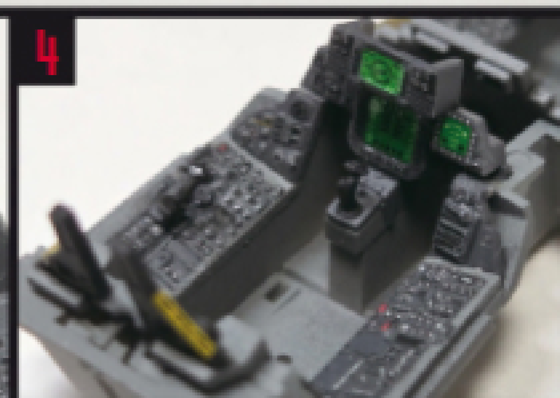




1


2


3


4


▲1.コクピットは計器盤、各コンソールパネルが忠実にモールド表現されている。いずれも浮彫彫刻のスイッチ類など、精密感溢れる仕上がりが期待できる。側壁や後席のサーキットブレーカーなども立体的な表現で、丁寧に色差しをすることで1/72としては最高レベルのコクピットが出来上がる。　3,4.計器盤、コンソールは高精細なデカールが付属する。モールドとずれないようしっかり位置決めを行ない、デカール軟化剤でしっかり定着させたい。操縦桿、スティックも合わせの面積がしっかり取られており、角度、強度ともにしっかり決まるようになっている。

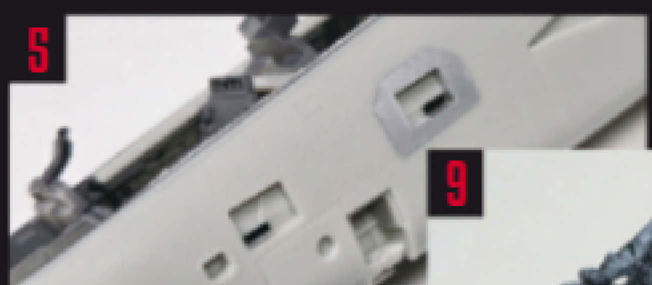


Photo:U.S.Navy

▼5.後席ステップ周辺の補強パネルは同社1/48のD型と同様に付属のパネルステッカーを貼り付けて再現する。これにより絶妙な段差を表現できる。　6.付属のパイロットフィギュアを仮で組み込んでみる。角度がしっかり決まる分割で操縦桿、スロットルレバーにジャストフィット。射出座席も秀逸な出来で、前後のキャノピーブレーカー突出部の大小もしっかり作り分けられている。　7.Ω型のキャノピーをスライド金型で忠実に再現するため、頂点部にパーティングラインがある。#1000～#10000のスポンジヤスリで整え、コンパウンドで研磨した。後部（矢印部）は敢えて残してキャノピー破砕コードの再現とした。ここは付属デカールでの再現も可能だ。研磨の際は余計な箇所までヤスリがいかないように周囲を養生すると良い。　8.ウィンドスクリーンのコーティングは裏からタミヤカラーのX-23 クリヤーブルーで塗装する指示となっている。今回はハセガワのクリアーライトブルーフィニッシュを裏から貼り付け再現した。極薄のフィルムで塗装と遜色なく均一に着色できる。クリアーパーツへの塗装はリスクが付き物なので、こちらの方法もオススメだ。

6


7


5


9


10




Photo:U.S.Navy

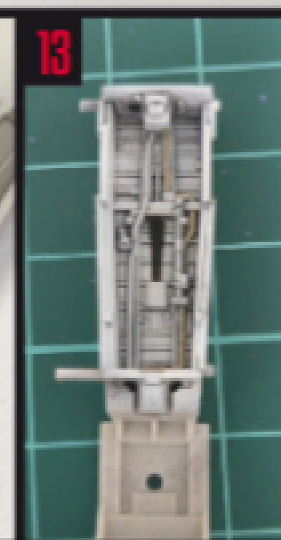
8


▲9.こちらはRIOのフィギュア。パイロットと異なり膝に手を置いたポーズ。1/72というサイズだがしっかりとした装備品やシワなどのモールドを活かすため、まずブラックサーフェイサーを吹き、黒を残しつつグレーを吹き付け下地段階で陰影を際立たせる。　10.こちらはパイロットのフィギュア。同様に陰影を付けた下地の上から、タミヤカラーアクリル塗料のXF-61 ダークグリーンとXF-2 フラットホワイトを3:1で混色して筆塗りし、タミヤ ウェザリングマスター Aのライトサンドでドライブラシして仕上げた。透明度の高い大きなキャノピーなので完成後もよく見える。

11

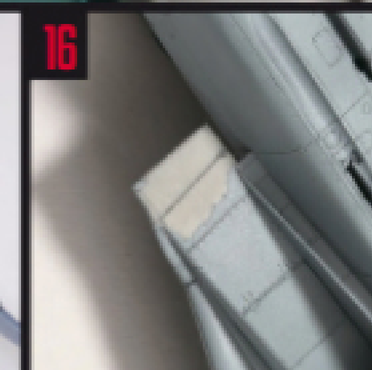

◀▼11.機体下面、複雑なインテーク周りの構成もスライド金型を使用し、確実な組み立てとディテールの再現が両立されている。仮組みをしながら内部色の塗装手順を検討する。脚庫内部のグロスホワイトは予め塗装した。インテーク上面の可変ランプ部は機体色となる。先んじて塗装しておきたいので機体全体と同様にブラックで下地塗装を行なっておく。　12.機体上面パーツに施された脚収納庫のディテール部もホワイトで塗装しておく。上面に繋がるブリードドアの内部も忘れずホワイトで塗装しておきたい。　13.前脚収納庫は側壁が一体の大きな1パーツに前後の隔壁を取り付ける構成。後ろに伸びる部分はコクピットとノーズ外板を確実に取り付けるための構造物となる。　14,15.インテーク内部の折れ曲がった塗り分けラインはマスキングシートが付属している。　16.インテーク先端に上面パーツとの合わせ目が来るので、ラッカーパテで埋めて処理した。

12


13


14

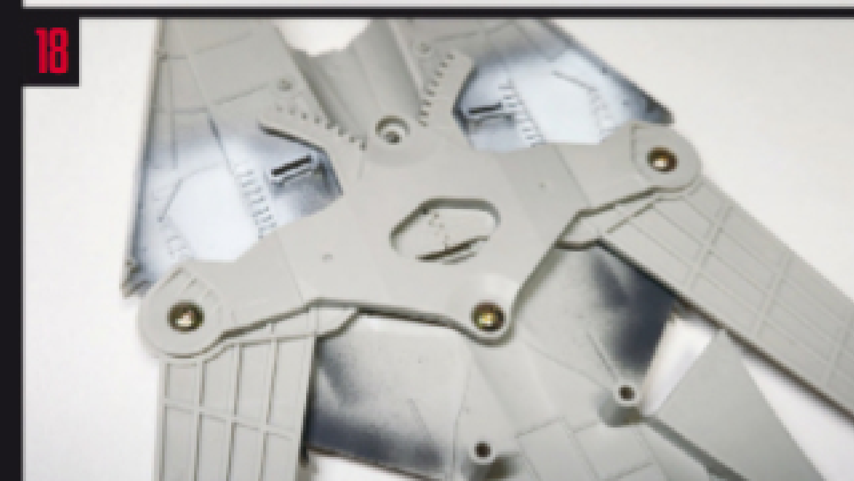

15


16


17




Photo:U.S.Navy

18


19


20


◀▲17.インテーク周辺など、機首取り付け後は塗料が入りにくい箇所は予め機体色で塗装しておく。　18.主翼の可変機構はビスを使用することで、強度を保ちつつスムーズに動作する構造となっている。可動部に塗料が付着しないよう、主脚庫などの塗装後に組み付けた。　19.主翼の展開状態により差し替え式となるパーツは、組み間違えないように裏面に刻印がされている。タミヤらしい嬉しい配慮だ。　20.下地塗装としてMr.カラーのC137 タイヤブラックを全体に塗装する。敢えて均一には吹かずまだらになるように吹き付けることで、機体色に変化を持たせるようにしている。キャノピーは付属のマスキングシートを使用して保護し、細切りした両面テープで仮止めしている。主翼は後から差し込むことが可能なので、個別に塗装する。

1


2


3


4


◀1.下面をC308 グレーFS36375で塗装後、機首周りをC307 グレーFS36320で塗装する。塗り分けには樹脂製のソフト粘着剤を使用し、わずかにボケ足が出るようにしている。 2.次に機首をマスキングし、機体上面をC337 グレイッシュブルーFS35237で塗装する。単調にならないよう、下地のブラックが若干残るようにランダムに吹き付け、ホワイトを混色したハイライト色をパネルの中心などに吹いて変化を付けた。 3.今回はVF-101所属機を選択したので、機首上面をC92 セミグロスブラックで塗り分ける。曲線部の塗り分けにはタミヤ マスキングテープの1㎜幅を使用した。この時、垂直尾翼の基部も合わせて塗装することを忘れないようにしたい。 4.マスキングを剥がした状態。

5


6




Photo:U.S.Navy

▲▶5.機体上面はMr.ウェザリングカラーのWC06 マルチグレーを塗布し、乾燥する前にウェスで叩くようにして拭き取ることで表情を付けた。 6.F-14の特徴でもある主翼の擦過痕は付属のデカールを使用して再現した。手軽ながら十分な仕上がりだ。なお、デカールを作業に入る前に、全体に光沢クリアーを吹き付けてシルバリング対策をしている。 7.兵装類は塗り分けが細かく、詳細なデカールも付属している。同じ塗料を使用する部分はまとめて塗装すると効率が良い。塗装の際の持ち手を兼ねて、完成後は見えなくなる位置に0.5㎜径の真鍮線を刺している。

7




Photo:U.S.Navy





Photo:U.S.Navy

漆黒の"テストキャット" VX-9のグロスブラックF-14

今回リリースされる1/72 F-14Dには通常の海軍戦闘飛行隊のほかに、人気の高い「黒いトムキャット」を再現できるVX-9のマーキングが付属する。キャノピーはオープンでラダーとステップを展開し、翼を休めている姿で製作した。



AIRTEVRON NINE

もう1機はグロスブラックが特徴のVX-9の機体を製作しました。VF-101とは趣向を変え、こちらはキャノピーオープンでラダーを展開し、ウェポンは非搭載で製作します。機体全体の塗装にはLG2 GGXブラック、機首上面のアンチグレア部分はC40ジャーマングレーを使用しています。パイロンもブラックで塗装しますが、AIM-9のランチャー部分はグレーで塗装されているため注意しましょう。キットにはAIM-9を搭載しない場合に使用するランチャーレールのデカールも付属しています。

射出座席のシートベルトは、フィギュアを乗せないので付属デカールをそのまま使用してみました。選択式のラダーパーツは開閉それぞれに専用パーツが用意されているので、確実に組むことが出来ます。脚庫のホワイトや主翼前縁のシルバーはマスキングのしやすさを考慮して、機体の塗装後に塗り分けています。各部のデカール貼りが完了したら仕上げにLG112でコートして完成です。なお、今回はパイロットを乗せなかったため使用しませんでしたが、ヘルメット用のデカールもしっかり用意されています。



VX-9 ～第9航空試験評価飛行隊～



TAMIYA 1/72 WAR BIRD COLLECTION No.95

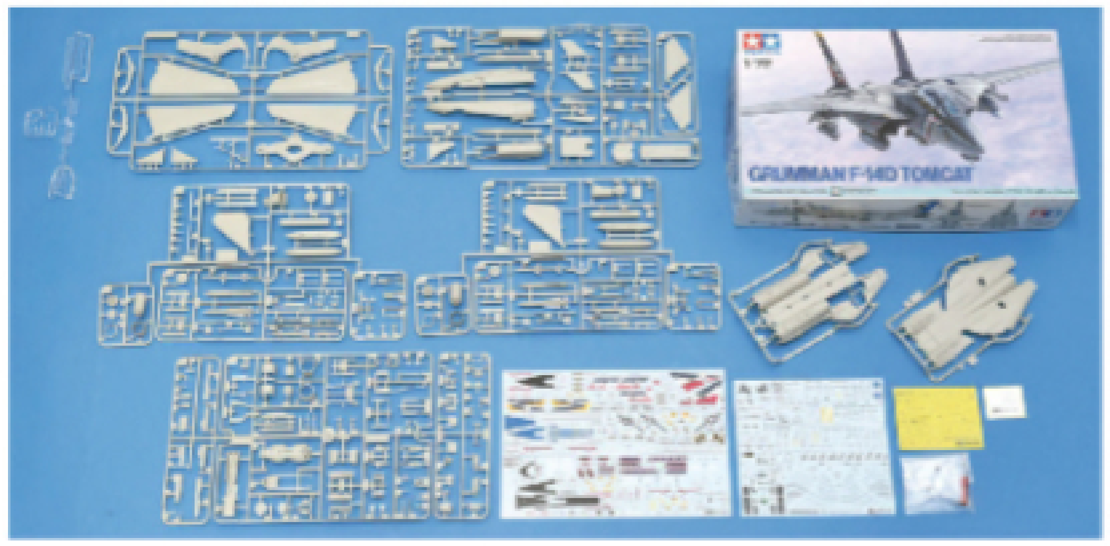
GRUMMAN F-14D TOMCAT

先に今回の主役の作例をご紹介したが、ここでは無塗装状態で組み立ててキットのポイントを改めてまとめてみた。1/48をそのままスケールダウンするのではなく、1/72に向けた様々な工夫が見られる。



ただのスケールダウンにあらず!

1/48から1/72への“再構築”



1/72ウォーバードコレクション新作

1月10日頃発売予定!

◀タミヤ1/72 グラマン F-14D トムキャット。完成時の全長26.5cm、全幅27.2cm（主翼前進時）。マーキングはVF-2バウンティ・ハンターズCAG機（2003年）、VF-101グリム・リーパーズ所属機（2004年）、VF-213ブラック・ライオンズ所属機&CAG機（2006年）、VX-9ヴァンパイアーズ所属機（1997年）の計5種をセット。また、計器盤やF110エンジンノズルのアイリス板が重なる部分、主翼付け根の同心円状の汚れといったデカールも付属。胴体に主翼のギアパーツをビス止めする際に使用する専用ドライバーが同梱される。価格5,500円（税込）、1月10日頃発売予定。

ランナーを見てまず気になったのは成型色だ。近年の1/72ウォーバードコレクションはやや暗めのニュートラルグレーで統一されていたが、今回のF-14Dでは1/48に合わせて、クリーム色に近いガルグレーとなっている。シリーズ内でこの色を採用しているのは、タミヤオリジナルでは晴嵐/南山、F4D-1スカイレイ、紫電一一型甲ぐらいなので久々である。

肝心の内容だが、成型色から受ける印象も相まって、1/48で“予習済み”のモデラーなら「そのままスケールダウンしたのか」と思うだろう。しかし当然ながらそのまま小さくするだけでは、1/72では細かいパーツが小さくなりすぎて組みにくさに繋がり、完成後の強度にも不安が残る。

そこでタミヤが本作の開発に挙げたキーワードが「再構築」である。基本は踏襲しつつも、一部の構成を大胆に変更することで、1/48と同等の仕上がりを得ながらも全てのパーツが正確な位置に吸い込まれるように嵌まっていく。実際、1/48と比較してディテールが省略されたのは前脚庫側壁ぐらいで、脚庫扉の取り付けを優先した形だが、それ以外はほぼ同じ情報量だ。ディテールはそのままに、組みやすさは最新にアップデートしたのが本作なのだ。

可変翼の差し替えや塗り分けに便利なマスクシート、豊富なマーキングといったあたりは1/48の良さをそのまま残し、機首側面の補強パネルを再現するためのメタルシールも付属。マルチロールの側面が強くなったD型を象徴する兵装類も、パーツ数を大幅に減らしながら、いずれも1/72の決定版と呼べる仕上がりだ。今後の展開はまだ分からないが、バリエーションにも期待が持てそうな箇所も随所に見られる。1/48のD型の発売から約8年半、さらにA型まで遡れば約10年を経て遂に登場した1/72のトムキャットを、まずは手に取って確かめてほしい。



VF-2バウンティ・ハンターズCAG機の兵装パターンとして指示されているとおりに組み立てた状態。主翼パイロンランチャーにAIM-9L/M、右舷側にAN/AAQ-25、左舷側にAIM-54C、胴体パレットにGBU-12、インテーク下面に増槽を搭載したフル装備だ。

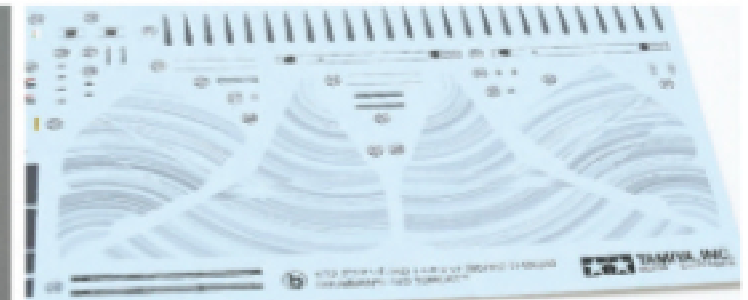


▲機首下面のAN/AXX-1テレビカメラセットはガラス面をクリアーパーツで用意。給油プローブは展開状態も選択可能。前脚庫扉のルーバーを塞ぐパネルは、機首側面の補強パネルと同じパネルステッカー（丸囲み）で再現。



▲D型の必需品であるAN/AAQ-25は1/72のベストと言える出来栄え。AIM-9L/Mはわずか2パーツでこのシャープさを誇る。1/48及び1/72のF-35Cで採用された輪留めのパーツが今回も付属する点にも注目。





◀主翼は1/48と同様、胴体から一旦抜き、エアバッグとシーリングパネルのパーツを差し替えることで後退状態と前進状態を変更できる。主翼付け根の同心円状の汚れを手軽に再現できるデカールも用意され、下面分もしっかり付属する。ちなみにこちらは1/48のA後期型発売セットで初採用されたもの。

編集部が特に注目した1/48と1/72の違いはこれだ!



▲レーダー警報受信機の違いにより形状が異なるグローブ先端。1/48では側面を三角錐のようにして別パーツとしていたが、1/72ではパーツ自体を大きくし、インテーク先端ごと分割するように変更。フィッティングは全く問題なし。



▲主翼のギアユニットの形状は1/48を踏襲しているが、1/72では使用するビスが4本から3本に減っており、前方の1箇所（丸囲み）は使用しない。また、ワッシャーを介せず胴体上面のダボ穴にビスを直接回し込むように変更されている。



▲右舷側の胴体側面の垂直尾翼付近のパネルが別パーツとなっている。細かい違いだが、ここはA型とD型でフェアリング（丸囲み）の有無が異なる箇所。1/48では別パーツ化されておらず、A型ではモールドを処理する指示となっていた。



▲1/48では胴体と一体だったテール部分が別ユニット化されているのも1/72の特徴。エアブレーキは上下貼り合わせで、特に開閉選択式というわけではないが、上面側の裏面にはアクチュエーターのようなモールド（丸囲み）が見られる。



▲足周りは特に一体化が進められている印象。前脚は脚庫後方の隔壁に大きなダボを差し込むようになっており、1/48と異なる構成となっている。これにより完成後の強度が確保され、前後左右どの方向からの衝撃にも耐えられる。



▲一方、F110エンジンノズルは1/48より分割が増えている。内壁とアイリス板が一体となっているのは1/48と変わらないが、開口部から絞っていってダクト側に再び広がる際の、峰の部分になる内壁のみリング状に別パーツ化されている。



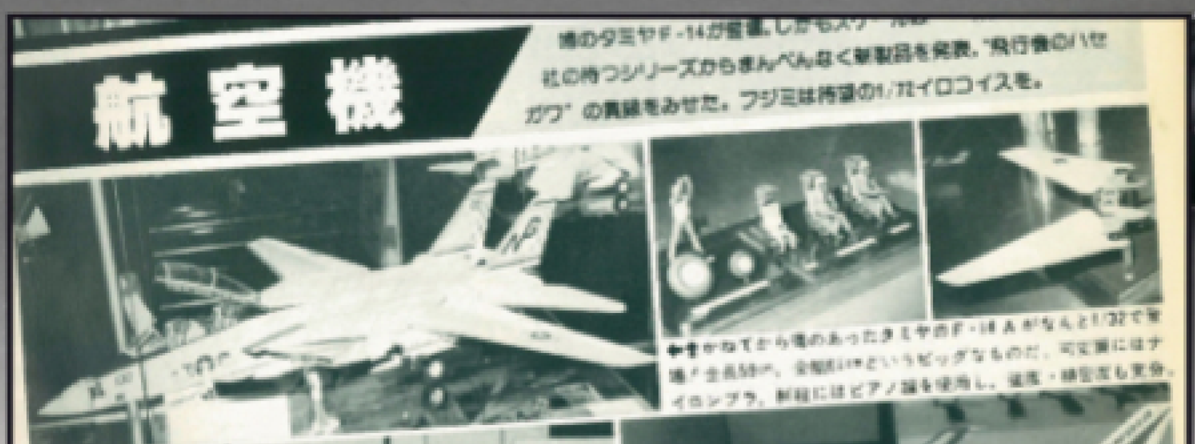
タミヤF-14のタイムラインを旅する1/32メイキング

Tracing the Lineage of the Tomcat:

Tamiya's legendary 1/32 Tomcat lives on.

タミヤが初めてトムキャットをキット化したのは今から遡ること45年前、1980年である。1994年と2003年の一部リニューアルも経て、現在に至るまで1/32の代表格として君臨し続けている。そしてベストキットとも名高い1/48、新たに加わる1/72と並び、今後も「タミヤのトムキャット」として親しまれるだろう。さて、ここではタミヤの1/32にDXMデカールを使用し、初版時を彷彿とさせるVF-211チェックメイツ所属機を製作。完成時の全長が60cm近くにもなる大ボリュームなキットを、各部のディテールアップと製作時の注意点を軸に解説していく。

■タミヤ1/32 F-14A トムキャット"ブラックナイツ"　■製作・文：眞田享風


航空機

…のタミヤF-14が登場。しかもスケール…社の持つシリーズからまんべんなく新製品を発表。"飛行機のハセガワ"の貫録をみせた。フジミは待望の1/72イロコイスを。

▲第20回全日本プラスチックモデル見本市（現・全日本模型ホビーショー）のレポート。タミヤの1/32 F-14トムキャットが発表された当時の記事だ。「かねてから噂のあったタミヤのF-14Aがなんと1/32で登場!」とある（本誌1980年12月号掲載）。その後、1981年2月号では田宮俊作氏（当時社長）へのインタビューも掲載され、企画開発は「着手したのは昭和54年7月でしたから、ざーっと1年半はかかりましたよ。」と語られている。

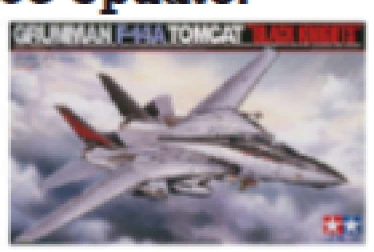
1980 1st!



1994 Update!

■1/32 グラマン F-14A トムキャット バージョン'94

2003 Update!



◀今回製作の現行商品。アンテナ類の更新により精密爆撃能力が与えられた、2000年代前半のA型最終形態を再現できる。発売中、価格13,640円（税込）。

■1/32 F-14A トムキャット"ブラックナイツ"

2016

■1/48 グラマン F-14A トムキャット

2018

■1/48 グラマン F-14D トムキャット

2021

■1/48 グラマン F-14A トムキャット（後期型）発艦セット

2026



■1/72 グラマン F-14D トムキャット

Next Starts Here.











●はじめに

キットは2003年発売ですが、1980年初版のものに、一部新規パーツを組み合わせた構成となっているため、パネルラインなどのモールドが凹凸混在しています。主に主翼や機首などは繊細なディテールの入った凹モールドですが、胴体を構成する上下の大きいパーツは凸モールドとなっています。エンジンノズルや各種兵装類は新旧どちらも封入されているので、ディテールの違いが分かりやすい箇所です。

今回は凸モールドを改修しながら凹モールドのパーツと同じ仕上がりに揃えたり、プラバンを活用してディテールアップを図りながら、この大ボリュームなキットを製作していきます。

●プラバンでディテールアップ

まずは組み立てと改修計画を立てます。前述のとおりディテールアップを行うことに加え、キットは可変翼機構を搭載していますが、完成後の主翼の取り外しが出来ないため、塗装手順も練っておく必要があります。今回ディテールアップと改造を行なった箇所は、胴体上下パーツのモールドの彫り直し、エアブレーキ機構部、インテーク内壁、ランディングギアのステアリング機構などです。

先に胴体パーツのモールドの彫り直しです。各種書籍やインターネットで該当箇所のディテールを確認し、ハイキューパーツのラインスクライバーCSなどを使って作業を進めます。

次にプラバンを使って各部の追加工作を行います。エアブレーキは開閉選択式ですが、展開状態だと内部のディテールがあっさりしてしまっているので、資料を参考に0.3㎜厚のプラバンでプレート裏側のディテールを追加しました。主翼と胴体の摺動部になるグローブシーリングプレートも0.3㎜厚のプラバンを使い再現しました。インテーク内壁はキットのままだとファンブレードまでのなだらかな壁面が再現されていないため、同じくプラバンを使用して改修しています。胴体上面にモールドされているスリット部分は裏側から削り込み、スリットの抜けを作りました。

重い機体を支えるため、ランディングギアには金属シャフトを差し込むようになっています。このシャフトを軸にして切り込みを入れることによって、自由にステアリングできるようにすることが可能です。組み込み時にシャフトの先端を瞬間接着剤で太らせて抜けないようにし、車軸側に接着することで可動できるように改造しました。

●組み立て途中の塗装が必須

機体を組み上げる前に、各部の塗装を行なってから上下胴体を貼り合わせる必要があります。主に主翼、エンジン、脚庫内壁などです。主翼は可変翼機構が組み込まれています。金属プレートとプラスチックギアの組み合わせで左右が連動し、迫力のある可変ギミックが再現可能です。しかしながら、胴体に組み込んでしまうと内側に入り込む部分の塗装が出来なくなってしまうので、主翼付け根は予め機体色を塗装してから組み込みました。

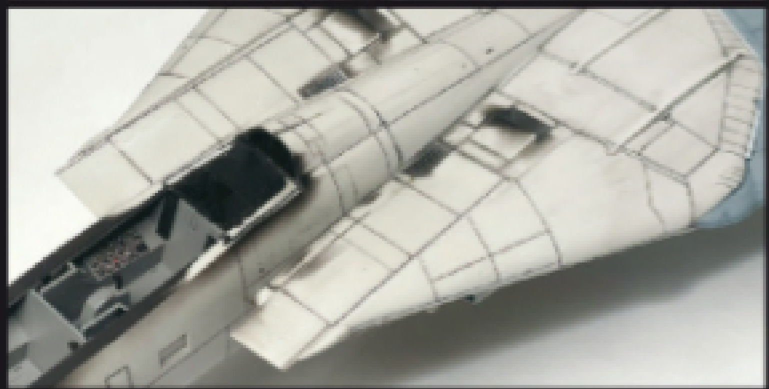
エンジン周りは先に内壁を塗り分けたインテークを下面に接着し、エンジンノズル側は焼けた様子を塗装で再現してから組み込みま



今なお人気の大ベテラン1/32トムキャットをより楽しむのポイント

★凸モールドを彫り直す





▲本キットはご存知のとおりモールドが凸凹混合となっている。胴体部分などの凸モールドは機首に合わせて彫り直しを行なった。基本的に元のモールドを辿りつつ、資料などを基に情報量をアップしている。



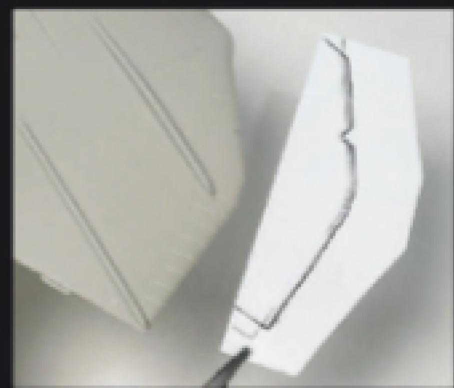
★主翼の付け根は予め塗装



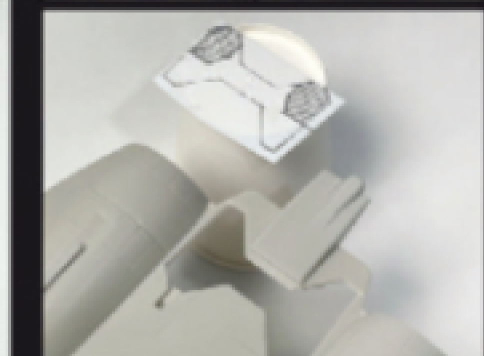


◀▲伝統の翼可変機構。1/32ではエアバックが差し替え式となっている。1/48、1/72では、エアバックのみならず、上面の可変シーリングも差し替えとなり、さらに可変させる際に主翼を抜き出すことが出来る構造となり、扱いやすさと再現性が格段に向上している。1/32では主翼は胴体組み立て時点で固定となるため、展開させたい場合は、予め付け根部分もしくは全体を機体色で塗っておくと良い。

★ディテールを追加



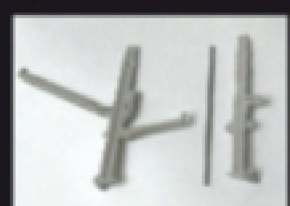




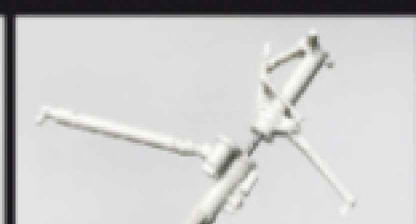


▲可変翼付け根のシーリングパネルから出ているリップを追加した。基本の外径は元パーツをトレースし、はみ出る部分を追加でケガいて切り出す。胴体後端のエアブレーキも内部の構造物を追加工作している。工作は全て加工性に優れたタミヤのプラバン0.3mm厚で行なった。

★可動化







◀▲前脚は全属硬線の軸をプラパーツで挟み込む構成となっているので、そこを活かして操舵可能に改造した。実機の可動部分で前脚をカットし、上部と下部をそれぞれ貼り合わせてから、抜けないように軸の先端を瞬間接着剤で太らせ差し込んだ。

★「ムラ有り」下地作りで塗装の迫力UP







◀機体色の塗装はブラックの下地から始める。事前に塗装した主翼付け根は予めマスキングしておく。A型の最終形態のイメージから少しヤレた「歴戦の勇士」感を出しつつ塗装したい。パネルラインを残してホワイトをランダムに吹き付け、下地塗装とした。機体色はその下地を潰さないように薄く重ねていく。広い面が単調にならない程良い情報量となったところでやめておく。









◀▲タミヤの1/32トムキャットシリーズではレーザー誘導爆弾のGBU-16、GBU-24、そしてLANTIRNシステムの「目」AN/AAQ-14 照準ポッドが今回製作のキットから新規パーツとして追加されている。フェニックスや自衛用のサイドワインダーなど充実のウェポン類と合わせて、満載し改修された後期のA型の兵装を楽しめる。

す。このエンジンノズルの焼け感は、林 周市さんの塗装法を参考に行いました。GSIクレオスのMr.カラー C61 焼鉄色で塗装したノズルに竹串を輪ゴムで放射状に固定し、薄めたホワイトを塗装します。その後、Mr.ウェザリングカラーのWC03 ステインブラウンでウォッシングしました。

●塗装とマーキング

今回はDXMデカールを使用し、VF-211の飛行隊長機を再現します。まずは下地としてMr.フィニッシングサーフェイサー 1500 ブラックを吹き付けます。この時、合わせ目の消し忘れなどがないかも確認しておきます。

次に艦載機特有のヤレた具合を出すため、うすめ液を多めにして希釈したホワイトを、パネルラインを残しながらまだら模様になるように吹き付けます。

基本塗装の3色はC307 グレー FS36320、C308 グレー FS36375、C337 グレイッシュブルー FS35237です。塗り分けラインは予め鉛筆で下描きしておき、機首後部のクッキリとしたライン箇所以外は細吹きのフリーハンドで塗り分けています。また、ホワイトを隠しきらないように希釈を薄めにして退色表現を浮き上がらせました。

DXMデカールには特に指示のないNO STEPのデカールも入っているので、資料を参照して貼り付けています。その後、Mr.カラー GXのGX114 スーパースムースクリアーつや消しでコートして塗膜とデカールを保護しました。

●フィニッシュワーク

先にパネルラインにスミ入れをしますが、流し込むエナメル塗料の量を多めにしておき、余分を拭き取りながら陰影を付けて、パネルラインの強調とオイル汚れなどの再現をしました。脚庫内やエアブレーキ内部もスミ入れとウォッシングを行なっておきます。入り組んだ箇所は綿棒が入りにくいため、筆で塗料を吸い取ります。

最後の組み立てには流し込み接着剤は使用せず、無溶剤のジェル系接着剤（今回はセメダインのスーパー X2）を使用しました。乾燥まで少し時間がかかるのでマスキングテープなどで固定をしておきます。パーティングラインを処理したキャノピーは最後にハセガワのセラミックコンパウンドで研磨し、キット付属のシャフトを使い展開状態で固定して完成です。









▲1.2.アフターバーナー後部の特徴的な焼き付きを再現するために、「スケールアヴィエーション」などで活躍する飛行機モデラー林 周市氏のテクニックを参考に爪楊枝を輪ゴムで止めるマスキングを行なった。ラウンドしている形状のおかげで、マスキングテープなどでは難しい程良いぼかしが入り雰囲気良く仕上がる。 3.各脚部オレオの伸縮部分にはタミヤのアルミ極薄シールを貼った。半光沢となっており、ギラギラしすぎない程良い輝度感で1/32の金属表現に好適だ。





Tracing the Lineage
of the Tomcat:

Tamiya's legendary 1/32 Tomcat lives on.

最強・最後のトムキャットを再現

タミヤの1/48 F-14Dという「決定版キット」を題材に、改めてその魅力を紐解きながら、模型としてのトムキャットの奥深さに迫っていきたい。実機の最終形態を余すことなく再現した精密なパーツ構成、D型ならではの兵装類、そして艦載機らしいウェザリングの妙味。飛行機モデラーを夢中にする「あのトムキャット」が、鮮やかに蘇る。

■ タミヤ1/48 グラマンF-14D トムキャット　■ 製作・文：金澤尚憲



TAMIYA 1/48 F-14D



タミヤのヨンパチトムキャットをおさらい



2016年にリリースされた最初のヨンパチトムキャット、①**1/48 グラマンF-14Aトムキャット**。その後2018年にはGE製エンジンのノズルとファンやSJU-7射出座席、レーザー誘導爆弾などを再現する新規パーツが収録され、トムキャットの最終発展型を再現できる②**1/48 グラマン F-14D トムキャット**がリリースされた。そして2021年には形状が異なるバルカン砲のガス抜きスリットなどA後期型用の専用パーツやスラットとフラップを降ろした主翼、ニーリング状態の前脚、カタパルトスプレッダー（2種）などの新規パーツに加え、カタパルトシューターのフィギュアと紙製飛行甲板シート（460mm×276mm）が同梱され、発艦シーンを再現できる③**グラマン F-14A トムキャット（後期型）発艦セット**が登場し、幅広い形態をカバーできるラインナップが構成されている。

タミヤ1/48 グラマンF-14Aトムキャットの発売で、飛行機モデラーが歓喜したのは2016年秋のこと。さらに多数の新規パーツを追加した最終形態のD型が登場。そしてA型後期の発艦シーンを再現できるバリエーションキットもリリースされ、最強かつ最高の布陣となっている。



●最終型を余すところなく再現

タミヤの1/48 F-14Dトムキャットを、VF-2“バウンティーハンターズ”仕様で製作しました。キットは2016年秋に発売された1/48グラマン F-14A トムキャットをベースとした内容で、製作で手こずる部分はほぼありません。ピトー管のみファインモールドのF-14プローブセットに変更しました。こちらは元々ハセガワなどのキットに対応するものですが、タミヤのトムキャットにも無加工で取り付け可能です。

操縦席周りは、射出座席や大型ディスプレイが追加された計器盤がD型専用パーツで再現されています。問題なく組み上がりますが、後席のレバー基部（パーツN17）の取り付け位置は注意が必要です。レーダー迎撃士官を乗せる際に干渉する可能性があるので調整しておくと良いでしょう。操縦士はD型からの新規パーツ、レーダー迎撃士官は両腕のみA型搭乗のそれと共通で、残りは新規パーツです。ヘルメットはバイザーカバーのないHGU-55/Pを装着しており、現在でもよく見られる姿になっています。指示どおりに塗り分け、ウォッシングとドライブラシのみで非常に表情豊かに仕上がります。是非機体の一部という位置付けで組み立ててほしい逸品です。胴体や主翼なども何ら苦労することなくあっという間にカタチになります。

D型を再現するため各部に専用パーツが追加されていますが、全て問題なく取り付けられます。エンジンはF110-GE-400に変更されており、ファンやノズル周りは全て専用パーツとなっています。ノズルを絞った際にアイリス板が重なる部分の色の違いを再現するためのデカールが用意されていますが、作例では塗装しました。また脚部のオレオ伸縮部などにはハセガワのミラーフィニッシュを使用しました。特に前脚のオレオは目立つので、非常に効果的です。

●イケてる新規武装パーツ

このD型は兵装類がキットの目玉と言えるでしょう。マーキングの関係で搭載したのはAIM-9L、AIM-7F、TARPS、増槽としましたが、その他にもAIM-54C、GBU-12、GBU-16、GBU-31、AN/ALQ-167、AN/AAQ-25と豊富に用意され、全て1/48の決定版と言っても差し支えないような、素晴らしい出来栄えです。なお、TARPS搭載時に合わせて搭載するケースが多いAN/ALQ-167ジャミングポッドは説明書内での言及がありませんが、パーツの分割としてはシンプルなので、実物の写真を参考にして組み立てました。

●塗装・ウェザリングはオーソドックスに

基本塗装にはGSIクレオスのMr.カラーを使用しました。ロービジの3色はC337グレイッシュブルー FS35237、C307グレー FS36320、C308グレー FS36375を使用し、各色にC107キャラクターホワイトを段階的に加えながら、何層か重ねてまだらになるように吹き付けました。ウェザリングに備え、この時点ではかなり明るめに塗装しています。基本塗装終了後に、C181スーパークリアー半光沢にてコートしました。

今回ウェザリングに使用したのはタミヤカラーエナメル塗料のXF-1フラットブラック、XF-9ハルレッド、XF-63ジャーマングレイの3色とエナメル溶剤、ツールとしては平筆、ティッシュ、綿棒、スポンジのみです。ジャーマングレイはスポンジチッピングに使用したので、全体としてはフラットブラックとハルレッドの2色のみを使用して、艦載機らしい汚れを目指しました。基本的にはウォッシングの延長で、拭き取り加減の調節だけですので、特殊な塗料やツール、使用環境に限定される方法ではありません。キットのモールドが素晴らしいため、ぼやけずに仕上げることが出来ました。最後にMr.カラー GX GX114スーパースムースクリアーつや消しにてコートし、全体のツヤを落として整えました。











1.2.射出座席は、A/B型ではマーチンベーカー製のGRU-7が搭載されていたが、D型では同社製のSJU-7に換装された。座席上部のフェイスカーテンハンドルが廃止され、ツノ状のキャノピーブレーカーが備わっているのが特徴だ。3.ノズルを絞った状態でアイリス板が重なる部分は、色の具合が異なる。従来塗装で再現するケースがほとんどだが、本キットではデカールを貼って簡単に仕上げられる。4.D型の機首下面にあるセンサーポッドはパーツ分割が工夫され、合わせ目が目立ちにくい構成だ。バルカン砲周りのパネルもA型キットと異なり、スリットからNACAダクトに変更された姿が再現されている。5.A型でも収録されていたVF-2"Bounty Hunters"のマーキングが収録されている。収録されているBu.163894は偵察カメラポッド（TARPS）が運用可能な機体だ。

21世紀仕様の機体に必要な武装がズラリ

アップデートされた"吊るしもの"に製作意欲上昇中!

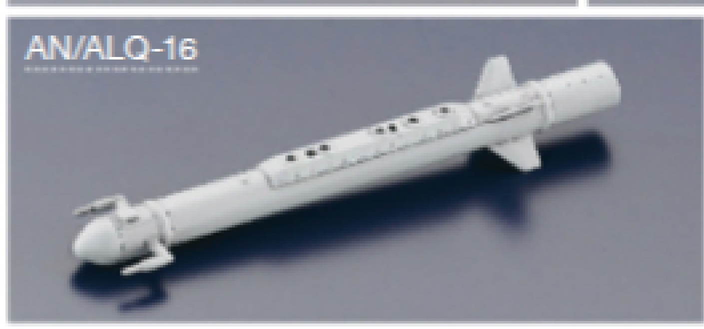












艦隊防空に特化した戦闘機として登場したF-14だが、その後同機は偵察や地上目標の攻撃などをこなす機体へと進化した。タミヤ1/48 グラマンF-14Dトムキャットには、そんな多彩なミッションを担う同機に搭載された各種の"吊るしもの"が豊富に用意されている。F-14の"専売特許"とも言えるAIM-54フェニックスミサイルは、搭載機器がデジタル化されたC型が再現できるようになっている。また、ランターンポッドが搭載可能になったことによってレーザー誘導爆弾が運用可能になっており、キットでもランターンポッドAN/AAQ-25をはじめGBU-12、GBU-16、そしてGPS誘導爆弾GBU-31が用意されている。TARPS搭載時に合わせて搭載されていたジャミングポッドAN/ALQ-167もパーツ化されている。

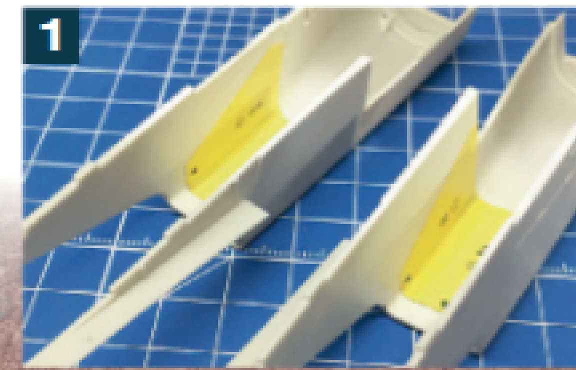
◀▲（上段左から）AIM-54Cフェニックスミサイル、GBU-31GPS誘導爆弾、GBU-16レーザー誘導爆弾、（中段左から）GBU-12レーザー誘導爆弾、AN/AAQ-25ランターンポッド、（下段）AN/ALQ-167ジャミングポッド。このほかキットには偵察カメラポッドTARPS、AIM-7Fスパロー、AIM-9L/Mサイドワインダーが用意されている。

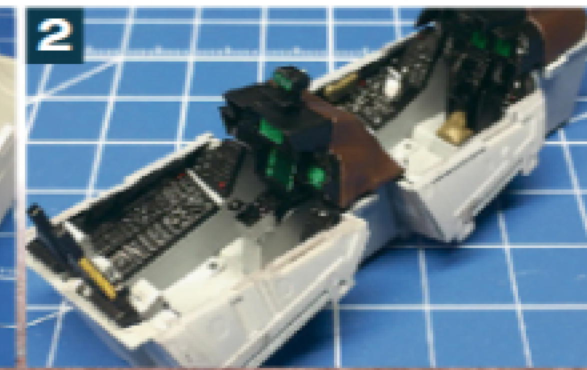


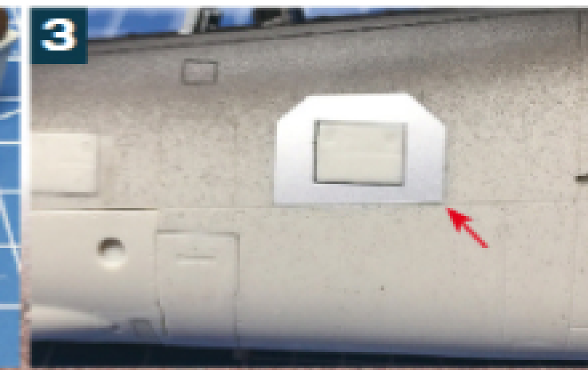


◀左の2枚は、艦上で武装の搭載作業中のF-14。左は空母「コンステレーション」艦上でVF-2のF-14DにAIM-5フェニックスミサイルを搭載されているところ。フィンは団体が搭載された後に装着される。AIM-9が搭載されているランチャーは後部にチャフディスペンサーが備わったLAU-138だ。右はVF-32のF-14Bを前に並べられたGPS誘導爆弾GBU-31（写真：U.S.Navy）。

HOW TO BUILD・Tamiya 1/48 F-14D







1.インテーク内の塗り分けは付属のマスクシールを使用。　2.計器盤は専用パーツで大型ディスプレイがあるものを再現している。　3.後席ステップ周りの追加パネルを再現するメタルステッカー（矢印）はプライマーなしで最後まで問題なく塗装できた。











4.HUDにはハセガワの偏光フィニッシュを使用。　5.TARPSのレンズにもハセガワの偏光フィニッシュを使用。6.射出座席はヘッドレストにのみマスキングテープでシートベルトを追加。　7.並列式チンポッドの先端はクリアパーツになっている。右側のIRシーカーは裏側からスモークで塗装。左側のTCSにはハセガワのミラーフィニッシュに偏光フィニッシュを重ねて貼った。



TRY IT!
BrushPainting



親米だったパフラヴィー朝時代のイラン帝国では、周辺諸国に対する軍事的優位の確保とソビエト連邦への危機感から、潤沢なオイルマネーを武器に西側陣営の兵器を次々と購入した。イラン帝国空軍（IIAF）のF-14Aもそのうちの1つで、1978年までに79機が引き渡された。しかし1979年にイラン革命が発生し、イラン・イスラム共和国が成立。一転して反米体制となったため、米国は武器禁輸措置を講じ、F-14のアフターサポートは絶たれてしまった。それでも装備を継承したイラン・イスラム共和国空軍（IRIAF）は、様々な独自対策を施しながら現在も稼働状態を維持している。

■ファインモールド1/72 イラン空軍 F-14A トムキャット
■製作・文：木村誠二

迷彩を筆塗りで仕上げる“ペルシャ猫”



●コクピット周辺から

1つの射出座席だけで7パーツに分かれている精密さですが、ナノ・アヴィエーションの現用機用シートベルト1（F-14・F/A-18用）を使用すると、さらに精密になります。曲げ加工の前に塗装すると折れやすいため、座席に接着してから塗り分けることをおすすめします。

ノーズの左右貼り合わせ時に合わせ目が生じます。ここは最小限のパテとヤスリがけで処理しました。キャノピーを閉じた状態を選ぶ場合、フレームパーツ（A1）を組み付ける前に加工が必要です。

説明書では給油プローブを展開状態にするのがデフォルトですが、カバーを外した格納状態にするため、根本の不要な部分をカットし、真っ直ぐになるように慎重に加工しました。

●本体の組み立て

胴体下面パーツ（D21）は複雑な形状のため、ゲートカットとその後の取り扱いに注意です。また、パイロンやパレットを取り付ける場合、予め開口が必要です。
インテーク内部上面のランプの組み立ては接着が難しく、誰かもう1人手伝ってくれたらいいのにと思うところです。粘り気があって乾燥の遅い接着剤を使うとうまくいきます。

胴体を貼り合わせると主翼付け根のエアバッグ付近に大きな隙間が発生します。ここはパテを使わずにプラバンを挟んで接着し、不要部分を切り取って埋めました。

今回は別売の現用アメリカ軍 航空機用ミサイルセットを使用し、胴体下にAIM-54を2発搭載します。パレットパーツ（G12、13）を接着し、ランチャー基部はミサイルセットに付属するパーツ（K6）を取り付けました。これでAIM-54の位置決めが出来ます。

●機体塗装

機体の下面はGSIクレオスのMr.カラーC311グレーFS36622を、上面は下地を兼ねてC44タンを吹き付けました。上面の迷彩は、塗装図を見ながら1色ずつガンダムマーカー リアルタッチマーカーでラインを下描きし、C43ウッドブラウンとC340フィールドグリーンを筆塗りしました。

上面3色の境界はそれぞれの色の中間色を作り、薄めに希釈して筆で軽く叩き付けるようにして、ぼかし塗装をしています。また、退色表現として上面3色それぞれの明度を上げて彩度を下げた色を作り、パネルラインを少し避けながら薄く筆塗りしました。

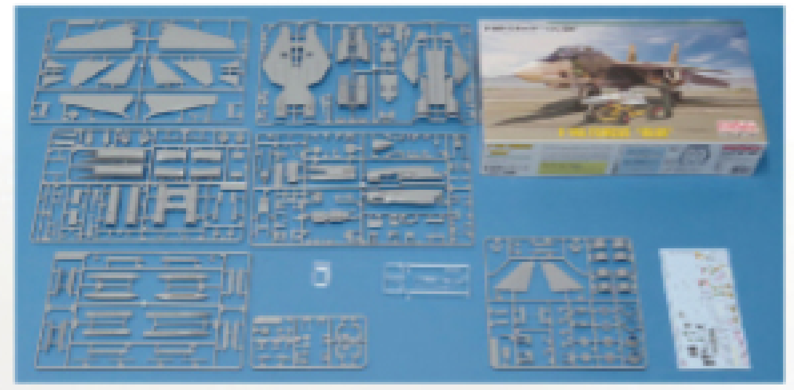
全体のウォッシングにはMr.ウェザリングカラーのWC06マルチグレーとWC04サンディウォッシュを1：1で混ぜたものを使用。半乾燥したところで、専用うすめ液を使って少し残る程度に拭き取ります。

デカールを貼る前には水性ホビーカラーH110半光沢クリアーを、仕上げにはMr.カラーGX GX114スーパースムースクリアーつや消しを吹き付けました。

●細部の仕上げ

ノズル付近はタミヤカラーラッカー塗料のLP-61メタリックグレイとLP-19ガンメタルをエアブラシで吹き付けています。主翼付け根の可動部分は、ガンダムマーカー リアルタッチマーカーのリアルタッチグレー3を使い、同心円状のウェザリングを施しました。

ノーズ先端には別売の真鍮挽き物のF-14アルファプローブセットに置き換えています。ガイアノーツのP-01ガイアマルチプライマーを塗り、接着後にMr.メタルカラーMC213ステンレスを筆塗りして磨きました。



◀ファインモールド1/72 イラン空軍F-14A トムキャット。元はモデルグラフィックス誌付録のマガジンキットだったD型の金型を改修し、さらに新規パーツを追加してA型として2017年末にリリース。作例で使用したのは革命前後のイラン空軍仕様を製作できる新規デカールがセットされた限定品で、IIAFが1種、IRIAFが2種のマーキングを収録。価格4,950円(税込)。

IRIAF F-14A TOMCAT



ヤレたペルシャ猫の迷彩には筆が好適!?

❶吹き付け塗装はベースカラーのみ!



❷マーカーで下描きを行なう



❸ひたすら迷彩を描き込む!



▲①まず機体下面をC311で塗装し、上面にはC44を吹き付ける。厚紙などで簡単にマスキングしながら上下面を塗り分けた。②迷彩パターンは、塗装図を見ながらリアルタッチマーカーで下描きをしておく。この後C43を筆塗りした。③同様に下描き後、C340も塗って塗装完了。

❹中間色でボカす!



❺褪せ色はグレーを加える!



❻Mr.ウェザリングカラーでフィニッシュ!



▲④塗り分けの境界線を馴染ませる。隣接するそれぞれの色を混ぜた中間色を作り、筆で叩くように塗ってボカシ表現を施した。⑤さらに退色表現を加える。3色それぞれにC311を添加し、明度を上げて彩度を下げた色を作り、パネルラインを避けながら薄く筆塗り。⑥Mr.ウェザリングカラー WC06とWC04を1：1で混ぜて全体に塗布。半乾きの状態で、専用うすめ液で拭き取る。少し残るようにするのがポイント。

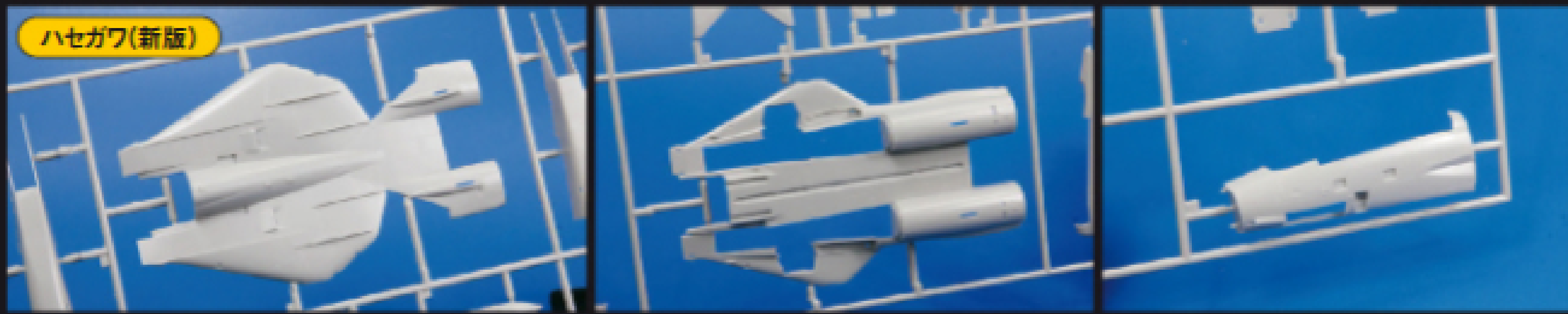


Check!!

6つのキットをリサーチ
各キットの個性に迫る

1/72 F-14 TOMCAT

各スケールの中でも1/72のF-14トムキャットは、比較的多くのメーカーからキットが出ている。ここではそれらの中からピックアップして、パーツ構成/ディテールについて見ていく。





●ハセガワ1/72 F-14Aトムキャット"大西洋空母航空団"(…新版※)

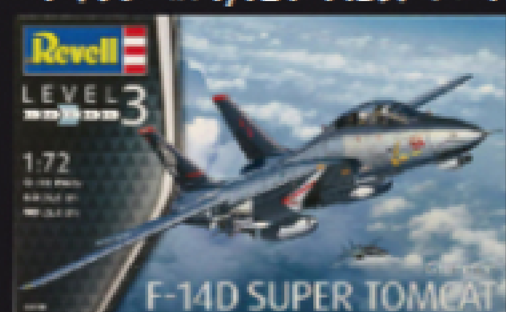


ハセガワのF-14（新版）は全体のモールドがスジ彫りで、コクピットの各コンソール類、サーキットブレーカー、ミラー、アフターバーナーリングなどを再現するエッチングパーツが付属する。主翼はスラットとフラップが別パーツになっており、離着陸時の主翼の状態を再現することができる。武装は付属しないので別途ウェポンセットを購入するとGOOD。首脚は発艦時の状態を再現できるものも付属する。

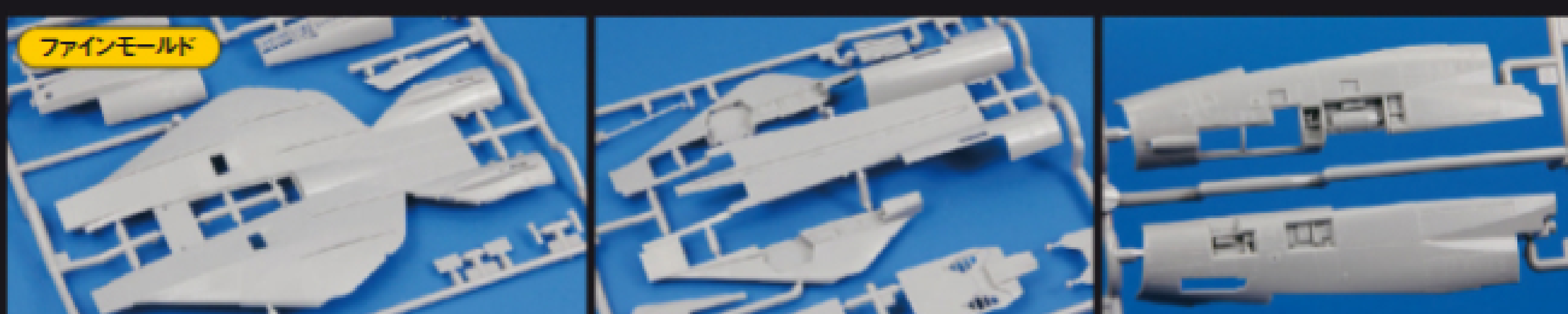


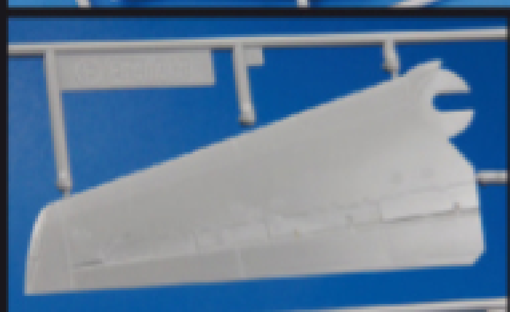


●ドイツレベル1/72 F-14Dスーパートムキャット



ドイツレベルのF-14は、レドームも含む機首部分を左右で分割しているのが特徴的だ。コクピット内の計器やスイッチ類はモールドで再現されている。全体的にスジ彫りがしっかりした印象を受ける。主翼は可動式で、左右の翼が連動する。武装はフェニックス、スパロー、サイドワインダーが付属する。



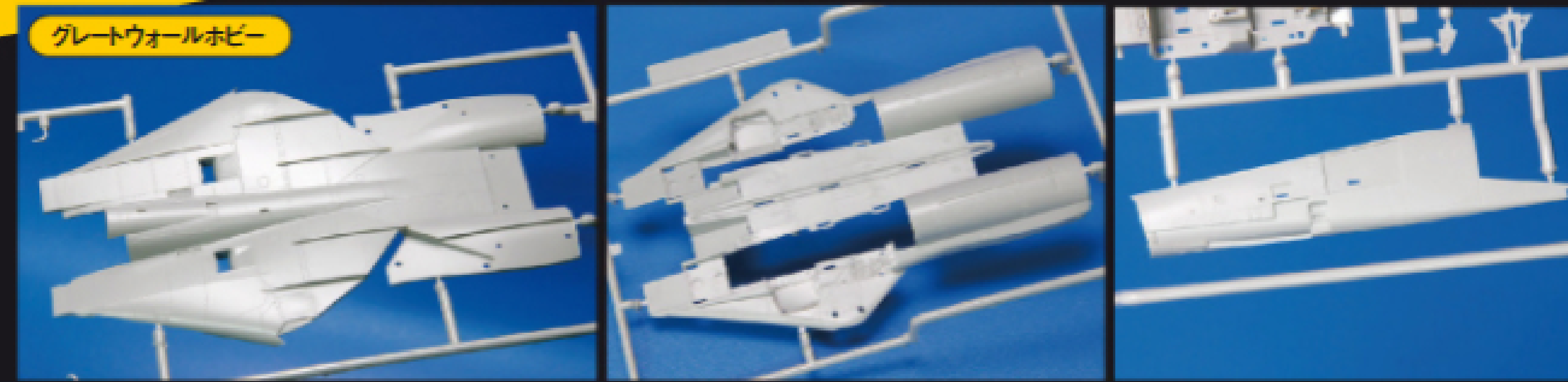


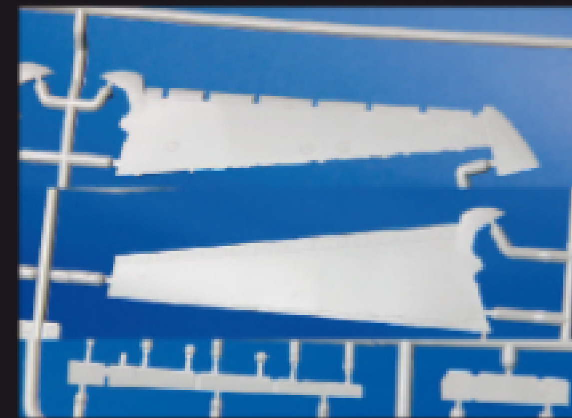
●ファインモールド1/72 アメリカ海軍F-14Aトムキャット



ファインモールドのF-14は胴体後部が細かく分割されている。また機首の空中給油装置も再現する。機首のメンテナンスハッチ内部の一部が再現されており意欲的な内容となっている。コクピット内の計器類やスイッチなどのディテールはモールドで再現しているが、デカールも用意されている。マーキング違いのUSS インディペンデンス 1995、イラン空軍、トップガン、新規ラックパーツ追加のボムキャット（3月発売予定）などバリエーションも豊富。

※ハセガワのF-14トムキャットのキットは、便宜上スジ彫りの施されたキットを「新版」と表記しています。



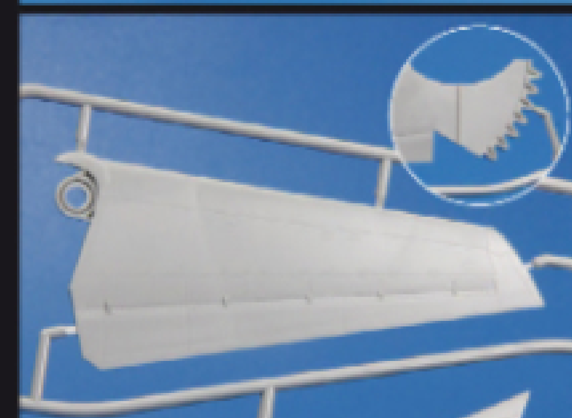


●グレートウォールホビー アメリカ海軍 F-14A艦上戦闘機



グレートウォールホビーのF-14は全体的に繊細なスジ彫りが施され、機体上面は垂直尾翼基部周辺が別パーツだ。主翼はスポイラーが展開/閉状態で再現できるようになっており、同キットの大きな特徴となっている。加えて主翼前縁のスラット、そしてフラップを作動状態で再現できる。エンジンノズルも絞った状態のものが付属している。武装はAIM-7、AIM-9、AIM-54の3種が付属する。



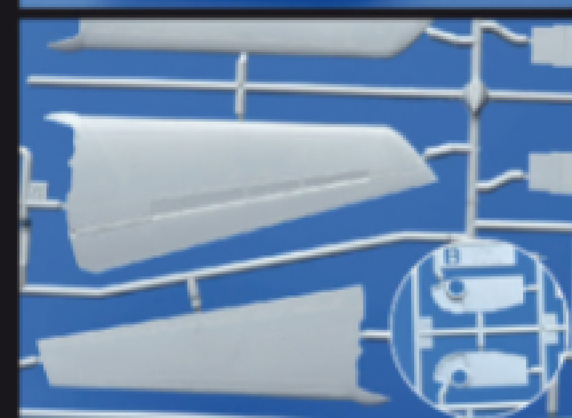


●童友社 アメリカ海軍 F-14Aトムキャット"VF-84 ジョリーロジャース"



童友社のF-14は、機首パーツに脚庫のカバーが一体で成型されている。複雑な形状の機体だが、全体的に割り切った一体パーツ化が行なわれており、組み立てやすさをを重視した構成と言えるだろう。イジェクションシートやコクピット、脚庫内のパイピングなどモールド表現は立体感がありディテール面も申し分ない。発艦時の状態を再現できる前脚も付属する。計器盤は各計器が独立したデカールで細かく再現できる。





●アカデミー F-14D スーパートムキャット "VF-2 バウンティハンターズ"



アカデミーのF-14は細すぎず、太過ぎないカッチリとしたモールドが特徴。機首はノーズコーンと下面が別パーツとなっている。コクピットの計器盤、各コンソールは細かくモールド表現されており。デカールも付属する。主翼は後部のエアバッグが開閉2種用意されており、選択式となっている。主翼を可動させることが可能だが、左右連動はせずそれぞれ独立している。なお一部を除き各型のパーツがほぼ全てセットされているので、工夫次第で様々な形態を再現できる。

■ドイツレベル1/144 グラマン F-14A トムキャット
＋エイチエムエー 1/144 F-14A フラップダウン 発着艦形態 ディテールset
■製作・文：平出彰太



Welcome to 1/144 World

凝縮された精密感の極致

1/144を3Dパーツで着艦姿勢にアップグレード

模型の魅力の1つに「凝縮された精密感」があるとしたら、1/144というスケールはまさにそれを体現できるジャンルだろう。さらに昨今、3Dプリントパーツの普及によりスケール問わず「情報量マシマシ」の楽しみが身近になってきた！ただの「ミニスケ」と侮るなかれ！

●駐機状態

ほぼノーマル（一部3Dプリントパーツ使用）

VF-14
Tophatters



◀2つのキットを同時製作。こちらはほぼノーマルに組み上げ、主翼を畳んだ駐機状態とした。機首側面のピトー管、開状態のノズルなど極めて細かいディテール部分のみ3Dパーツを使用してディテールアップしている。エアバッグはキットのままでは主翼を完全に閉じられないため、形状を確認しながらリューターで慎重に削った。また、着艦姿勢の作例と共通で胴体と一体成型の水平尾翼を切り外し、軸打ちして可動化している。キットそのままでも各部パネルラインのモールドやディテールは1/144としては十分な表現で、手ごろなサイズでトムキャットを楽しむことが出来る。

●着艦姿勢

3Dプリントパーツフル使用

VF-32
Fighting Swordsmen



▶こちらはエイチエムエーの3Dプリントパーツ（設計:Mach3 Models）をフルに活用して、ディテールアップ＆着艦姿勢仕様として製作。金型やシリコーン型よりも形状の制約が少ない3Dプリントを最大限に生かして、開状態のエアブレーキ、主翼のスラット、フラップなども一体成型ながら薄くリアルに再現されている。開閉2種のノズル、コクピットのディテールアップパーツなどもセットされ、パイロットのフィギュアやシートのフェイスカーテンハンドルなど、1/144としては最高レベルのディテールで仕上げることが出来る。

●1/144で形態を変えて作る

今回はドイツレベルのF-14Aを2機同時に製作します。片方はエイチエムエーの3Dプリントパーツで着艦姿勢としてみます。

共通作業として、前脚庫は中央に押し出しピン跡があり、側壁のモールドが省略されているため、プラバン工作でディテールを追加しました。脚庫扉はスジボリ堂のBMCダンモ（段落ち幅0.2㎜）で段落ち加工を施し、3Dプリンターでヒンジを自作しています。水平尾翼は胴体と一体化されていますが、今回は角度を変えるため切断しました。両機ともDXMデカールを使用するため、製作する機体に合わせて改修します。尾部に1㎜径のプラ角棒を取り付けてECMアンテナを追加しました。

3Dプリントパーツを組み込む機体はコクピットブロック、ブリードドア、主翼、エアバッグ、インテーク、エアブレーキ、ベントラルフィン、エンジンノズル、脚柱、アレスティングフック、ランチャーパレットを置き換えます。その都合でキットのパーツを一部切除する必要があるので加工しておきます。

3Dプリントパーツのディテールと形状は良いのですが、強度に不安を感じる箇所があり、面の広いパーツは若干歪んでいたり積層痕が見られます。ただ、細かいディテールにまたがった箇所は綺麗に処理できないため、ある程度で妥協して組み込みました。パーツの処理が完了したら塗装に移ります。

●基本塗装の途中に油絵具を使う

駐機状態はVF-14トップハッターズ、着艦姿勢はVF-32スウォーズメンで仕上げます。透け防止と下地を兼ねて全体をGSIクレオスのMr.カラー GGX LG2 GGXブラックを吹き付け、次にグレーで全体を塗装します。VF-14は上面をモデルカステンカラーのC-27 ダークゴーストグレー 36320、下面をC-28ライトゴーストグレー FS36375で塗り分け、VF-32はMr.カラー C315 グレー FS16440で塗装しました。

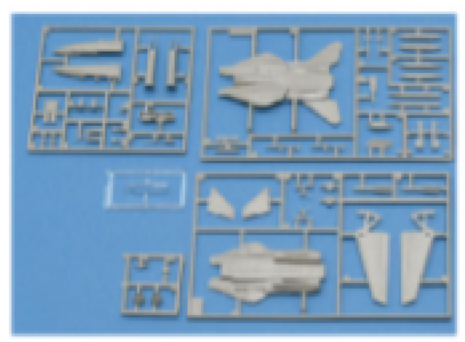
一度全体を塗装したら、油絵具の黒や茶色を使い古しの筆でトントンと叩き付けるように乗せてテクスチャーを付け、再度薄めたグレーを塗装して馴染ませます。次にパネルラインのリタッチ跡を再現します。

水で薄めたマスキングゾルをパネルラインに乗せて、パネルに沿って少量の黒を加えたグレーで塗装します。マスキングゾルを剥がしたら薄めたグレーを塗装して馴染ませ、再度油絵具やエアブラシの細吹きで細かいテクスチャーを付けて基本塗装の完了です。



せっかくの着艦姿勢なので、ノズルに差し込んで保持できる専用展示スタンドをPCソフトで設計し、3Dプリンターで出力して自作している。デカールは2機ともDXMデカールの「アメリカ海軍F-14A/B/D トムキャット VF-2/14/31/32/102/103/NSAWC 12 スキーム コレクション（品番:41-1114）」を使用した。



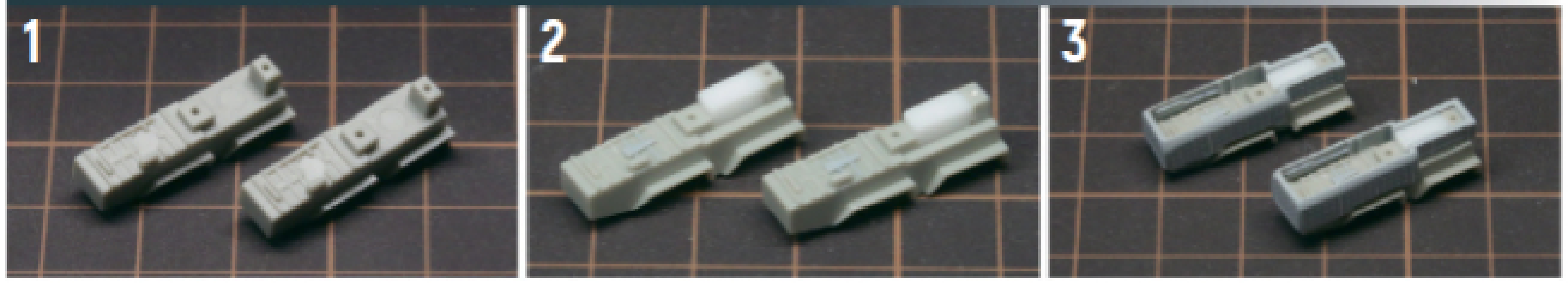




◀作例使用のキット。小スケールゆえシンプルなパーツ構成ながらしっかりと特徴をとらえており、手軽に「トムキャットらしい」トムキャットを手に入れられる。モールドはシャープでかなり細かいパネル類まで再現されており、ディテール感は十分。翼はギア付きで左右連動で可動できる。武装はフェニックス、スパロー、サイドワインダーが付属。VF-1ウルフパックのマーキングがセットされている。輸入元はハセガワ（☎054-628-8241）で、価格2,090円（税込）。

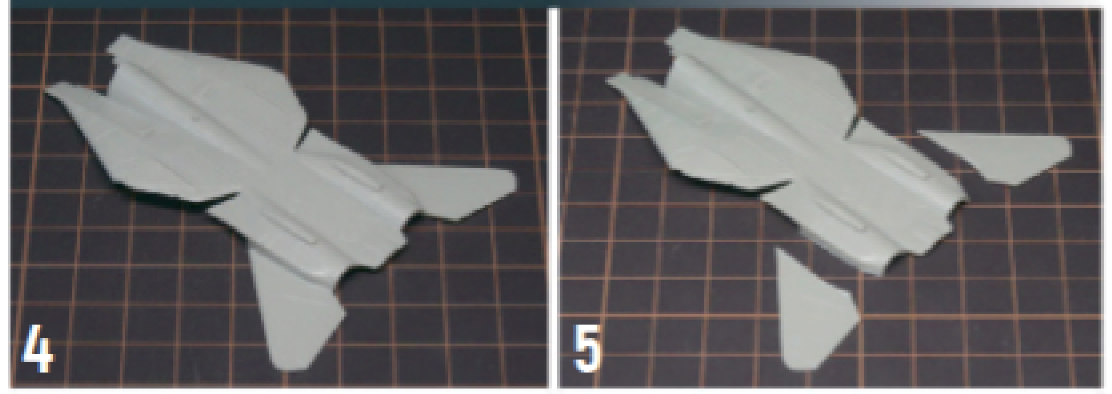
押さえておきたい! イッチョンチョン工作ポイント

●前脚収納庫



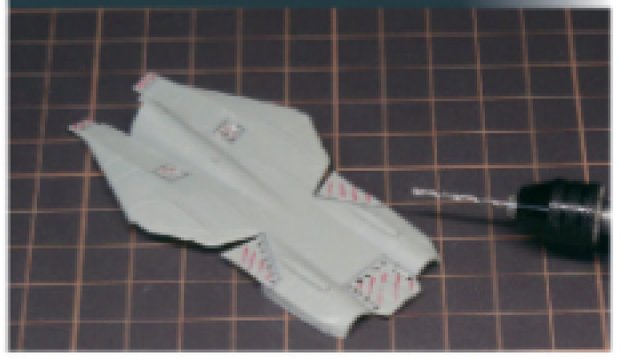
▲1. 2機共通の加工ポイントとしてコクピットフロアと一体の前脚収納庫が挙げられる。小型の成型品であるため押し出しピン跡がディテールを潰してしまっている箇所がある。　2.押し出しピン跡が横断している箇所のディテールをプラ材で製作した。　3.内壁がなくそのまま機首パーツに組み込むようになっているため、ここもプラバンで内壁と隔壁を製作し、ディテールをそれらしく追加した。

●水平尾翼



▲4,5.こちらも2機共通の工作として水平尾翼を切り出し可動化した。小さく薄い箇所な上、切断後のどちらのそのままパーツも使用するため、ニッパーなどで雑に切り出すのはNG。デザインナイフなど薄く鋭いツールで境界線の部分を何度もなぞり、慎重に切り出す。

●パーツ組み込み箇所の加工



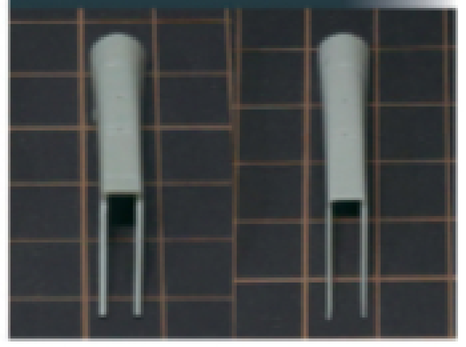
▲着艦姿勢で組み上げるほうは、3Dプリントパーツを組み込むためにキットパーツを切断する。こちらは切り出し後の箇所は不使用なので、ドリルでミシン目状に穴を開けてザックリと切り出してOK。切り出し後はヤスリで切り口を整える。

●コクピットの製作



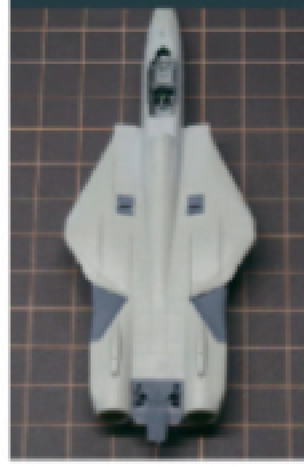
▲左が3Dプリントパーツ、右がキットパーツ。3Dパーツはパイロットとシートが一体出力となっている。自然なポーズ、シワ、スケール感を損なわないフェイスカーテンハンドルなど、破損に注意しながら丁寧に塗り分けたい。パーツセットには前後グレアシールド、後席後部のディテールなども含まれており、情報量を極限までアップできる。

●インテーク周り



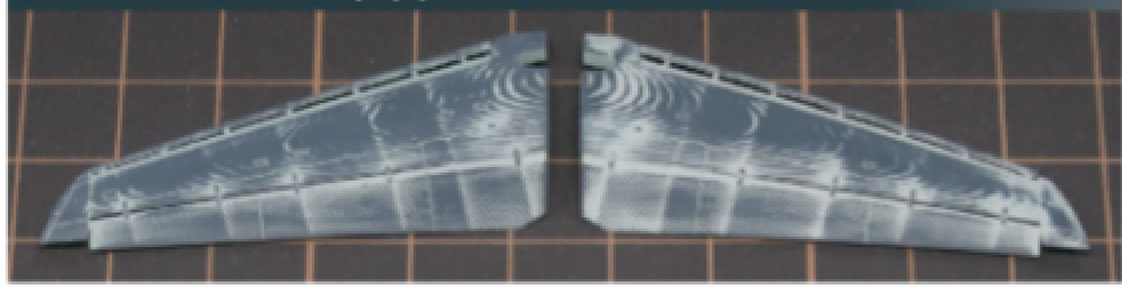
▲ほぼノーマル仕上げのほうはインテーク側壁を薄く削り込んでいる。着艦姿勢のほうはパーツセットのインテークを使用した。

●パーツの組み込み



◀いよいよ3Dプリントパーツを組み込む。キットパーツ切り出しの箇所を間違えなければぴたりとフィットする。濃いグレーに見えているブリードドア、エアバック、テール部が3Dプリントパーツ。

●3Dプリントパーツの表面処理



◀パーツセットの主翼はスラットなども一体成型でスリットもしっかり抜けている。3Dプリントパーツは製法上、どうしても積層痕やサポート痕が発生してしまうので、重点的に表面処理を行なう。一度捨てサーフェイサーを吹き、ヤスリで一皮むくように磨いていく。ただし磨きすぎるとモールドなどを潰してしまうので、良い塩梅を見極めることが重要だ。

動翼やエアブレーキなどのインシグニアレッドは、C327 レッドFS11136に少量のグレーを混ぜ、彩度を落としてスケールに合わせました。その他の細かい塗り分けも済ませたらMr.カラー GXのGX100 スーパークリアーⅢでコートします。

●フィニッシュワーク

塗装面が乾燥したら、デカールを貼る前にタミヤのスミ入れ塗料（ダークグレイ）でスミ入れします。DXMデカールは薄くて良く馴染みますが、軟化剤もすぐに効いてしまうため、軟化剤を水で薄めて慎重に貼りました。デカール貼りが完了したらGX100で厚めにクリアーコートし、しっかり乾燥させてから研ぎ出してデカールの段差を消します。#1000～2000の紙ヤスリで研磨して仕上げ、GX114 スーパースムースクリアーつや消しでクリアーコートしました。上面など特に汚れている箇所はC182 スーパークリアーつや消しを吹き付け、表面をザラザラにしてウェザリングが乗りやすいようにしておきます。

実機写真をよく観察し、油絵具の黒や茶色で汚しを描き込みます。上面は汚れている箇所とそうでもない箇所でメリハリを付けました。ウェザリングが完了したらガイアノーツのEx-09 Ex-セミグロスクリアー プレミアムでコートして完成です。







●塗装にも技アリ! 1/144を表情豊かに仕上げる





◀▲1.GGXブラックで下地塗装を行う。GGXは隠ぺい力、発色、肉持ち感が良好でさっと吹き付けるだけでしっかりとした光沢面を作れる。　2.エアブラシの細吹きで機体色を塗装する。一方はガルグレー、もう一方はロービジのグレーで塗り分けた。　3.基本のグレー塗装が終わった段階で一旦油絵具を使い機体全体に表情を付ける。　4.各部塗り分けを行ない、水で薄めたマスキングゾルをパネルラインに沿って塗布し、その上から少し暗くした機体色を薄く吹き重ねた。マスキングゾルを剥がしたら薄めた機体色を再度吹き付け全体を馴染ませる。　5.デカールを貼り終え、途中で行なった表情付けに加えて、油絵具のドッティングで汚れなどを表現していく。　6.主翼付け根の特徴的な汚れはコンパスカッターで切り出した型紙を当て、ずらしながらエアブラシの細吹きを行ない表現した。



72 ナナニイ スポットライト SPOT LIGHT 第50回

いつでもどこでも入手できる定番商品や、普段の誌面にはなかなか登場しないキットの魅力をお届けする、1/72飛行機模型オンリーのコーナー！記念すべき第50回はエイチエムエーの最新アイテムを取り上げます。映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』に登場するイーグル・プラスがナナニイでキット化です！





I say again, “kill Wyvern”

F-15 Kai EAGLE PLUS

■エイチエムエー 1/72 F-15改 イーグル・プラス　■製作・文：kurage





■はじめに

パトレイバーファン待望のイーグルプラスが1/72で登場となりました。エイチエムエー初の1/72ですが、その内容は大変充実していて、エンジン本体もパーツ化されるなど作りごたえのある意欲的なキットとなっています。

■気になる製品内容

コクピットは繊細なモールドで立体的に再現。丁寧に塗り分けることで精密感のある仕上がりになります。コンソールパネルのデカールも付属しており、塗装が苦手な方にも配慮されてるのはありがたいです。シートは組み立ての際に合わせ目が出来ますが、シートベルトを追加するなどして気にならないように整形すると良いでしょう。初回生産分に付属するモデリンク製のパイロット付きシートは非常に精密な3Dプリントパーツで、格段に精密度が上がります。是非入手されることをお勧めします。

パーツ同士の精度が高いので組み立てに手こずることはありません。合わせ目は目立たない位置になるので、そのままでも気にならないくらいです。ただしポイントになるのは胴体後部です。いくつかのパーツが合わさるので、隙間が出来ないよう事前に摺り合わせをしっかり行いましょう。

インテークやエンジンノズル、エアブレーキなどは角度を選択できるようになっているので、再現したいシーンに合わせて動きを出せるのがありがたいです。このキット最大の売りは、インテークダクトからエンジン本体までパーツ化されているところです。エンジンは単体でも作品になるほどの再現度で、組み込んでしまうのがもったいないくらい良く出来たパーツです。しかもそのまま機体に組み込めるというのも驚きで、パーツ設計の精度の高さが窺えます。

その他にもホイールとタイヤが別パーツになっていて塗装がしやすくなっていたり、各部のライトがクリアーパーツで用意されているなど、細かい配慮が素晴らしいです。ウェポンは空対空ミサイルと増槽が付属します。増槽のみ凸モールドになっており、こだわりを感じる表現になっています。

基本塗装は各色を軽くグラデーションをかけ、エアブラシのフリーハンドで塗り分けを行いました。下面のエンジン周りは強めに汚して実機らしさを表現。実際のF-15を参考に細部塗装を追加して、よりリアルに感じられるようにしています。スミ入れ後に程良い量に抑えられたデカールを貼り、仕上げに半光沢クリアーを吹いて完成です。

■おわりに

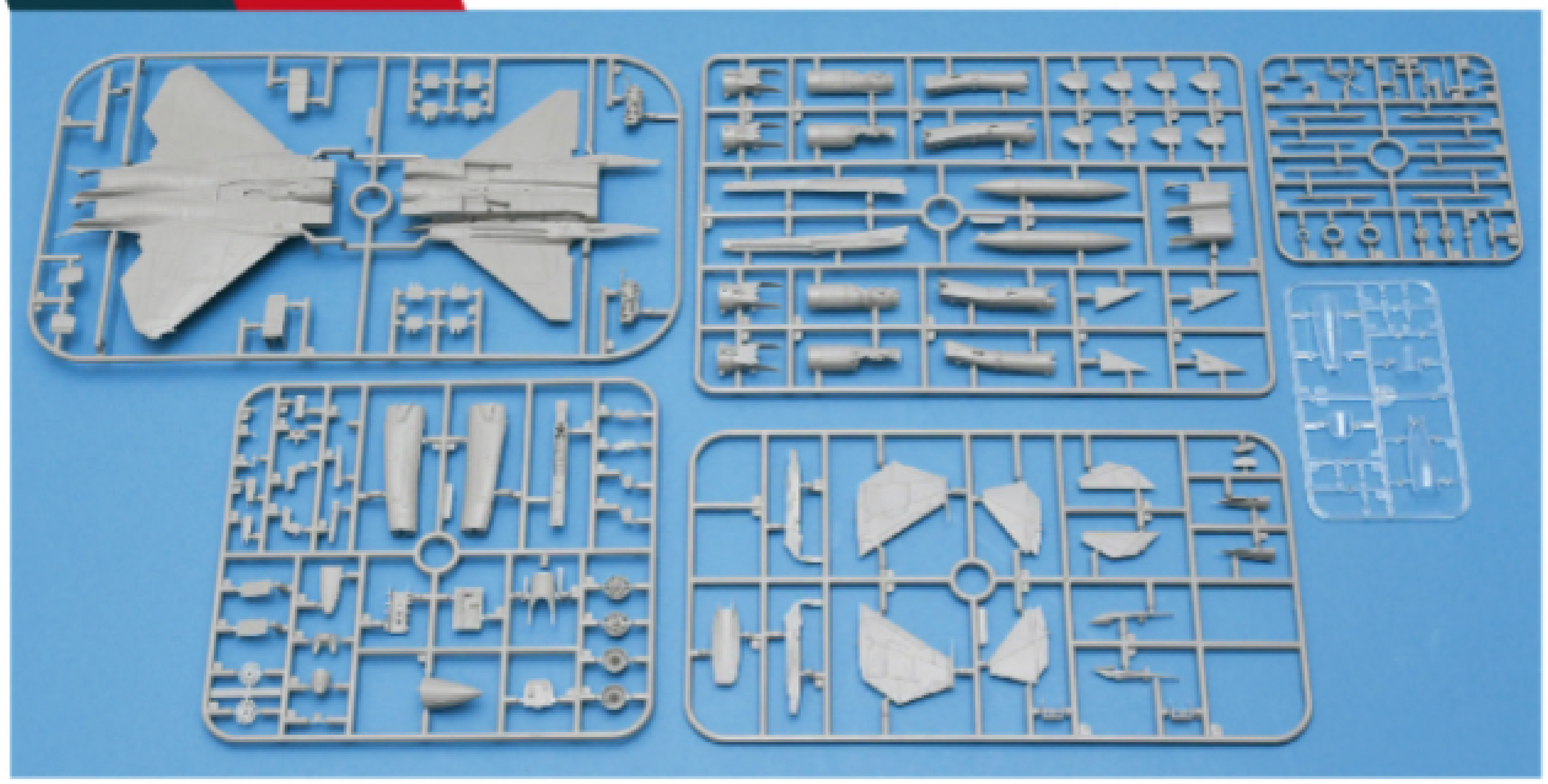
各部にメーカーの気遣いや思い入れが感じられる、作っていて気持ちの良いキットでした。1/144で他の機体も出されているのでそちらの1/72化も期待したいですね。

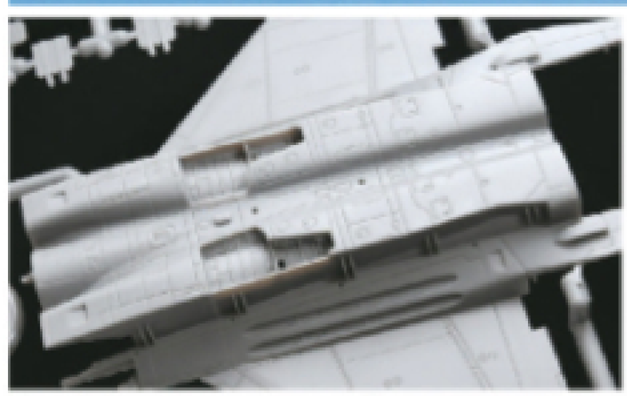
実機解説

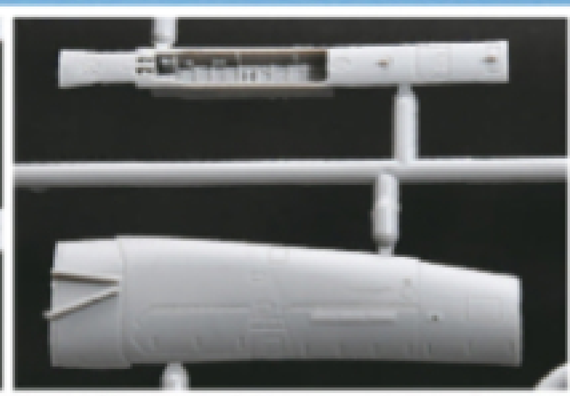
映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』における航空自衛隊の戦闘機で、河森正治氏がデザインを手掛けた。F-15Jをベースにしてカナード翼を追加し、主翼後縁と垂直尾翼、水平尾翼はステルス性をイメージした形状に変更。さらにベクターノズルを採用している。空対空ミサイルは胴体下部側面のほか、主翼付け根に半埋め込み式で搭載するようになっている。劇中では百里基地の204SQ所属機（コールサイン「ウィザード」）と、小松基地の303SQ所属機（コールサイン「プリースト」）が登場。数分のシーンながら強烈なインパクトを残した。

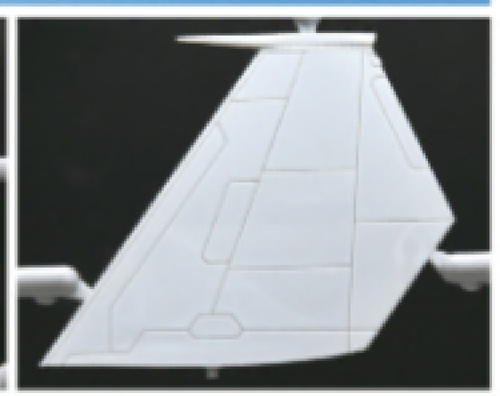


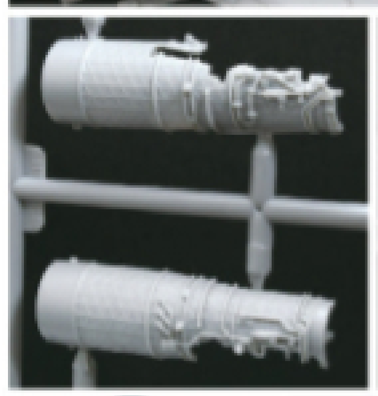
今回のキットはコレ!

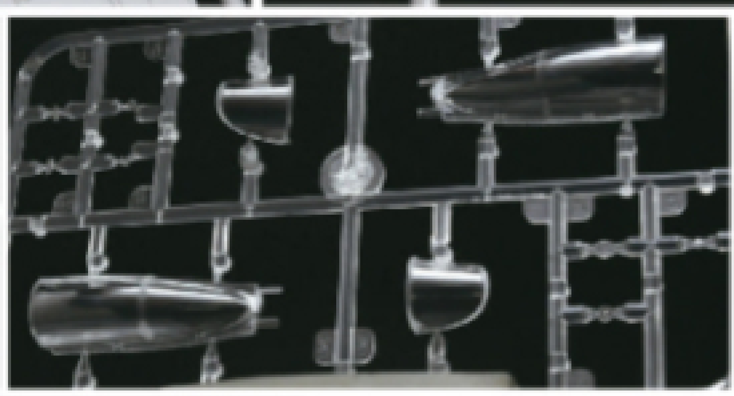


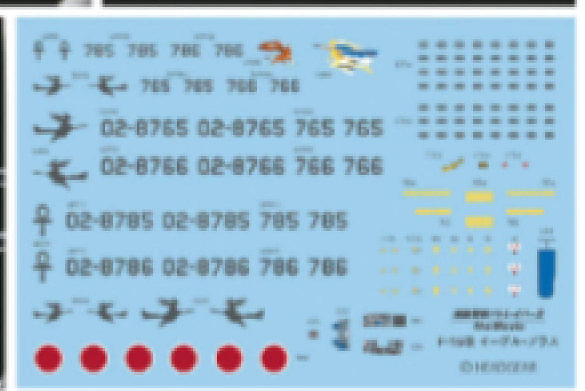














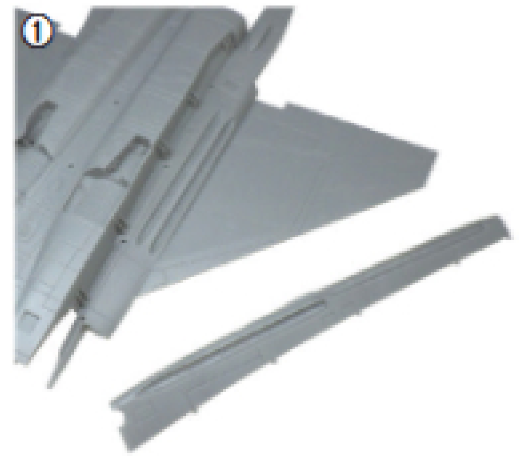
担当編集ショウケン

近年のF-15キットのトレンドを取り入れ、合わせ目消しの手間が掛からないパーツ分割になっています。パネルラインはクッキリしていますが深過ぎず、エッジが立ってシャープな仕上がりなのも良いですね!

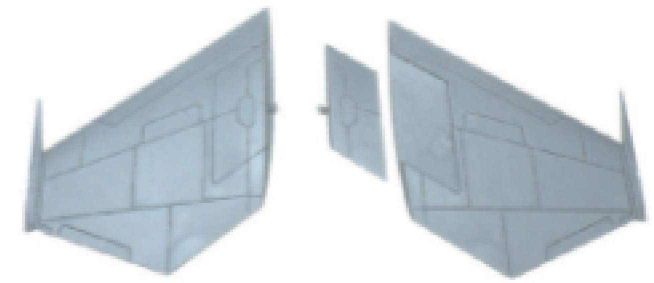
▲エイチエムエー 1/72 F-15改 イーグル・プラス。完全新金型。これまでF-15改やF-16改など、映画「機動警察パトレイバー 2 the Movie」に登場する航空機を1/144でキット化してきたエイチエムエーが、初となる1/72スケールを展開。1/144から形状を変更し、1/72用に全て設計し直してキット化。キャノピーは絞が絞りきっていないがパーティングラインがないタイプか、中央にパーティングラインが走っているもののしっかりとΩ型になっているタイプの2種が用意される。マーキングはウィザード隊とプリースト隊の計4機分をセット。価格10,450円（税込）、近日発売予定。

※写真はテストショットのため、製品版とは一部仕様が異なります。

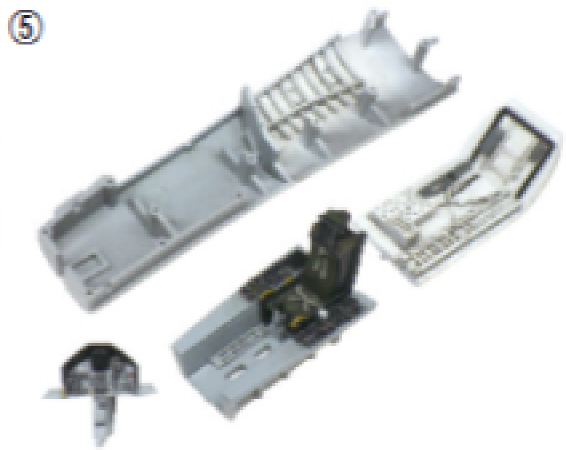
製作ポイント

①


②


③


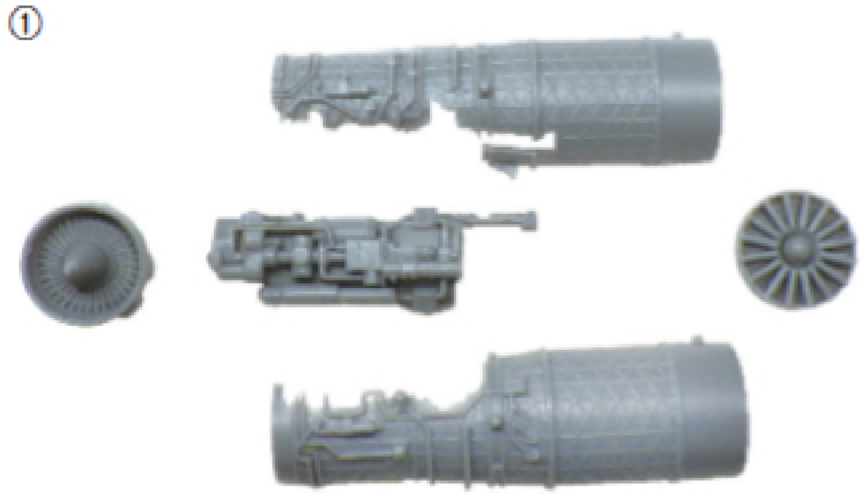
④


⑤


⑥


▲①胴体下面は側面を分割することで、モールドが浅くならないようになっている。②③成型上やむを得ず分割されているパーツがあるので組み立ての手間はかかるが、いずれも目につきにくいところに合わせ目が来るよう設計されているので、最低限の整形でも気になることはない。④後部胴体はいくつかのパーツが合わさるポイントのため隙間が発生しやすい。まず胴体の各パーツを仮組みし、調整してから接着して整形する。そして垂直尾翼もフィッティングを確認してから接着。複数のパーツが合わさるところは歪みが出やすいが、仮組みや手順の確認をしっかりすることでパテを使うことなく組み立てることが出来る。⑤コクピットと後方の電子機器室にはしっかりとしたモールドが入っているので、丁寧に塗り分けるだけでも十分な仕上がりとなる。⑥インテークランプはパーツを挟むことで手軽に角度を変更できる。なお、実物のF-15ではエンジンを始動するとダウンする。

類を見ないパーツ分割でエンジンまで精密に再現!

①


②


③


④


▲①エンジンも少ないパーツで合わせ目が気にならないように巧みな分割がされており、ストレスなく組み上げられる。②細かい造形を数色のメタリック色で塗り分けるだけでもかなり良い雰囲気に仕上がる。パイピングなどでディテールアップしてさらに精密感を上げてみたい。③ボリュームのあるエンジンパーツだが、そのまま胴体に収まるのは驚きだ。④ベクターノズルは開閉それぞれのパーツが付属し、選択して楽しむことが出来る（右が開状態）。





◀▲マーキングはウィザード隊を選択。コクピットのHUDはクリアーパーツで再現される。初回生産限定版には射出座席と一体成型された3Dプリント製パイロットフィギュア（設計:モデリンク）が付属するので、是非早めにゲットしよう。

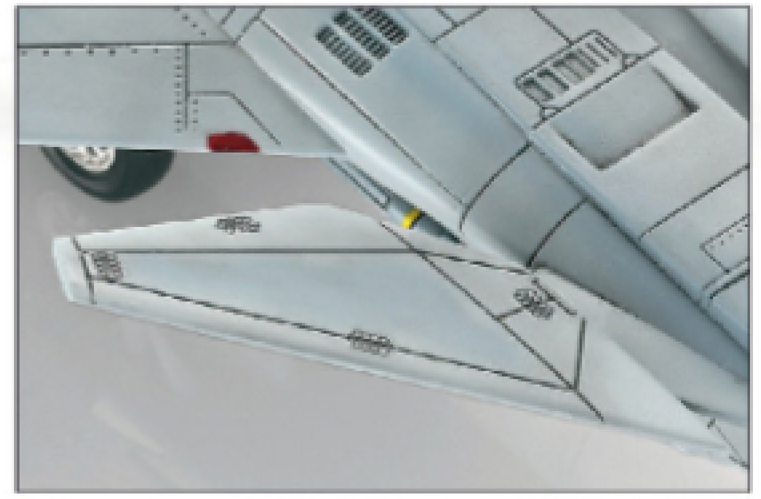


制空塗装はGSIクレオスのMr.カラーC307 グレーFS36320と、C308グレーFS36375の組み合わせとした。劇中ではスクランブル発進した機体なので、空対空ミサイルは実弾の弾帯を参考にして塗装している。

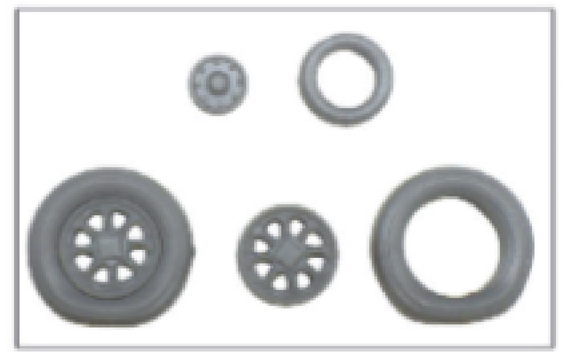




▲ベクターノズルや斜めに配置された尾翼など、イーグルプラスの特徴が詰まった胴体後部。ダボがしっかり設けられているので、取り付け時の角度は全く問題なし。

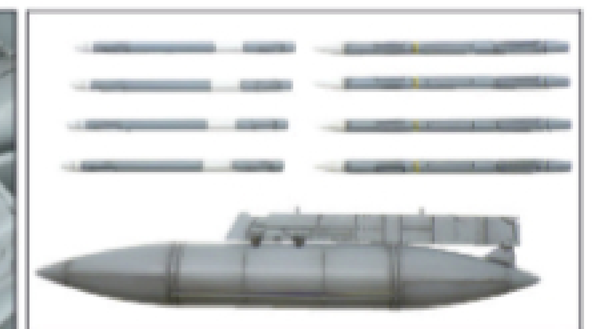


▲カナード翼は長方形のダボで取り付けるようになっているため、こちらも角度はバッチリ。完成後の強度も問題ない。衝突防止灯と翼端灯はクリアーパーツが用意されている。



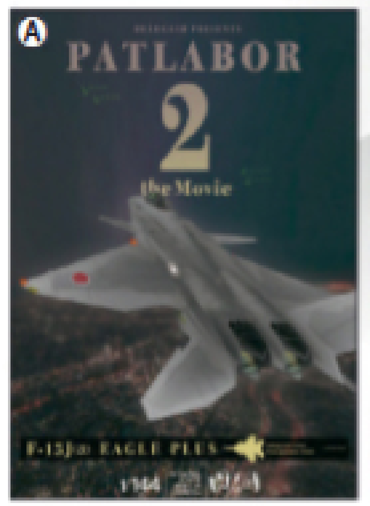
◀タイヤは自重変形状態となっている。また、ホイールとゴム部分が別パーツ化されているので塗り分けの手間が省ける。





◀▲付属の空対空ミサイルは半埋め込み式のため、下面はすっきりした仕上がりとなる。見せ場とすべく増槽やエンジン周りのみ強めに汚しを入れて、実機らしさを出してみた。

エイチエムエーのパト2アイテム
1/144でも好評発売中

Ⓐ


Ⓑ


Ⓒ


Ⓓ


▲エイチエムエーからは1/72に先駆けて、1/144でパト2アイテムをリリースしている。Ⓐ**1/144 F-15改イーグルプラス**。パト2インジェクションキット第1弾として2021年にリリース。カナード、垂直尾翼、垂直尾翼は劇中仕様か設定画仕様かを選択可能。価格3,500円（税込）。Ⓑ**1/144 U.S.AIR FORCE F-16改 ナイト・ファルコン**。劇中ではほぼシルエットで謎に包まれていた機体を、河森正治氏の徹底監修により立体化。価格3,500円(税込)。Ⓒ**1/144 機動警察パトレイバー2 the Movie F-16J**。単座型/複座型の選択式で、3 機分のラジオコールナンバーのデカールをセット。価格3,520円（税込）。Ⓓ**ヘルハウンド**。スタブウィングとメインローターは格納状態でも製作できる。また、劇中仕様か設定画仕様かを選択可能。マーキングは劇場版第1作『機動警察パトレイバー the Movie』に登場する機体もセットする。価格4,180円（税込）。

profile

kurage

@V1models427

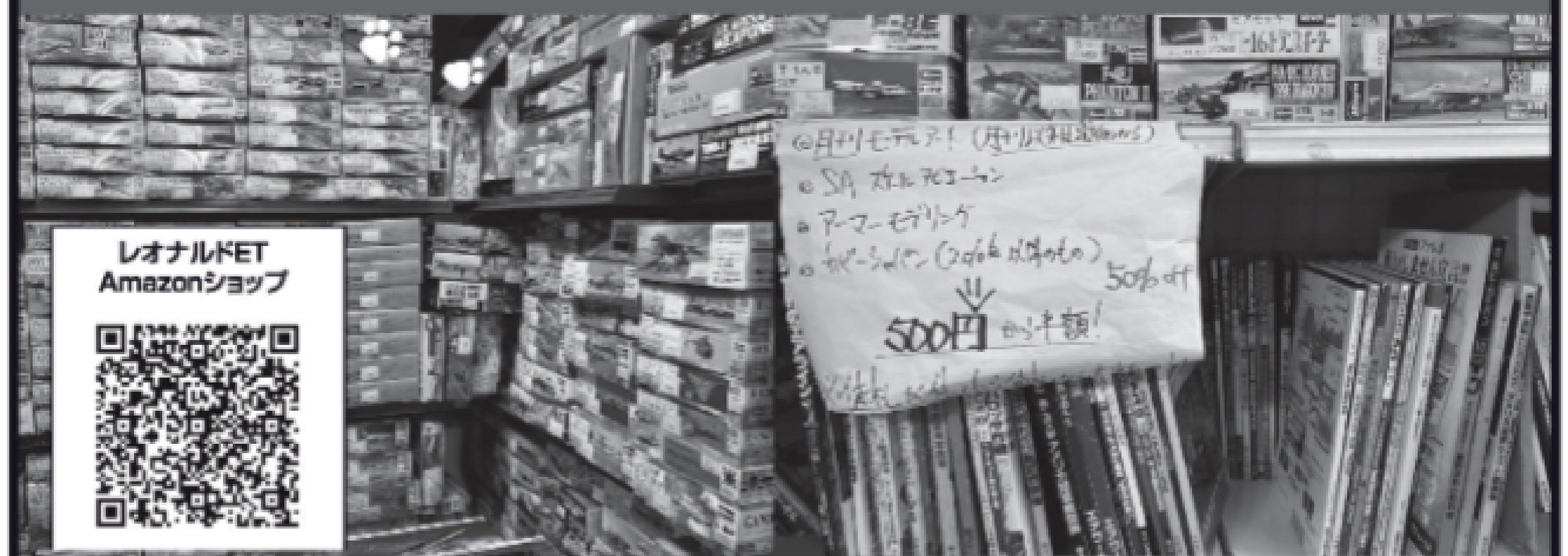
1月末に横浜で開催される横浜モデラーズクラブ合同展示会に72labとして参加します。ぜひ遊びにいらしてください。



年末年始の営業
12月27～30日・・ 19:30まで
12月31日・・・・・・ 15:00まで
1月1・2日・・・・・・ 休み
3・4日・・・・・・・・ 19:30まで
5日より通常営業

レオナルドETにプラモを探しに来て下さい!!
大量入荷につき店内在庫を入れ替え中!!

X見てね



レオナルドET
Amazonショップ

AKIHABARA レオナルドET 秋葉原本店

〒101-0021 info@leonardoet.com
東京都千代田区外神田5-2-14
TEL:03-5846-5151
Fax:03-5846-5150
営業時間:平　日 11:00~20:15
年中無休:土日祝 11:00~18:30

レオナルドET情報
www.leonardoet.com
X（旧Twitter） @leonaludoet
facebook レオナルドet



秋葉原本店に持ち込み買取もOK

レオナルド7 KUMAMOTO

レオナルドET

不要・不用のプラモデル バンバン買い取りします

306T 第159回

←レオナルドET Amazon店は営業中



↓買取も引き続き受付中!!!↓

まずはお電話かEメールを!!今が高価買取のチャンス!!

不要・不用のプラモデル買取! 全国出張買取もOK

○もう作ることのない不用プラモデルの買取りします。
○開封していたりランナーから切ってしまったキットも相談して下さい。
○あまりに数が多くリストを作るのも大変な方も一度「レオナルドET」へ。
○飛行機用デカールやアクセサリーパーツなども買取いたします。
○貴重なキット、思い出のキットは除いて不要キットをリストアップし、ファックス・手紙を「レオナルドET」に送って下さい。
○数が多すぎる。ダンボールへ詰め替える力がない。荷作りが面倒。人手が足りない。などなど。

写真（写メ）でもOK
info@leonardoet.com

買取りなどのお問い合わせは↓
TEL.03-5846-5151

私とプラモデルのおつきあい

第153回 スター

年末年始の備忘録

今年もアッという間に年末年始だ！

今年もいろいろなことがあったので、忘れ物キングの私、備忘録ではないが（このコラムも備忘録の一つか？）書いてみる。

また、この「備忘録」だが、小学4年生の頃におっぱい星人の親父に聞いて以来、先月まで「忘備録」だと思い込んでいた。

間違いではないらしいが、山口貴嗣・思い込みランキング暫定万年1位のイギリス歩兵戦車「マルチダ」（正しくはマチルダ）の40年をあっさり抜き去り、堂々の1位だ！

この記憶違いの思い込みは私だけではない。

名古屋店長時代のお客様が先月来店され、「レジンキット」がお好きな方なのだが、名古屋店時代に何度も訂正したにもかかわらず、26年経っても、まだ「レンジキット」と2回も言っていた。90年代に「レジン」は登場したので、これも軽く40年物の思い込みだろう……。

さて、「忘備録」だ。

小学生低学年の頃、おっぱい星人の親父は酒を飲んで良い気分になると、すぐにニヤニヤしながら昔の彼女や「ババア」との話をする。（ほぼ毎日！）

その頃、おっぱい星人に「人は記憶違いや、都合よく記憶を変えることがある。日記が一番いいが、忙しいとすぐ怠けるので、備忘録を1冊作るといいよ。メモ書きでいいからね♡」と、古びたノートを見せてくれた。

いたいけな私「ウン、お父さん、忘備録だネ♡」

おっぱい星人「そう、備忘録……」

その違いは50年以上続いている……。

おーっと、前書きが長くなってしまって、それぞれ（2つ以上）の年末年始があまり書けなくなってきた。あれ、1つしか書けない～。

前にも書いたことだが、備忘録（当店倉庫内に保管）によると、昭和63年12月24日、時刻は0時から（正しくは12月25日未明）、2直動哨。この年の月に2回の特別勤務である警衛勤務（24時間勤務）の予定が11月末に発表された。

入隊後初の年末年始だったが、私は実家がクルマで30分だったので、後段（1月3日から休み）はいいとして、問題は警衛勤務が、あろうことか12月24日上番と12月31日上番の2日。あんまりだ！

叔父の新隊員同期の先任陸曹長（神様）の仕業か。よりによって、私も若者の端くれ25歳だ。

このことをリリー・マルレーンに電話したら、

リリー嬢「もういい加減にしてョ。12月24日、25日と31日は全くダメってどうなん！ 知らんワ」

とガチャ切りされる。それから電話しても冷たい。

そして当日、12月24日夕方から雪に変わった。

0時15分（マル ヒトゴ）。

第1ポスト通過後、第2ポスト手前の裏門に怪しい人影を発見。私は歩哨の守則を思い出す。

「3度誰可（タレか？）しても答えのない者は、捕獲するか刺・射殺する」

だったな、と思い出し、銃剣を抜き、64式小銃（弾倉ナシ）に着剣。

（最低なイブだな？）

腰抜け3秒前の私「ちゃちゃく着剣ヨシッ！ だれか！×3回」

不審者 リリー嬢「アタシだよ！ 寒いから気をつけてね♡」

同期がこの時間を知らせてくれたそうだ。

自衛官時代で1番うれしかった。

と書いてある、忘備録もとい備忘録、あっぱれ！

つづく

PS：おっぱい星人の備忘録はどうなったのか。

一度、読みたかったな……。

続々と買取り品が入荷中! 詳しくはX（旧Twitter）で!!

史上初めて実用化された垂直離着陸可能なジェット戦闘機として、あまりにも有名なハリアーシリーズ。垂直上昇や空中停止といった他機では真似の出来ないパフォーマンスで映像作品やエアショーにおいても高い人気を誇っていたが、第２世代のハリアーⅡもF-35Bの実用化により役目を終えようとしており、本家イギリスでは2010年に退役。アメリカにおいては2026年６月にラストフライトが予定され、輸出先のイタリアでも退役は決定済みとなっている。このような情勢の中、最後のオペレーターとなるのがスペイン海軍で、1975年に納入が始まった第１世代のAV-8Sから数えれば、開発国の英米を凌ぐ運用期間となることが見込まれる。今回は中国の新興メーカー、UMaモデルから発売されたニューキットをベースにスペイン海軍機の特徴を再現。世界各地で撮影した実機写真と共に、唯一無二の名機の姿を記録する。



特別記事

無敵艦隊（アルマダ）最後の翼

EAV-8B+ Matador Ⅱ



UMaモデル 1/48 AV-8B ハリアーⅡ プラス
製作・文：Sweeper Ⅱ



最新キットでスパニッシュハリアーの再現に挑め

キットについて

中国の新メーカーUMaモデルのデビュー作として発売されたのが、今回製作する1/48のAV-8BハリアーⅡ＋です。第2世代ハリアーは古くはモノグラム、新しいもの（とはいっても発売は20年前）ではハセガワから同スケールで立体化されており、いずれも優れたプロポーションやバリエーションの豊富さといった長所を持つ良作でした。

UMaモデルのキットはスライド金型によりパーツの多くを一体化して組み立てを容易にすると共に、コクピット用立体パネルやゲートレスのエッチングパーツなども標準で付属し、高精度なディテールを手軽に得られるようになっています。動翼や兵装などのオプションも充実しており、ストレートに組み立てるだけでも重厚感溢れる作品が出来上がります。

組み立ての注意点

全体的にパーツの合わせは良好で、説明図も丁寧なため組み立てで悩むことはありません。ただ、パーツのエッジ周辺のわずかなバリや、スライド金型の多用によるパーティングラインが随所に見られるため、これらを丁寧に処理することでより完成度を高めることが出来ます。

また、プラの材質が柔らかく、接着剤や溶剤によってはパーツ表面が溶け出すような傾向が見られたため、事前にランナーや不要パーツで相性を確認すると安心でしょう。作例では、主にタミヤセメント（流し込みタイプ）を使用して組み立て、GSIクレオスのMr.カラーとモデルカステンカラーを使用して塗装しています。

コクピットの製作

大きなキャノピーからよく見えるコクピットは、プラパーツのフロアに"3Dコクピット"と銘打たれた立体パネルを貼り付ける構成となっており、短時間の作業で見事なディティールを手に入れることが出来ます。このパネルは極薄の樹脂製で、所謂3Dデカールとは異なり台紙からそのまま引き剥がして、瞬間接着剤を少量付けて接着します。通常のデカールやスイッチ類が立体的にモールドされたパーツも用意されているので、より簡易に組み立てたい場合や細かな塗装を楽しみたい場合など、好みに応じて使用すると良いでしょう。

射出座席はイギリス向けのハリアーGR.5以降で採用されたマーチンベイカーMk.12が付属しています。ただしアメリカ、イタリア、スペイン向けの機体にはSJU-4が搭載されているため、今回はRockit Studioから発売されている3Dプリントパーツに置き換えることで正確に再現しました。なお、SJU-4は航空自衛隊のT-4でも使用されているため、ハセガワのキットや同機用のアフターパーツを流用してもそれらしくなります。

キャノピーの破砕コード問題

複雑な形状とディティールを持つキャノピーは透明部とフレームを別パーツで再現されています。透明部は何故かスライド金型が使用されていないためΩ型の断面形状が再現されておらず、側面に目立つパーティングラインが出てしまっています。フレームとの合わせは非常に良いため、パーティングラインとゲートを丁寧に処理した後、

新興メーカーが送り出した1/48ハリアーⅡの完全新金型キット



◀完全新金型。UMaモデル初のインジェクションキット。メーカー名はおおぐま座の略符「UMa」が由来で、ロゴも熊のイラストとなっている。フラップとエルロンはダウン状態でも製作可能で、空中給油プローブは展開状態の専用パーツも付属する。マーキングは米海兵隊VMA-214所属機２種（イラク戦争参加機と2016年の飛行隊長機）、VMA-311所属機１種の計３種をセット。キャノピーと垂直尾翼の塗り分け用カット済みマスクシート、ゲートレスのエッチングパーツなどが同梱される。輸入元はビーバーコーポレーション（https://beavercorp.jp）で価格17,490円（税込）、発売中。全国の模型店などで購入可能。

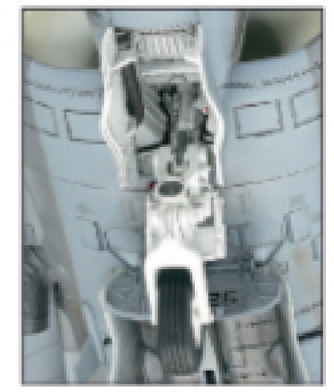




▲左翼外舷にはAIM-9Lサイドワインダーの模擬弾を搭載。キットではロケットモーターのノズル部が2種類用意されており、実弾と作り分けることが可能。増槽は米海軍／海兵隊の標準品として1950年代にダグラス社が開発した、Aero-1Dと呼ばれるタイプ。A-1スカイレイダー以来、歴代の戦闘機／攻撃機で用いられてきた名品だが、欧米ではハリアーシリーズが最後の搭載機となる。内弦にはV1modelsの3Dプリント製GBU-38 JDAMを装着。実機では改修により2010年代に入って運用能力が付与された兵装で、スペイン軍ではEAV-8B＋が唯一搭載できる。



▲サイドワインダーランチャーは実機写真を参考に取り付け方法を変更。ホワイトのスペーサーのような部品はプラ材から自作した。右翼側にはスペイン海軍で1本だけ使用されている、米海兵隊の初期仕様の迷彩（グレー／グリーン）を残すタイプを再現してみた。ほぼ標準装備となっているAN/AAQ-28ライトニングポッドは胴体下もしくは右翼内弦パイロンに搭載する。今回は模型としての見栄えを重視して後者を選択した。空の状態となる胴体下のパイロンは断面をプラ材で自作して再現。初期の運用試験では爆弾を搭載した写真も残されているが、近年はポッド類の搭載のみに用いられている。



▶前脚内は構造材や細かな配管まで再現されているので、丁寧に塗り分けた。タイヤはプラパーツながらトレッド面まで見事にモールドされている。タキシーライトはハセガワのキットから流用した。



接着面をブラックで塗装してから少量の接着剤を使用して取り付けています。

　ハリアーシリーズの鬼門とも言えるキャノピー破砕コードは、通常のデカールや透明部へのモールドで再現されているほか、コクピットと同じ立体パネルもセットされています。UMaモデルのYouTubeチャンネルではこれを瞬間接着剤でキャノピーに貼り付ける方法が推奨されていますが、失敗した際のリカバリーが困難です。ただ、貼り直しが出来る透明樹脂系の接着剤は立体パネルとの相性が良くないようで、何種類か試しても強度が確保できなかったため、最終的には瞬間接着剤で一発勝負の貼り付けを行うこととなりました。失敗が不安な方は、通常のデカールを使用した方が確実かもしれません。

◎胴体と主翼の組み立て

　かなりマッシブにアレンジされた胴体は、エンジンノズル周辺などの突出する部分が細かく分割されています。パーツ数こそ多いものの精度は高く、ゲート跡を丁寧に処理して流し込み接着剤で貼り付けていけば簡単に組み立てられます。パーツ表面に見られるパーティングラインは、#600〜800の紙ヤスリで軽く削ることで処理しておくと良いでしょう。

　正面からペガサスエンジンのファンがよく見えるエアインテークは、補助扉が駐機状態／水平飛行状態の2種が付属します。一体成型で組み立てやすさに配慮されているものの、外観やディティールには独自の解釈が加えられているようです。今回はキットの特徴としてそのまま組み立てましたが、成型上の都合で分厚くなってしまっている補助インテークの縁は削り込んでおきました。

　第2世代ハリアーにおける最大の改良点とも言えるスーパークリティカル翼型を採用した主翼は、厚みのある断面や前縁の捻じり下げを再現する一方、上面は途中から反り上がるように表現されているのは残念なところです。また、主翼前縁延長部（LERX）まで一体で成型されており、組み立ての容易さと強度確保には有効ながら、初期型などのバリエーション展開が難しそうなのも気になります。

　特徴となるのは後縁のフラップとエルロンで、1/48では初めてダウン状態が選択できるようになっています。特にフラップは下方に大きく下がり、上面の隙間はシュラウドにより目隠しされる様子を簡単に再現できます。実機の構造を捉えきれていないようで下面側は違和感のある造形ですが、他社キットとの大きな差別化ポイントにはなるでしょう。

◎足周りの組み立て

　通常の航空機とは異なり前脚、主脚、補助脚の4点接地となる足回りは、省略する部分とメリハリが必要な部分との割り切りが巧みな設計となっており、パーティングラインを処理するだけでリアルな仕上がりになります。作例での追加工作は、前脚のタキシーライトをハセガワのAV-8Bから流用して再現したのみです。

　組み立てにあたり、前脚と補助脚はアームのパーツを強引に広げてタイヤを挟み込む構造となっているため、力を入れ過ぎて破損しないよう注意が必要です。タイヤは金型を分割することで自重変形とトレッド面までモールドで再現されているため、凹んだ面がしっかりと接地できるよう、入念に仮組みを行うと良いでしょう。

　脚収納庫が前後とも再現されているのも珍しいポイントです。実機はエンジンスタート後はほとんどの扉が閉まっていますが、駐機時には整備の関係で開けることもあるため、作例では全ドアをオープン状態で製作しました。

◎兵装類も充実

　キットではAIM-9、GBU-12、AGM-65、AN/AAQ-28（説明図ではAN/AAQ-14と記載）のほか、300ガロン増槽とGAU-12ガンポッドが付属しており、米海兵隊での標準的な形態が再現できます。ミサイル類は近年の他社製品で見られるような一体成型ではないものの、フィンは非常に薄く、組み立て用の治具まで付属するのは好感が持てます。

　スペイン海軍機で運用可能な兵装は米海兵隊とほぼ同じなのでそのまま使っても良いのですが、今回は好みでV1modelsのGBU-38 JDAMを組み合わせてみました。また、空の状態となるパイロンとミサイルランチャーは、断面にプラ材でディテールを追加しています。

◎塗装とウェザリング

　表面は梨地気味のため、全体に#800の紙ヤスリをかけて整えた後、ダークグレーのサーフェイサーを塗布して下地を作り、機体色の塗装に備えます。EAV-8B＋では製造時より「Harrier Tactical Paint Scheme」と呼ばれた米海兵隊の3色迷彩から、最も暗い1色を省いた塗装が採用されています。指定色は上面がFS36231、下面がFS36320となっており、GSIクレオスのMr.カラー／水性ホビーカラーであればそれぞれC/H317、C/H307を使用するのが手軽です。今回はファーンボローエアショーで見てきた実機の印象に近づけるため、上面はC317、下面はモデルカステンカラーのC-27 ダークゴーストグレーをベースとし、いずれもC315 グレー FS16440を2割ほど加えて明度を高めに調整しました。

　機体全体を基本色で塗り分けてからウェザリングに入ります。実機では塗装自体の退色はあまり見られず、補修部品を使用したと思われるパネルの色調差や、偏向ノズルからの排気による汚れや剥がれが目立っていた印象です。このため、機体色の汚れは換気扇フィルター越しに明暗を変えた3色を吹き重ねたほか、一部のパネルをマスキングして明色を吹き付け、メリハリを付ける程度としています。

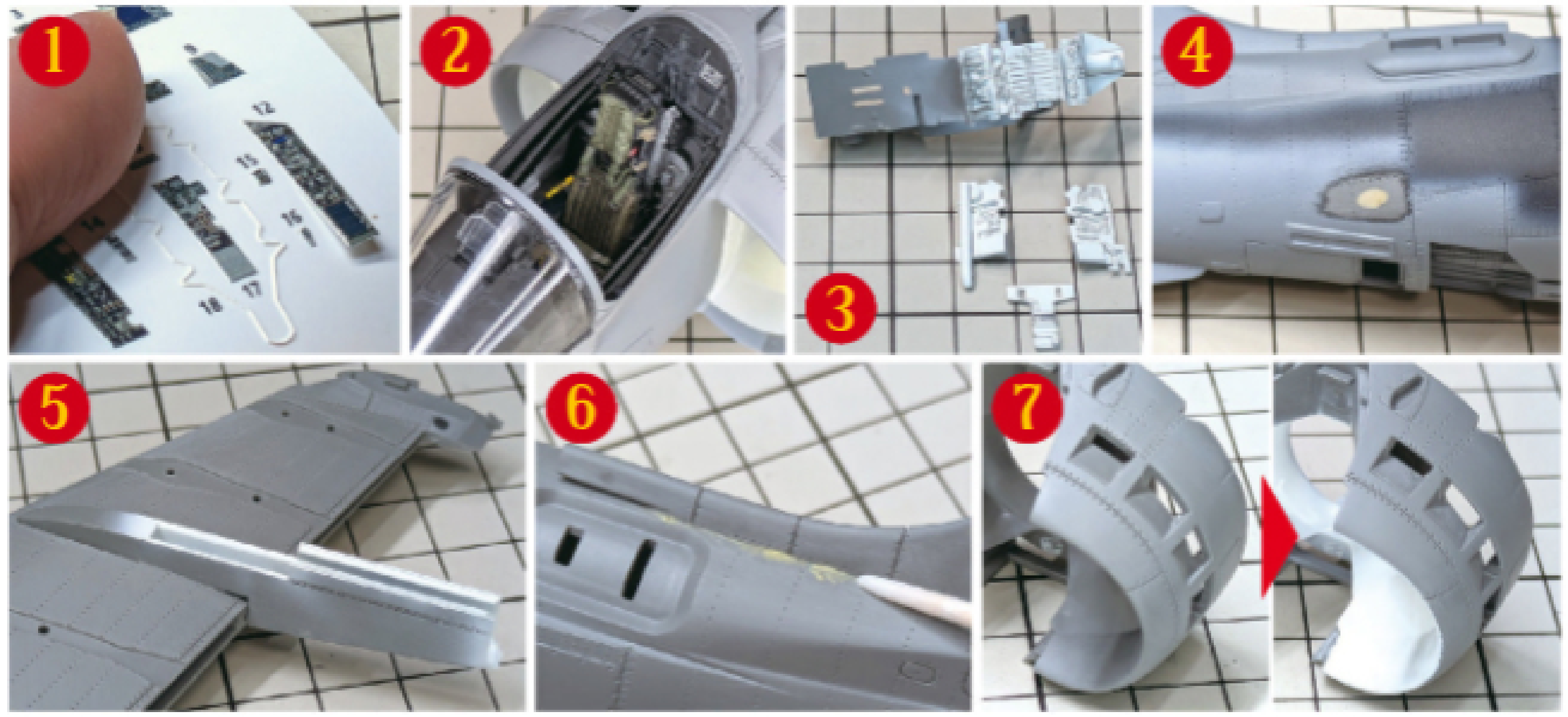
　排気汚れはMr.クリアカラー GXのGX101 クリアーブラック とC137 タイヤブラックを2:1で混色したものを、エアブラシで濃淡を付けながら吹き付けてベースを作っていきます。乾燥後にはMr.ラプロスの#6000で軽く磨くことで擦れたような状態を表現しました。胴体下面を中心に見られるオイル汚れは、ごく薄く溶いたウッドブラウンやレッドブラウンを吹き重ね、タミヤのウェザリングマスターやガイアノーツのエナメル塗料で細かな汚れを描き込んでいます。

　仕上げのスミ入れはクドさを抑えるため、パネルラインはタミヤカラーエナメル塗料のXF-63ジャーマングレイ、リベットはXF-24ダークグレイと色調を変えて行なってみました。

◎マーキングと仕上げ

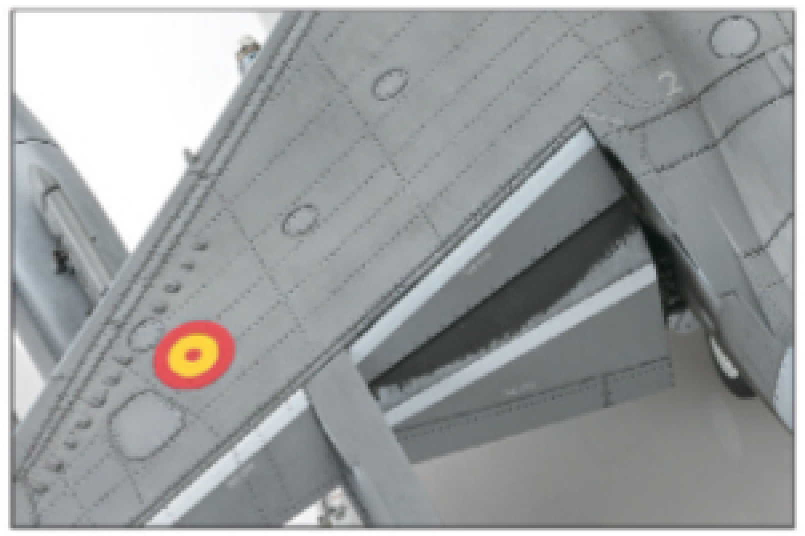
　デカールはスペインのメーカーである Series Espanolas製を使用しました。自国機らしく正確なデザインで、主要なコーションデータまで再現されており、ハセガワ用に発売されたものながらサイズも問題ありませんでした。ロービジ機の難点で機体色とグレーのマーキングのコントラストがやや大きくなってしまったため、デカールの上からごく薄く溶いた機体色をオーバースプレーすることでトーンを落としています。仕上げにはフラットクリアーを吹き付け、ハセガワのコーティング ポリマーを塗布して完成です。

BUILDING POINT

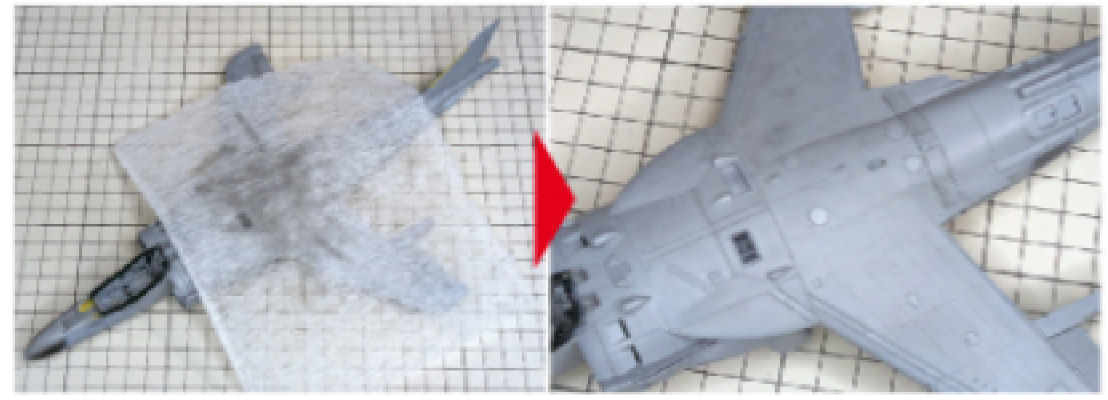


▲①キットに付属する計器用の立体パネル。台紙からそのまま引き剥がし、瞬間接着材で貼り付けることで手軽にリアルな仕上がりが楽しめる。②射出座席はスペイン海軍機と異なるタイプとなっていたため、Rockit Studioの3Dプリントパーツに置き換えることで正確に再現した。③脚収納庫は側壁まで再現される。組み立てるとモールドが入り組んで作業しにくくなるため、パーツの段階でホワイトを塗装してしまうほうが良い。④後部胴体は凹凸を使い分けた見事なモールドが施されているが、パネル編隊灯上方にあるエアアウトレットは左舷側のみのため、右舷側はエポキシパテを充填して埋めておく。⑤全体的にパーツの合わせは良好で組み立てやすいが、一部に目立つ隙間が生じる。補助脚用のフェアリングの付け根には0.5㎜程の空洞が発生してしまうため、予めプラバンを接着することで目隠ししておく。⑥垂直尾翼付け根の隙間もやや目立つので、エポキシパテを充填した後、水を含ませた綿棒ではみ出た部分を拭り落とすことで処理した。⑦組み立てやすさを意識して1パーツで再現されるエアインテーク周りは、補助インテークの開口部が成型の関係で切り立った状態になっている。空気の流れを意識して削り込むと実感が増すだろう。

ARMADA ESPAÑOLA NOVENA ESCUADRILLA EAV-8B+ Matador II



▲フラップの付け根には可動する際に擦れてしまった様子を再現した。



▲実機の胴体上面はほとんど汚れが見られなかったため、換気扇フィルター越しで基本色、基本色+ブラック、基本色+ホワイトの3色を吹き重ねることで、単調さを抑える程度の表現とした。



▲下面の独特な汚れを再現するため、実機写真を参考にマスキングでラインを作り、スモークグレーとタイヤブラックを2：1で混色したもので濃淡を付けながら塗装する。マスキング材はマスキングテープに加え、細く伸ばしたコクヨのひっつき虫を使用している。





◀スペイン海軍機独自のアンテナは0.3㎜厚プラバンの積層と削り出しで自作した。





◀▲胴体後部の塗装が剥がれ、下地のプライマーが露出した状態を表現するため、C352クロメイトイエロープライマー FS33481を塗装する。完全乾燥後にMr.シリコーンバリアーを筆塗りし、すぐに機体色をエアブラシで重ねる。半乾燥状態で爪楊枝などで表面をつつけば機体色が容易に剥離するので、実機の雰囲気を再現できる。



F-35Bの実用化により急速に退役が進み、実機を目にする機会が激減しているハリアーシリーズ。ここでは2018年のファーンボローエアショーで展示されたスペイン海軍機を写真で紹介しよう。（写真・解説：Sweeper Ⅱ）

EAV-8B+ Matador Ⅱ DETAIL PHOTOFILE



◀2018年7月に英南部で開催された、ファーンボローエアショーに参加したEAV-8B+。スペインでは第1世代ハリアーであるAV-8Sの後継としてEAV-8Bを1995年から12機導入。後にレーダーを搭載したEAV-8B+を8機追加し、5機を既存機から改造した。AV-8Sに続いて"マタドールⅡ"の愛称が与えられているがあまり浸透しておらず、他国と同様に"ハリアー"、もしくは運用する第9飛行隊の名称である"コブラ"が用いられる。



離陸後に急旋回を行うEAV-8B+。前方のノズルはペガサスエンジンの前段から抽出された圧縮空気が排出される構造のため、周辺に汚れは見られない。一方で、後部のノズルから発せられる燃焼ガスを含む高温の排気が直撃する胴体後部や中央下面は激しく黒ずんでいることが分かる。胴体下にはターゲティングポッド用のパイロンが取り付けられており、その周辺には特徴的な汚れ方が見られる。



▲スペイン軍では航空機に独自の名称を付与しており、AV-8SがVA.1、EAV-8BがVA.1A、EAV-8B＋がVA.1Bとなる。ハイフンの後ろはVA.1以来の通し番号であり、本機は37号機のように思われるが、実際にはEAV-8Bの6号機（VA.1A-18）を改造したもの。胴体の新造やエンジンの換装を含めた大掛かりな作業が行われており、同様の経過を辿った米軍機はAV-8B+（R）とも呼ばれた（RはRemanufacture:再製造の意味）。



ホバリングを行うEAV-8B+。フルダウンとなったフラップ付け根部分はシュラウドと擦れてしまうためか、半月状の塗装の剥がれが見られる。後部胴体も排気の影響を受けたためか、イエローのプライマーが露出している。



◀第2世代ハリアーでは垂直離着陸時の揚力増強装置（LIDS）として前脚後方にドア（写真では閉まっている）と胴体側面にフィンを設け、地表面に反射した排気を積極的に抱え込む構造を採用しているため、排気の影響を受ける箇所に汚れが集中する。インテーク脇と機首下面には米軍機に見られないアンテナが取り付けられているが、これは製造時にはなく、2000年代に入って改修により追加されたもの。

▼デモフライト後にタキシングするEAV-8B+。主翼は途中で上方に折れ曲がるように表現されたキットもあるが、前縁の捻り下げによりそのように見えているもので、下半角自体は一定であることが分かる。







▲▶機首周りは米軍向けと同じ仕様であり、広視野角HUDと米国製のSJU-4射出座席を搭載する。ハリアーシリーズは内蔵されたステップを利用して搭乗するため、機首右側にはグローブやシューズが擦れたことによる黒ずみが見られる。レドームの色調には複数のタイプがあり、基本的には機体側と同色だが、一段暗いものや前頁の機体のようにかなり明るく見えるタイプも存在している。



▲後部胴体の偏向ノズル付近は一部が凸リベットとなっているため、独特の汚れが見られる。チャフフレアディスペンサーの下方にある大きなパネルは電子機器室で、AV-8B+では改修された機首との重量バランスを取るため、レーダーの一部もここに格納される。



▲主翼パイロンも米軍機と同じタイプで、片翼3箇所ずつのハードポイントに装着される。分かりにくいが、主翼から突出する部分は機体上面色で塗り分けられている。翼端パイロンに取り付けられたLAU-7ミサイルランチャーは懸架方法が何パターンか見られるようで、写真の機体では振れ止めはなく、白いスペーサーのようなものを介している。

▼垂直着陸態勢のEAV-8B+。直接的な後継機ととなり得る唯一の選択肢はF-35Bであるが、スペインでは装備品の調達先として欧州圏に重点を置き、同機を採用しない方針を2025年8月に決定。通常型空母の建造、新艦載機の開発いずれもEAV-8B+の退役には間に合わず、半世紀に亘って海軍の象徴であった艦上固定翼機の喪失が確定的となったことは国内で大きく報道され、たまたま当日バルセロナに滞在していた筆者の耳にも入ることとなった。





スペイン海軍ではハリアーⅡのメンテナンスを請け負うエアバスと2028年までの契約を結んでいるが、前述の状況により2030年以降への延命を検討中。運用を終える米海兵隊やイタリア海軍の退役機を購入して補修部品を確保することも目指しているという。





南国に眠る闘牛士（マタドール）

スペインは英米に続いてハリアーを採用し、1975年から計13機のAV-8S/TAV-8Sを導入した。これらば"マタドール"の愛称を与えられ1996年まで運用された後、タイへ売却された。タイでは海軍の手でスペイン製の新造空母「チャクリ・ナルエベト」と共に運用されたが、老朽化により10年ほどで退役し、現在は国内各地に展示されている。

（写真・解説：Sweeper Ⅱ）



◀バンコクのタイ王立空軍博物館で展示されるAV-8S。同館は公共交通機関によるアクセスも容易で、現状では"日本から最も見に行きやすいハリアー"である。スペイン海軍時代はガルグレー／ホワイトの米海軍標準色だったが、タイへの売却後は一部の機体が写真のようなワントーン暗いグレーに塗り替えて運用された。





◀▲第1世代のハリアーは全機ホーカーシドレー製だが、スペインが導入を決めた1973年時点では独裁的なフランコ政権に対して英国が武器輸出を禁じていたことから、米国経由で購入している。このため機体はAV-8Aに準拠しており、射出座席が米国製のステンセルSEU-3となっている。垂直離着陸の実現に特化したため初期の機体の電子装備は非常に簡素で、攻撃用の機器はほとんど備えていない。細く短い機首には当然レーダーは搭載されておらず、側面には戦闘記録用のカメラ窓が開口されている。



▲米海兵隊のAV-8Aとの大きな相違点は垂直尾翼及び胴体後端で、英空軍のハリアーGR.3と同じくRWRのフェアリングを備えている。これはスペインでの導入当初にはなかったもので、1980年代に改修が施された。合わせてAV-8Cで採用されたパネル編隊灯も追加されており、独自の外観を形成している。



改良前の小さな主翼には片側2箇所のハードポイントと単純なフラップ、エルロンが備わる。補助脚の配置や前部の排気ノズルの形状もハリアーⅡとは異なっていることが分かる。



TSUIKI AIR SHOW 2025

345回

イラスト：ネエサン

モデリングJASDF

題字：和代DAGGER

写真／文：秋山いさみ
取材協力：航空自衛隊築城基地

● REPORT

築城基地航空祭 2025

11月30日、福岡県築上町に所在する航空自衛隊築城基地において築城基地航空祭が開催された。当日は点在する雲に時折太陽が隠れるような天候ではあったが、展示飛行が実施されるタイミングでは概ね晴れというまずまずのコンディション。8時30分から開始された飛行展示は第8航空団所属のF-2（第6飛行隊：3機、第8飛行隊：3機）によるオープニングフライトを皮切りに、U-125AとUH-60Jによる救難展示（芦屋救難隊）、2機のT-4による航過飛行（芦屋基地第13教育航空団）、OH-1による飛行展示（陸上自衛隊 目達原駐屯地 第一戦闘ヘリコプター隊）、F-2A 2機による機動飛行（第8航空団第6飛行隊）、エクストラEA300による競技曲技飛行（ウィスキーパパ）、F-15Jによる機動飛行（新田原基地第5航空団第305飛行隊）、T-7による飛行展示（防府基地第12教育航空団）、T-4ブルーインパルスによる曲技飛行、4機のF-2Aによる模擬空対地射爆撃（第8航空団第6飛行隊）が実施された。そのほか、KC-46（美保基地第405飛行隊）、V-22（佐賀駐屯地 輸送航空隊）などの航空機やペトリオット、03式中距離地対空誘導弾などの対空火器、大型破壊機救難消防車などの車両が地上展示されたほか、格納庫内では築城写真同好会による写真のパネル展示、F-2Aのコクピット展示、ASM-2やチャフ、フレアーなどの兵装や、各装備品の展示も行われた。航空祭を飾るアトラクションとしては基地太鼓部（昇竜太鼓、ふれあい太鼓）による和太鼓の演奏や航空学生によるファンシードリル、育徳館高校管弦楽部の演奏、警備犬訓練展示などが実施され大いに賑わった。基地の公式発表による入場者数は約82,000人。昨年の約22,000人から約6万人増加した形だが、これは昨年参加のなかったブルーインパルスの人気によるものだろう。

1



2



▲1. 11月30日午前7時30分、朝日を浴びながら航空祭開始前の天候偵察に向かう第8飛行隊のT-4（76-5753）。　2.オープニングフライトのため、築城基地ランウェイ07に向かってタクシングする第8飛行隊所属のF-2A（93-8550）。

3



TSUIKI AIR SHOW 2025

◀▼3. UH-60Jと共に救難展示を実施する芦屋救難隊所属のU-125A救難捜索機。同機は残念ながら近い将来の用途廃止が決まっている。　4,5.陸上自衛隊目達原駐屯地から参加した第1戦闘ヘリコプター隊所属のOH-1による展示飛行。　6.航空祭前日の11月29日午後、陸上自衛隊佐賀駐屯地からV-22オスプレイが飛来した。　7.航空祭当日に美保基地より飛来した第405飛行隊のKC-46。

4



5



6



7





機動飛行を実施する第8飛行隊のF-2A（03-8506と63-8539）。写真は演技後半に実施された上と横へのブレイク。



2年ぶりの参加となったブルーインパルス。展示飛行開始時は視程が悪く第3区分の演技でスタートしたが、天候が回復したため途中で第1区分に切り替えられた。



新田原基地よりリモート参加し、機動飛行を実施する第305飛行隊のF-15J（22-8810）。来年はF-15に加えてF-35Bの参加も期待したい。



航空祭のプログラムにある機動飛行と模擬AGG（空対地射爆撃）は第6飛行隊と第8飛行隊が年ごとに交互に担当する。今年の模擬AGGは第6飛行隊のF-2A（4機）が実施した。

NEW KIT REVIEW



THIS MONTH's LINEUP

START!





trumpeter
1/16
plastic model kit

Deutsche Heer MBT Leopard2A6



トランペッター 1/16 ドイツ連邦軍 レオパルド 2A6 主力戦車
製作・文：黒田泰孝

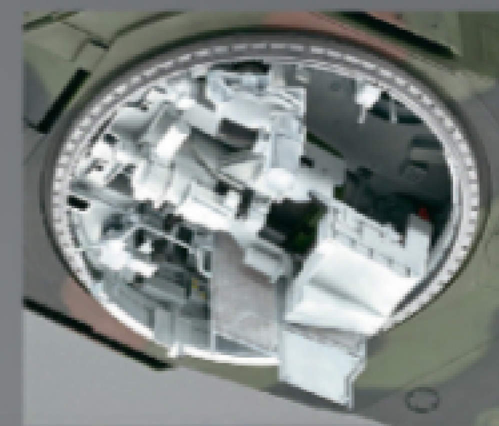
ここ数年、久々に1/16の製品化に力を入れているトランペッターから、今度はレオパルト2が登場だ。完成時の全長約70cmを誇り、砲塔内部まで再現。エッチングパーツもふんだんに用意され、なおかつ作りやすさにも配慮されたキットとなっている。ビッグスケールにチャレンジしてみたい方は是非チェックしてほしい。

Kampfpanzer Ein Raubtier auf Ketten





▲エバキューターには実車にも見れられる織り目状の模様がモールドされている。シムファイアー（模擬戦用の発煙装置）も良い仕上がりだ。





▲砲塔内部を下から覗き込んだ状態と砲塔バスケット。全てが再現されているわけではないが、質実剛健な兵器らしいメカ感を味わうことが出来る。砲尾側面のパンチメッシュやバスケットの金網などはエッチングパーツが付属する。

trumpeter 1/16 plastic model kit

Leopard2A6



■1/16の現用戦車

登場から実に40年以上を経てもなお途切れぬアップデートを重ね、運用実績及び採用国も増え続けている「欧州標準戦車」ことレオパルト2ですが、そのA6型がこの度1/16というビッグスケールにてリリースされました。完成時の全長は約70cmにもなるという事前情報は、色々な意味で筆者の胸を高鳴らせます。

キットが我が家に届いた際、筆者はその大きさに目を見張りました。1/16スケールということで、箱の大きさについては心構えが出来ていたつもりでしたが、その心構えさえも上回っていたのです。箱がそれだけ大きいということは、当然ながら内容物であるランナーの枚数及び個々のパーツが大きいということで、広めの製作スペースを要求されることになります。もちろん普段から製作スペースに余裕のある環境であれば問題はありませんが、筆者の製作スペースは至って「普通」の広さであるため、まずは部屋を整理整頓し、製作スペースを確保することが最優先事項でした。

■大味ではない充実の内容

外観の大きさに目を奪われがちですが、実はこのキット、インテリアもある程度再現されています。エンジン区画や車体前方の操縦席付近などは省略されているものの、砲塔の内部や砲塔バスケットなどの再現度はかなり高いです。ビッグスケールキットのインテリアといえば大切な見所の1つといっても過言ではありません。ここはじっくりと製作を進めたいところです。インテリアを製作する上で注意したいポイントとして、接着する順番によってはパーツ同士が干渉することがありました。説明書には明記されていないため、仮組みをこまめに行うことをお薦めします。とはいえ全体的にパーツの精度は良いので、製作そのものはスムーズに行うことが出来ます。

そして最もスムーズに製作できたのは履帯です。履帯は金属ピンを軸に使用しながら組む連結可動式となっていますが、履帯パーツのサイズの大きさと相まって、とても組みやすい設計となっています。戦車モデラーの中でも履帯には苦手意識を持つ方がおられますが、そうした方でも安心して組める難易度だと感じました。

さらにキットにはエッチングパーツや牽引ワイヤー用の銅線、そしてスモークディスチャージャー用のチェーンもセットされています。特にエッチングパーツは、折り曲げ加工が必要な箇所がわずかに薄くなっているため、加工がしやすくなっているという嬉しい仕様でした。

■基本塗装はツールを使い分けて

今回の作例で最も活躍した塗装ツールは缶スプレーです。サーフェイサーはGSIクレオスのB526 Mr.フィニッシングサーフェイサー1500 ブラックとB529 Mr.フィニッシングサーフェイサー1500 ホワイトを各2本ずつの計4本使用しました。基本塗装において最も塗装面積の広いNATOグリーンは、タミヤスプレーのTS-61 NATOグリーンを3本使用しています。

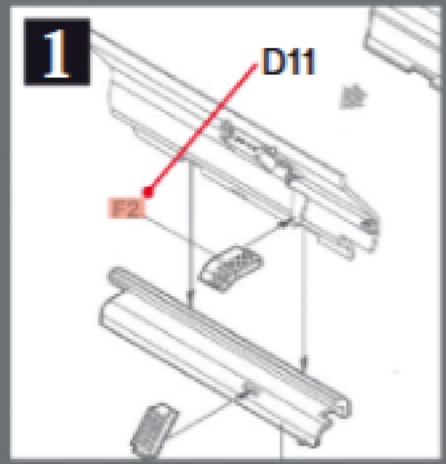
転輪のゴム部分はホイールと別パーツになっているので、スプレー塗装にうってつけです。棒状のバルサ材に両面テープを貼り、そこにゴムパーツを数珠繋ぎにしたところでTS-82 ラバーブラックを吹き付ければ、効率良く塗装が行えます。1/16というビッグスケールキットには缶スプレーという塗装ツールの強みが大いに役立ちました。

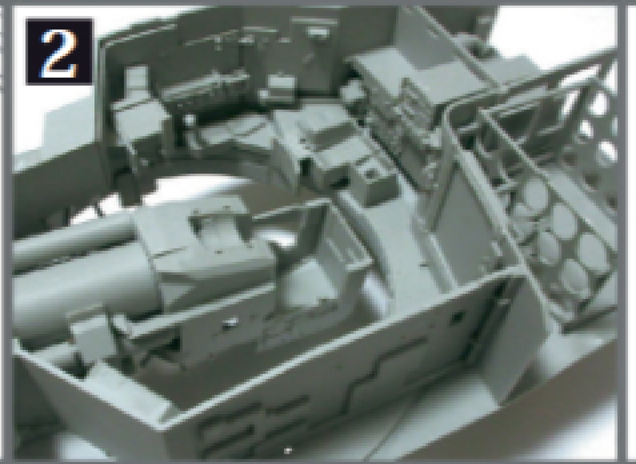
一方、車体の迷彩塗装はエアブラシで行なっています。使用したのはタミヤカラーラッカー塗料のLP-58 NATOグリーン、LP-59 NATOブラウン、LP-60 NATOブラックです。これらの塗料を使用して迷彩塗装を行う合間にシェード塗装も並行して行うことにより、若干使い込まれた車体の雰囲気を感じられるようにしました。そしてOVMや細部の塗り分けにはAKインタラクティブのリアルカラーマーカーやプレイマーカーを多用しています。広範囲の塗装には缶スプレー、迷彩塗装にはエアブラシ、細部の塗装にはマーカーといった、塗装ツールを適材適所に使用することが、塗装の効率化と見栄えの良さに大きく貢献してくれることに改めて気付かされました。

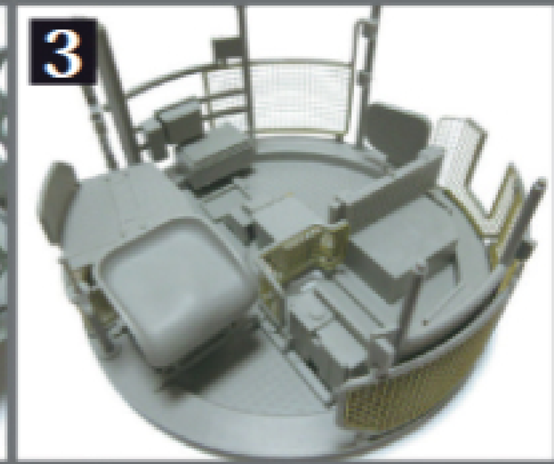
■おわりに

筆者はスケールモデルを製作するようになってから30年以上経ちますが、今回の作例は紛れもなく人生最大の大きさを誇るキットでした。完成時の威容と迫力も過去最大級と言えるものであり、1/16というビッグスケールキットからのみ得られる満足感も確実にあると感じました。模型製作における新たな楽しさを求めるモデラーにこそ、是非手に取ってほしいと感じた次第です。

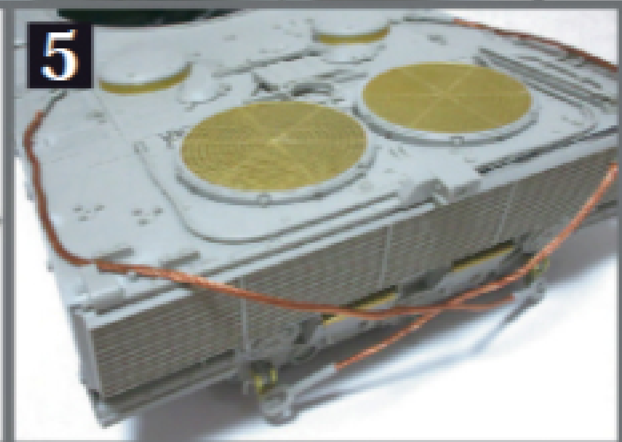
Building point



















▲1.工程21にてF2を取り付けるよう指示されているがこれは誤り。正しくはD11を使用する。2.3.キットは砲塔内部やバスケットを中心に一部インテリアを再現。使用するエッチングパーツも加工しやすく、安心して製作できる。特に砲塔内部は密度が高く、無塗装状態で眺めていても高い満足感を得られる。4.可動履帯は金属製のピンを軸とした嵌め込み式。とても組みやすく、ストレスフリーで製作できる。5.牽引ワイヤーは加工しやすく、質感に優れた銅線が用意されている。6.スモークディスチャージャー用の極細チェーンも付属する。まさに至れり尽くせりのキット内容だ。7.転輪ゴム部分は別パーツ化されている。メーカーの配慮を感じつつ、缶スプレーで一気に塗装した。8.実車を観察すると、履帯と転輪が触れる箇所は汚れが落ちて比較的綺麗な状態となっている。これを再現するために、タミヤカラーアクリル塗料のXF-64レッドブラウンとXF-84ダークアイアン（履帯色）を混色した履帯色を塗装後、転輪と触れる箇所をマスキングしXF-57バフを吹き付けた。9.最も塗装面積の広いNATOグリーンはタミヤスプレーのTS-61を3本使用。迷彩パターンはエアブラシで描き込んでいる。基礎となるパターンを塗装後、シェード塗装を挟み再度迷彩色を吹き付け、塗装のヤレ感を表現した。画像の車体側はシェードを吹いた状態、砲塔側はシェードの上から再度の迷彩塗装を施した状態。大柄なキットなので、塗装テクニックを駆使して単調さを払拭したい。

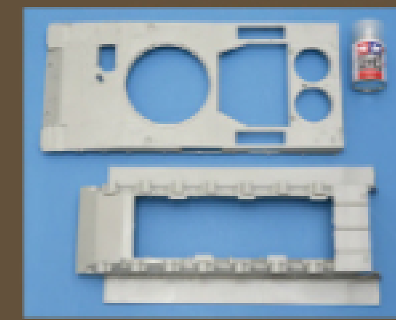
可動式サスペンション&履帯で味わうAFVモデルの悦楽

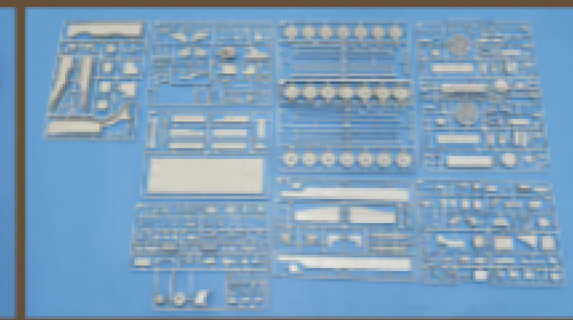


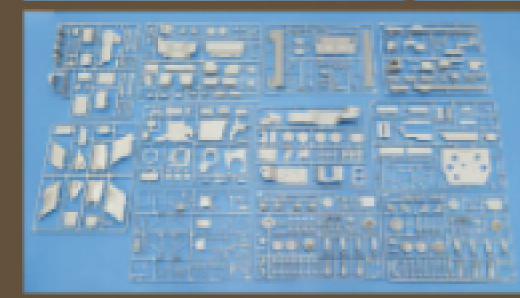


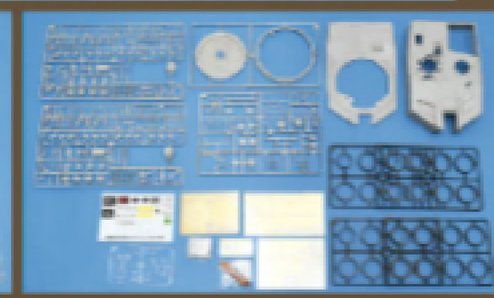
▲▶車体側のインテリア表現は、エンジン隔壁や燃料タンクが中心のあっさりとした内容。サスペンションは実車に近い構造で、プラパーツの弾性を活かした可動式となっている。履帯と相まって実車の雰囲気を感じることが出来る素晴らしいポイントだ。しかし、長大な砲身や砲塔インテリアなどの影響でキットの重心が前方に偏っており、キットのそのままの状態では車体全体が少し前のめりとなる。気になる方は前後2対のサスペンションを固定し、姿勢を安定させると良いだろう。

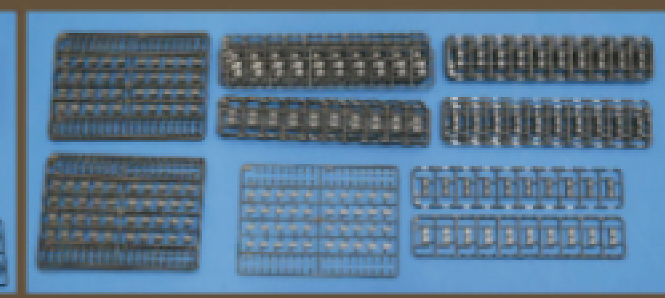
でっかいことは良いことだ!骨太なモデリングを楽しもう!











◀▼作例使用の新金型キット。ドイツ連邦軍及びEU圏内で広く運用されるレオパルト2A6をモデル化。完成時の全長約68cm、総パーツ数1,300以上と、大ボリュームな逸品となっている。各部ハッチは開閉選択式で、砲塔内部やバスケット、エンジン隔壁などの一部インテリアを再現。砲身は左右貼り合わせのインジェクション製。履帯は金属製のピンを使用した連結可動式で、ゴムパッドは別パーツで用意する。牽引ワイヤー用の金属線とメッシュなどのエッチングパーツをセット。輸入元はインターアライド（☎045-549-3031）で価格41,800円（税込）、発売中。







◀▲1.OVMは各素材の質感を意識して塗り分けた。1/35では周囲から浮いてしまいがちな金属色も、1/16ではスケール相応の良いアイキャッチとなってくれる。2.3.現用車両らしいディテールが集中するフロント部とハッチ周辺。各種ライトはクリアーパーツが用意され、実感豊かな仕上がり。サイドミラーの鏡面部にはハセガワのミラーフィニッシュを、パノラマサイトのガラス面にはハイキューパーツのオーロラグリーンシールを貼り付けた。塗装では表現しにくい質感を簡単に再現できる優れものだ。



1/35でも大柄な部類の現用AFVだが、1/16ともなるとひとしお。そのサイズ感故に自然と陰影が強調されるため、派手なウェザリングを施さなくとも見応えは十分だ。

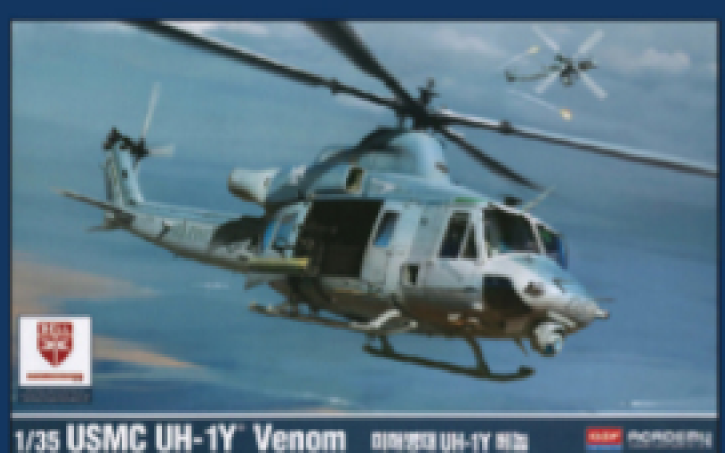
タミヤ 1/35 ドイツ連邦軍主力戦車 レオパルト2 A7V
製作：佐藤児輝（本誌2024年11月号掲載）

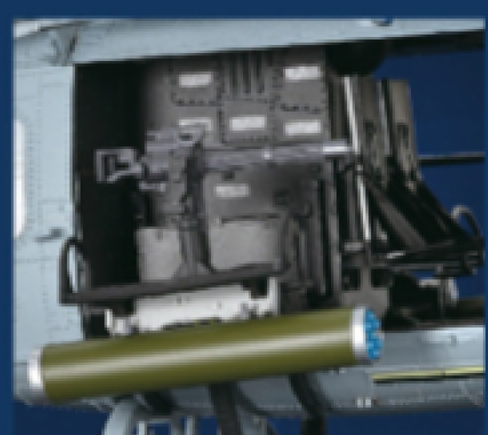


USMC UH-1Y VENOM ACADEMY 1:35

NEW KIT REVIEW

アカデミー 1/35 UH-1Y ヴェノム "アメリカ海兵隊"
製作・文：山わさび







米海兵隊の汎用ヘリコプターとしてすっかり見慣れてきた UH-1Y ヴェノムだが、キットには恵まれており 1/48 ではキティホーク、1/72 ではドリームモデルが既にリリースしている。そして 2025 年、アカデミーが 1/35 でキット化。昨今の 1/35 ヘリキット再興の先駆けとも言える AH-1Z ヴァイパーのパーツを流用しつつ、さらに進化した新作を見ていこう。







▲機首に集中するアンテナフェアリングやフック類は別パーツとなっておりシャープな仕上がり。FLIRのレンズにはハセガワのクリアーブラウンフィニッシュや偏光フィニッシュを貼っている。



さらにパワーアップしたアカデミーの1/35ヘリキットを見よ
米海兵隊を支えるタフな汎用機を作る

✠すごく、大きいヘリ。

AFVとも合わせやすい1/35スケールのヘリキットは、OH-6AやUH-1Cなどのキットが1990年代に発売されて以来、じわじわとその勢力を伸ばしてきました。特に近年ではトランペッターなどが古今東西の機種を発売しているのを見かけます。そして、以前より1/35ヘリプラモと関係が深かったアカデミーが、AH-1Zに続いてリリースしたのがこのUH-1Yです。今回はそんなモダン・ヒューイを見ていきましょう!

キットの構成としては既出のAH-1Zの成型品に、胴体やエンジンナセル周りの新規パーツを追加しており、ある意味実機に忠実な造りと言えます。しかし単なる追加と侮るなかれ。透明度の高く歪みの少ないクリアーパーツに、機体を覆うリベットを表現したキレのあるモールド、ダクトメッシュなどの要所へのエッチングパーツの採用により、ロービジ塗装された箱型胴体という間延びしかねない機体に良いアクセントが加えられ、バランスの取れた構成になっています。カット済みマスキングシートに加え、カルトグラフ製デカールが付属するのもありがたいですね。

✠組み立て

キャビンを適宜塗装しながら組み立てていきましょう。 説明書にはキャビン内のほとんどをフラットブラック単色で塗るよう指示がありますが、このスケールでは流石に大雑把に見えてしまうので、実機写真を参考に変化を付けて塗装します。各種スイッチ表面の白い文字も、そっくりそのまま書くことは無理ですがチョロッと入れると引き締まります。また、グラスコクピットが特徴的な本機ですが、駐機中の消灯状態を再現するためにハセガワのクリアーガラスフィニッシュを貼り液晶画面の表現としました。他にもFLIRなど、各所にフィニッシュシリーズを活用しています。

コクピット周りの注意点として、オーバーヘッドパネル(C3)の許容位置が些かシビアであり、少しでも後方に出てしまうとコクピット上部から左右ドアの周辺に目立つ隙間が複数発生してしまいます。仮組みを徹底するか、パネル後端を削ってしまうのもアリです。他には、このキットは成型の特性のためか、サイクリックスティックやピトー管などの棒状のパーツが折れやすくなっています。特にメインローター基部のロッド(D21、22)は多少なりともメインローターの重量を受けるため、1㎜径の真鍮線に交換しています。

✠機体塗装とウェザリング

テールブームやスキッドを接着してから機体色を塗装していきます。説明書ではGSIクレオスのMr.カラー C307 グレー FS36320とC308 グレー FS36375が上下の指定色とされていますが、実際に塗ってみるとこの2色では色の差があまりない印象を受けます。実機写真でもそのように見える場合があるので悩ましいところですが、模型的な見映えを狙って上面色を濃くしても良いでしょう。2色の境界はマスキングをせず、0.3㎜径のエアブラシにてフリーハンドで吹き付けです。

今回はMr.ウェザリングカラーを使って重くなりすぎない程度のウェザリングを目指しましたが、1/35スケールのリベット表現が活き活きとしており、さらに海兵隊というハードワークのプロフェッショナル集団が「汎用」で使用するヘリコプターなので、ウェザリングを強めに施しても良いのではないでしょうか。

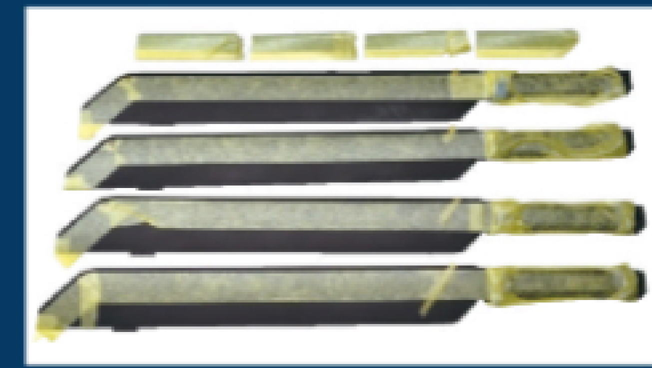
✠おわりに

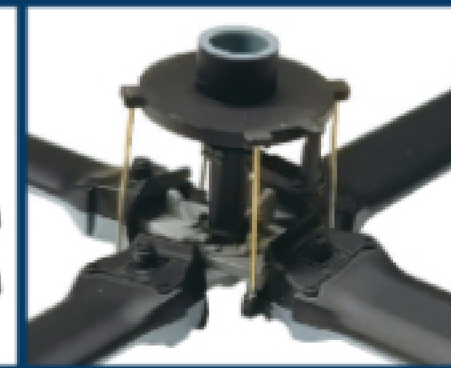
単体でも迫力があり、作業中から飾るまでその威容を満喫できるキットですが、やはり1/35の汎用ヘリコプターですから車両とも合わせてみたいものです。現代装備なのでMTVRやLAV-25などが適任でしょうか。また、実機はチェコにのみ輸出されていますが、架空の輸出仕様のベースとしても楽しめるものでしょう。



UH-1Y

MARINE LIGHT ATTACK HELICOPTER SQUADRON 169





▲UH-1Yはブレードに複合材料を使用し、前縁を金属で保護している。キットでは前縁に薄く凸線があるので、それを目安にマスキングをすると塗り分けが楽。C8 シルバーをベースに、C315 グレー FS16440を混ぜて落ち着かせたシルバーで金属部を塗装した。基部のロッドは別パーツにて再現されているが、完成後の強度を確保するため1㎜径の真鍮線に置き換えている。

HOW TO BUILD ACADEMY 1:35 VENOM

















▲①キャビン内壁の裏には座席取り付け用の隠し穴がある。長方形なので開口には1㎜幅の平刀があると便利。②内装を組み込むと合いが悪くなる箇所もあるので、丁寧な仮組みを心掛けたい。③インテークは外板と内壁をそれぞれブロック化しておくと塗り分けのマスキングが不要になる。④キャノピー頂部のシェードはハセガワのクリアーグリーンフィニッシュを貼った。ムラのない仕上がりが魅力。⑤エッチングパーツは接着前にプライマーの塗布を忘れずに。⑥メインコンソールは起動中の液晶画面を表現したデカールが収録されているが、作例では駐機中の消灯時を表現。⑦キャビンの天井には配管類がモールドされているので、細かく塗り分けると効果的。⑧開口部はキムワイプを丸めて詰め込んでからテープでマスキングした。

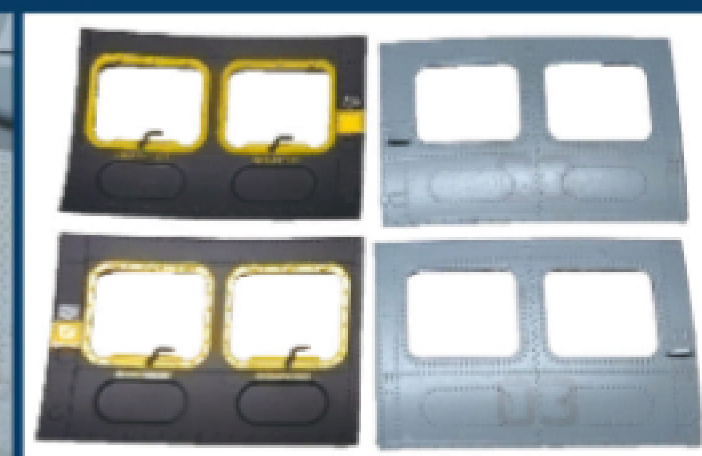


◀テールローターも基部が細かく分割され緻密な仕上がり。ブーム後端のポジションライト(矢印)はクリアーパーツが用意されている。

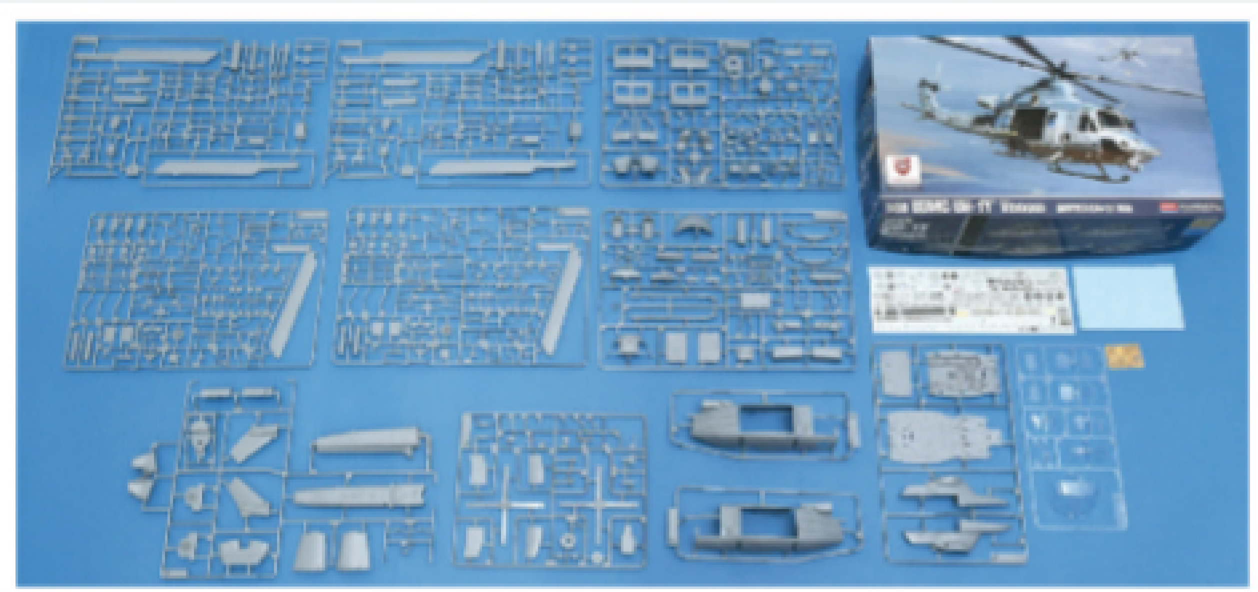


◀AH-1Zから進化した点として、ブレードを折り畳んだ状態の専用パーツと固定スタンドが用意され、写真のように格納状態でも製作可能になった。





◀▲完成後はあまり見えないが、各部ドアは内張りが別パーツ化され、こちらにもリベットなどのモールドがしっかり施されている。また、コーションマークのデカールも用意されている。兵装類のパーツもセットされ、両舷にLAU-68ロケット弾ポッド、さらに右舷側にはGAU-17/Aミニガン、左舷側にはGAU-21重機関銃を搭載できるようになっている。



◀作例使用のバリエーションキット。テールブーム、スキッド、展開状態のローターブレードはAH-1Zのランナーを流用し、それ以外を新金型パーツで用意。機首下面のFLIRはポリキャップにより完成後も旋回可能。エンジンナセルはインテークダクトまでの再現だが、アクセスハッチがちょうどヒンジ部分で別パーツ化されているため、内部をスクラッチして作り込んでみても良いだろう。マーキングはHMLA-169所属機3種、HMLA-469所属機2種、HMLA-267所属機とHMLA-369所属機が各1種の計7種をセット。輸入元はインターアライド(☎045-549-3031)で価格7,920円(税込)、発売中。全国の模型店などで購入可能。

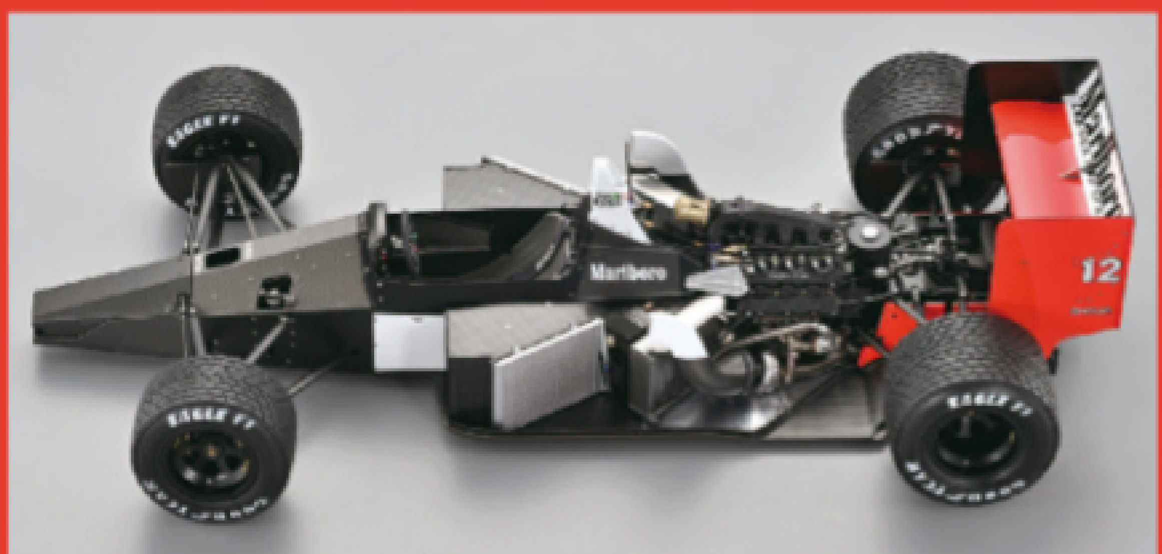
PLATZ / BEEMAX 1:12 SCALE

McLaren

MP4/4

Car No.12, Ayrton Senna da Silva





プラッツ /BEEMAX 1/12 マクラーレン MP4/4 1988 ワールドチャンピオン
製作・文：SOF

2022 年の静岡ホビーショーで発表されたプラッツ /BEEMAX の 1/12 MP4/4 がようやく発売となった。先行していたモンモデルとは異なり、シュノーケルインテーク付きの前半戦仕様になっているのと、初回特典としてレインタイヤが付属するのが特徴だ。そこで、作例ではアイルトン・セナの 12 号車で、1988 年モナコ GP のプラクティス仕様として製作。その後の予選でポールポジションを獲得するも、決勝では終盤でまさかの単独クラッシュを喫するという、長いモナコの歴史の中でも特に印象深いレースだ。

BEEMAXのF1マシン第２弾 フラッグシップアイテム遂に発売



1988 Rd.3 MONACO GP



■モナコマイスターの駆った1台が登場

ロータス99Tから2年のブランクを経て、プラッツ/BEEMAXよりマクラーレンMP4/4の第3戦モナコグランプリ仕様が登場しました。

今回は初回特典として付属するレインタイヤを履き、ダブルデッカー型リアウィングを装着した木曜日のプラクティス仕様で製作していきます。資料写真を見るとカウル横のボードを延長する必要があります。ここはプラバンを貼り付けて再現しました。伝説的なポールポジションラップを刻んだ土曜日の予選仕様で組む場合は、ボードの延長が不要です。一方でリアウィングの下2枚のフラップが不要となるため、翼端板の取り付け穴を塞ぐ必要があります。無念のクラッシュとなった決勝仕様ではボードの長さを短縮し、シェルマークの位置を後方に変更します。リアウィングは土曜日仕様と同様に翼端板の穴を埋めます。

▶プラッツ/BEEMAXの1/12フォーミュラシリーズ第1弾として2023年に発売されたロータス99T。こちらの開発中にMP4/4の製品化も発表され、この度ようやく出揃った形だ。ちなみに99TもモナコGPのセナ仕様となっている。なお、1/12の次回作はF1マシンではなく、1991年のル・マンを制したマツダ787Bの開発が進行中。



■確実な組み立てを意識

キットはビス止め併用で組み立てる構成です。このビス止め用の穴が緩く、位置によってはビスを締めても固定できないため、予め接着剤を穴に塗ってよく乾かし、径を狭めておきます。また、金具を止める際はエポキシ接着剤を併用してより強固に組み立てました。カウルは一部に合わせ目が生じます。ここが研ぎ出し工程で割れると厄介なので、適宜裏側にプラバンの積層などを接着して補強すると良いです。各部の組み立ても通常の接着剤だけでなく、エポキシ接着剤を併用して組み立てました。リアウィングなどは接着面の塗料を剥がすとより強固に接着できます。

■要点を押さえて楽しもう

次頁からのキャプションに示した点を注意することで、迫力あるMP4/4を完成させることが出来ました。モナコマイスター、アイルトン・セナを語る上で欠かせない1台を是非再現してみてください。

ディテールアップパーツセットも合わせて買い揃えたい！

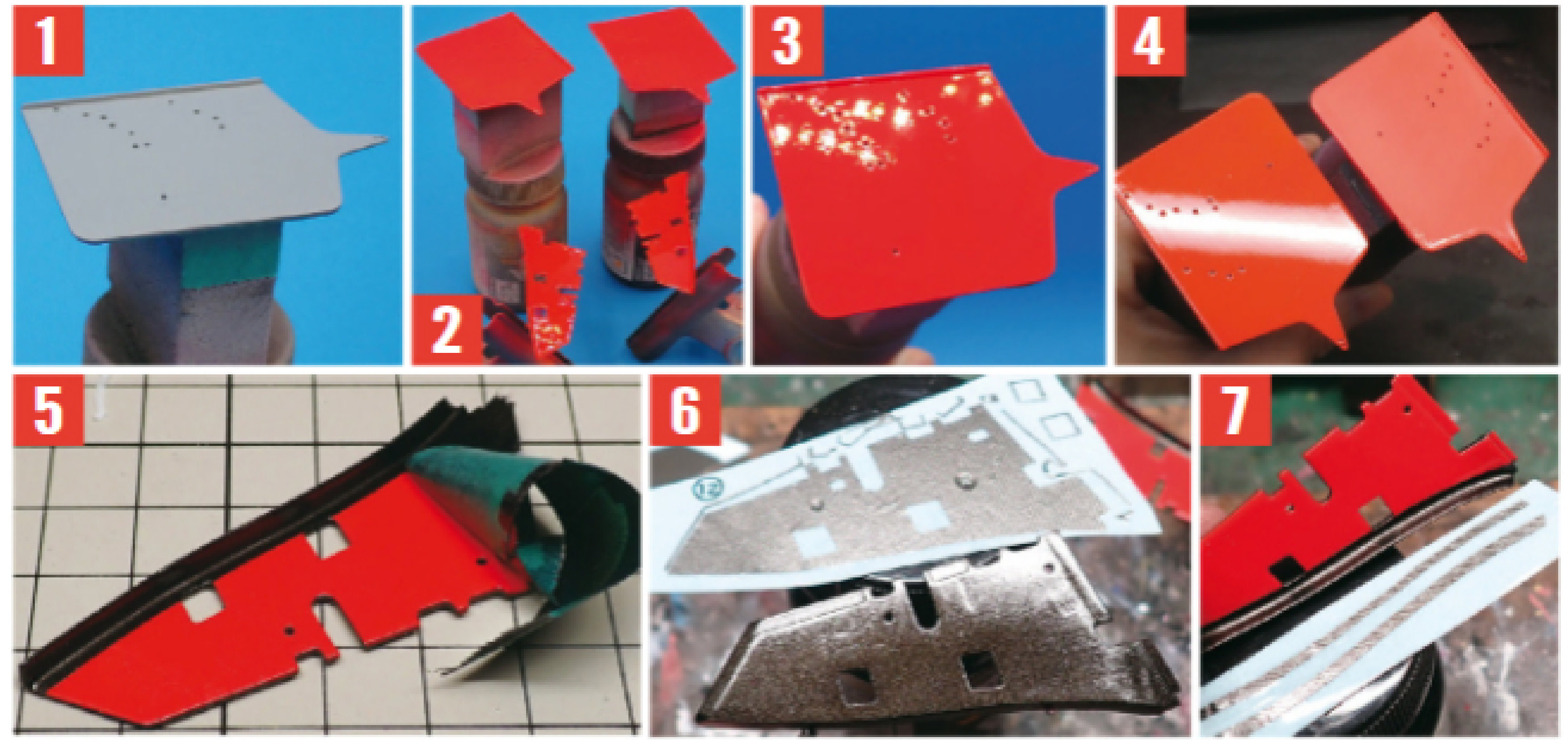


▲作例使用の新金型キット。マーキングはアラン・プロストの11号車も収録。マルボロの代わりにバーコードロゴとなっているため、作例では別売デカールを使用している。発売元はプラッツ（☎054-345-2047）で価格30,800円（税込）、発売中。全国の模型店などで購入可能。レインタイヤは初回限定なので、お買い求めはお早めに。



▲**マクラーレン MP4/4 1988 ワールドチャンピオン用ディテールアップパーツ。** フロント及びリアウィングの翼端板、ラジエーターメッシュ、ブレーキディスク、シートベルト金具などのエッチングパーツ、タイヤロゴ用ステンシル、アンテナやエンジン周辺などの金属パーツ、カーボンデカール、アンダートレーの遮熱シート用メタルステッカー、シートベルト用リボン素材などを収録した豪華セット。作例でも適宜使用している。価格13,200円（税込）。

☑本格的な製作に入る前にまずはここから仕上げておく



▲1.まずはリアウィングの翼端板とリアサスペンション周辺のパネルを先に塗装すると良い。透け防止のグレーサーフェイサーを吹き付けた。2.さらにホワイトサーフェイサーを重ねた後、フィニッシャーズのMP4セット内のMP4 RED、蛍光ピンクと塗り重ねた。3.翼端板は使用塗料の蛍光染料によるデカールへの染み上がり対策を施す。ウレタンクリアー（ロックペイントのグランドクリヤー）で一旦コートして染料の移動をブロックする。4.ウレタンクリアーのウネリを均し（右の状態）、フィニッシャーズのマルチプライマーを吹いてからオートクリアーでコートしてデカールを貼り付けた。ウレタンクリアーを使用しない場合は、よく乾かした蛍光カラーの上に速乾性の溶剤で希釈したラッカー系の光沢クリアーを24時間間隔で薄く3層以上吹き重ね、さらによく乾かしてからデカールを貼ると良い。5.リアサスのパネルもウレタンクリアーでコートして研ぎ出し後、フィニッシャーズのウェストブラックとライトガンメタルの混色で塗り分けた。6.別売ディテールアップパーツセットのカーボンデカールを貼る。裏側は周囲と開口部を一回り小さくトリミングして貼り付けた。7.表側は細く分割すると貼りやすくなる。貼り付け後に再度マスキングし、半光沢クリアーでコートして保護した。



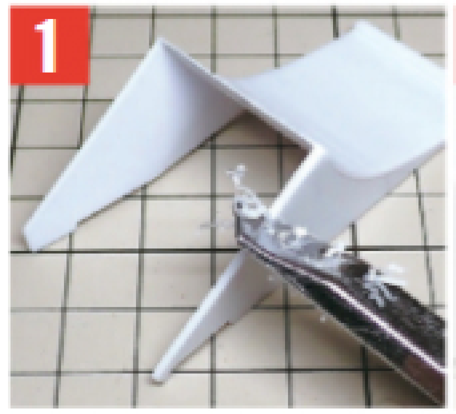
▲今回のキットでは、ウェットコンディションだった木曜日のプラクティスでのみ装着したダブルデッカー型リアウィングが再現されている。

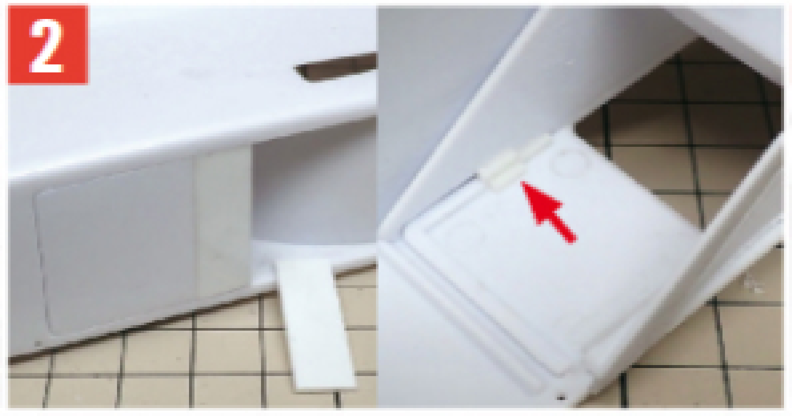


▲初回限定のレインタイヤはこのスケールだとかなり貴重な存在。かなり柔らかいゴムとなっており、経年変化で歪む恐れがあるため、写真のようにホイールの接地面にスペーサー（作例ではスタイロフォームを使用）を挟んでおくと安心だ。



HOW TO BUILD 1:12 SCALE MP4/4

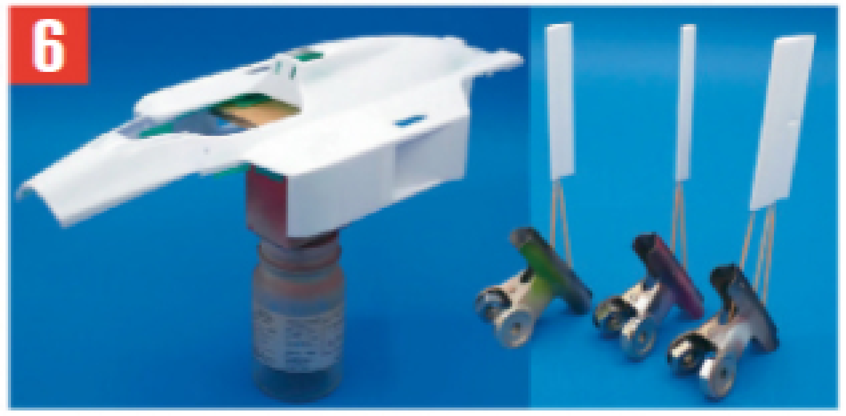




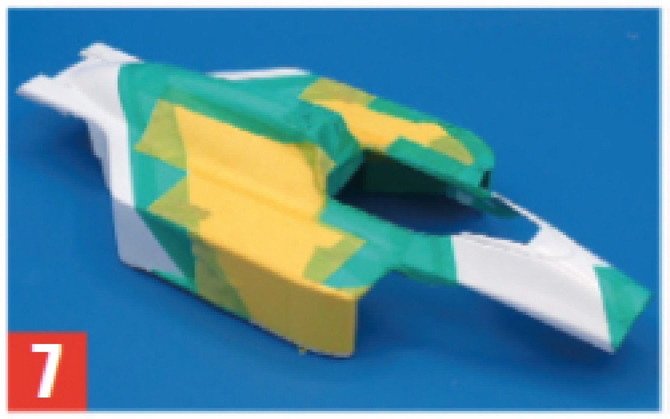








▲1.サイドポンツーンのダクトはラジエーターと干渉しないようにエッジを落としておく。2.木曜日のプラクティスでは大型のラジエーターカバーが装着されていたためプラバンで延長した。裏側には1㎜径のプラ角棒（矢印）を接着して補強しておく。3.各部の合わせ目は敢えてエッジを落としておき、ガイアノーツの瞬間カラーパテで処理すると確実。4.マルボロカラーの塗り分けラインは凸モールドとなっているが、エッチングノコで溝を彫って新たな目印とし、凸モールドは削り落とした。基本塗装では埋まらず、クリアーコートで埋まるくらいの深さにするのがポイント。5.ウィンドシールドなどの接着代はクリアーが溜まるとパーツが浮いてしまうため、太めのスジ彫りを加えて対策しておいた。6.塗装に備えてカウルの持ち手を工夫する。まず段ボールを切り出し、断面に竹串や爪楊枝を刺して補強する。そして強力なスポンジタイプの両面テープを貼り、その上にマスキングテープの糊面を上にして貼り、カウルの裏側に貼り付けた。持ち手は空き瓶の蓋に木のブロックをエポキシ接着剤で固定し、瓶の中には釣り用のオモリを入れて転倒を防止する。表裏を塗装する細かいウィングは断面をドリルで開口し、先端を削って尖らせた楊枝を少量の瞬間接着剤で固定し持ち手にした。木の爪楊枝だと折れやすいので竹楊枝を使用する。これらを目玉クリップでホールドするが、目玉部分にボルトを固定しておくと倒れにくくなる。







▲7.光が透けないようにグレーサーフェイサーを吹き付けてからファンデーションホワイトで塗装し、さらにGSIクレオスのMr.カラー GGX LG1 GGXホワイトを吹き重ねた。蛍光レッドの塗り分けに備えて境界部分にオートクリアーを吹き付けて軽くツヤを出しておくと、マスキングテープの密着が良くなり漏れた際の修正も簡単になる。乾燥後、4で付けた目印を基準に境界をマスキングする。サイドポンツーンのダクト内部はある程度マスキングしたらキムワイプを詰め、その上にマスキングテープを重ね貼りすることで吹き込みを防止できる。8.MP4 REDを速乾性に優れるMr.ラピッドうすめ液で希釈し、ツヤが出ないように砂吹き気味に少しずつ吹き、さらに蛍光ピンクを同様に吹き重ねた。塗り終えた時点ではほぼ塗料が乾いている。吹きこぼれがあればコンパウンドで磨いて修正する。その後、デカール貼りに備えて全体をクリアーコートするが、最初から厚くクリアーを重ねるとせっかくのシャープな塗り分けが滲むので注意する。9.デカールはキット付属のものを主に使用。サイドポンツーンのシェルは字間が広くなっていたので、1文字ずつ切り出して間隔を詰めた。キルスイッチの向きは矢印がロールバーの左側を指すのが正解。マルボロデカールはタブデザインの新製品（品番：TABU12098）を使用している。シェブロンは色味を揃えるため、一旦クリアーコートしてからマスキングし、8と同じ手順で塗装してリタッチした。







▲10.カウル類はデカールの段差を研ぎ出して仕上げた。コンパウンドをかける前に裏側を黒く塗装しておき、はみ出た部分は磨いて修正した。メインカウル下端にはハセガワのカーボンフィニッシュを貼っている。11.リアウィングは通常の接着剤で固定する都合で、翼端板の裏側は別売ディテールアップパーツセットのデカールではなくカーボン調塗装で仕上げた。12.リアウィングは歪まないように、当て木で垂直水平を確認しながらタミヤセメント（流し込みタイプ）の速乾を少量流して接着した。フラップは断面の塗膜を削り落とし、ダボは0.5㎜径の真鍮線で再生している。



各部のリベットは汎用エッチングパーツを使い、モデルアートが取り扱っているMXBON（エムエックスボン）のUV光速硬化 瞬間接着剤で貼り付けた。UVライトを当てなければしばらく硬化しないので位置決めが容易になる。また、UVライトを当てると急速に硬化するため、空気中の水蒸気に反応せず白化しにくいのも特徴。製品の詳細は103頁もご覧いただきたい。















▲13.シートなどカーボンデカールを貼る箇所は、下地が覗いても目立たないようにガンメタルで塗装する。光沢クリアーでコートしておくとデカールの密着性が高まり位置決めも簡単になる。14.一度に貼らずに分割して貼り付ける。シワになる部分はカーボンパターンに沿って切れ込みを入れ、重ねるようにして処理した。はみ出た分はトリミングして取っておき、寸足らずになった部分のタッチアップに使用する。15.シートベルトはキット付属の布製ステッカーを使用。そのままだとほつれやすいので、丸ごと黒の画用紙に貼って切り出した。また、縁がほつれないように接着剤を染み込ませている。16.シートベルトのロゴはタブデザインのデカールを使用。両面テープに貼り付けて切り出し、シールのようにすると布素材にも簡単かつ強力に貼れる。17.ステアリングはラッカーパテを筆で叩き付けて滑り止めを再現した。18.コンソールは右側面のトグルスイッチを0.8㎜径のアルミ線で追加した。19.シート直上のモノコックのシャシーナンバーのデカールは何故かMP4/2になっているので、筆塗りでMP4/4に修正した。













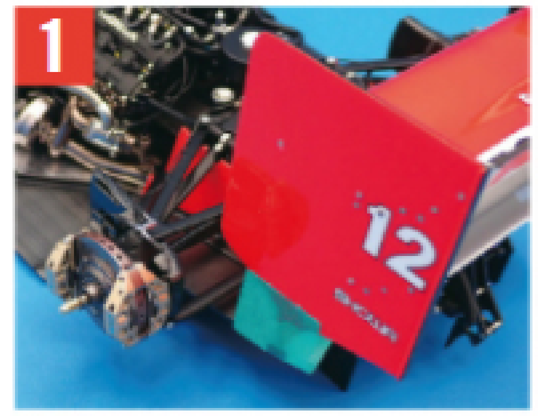


◀▲20.アンダートレーは押し出しピン跡を処理するが、作業に邪魔な排気管とシュノーケルインテーク用のダボは切り落とした。これらは再生しなくても問題ない。21.フロントノーズが浮かないようにノーズブロックにネオジム磁石を仕込んだ。22.別売ディテールアップパーツセットの遮熱シートは輝き過ぎる印象なので紙ヤスリを当てた。23.モノコックとアンダートレーはビスだけでなく、エポキシ接着剤も併用して確実に合体させる。24.隙間が開かないようにウェイトで押さえながら接着した。25.完成後は見えなくなるリザーブタンクも再現されている。26.サスアーム基部のビス止めは完成後に緩まないようにエポキシ接着剤で補強した。



POWERED by HONDA RA168E

☑ ビッグスケールは強度を意識しながら各部の固定を確実に





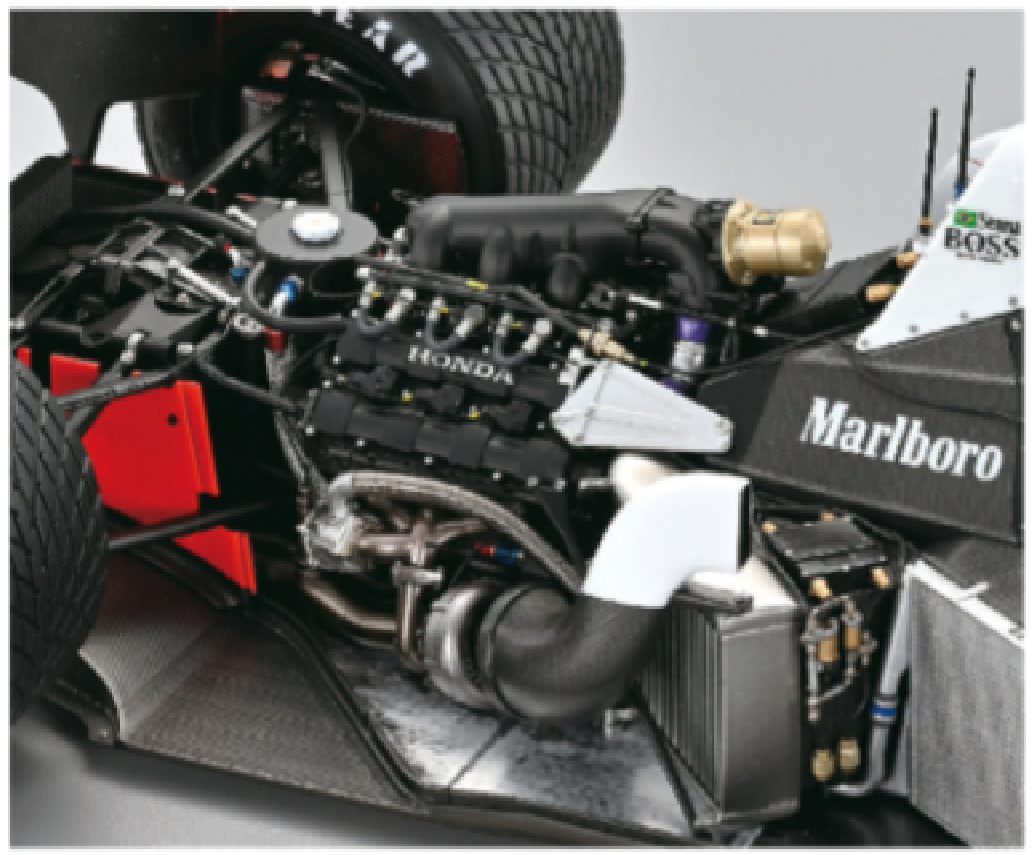


▲1.リアウィングの翼端板はアンダートレーのホルダーに差し込む方式。左右で高さや前後位置にズレが生じないように注意して接着した。2.カウル前端裏側に2㎜径のプラ角棒2本を接着してフロントノーズの取り付けガイドとし、マルボロロゴのズレを防ぐ。また、81頁でモノコックに仕込んだネオジム磁石の位置に合わせ、カウル裏にも磁石を設けて浮きを防止した。3.カウルはアンダートレーに取り付けたL字型の金具に、下端側面からビスを回し込んで固定する。キットには予備のビスが含まれているため、予め金具にねじ込んで溝を設けておくと固定の際に楽になる。



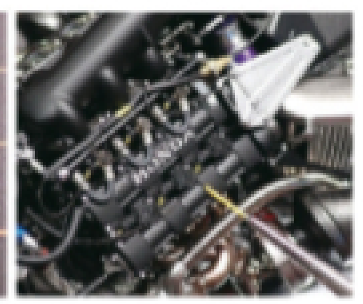
BEEMAXのキットは開幕戦ブラジルGPから第8戦イギリスGPまでの前半戦仕様の特徴である、カウルから飛び出したターボ用のシュノーケルインテークを再現している。

McLaren MP4/4

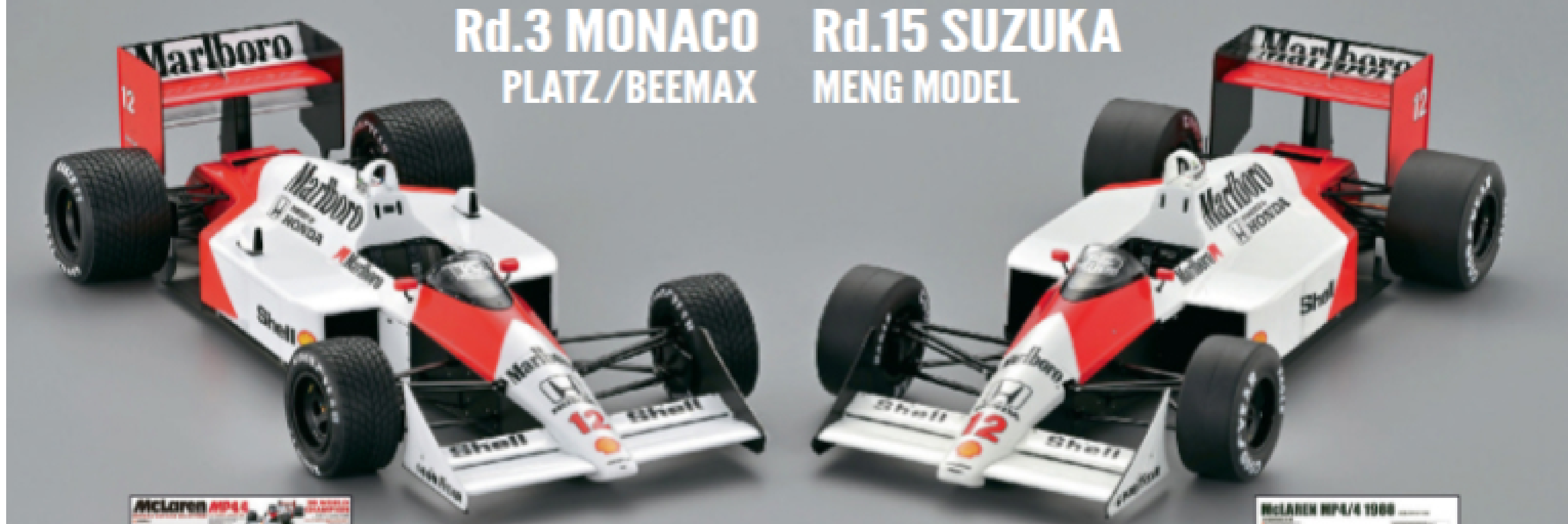


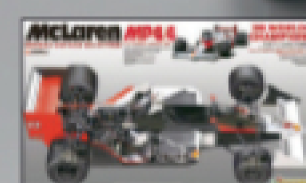
16戦15勝の立役者、ホンダRA168Eエンジンはキットのままでもかなりの精密感で、さらに別売ディテールアップパーツセットを組み込んだりパイピングを追加することで抜群の完成度に仕上がる。スパークプラグとインジェクターの配線は、モデルファクトリーヒロの0.28㎜径コードとキット付属のチューブで作成した。ちょうどコード3本がチューブに刺さるためスッキリとした仕上がりになる。配線を固定後にイエローを筆塗りして差し色とした。ブレーキラインはタミヤのパイピングケーブル（外径0.5㎜）で再現。プラパーツにキット付属のチューブを5㎜位に切り出して挿し、そこにパイピングケーブルを固定した。サスアームには細切りにしたハセガワのつや消し黒フィニッシュで巻き付けている。各種補機類のケーブルもタミヤのパイピングケーブルで再現した。完成したエンジンブロックを組み込もうとすると、前方下部がモノコックと干渉するため、ダボなどを削り取ってエポキシ接着剤でアンダートレーと合体させた。

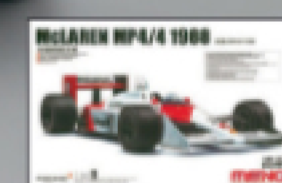




Rd.3 MONACO PLATZ/BEEMAX　Rd.15 SUZUKA MENG MODEL







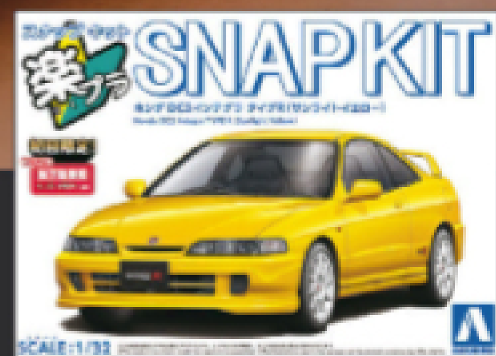
モンモデルの作例（製作：SOF/モデルアート2024年1月号増刊「F1&Racers製作 攻略のメソッド2024」掲載）と並べてみる。BEEMAXは前半戦仕様、モンモデルは後半戦仕様となっている。BEEMAXは細分化して精密に再現、モンモデルは作りやすさを重視している印象だ。



NEW KIT REVIEW

アオシマ 1/32 ホンダ DC2インテグラ
タイプR

製作・文：ショウケン



NSX（NA1）に続くホンダ車第２弾として、1/32 楽プラ スナップキットシリーズに３代目インテグラが加わる。そしてやはりと言うべきか、３ドアのタイプＲでのキット化だ。今回は発売前に特別にテストショットを入手したので速攻レビュー。アイコニックなチャンピオンシップホワイトではなく、最終モデルで追加されたレアなサンライトイエローで仕上げてみた。

1/32 楽プラ スナップキットシリーズのホンダ車第2弾

INTEGRA TYPE R

■楽プラ初のタイプＲ

　これぞスポーツカー！といったスタイルで常に人気の高いインテＲですが、1995年デビューなので何と30年経っているんですね。今回アオシマが1/32でキット化したのは1998年のマイナーチェンジ後、所謂「98スペック」です。リアバンパーや5穴ホイールなど、96スペックとの違いがしっかり再現されています。

■シンプルかと思いきや新鮮な構成

　ボディパーツを見てまず注目なのは、ボンネットとリアバンパーが別パーツ化されている点です。ということはボンネットの成型色を変え、96スペックのリアバンパーが新規パーツで加われば頭文字D仕様をリリースできますが果たして…。頭文字D仕様でなくとも、ボンネットを黒く塗装したりカーボンパターンのデカールを貼ったりして、簡単にドレスアップしてみるのも良いでしょう。

　それと気になったのは、これまでのシリーズではウィンドウパーツに窓枠がモールドされていますが、インテＲはフロントのみ窓枠がボディ側にモールドされています。恐らくＡピラーが細過ぎて強度が確保できないからこうなったのでしょう。ただしそれでも相当細いので、作業中に負荷をかけて折らないように注意しましょう。

　フロントマスクのパーツ分割は見事で、そのまま組むだけで塗り分けは完璧です。製品版では前後ライトリフレクターがメッキパーツになります。内装や足周りはシリーズ恒例の構成で、シャフトの差し込み位置によって車高を選択できます。レカロシートは成型の都合でサイドに垂直の壁が付いていますが、大体は内張りで隠れるため、ブラックのままであればあまり気にならないかと思います。ただ、赤く塗装したりすると目立つので、作例のように斜めに黒く塗装するとそれらしく見えます。

■複数買い必至の良作

　1/32でインテＲが手軽に作れるようになったのは素晴らしいですね。個人的にも楽しみにしていたキットなので、完成後の完璧な佇まいには嬉しさが込み上がってきます。次のボディは何色にしようか…ボンネットはカーボンにしてホイールは…なんて構想が止まりません。

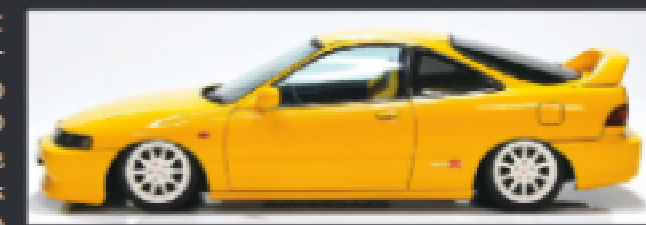




▶作例はリアコンビランプを塗装しているが、製品版では通常のホイルシールではなく透明シールが用意され、ハウジングのディテールが完成後も見られるのが今回のキットのポイント。省略されているルームミラーはプラ材で自作した。



◀タイプＲのステッカーとナンバープレートは、スケジュールの都合で試作のデカールを使用しているので、製品版とはサイズや色味などが若干異なる。ホイールはGSIクレオスのMr.カラー C316 ホワイトFS17875で塗装した。

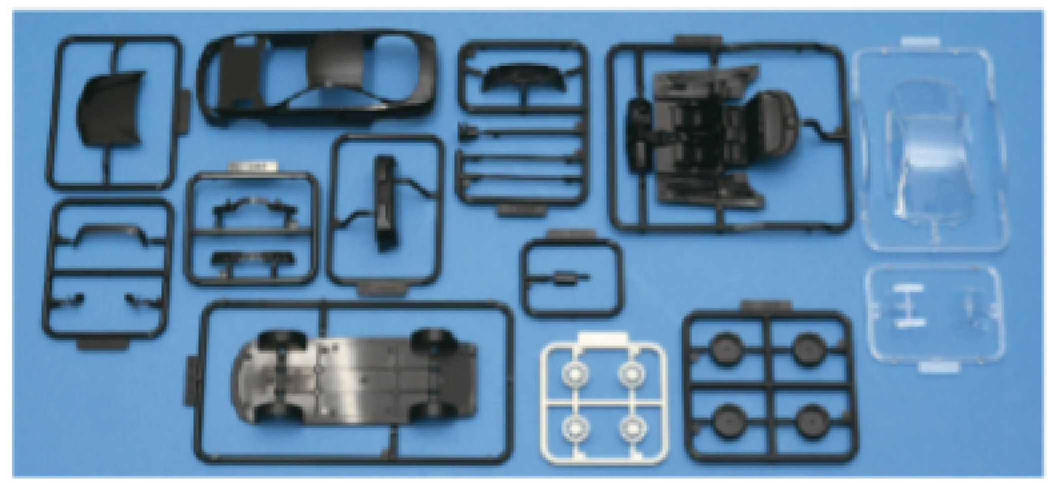


▲作例ではノーマル車高を選択し、接地面を削って平らにしているが、ローダウンにするとこのようになる。

☞超レアなサンライトイエロー×イエローレカロのインテＲを楽プラで作る！



▲①ボディとリアバンパーは先に取り付けても問題なかったため一体化しておく。発色を良くするためフィニッシャーズのファンデーションピンクで下地を作り、ピュアイエローを重ねた。②フロントマスクのパーツ分割は秀逸。③レカロシートの基本形状はキットのままだが、背面が空いているのでプラバンで蓋をしておいた。④実車ではサンライトイエローのみシートもイエローのオプションが用意されていたのでこれを再現。先にピュアイエローで塗装する。⑤マスキングしてダークグレーで塗装し、内装の完成。シートは側面を斜めに塗り分ければそれらしく見える。製品版ではインパネ周り用のホイルシールが用意される。⑥ウィンドウパーツは裏側にMr.クリアカラー GXのGX122 GXクリアピーコックグリーンを吹き付けてガラス色を表現。また、クォーターガラスとリアガラスはクリアーブラックで塗装し、実車のオプションで用意されていたプライバシーガラスとしてみた。



◀作例使用の新金型キット。写真はテストショットで、製品版ではライトハウジングはメッキパーツになる。シールは２枚構成で、窓枠やメーター類、サイドマーカー、ナンバープレートなどはホイルシール、タイプＲのステッカーとホイールキャップのエンブレム、リアコンビは透明シールを用意。ボディカラーのバリエーションは作例のサンライトイエローに加え、Ⓐチャンピオンシップホワイト Ⓑグラナダブラックパール Ⓒボークシルバーメタリック Ⓓミラノレッドの計５色展開。ホイールはサンライトイエローとⒶがホワイト、ⒷⒸⒹがガンメタルとなる。初回生産特典として地下駐車場のジオラマペーパークラフトが同梱されるので早めにゲットしよう。発売元は青島文化教材社（☎054-263-2595）で価格各2,420円（税込）、発売中。全国の模型店などで購入可能。



模型買取り情報



クルマの模型買取りします

-出張買取します-

買取り対象は1/12、1/20、1/24のプラモやレジン・メタルキットなどなど

持ち込みの場合は即お支払いします。送り、出張買取の場合は3日以内にお支払いいたします

クルマ、飛行機、AFV、艦船、ロボット、SFなど。オールジャンルの模型の買取りをします。買取り希望の模型が50個程度でも関東一円は出張無料で伺います。デカール、ディテールアップパーツ、改造キットも買取します。ランナー切り離し、一部接着、サフ吹きなどの物もOKです。まずはお電話ください!

新ホームページアドレス

事前のお見積りも可能。リストをFAXかEメールでお送りください。https://finishers.shop-pro.jp/

電話03-3845-9511　Eメール:viancagold@aol.com　https://finishers.shop-pro.jp/

キット・カラー・デカールなど

メキシコのメーカー　エルマノ・モデロ製　1/20 スケール F1 レジン製 トランスキット

アストンマーティン AMR24 2024年



スペアデカール付き
33,000円

ハース VF22 2023年

スペアデカール付き
27,500円



店頭とヤフオクで発売中

1/24サイズ　アルファモデル製　レジン製フルキット

ブガッティ・シロン

34,600円



W16 気筒（エンジンは再現されていません）で時速 500 キロも夢ではない超ハイスペックなスーパーカーがようやく再現されました。

フェラーリ ローマ・スパイダー

34,600円

8気筒ツインターボをフロントに（フロントミッドシップ）にマウントした（ギリギリ）4人乗りのスーパーカーです。



フィギュア 特集

左手工房

通販、店頭どちらでも購入可能

社長のオススメ!!

工房破滅者ゾンコ

全高約8cm　6パーツ
原型：ボブスキ氏　Painting：村上圭吾氏



8,800円
好評発売中

黄昏のエウリュアレー

2月発売予定

原型：OWL氏
Painting：村上圭吾氏



全高約6cm
4,400円　10パーツ（台座あり）

年末年始は12月29日(月)~1月6日(火)までお休みいたします。通販の発送もお休みいたします。

■ ミニアート 1/35 フィギュアキット ■

※品切れの際はご容赦下さい。

MA35121 イギリス戦車兵（防寒服） (特)¥2,200	MA35131 ソビエト戦車兵 弾薬搭載作業シーン (特)¥1,320	MA35185 ソビエト軍重砲兵隊クルー (特)¥2,288	MA35231 ソビエト砲兵隊 特別版 (特)¥2,200	MA35275 ドイツ戦車兵（ノルマンディ1944）特別版 (特)¥2,200	MA35309 ソビエト歩兵戦車乗員セット1 (特)¥2,376
MA35311 アメリカ戦車兵(近接戦闘中) 武器付<特別版> (特)¥2,464	MA35331 マイバッハHL120エンジン 修理工兵付き (特)¥2,904	MA35358 ドイツ 修理クルー (特)¥2,200	MA35363 ドイツ SPGクルー (特)¥2,464	MA35364 戦車クルー フランス1944 (特)¥2,376	MA35365 現場会議をする士官 特別版 (特)¥2,376
MA35373 「バルジの戦い」 アルデンヌ1944年 特別版 (特)¥2,376	MA35378 ドイツ兵士 休憩中 特別版 (特)¥2,376	MA35387 イギリス装甲車クルー 特別版 (特)¥2,376	MA35391 アメリカ軍戦車兵 特別版 (特)¥2,376	MA35392 カフェのイギリス兵 (特)¥2,376	MA35396 カフェのドイツ兵 (特)¥2,464
MA35399 米国戦車クルー (北西ヨーロッパ)特別版 (特)¥2,376	MA35406 カフェの米兵 (特)¥2,376	MA35415 ドイツAFVクルー 特別版 (特)¥2,464	MA35428 ドイツ兵 1941.42年冬季 特別版 (特)¥2,464	MA35471 ドイツ軍砲兵 (特)¥2,464	MA35477 米軍将校 特別版 (特)¥2,464
MA35481 米戦車シャーシ 修理クルー (特)¥2,464	MA35489 イギリス戦車修理 乗組員 (特)¥2,464	MA35500 イタリア戦車乗組員 頭部レジン製 (特)¥2,640	MA37005 アメリカ戦車兵 (特)¥2,200	MA37008 アメリカ海兵隊 タンククルー (特)¥2,200	MA37063 ソビエト戦車兵(冬季防寒具着用) 1970-1980年代 (特)¥2,200
MA37067 ウクライナ軍戦車兵 <休息中> (特)¥2,376	MA38010 ドイツ人駅員 1930-40年代 (特)¥2,200	MA38011 ソビエトの村人 (特)¥2,200	MA38034 アフガニスタンの市民 (特)¥2,376	MA38050 民間ドライバー 1930-40年 (特)¥2,464	MA38052 ウェイター (特)¥2,376
MA38062 カフェのフランス市民 1930-40年代 (特)¥2,376	MA38070 木樽と男性フィギュア (特)¥2,200	MA38071 カルヴァドス売り (特)¥2,464	MA38073 肉屋 フィギュア (特)¥2,464	MA38074 パン屋セット (特)¥2,464	MA38077 作業員 w/ コンクリートミキサー (特)¥2,288
MA38084 難民 ミュージシャン ファミリー (特)¥2,200	MA38085 モダンカフェと客セット 1 (特)¥2,376	MA38089 難民シリーズ 雑貨商の家族 (特)¥2,200	MA38090 モダンカフェと客セット2 (特)¥2,464	MA38097 建設作業員 w/アクセサリー (特)¥2,288	MA38108 アメリカンギャングスター (特)¥2,464
MA53015 フランス戦車クルー 1944年 頭部レジン製 (特)¥2,640	MA53022 ドイツ戦車乗りセット1 頭部レジン製 (特)¥2,640	MA53035 米歩兵戦車乗りセット2 (特)¥2,464	MA53052 連合軍ドライバー (特)¥2,288		

■ 年末年始休業のご案内 ■

休業期間：令和7年12月31日(水) ～ 令和8年1月2日(金)

新年は令和8年1月3日(土)から営業いたします。

北澤志朗×ヤングタイマー・ガレージ 連載第85回

YOUNGTIMER garage vol.85

ニスモ製エアロで可愛いマーチが辛口ホットハッチに変身!

フジミの日産マーチ（K11型）には前期型と後期型がありますが、今回は前期型のキットを製作しました。現行品（インチアップID-295）はG#とニスモのどちらかを選んで作れるパッケージ。作例はニスモをベースにさらにカスタマイズを加えています。



フジミ1/24インチアップシリーズ295
NISSAN MARCH（K11型）NISMOパーツ付き
製作/文：北澤志朗

カスタム篇



今回のモデル
NISSAN MARCH(K11) NISMO(1992)



2026年1月号掲載
ニッサンマーチG#（1997）

■前期型G#とニスモのコンパチ・キット

前回は後期型G#を製作したフジミのK11マーチでしたが、今回は前期型。元々こちらがオリジナルで、最新のID-295はパッケージイラストはニスモですが、ノーマルG#とニスモのどちらかを選んで作れるパッケージです。作例はニスモをチョイス、独自のアレンジも加えたカスタム仕様として製作しました。

■フルエアロは塗装前に全て一体化

後期型では前後バンパーとボディの合わせにちょっと苦戦させられましたが、前期型はほぼ問題なし。フェンダーとの合わせ目を紙ヤスリでちょっと整えるだけで、ピタリと合ってくれました。フロントグリルはノーマルとニスモの2種類があり、作例はニスモグリルにしましたが、ノーマルグリルでニスモエアロという個体も存在するので、お好みで選べば良いでしょう。

フルエアロの合わせも悪くありませんが、取り付け位置は若干曖昧な感じです。曲がってくっついてしまわないように、仮組みして正しい位置を割り出してから、慎重に接着。タミヤセメント（流し込みタイプ）速乾を極少量流して位置決めし、シアノンDW（瞬間接着パテ）を裏側に盛り付けて硬化促進スプレーを吹き付けました。表側はスジ彫り状態になるように、シアノンDWを流して綿棒で余分を拭き取り、スプレーで固めています。

サイドシル後端の三角コーンのような形のスポイラーは、接着すると内側に出っ張ってシャシーが入らなくなるので、しっかり固定してから出っ張り部分をモーターツールで削り取り、後端部分には0.3mm厚のプラ板で蓋をしておきました。リアウィングはハッチゲートのパネルラインが隠れないように位置決めして、これも同じような手順で固定しました。

説明書ではサイドモールと前アーチ後側のマッドガードを付ける指示がありますが、どちらもないほうがスッキリしていて好みなので、なしにしました。カスタムカーなので、そのへんはお好みでOKでしょう。

ボディカラーはあえて前期型の純正にない色を、ということでガイアカラー 025黄橙色をチョイス。イエローとオレンジの中間っぽい鮮やかな色ですが、下地の隠ぺい力はあまり強くないのでムラが生じやすく、ボディのように凹凸があって面積の大きいものに吹くには注意が必要です。サーフェイサーの上に直接吹くと色味が濁ってしまうので、下地はガイアカラーEx-01 Ex-ホワイトでしっかりと白くしておきました。黄橙色はザラつきが出ないように気持ちシャビシャビめに希釈し、3回吹き重ねてしっかりと発色させました。明るい照明の下で各部分の色味をチェックし、ムラがないことを確認してからクリアーコートしています。

■同ブランドの格上車からホイールを調達

キット付属のニスモ・ホイールは純正ホイールと同寸で、タイヤと合わせてもサイズはかなり控えめ、ホイールアーチに対してスカスカで、ホットハッチの足回りとしては物足りません。そこで本連載の前々回で製作したアオシマの1/24 URAS 180SXの余りホイール（180SX後期型の純正アルミ）をタイヤごと流用しました。実車界隈でも同ブランドで格上の車種から純正ホイールを流用するカスタム手法はよくあります。

そのままだとちょっとタイヤがはみ出すので、180SXホイールのポリキャップ受けを1mmほど詰めて引っ込め、ホイールの裏リムと当たらないように、ストラットの外側も少し削って逃しました。リアは車高そのままでちょうど良い感じに収まりましたが、フロントは元々車高が高めで、タイヤが大きくなった分、前上がりな姿勢が目立ちます。そこで、ボディとシャシー双方の前側の嵌合ダボを除去し、プラバンやプラ角棒の部材を追加してシャシー前端がボディの中に潜り込むようにしました。サイドシルに爪を増設してシャシーを固定しています。

インテリアのバスタブが当たってボディを押し上げてしまうので、シャシーとインテリアの嵌合ボスを前側のみ除去し、センタートンネル裏の角を少し削ってフロアを下げ、辻褄を合わせました。この加工で前のみ1.5mmほどのローダウンとなっています。

■前期型ダッシュボードとバケットシート

インテリア・バスタブは前期型も後期型も同一ですが、ダッシュボードはメーター周りのデザインが異なるため、前期型専用パーツが付いています。シートはノーマルとニスモバケットの2種類、シフトもMTとATがお好みで選べます。作例はバケットシートでMTにしました。座面の生地のデカールを貼りやすいように、前シートはガイアカラーの074ニュートラルグレーⅣで塗装し、デカールを貼ってからツヤ消しクリアーでコートしています。シートベルトはアスカモデル・ミニチュアスパイスのシートベルトセットにダイソーの黒マスキングテープを合わせて再現しました。



▲完成したインテリア。ニスモのバケットシートの柄はデカールで再現できる。

アオシマ180SXのタイヤ＆ホイールで足元をさらにホットに!



BUILDING point

エアロは塗装前に接着し隙間を丁寧に処理しよう



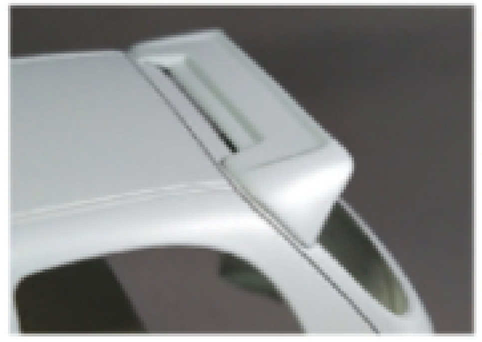
point 01
フロントバンパーの合わせは良好だが、左右フェンダーとの合わせ目は少しだけ摺り合わせが必要だ。バンパー裾のスポイラーは接着後に隙間をシアノンDWでパテ埋めした。



point 02
リアアーチ手前のスポイラーはボディの内側に出っ張って上下合体の邪魔になるので、内側をモーターツールで削ってボディ内側に合わせ、後面には0.3㎜厚プラバンで蓋をした。



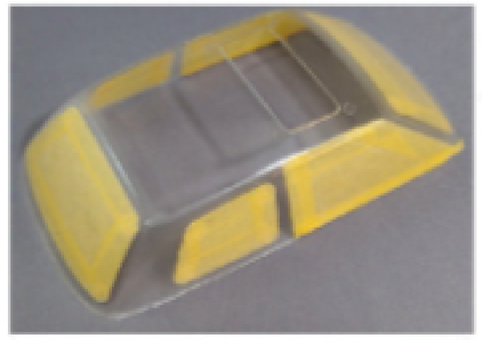
point 03
リアバンパーとボディの合わせも良好。合わせ目が綺麗なスジになるようにシアノンDWを流して固めた。バンパー裾のエアロの合わせ目もフロント同様にパテ埋めした。



point 04
リアウィングは取り付け位置が分かりにくいので、慎重に仮組みをして正しい位置を割り出そう。ハッチゲートのパネルラインとの位置関係と、中央部の隙間に注目すべし。



point 05
ガイアカラーの黄橙色は下地隠ぺい力が弱くムラになりやすい。サーフェイサーの上にEX-ホワイトを2回吹いて真っ白な下地を作り、黄橙色を3回吹き重ねて綺麗に発色させた。



point 06
窓ガラスの黒セラ塗り分けシールは付いていないが、工夫次第でなんとかなる。角の丸いところはパンチコンパス、それ以外は自在曲線定規でテープを切り出してマスキングした。

シャシーの取り付け調整で車体姿勢をきっちりキメる



point 07
フロントグリルはモーターツールと精密ヤスリを駆使して開口し、周囲を平らに削って、裏からモデルアート謹製「菱形メッシュ②」を黒く塗装してエポキシボンドで取り付けた。



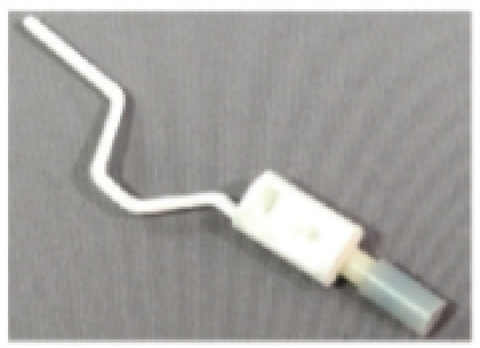
point 08
前側の嵌合ダボを除去し、バンパー裏と嵌合するようにプラバンでツメを増設した。サスペンションには手を付けず、シャシーの取り付け位置を上げて前輪を約1.5㎜ローダウン。



point 09
前アーチの後ろのサイドシル内側（左右）にツメを増設し、シャシー側にもプラバンで部材を追加。前側のツメと合わせて4点でボディとシャシーを固定するようにした。



point 10
そのままだとタイヤがアーチに対して後ろに寄ってしまう。ボディ後側のダボに1㎜厚プラバンを貼ってシャシー全体を前にずらし、タイヤとアーチの中心を合わせた。



point 11
マフラーの太鼓まではキットのパーツだが、テールパイプとマフラーカッターは自作品に置き換えた。ウェーブの4㎜径プラパイプとタミヤの3㎜径プラ丸棒で大径化した。



point 12
左がキットのタイヤ＆ホイール、右がアオシマ180SX後期型の純正ホイール＆タイヤ。ひと回り大きく太いが、マーチ・ニスモにはこれくらいのサイズでちょうど良い。

CHECK point

キット付属のホイールとタイヤはちょっとサイズが控えめで、フロント側の車高も高く、ホットハッチとしての迫力はイマイチ。そこで前々回の本連載で製作したアオシマURAS180SXの余りホイールとタイヤを流用し、フロントのシャシーとボディの嵌合方法を見直して車高を下げました。足をキメて初めてエアロも効くというものです。



エアロ（フロント、サイド、リア、ウィング）は塗装前に接着し、合わせ目をパテ埋めで一体化しておく。





フロントグリルはモーターツールと精密ヤスリで開口し、裏からモデルアートの菱形メッシュ②（エッチング）を当てた。



ホイールとタイヤはアオシマURAS180SXの余りホイール（180SX後期型純正アルミ）とタイヤを流用した。



テールパイプはウェーブの4㎜径プラパイプとタミヤの3㎜径プラ丸棒で自作した。

DETAIL UP POINT

■ボディ
○スジ彫り：0.2㎜幅のBMCタガネで彫り込み、クリアー塗装後にタミヤカラーエナメル塗料X-19スモークでスミ入れ。
○フェンダーアーチ：フチの裏側をデザインナイフで斜めに削り込んで薄く尖らせた。
○フロントフードのウォッシャーノズル：モールドを除去し、0.6㎜径のドリルで下穴を開け、アドラーズネストのリベットヘッドL（丸）を黒く塗って取り付けた。
○ドアミラー：0.3㎜厚プラバンで鏡面を自作し、ガイアカラー・プレミアムミラークロームでメッキ調塗装した。
○ドアとハッチゲートの鍵穴：0.6㎜径のドリルで下穴を開け、アドラーズネストのブラインドリベットSを取り付けた。
■インテリア
○シートベルト：バックルと金具はアスカモデルのミニチュア・スパイス・シートベルトセット黒を使用。ベルトはダイソーの黒マスキングテープの細切り。
○メーター：キット付属のメーターカバー（透明パーツ）の裏側にデカールを裏貼りした。
○バックミラー：鏡面部分に糊付きアルミ箔を貼った。
■シャシー
○シャシーとボディの嵌合：フロント側のダボを除去してシャシー前端を上にずらし、車高を約1.5㎜ローダウン。リア側のダボにプラバンで部材を追加してシャシーの取り付け位置を前に約1㎜ずらし、タイヤとアーチの位置を合わせた。
○ホイール：アオシマURAS180SXの余りパーツ（180SX後期型純正アルミ）を流用。
○タイヤ：アオシマURAS180SXの余りパーツを流用。モーターツールで回転させてトレッド面に＃600のペ紙ヤスリを当て、パーティングラインを除去、使用感を付けた。

Shiro Kitazawa



北澤志朗
S.E.M.湘南モデルカー愛好会の会長で、他誌でも活躍するプロモデラー。本誌では1998年から活躍中！

同ブランド純正ホイール流用でカタログストックを気取るカスタムもあり！

K11マーチはお洒落で都会的なコンパクトカーですが、ニスモのエアロのおかげで見違えるほどスポーティに。エンジンはボルトオンターボか、それとも排気量アップか…中身をあれこれ想像して楽しむのもオツなもの。では次回もお楽しみに！



FOLLOW YOUR HEART
心の命じるままに！

スケールモデルというジャンルに囚われず、編集者が気になる超魅力的なキットを純粋に楽しんでしまう連載です。

ギャラクシーランナー

機体後部にＹ字型に配置された翼が特徴のゲン・ハヤトが搭乗する流線型の宇宙戦闘機の飛行状態の形態。上側の翼はパーツ差し替えで格納状態になります。



コメットファイヤー

リュウが搭乗する軽快な機動性を発揮する三角翼の宇宙戦闘機の飛行状態。格納状態には胴体と翼を接続するパーツを変更することで可能になります。

宇宙を救った伝説の宇宙船
リアベ・スペシャル

1978年TV放映された伝説の特撮テレビドラマ『宇宙からのメッセージ 銀河大戦』劇中で大活躍した宇宙船『リアベ・スペシャル』が1/144スケールで立体化。最大の特徴である両翼カタパルトが展開し宇宙戦闘機2機の合体が可能となっている。

エイチエムエー (HMA) 1/144 スケール
宇宙からのメッセージ 銀河大戦 リアベ・スペシャル
制作・文：鋭之介 初代 日野
問合せ：株式会社エイチエムエー
admin@hmatoys.net
© 石森プロ・東映





コクピットのクリアーパーツは平面に貼り付ける状態なので、奥行きを表現するためにグラデーション塗装を行っています。

両翼カタパルトは可動式に組めますが、可動部に塗料が入り込まないように塗装が済んでから組めるようにしています。



謎の美女ソフィアから託された、約100年前にガバナスの脅威から宇宙を救った伝説の宇宙船リアベ号（リアベ・スペシャル）。戦闘機と合体後にアームは閉じられるので戦闘機は天地が逆の状態になります。





両翼のカタパルトアームを展開した状態。戦闘機は飛行状態を示しています。

今回は、特撮テレビドラマ『宇宙からのメッセージ・銀河大戦』より、HMA製リアベ・スペシャルをお届けします。

と言っても、HMA以外、何も解らない…という方も多いかと思います。というのもこの『宇宙からのメッセージ·銀河大戦』という作品、少なくとも50代以上の方以外あまり耳馴染みがないのではないかと思われますが、1978年の和製劇場公開映画『宇宙からのメッセージ』の100年後の世界を設定して製作された特撮テレビドラマです。

この『銀河大戦』では謎の美女ソフィアに救出されたゲン・ハヤトが、約100年前にガバナスの脅威から宇宙を救った伝説の宇宙船リアベ・スペシャルと、2機の宇宙戦闘機、コメットファイヤーとギャラクシーランナーを彼女から託されました。

恐らくHMA最大サイズのキットとなる1/144リアベ・スペシャル、本体だけでも中々のサイズ(最大サイズ 約28cm×21cm×9cm)ですが、真田広之演じる惑星アナリス出身で、幻一族の頭領の息子ゲン・ハヤトの愛機、Y字翼のギャラクシーランナーと、大型ミサイル搭載のコメットファイアーの2機も付属。

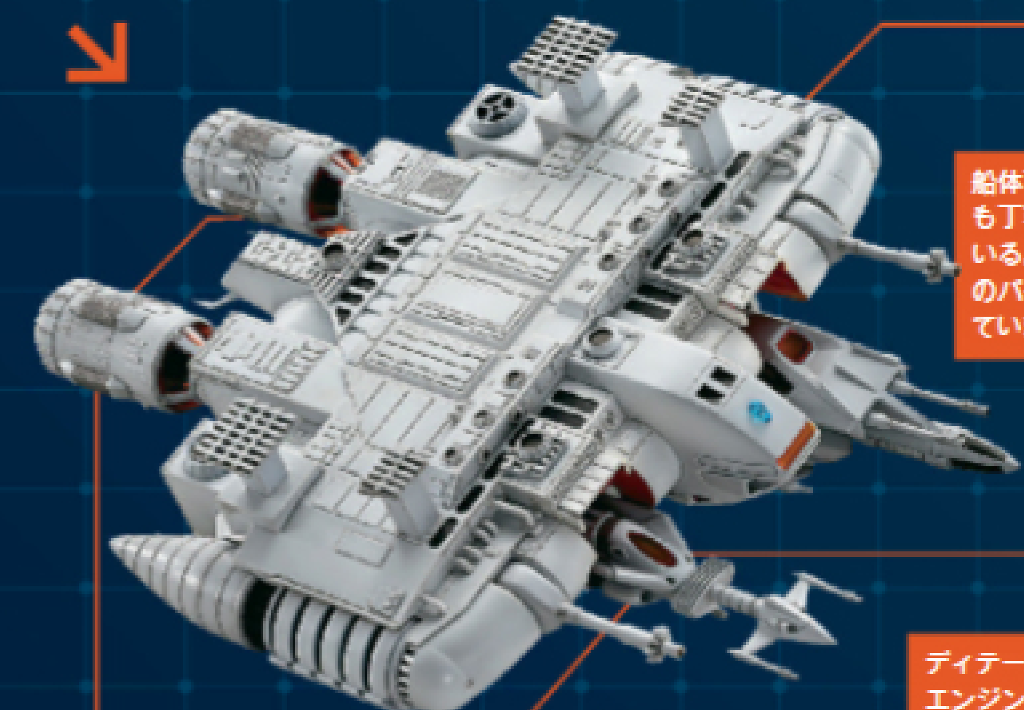
真偽不明ながら、映画『エイリアン2』に登場のドロップシップの参考にされたという噂もある(笑)、印象的な回転式搭載機発進システムまで再現されたギミックモデルとなっております。

製作においては、先ず両搭載機の飛行状態と搭載状態の差し換え調整。ギャラクシーランナーの方は、完成後の主翼の交換の便と安全性を鑑み、胴体を着脱可にしました。

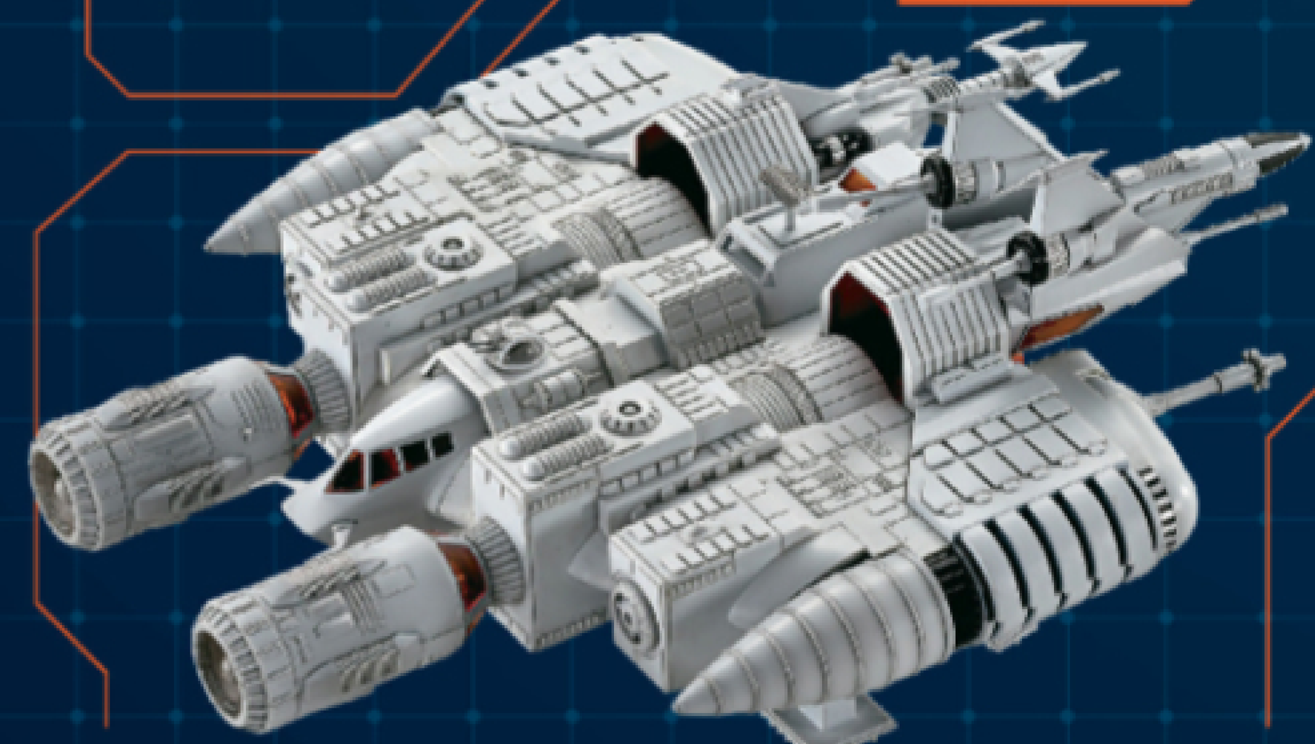
コメットファイアーは主翼と胴をつなぐパーツが差し換えなので、収納時に両翼垂直に起きるように、且つ、飛行時には胴体とフィットするように微調整を行いました。

また回転ギミックの両翼カタパルトは塗装後の後ハメ化にしています。

本キットの特徴として、搭載機の窓、機銃砲塔から船体各部の小窓までと、大量のクリアーパーツが付属している点があります。後部デッキやエンジン部等、内部空洞型の窓は取り付け方だけ工夫すれば良いのですが、メインデッキや搭載機の窓等、キット凹平面に貼るタイプの場合は多少の工夫が必要です。今回は、キット面にグラデーション塗装で奥があるかのように見えるよう予め塗装を行っておき、クリアーパーツ側は接着しないで済むよう、クリアー塗料の厚塗りでサイズ調整を行って、足りない場合は瞬間接着剤を縁に盛るなどして、内部に接着ダメージが生じないように取り付けています。



船体下面のモールドも丁寧に再現されている。脚は飛行状態のパーツも用意されています。



ディテール表現が秀逸なエンジンには軽くウェザリングを施しています。

地名を名に持つ船とその場所のエピソード

艦船諸国漫遊記 Vol.122





帝国海軍
重巡洋艦

衣笠 1941

帝国海軍の命名規則は、重巡洋艦は山岳名が与えられる。もちろん、今回取り上げる青葉重巡洋艦2番艦「衣笠」も、その由来は「衣笠山」である…はずなのだが。では"どこの"衣笠山なのかと問われると、途端に答えが怪しくなる。驚くことに、由来とされる衣笠山の所在がはっきりしないのだ! っえ〜そんなことってある♪(K-MIXアナウンサー まなみん風に)

Japanese Navy Heavy Cruiser KINUGASA 1941
1/700 PIT-RIAD
Build by Geisuian-Yasohachi

製作・文：鯨水庵八十八

ベイビー!命名由来の「衣笠山」は何処だい?



■いちばんジミな重巡洋艦

帝国海軍の重巡洋艦でいちばんジミなのは?と問われれば……。異論はあるだろうが、拙者は迷わず「衣笠」と答える。試しにスマートフォンで「重巡洋艦 衣笠」と検索してみたところ、なぜかトップに表示されたのは野球ファンなら誰でも知っているあの"鉄人"であった。重巡「衣笠」のマイナー感は、大勝利を収めた第一次ソロモン海戦では僚艦の影に隠れ、他に参加した海戦では負け戦が多かったことや、戦後に残された資料、回想録、写真なども寡少なため"語られる回数が少ない艦"ということが要因なのだろう。

■いくつもの衣笠山

艦名の由来となった「衣笠山」は、国内に同名の山がいくつか存在する。よく知られるのは京都市北区と右京区との境にある、第59代宇多天皇にゆかりの「衣笠山(標高201m)」で、甘辛く煮た細切りの油揚げと青ネギを卵でとじた「衣笠丼」も都で愛されている。しかし、『聯合艦隊軍艦銘銘伝』(片桐大自著・光人社)によれば、この山が命名由来ではないという。

昭和3年に東京水交社から刊行された『日本海軍艦船名考』によれば、徳島県吉野川市にある「高越山(こうつざん)(標高1,123m)」の別名が由来とされている。眼下に吉野川の大きな流れを望み、山頂に修験道の聖地「高越寺」をいただくこの山では弘法大師空海も修業を積んだという。しかし、その秀麗な姿から「阿波富士」とも称され、地元の住民からは「おこおっつぉん」と愛称されるこの山の別名として「衣笠山」を認識する人は少ないだろう。

巷間でよく言われるのが、横須賀鎮守府近くの中世の武将・三浦氏の居城であった「衣笠城址」に隣接する「鞍掛山(標高134m)」の別名に由来するというもの。明治40年に日露戦争の戦死者を慰霊するために2,000本の桜を植えた「衣笠山公園」が開設され、以降「衣笠山」の名が定着した。日本さくら名所100選のひとつに選ばれており、シーズンには多くの人が訪れる。標高は低いが眺望は比較的良く、横須賀、横浜の市街地や東京湾、房総半島、晴れた日には都心まで見渡せる。

江田島の海軍兵学校近くの山名を採った「古鷹」や、舞鶴鎮守府の近くの「青葉」の例を見れば横須賀鎮守府近くの山名を採るのは自然な流れだ。『聯合艦隊軍艦銘銘伝』によれば、建造中に艤装員の間で艦名の起源について話題となり、軍務局に照会したところ横須賀の衣笠山との回答を得ているとのことだが、今日まで研究者の見解は統一されておらず、諸説が混在している。『帝国海軍と艦内神社』(久野 潤著・祥伝社)によると、「衣笠」の艦内神社として京都衣笠山麓の平野神社と横須賀の走水神社の分霊が合祀されたていたという。艦名由来地が明らかでないということも、ジミ巡「衣笠」の持つ浪漫のひとつなのかも知れない。

■鉄底海峡で奮闘

重巡洋艦「衣笠」は川崎重工業神戸造船所において昭和2年9月30日に竣工した。当初は古鷹/青葉グループの一番艦として計画されたが、ワシントン軍縮条約に絡んだ紆余曲折により第二グループの一番艦として起工され、姉妹艦の「青葉」より10日



昭和12年頃から実施された青葉型の近代化改装では、主砲口径を正20cmから20.3cmへ拡大し、中甲板にあった魚雷兵装を上甲板へ移設すると共に新式化を図った。また、射出機の換装や航空兵装の改善、混燃缶を重油専燃缶へ換装する工事、艦橋構造物の改正など、各種改装が行われている。新造時から連装砲塔を搭載していたこともあり、その改装規模は古鷹型と比較すると比較的抑えられた内容であった。

遅れての竣工となったため、ネームシップとはならなかった。就役後間もなくの昭和3年に呉式一号一型射出機が設置され、"帝国海軍初の射出機を実用装備した艦"というジミなタイトルを持つ。昭和4年7月、演習中に潜水艦「伊55」と接触し、艦首艦底部を損傷。昭和11年8月には先行する「青葉」の減速信号を見落とし追突する事故をやらかしている。

大東亜戦争では「青葉」「古鷹」「加古」と共に第一艦隊第六戦隊に所属して戦った。ラエ・サラモア攻略戦を皮切りに数々の激闘をくぐり抜けており、昭和17年5月の珊瑚海海戦では空母「祥鳳」を、同年8月の第一次ソロモン海戦では戦闘後に「加古」を、10月のサボ島沖海戦では「古鷹」「吹雪」を目の前で撃沈されるという悲しみを味わっている。旗艦「青葉」も撃破された同海戦では孤軍奮闘し、雷撃により米軽巡「ボイシ CL-47」を大破、同重巡「ソルトレイクシティ CA-25」を小破させている。自らも命中弾4発を受けたが軽微な損傷で生還した。

第六戦隊で唯一前線に留まった彼女は第八艦隊に転属し、10月13日、第三次ソロモン海戦に臨んだ。ガ島砲撃を実施した「鈴谷」「摩耶」らに合同した14日早朝、ヘンダーソン飛行場から飛来したTBFアヴェンジャー雷撃機に捕捉され、魚雷4本を被り行き足が止まった彼女に、SBDドーントレスによる急降下爆撃が追い打ちをかけた。それでもなお航行を続ける彼女にとどめを刺したのは、次にやって来た空母「エンタープライズCV-6」の艦載機だった。炎上しながらも最期まで進路を保ち、乗員が退艦する時間を稼いだと伝えられる「衣笠」は、ジミながら多数の困難な状況で実直に任務をこなした艦であったと言えます。

Japanese Navy Heavy Cruiser

KINUGASA 1941



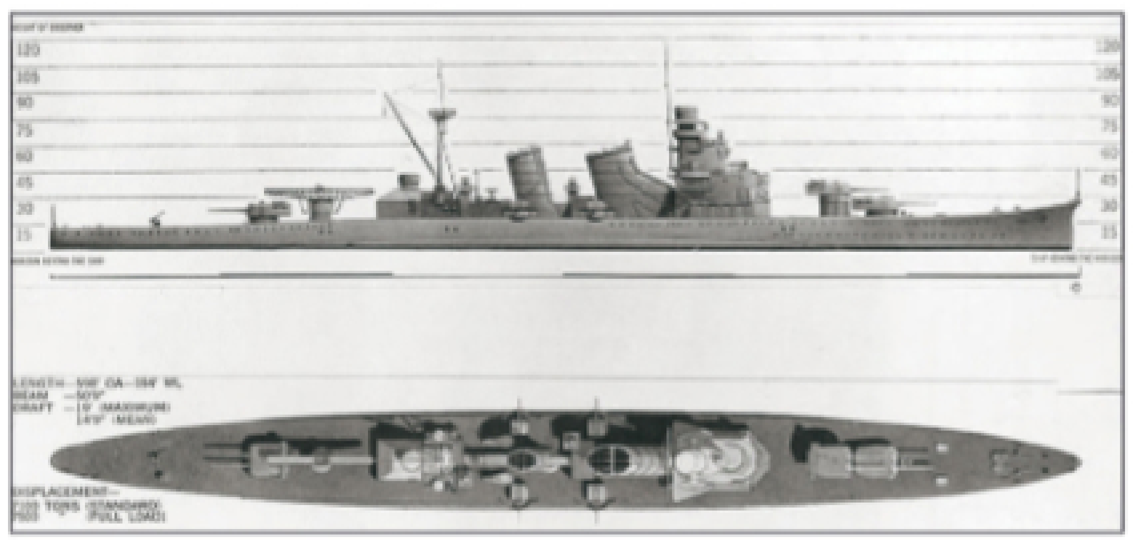




▲ キットは素性が良く、青葉型のシルエットを的確に捉えている。製作にあたっては、一部をプラパーツに置き換えたり、エッチングパーツを組み込むことで見栄えが大きく向上する。作例では、各機銃と12cm単装高角砲にファインモールドのナノ・ドレッドシリーズを使用している。



参考資料
歴史群像太平洋戦史シリーズVol.44 重巡古鷹・青葉型（学習研究社）
丸スペシャルNo.36 重巡青葉・衣笠（潮書房）
世界の艦船増刊No.489 新版・連合艦隊華やかなりし頃（海人社）
丸 2017年7月号 重巡青葉・衣笠（潮書房）
図解 日本帝国海軍全艦船1868-1945第2巻
巡洋艦（石橋孝夫編・著 並木書房）



◀アメリカ海軍情報局（Office of Naval Intelligence 略称:ONI）が作成した青葉型の艦型図。射出機を装備した昭和3年以降の艦型を描いている。（©U.S.Navy）

●重巡洋艦 衣笠 要目（改装後）
基準排水量:9,000t,垂線間長:114m,全幅:17.56m,吃水:5.66m,主罐:ロ号艦本式専焼罐12基,主機:ブラウン・カーチス式タービン4基4軸,出力:102,000馬力,速力:33ノット,燃料:重油2,040t,航続距離:8,000浬/14ノット。
兵装:50口径20.3cm連装砲×3基,50口径12cm単装高角砲×4基,61cm四連装魚雷発射管×2基,25mm連装機銃×4基,13mm連装機銃×2基。
射出機×1機,航空機×2機。



イラスト：中島総加

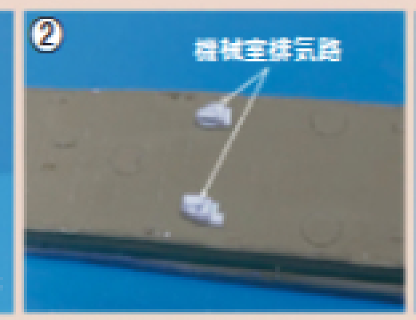
—今夜から実践できる、製作ポイント—

鯨水庵の朝稽古

作例はかつて拙者が原型を手掛けたレジンキットである、ピットロード・ハイモールドシリーズHM-47「衣笠」1941を使用したセルフ・カヴァー。WLシリーズ・ハセガワ製とは解釈が異なる部分に注目されたい。

店頭在庫やネットオークションで見掛けたら購入してね♪













◀▲①艦首付近に反りが見られたので、一旦切り離して再接着という荒業で矯正した。乾舷を増高するため、底に1mm厚のプラバンを接着している。②魚雷発射管後方の機械室排気路は形が異なるのでプラ材で作り替えた。③羅針艦橋の両側にはホワイトメタルパーツで供される信号探照灯を接着。測的所支持架のパーツはハセガワのキットから流用。測的所の取り付け位置を支持架に合わせるため、測距儀支筒の接着ガイドを削り取っておく。④下部艦橋の形状はハセガワ製と解釈が異なる。1.5m測距儀の前方には13mm連装機銃を、後部両舷にはメタルパーツの見張所を取り付ける。⑤航空作業甲板の後端には魚雷積み込み用のクレーンがある。後檣のクレーン下部にはプラ材でクレーン動力室を追加。



20分余りのデモフライトを実施したF-35B（59-8206）。短距離離陸を行い、ローパスなどを実施したのち、ホバリングして回頭するF-35Bならではの動きを披露。ホバリングのまま着陸し、タキシングして駐機場所に戻った。

初の一般公開で飛行展示！ 記念塗装機も!!
日の丸仕様のF-35B

F-35Bが配備されている航空自衛隊新田原基地で12月7日に「新田原基地エアフェスタ2025」が行われ、同基地所属のF-35Bがデモフライトを実施したほか、記念塗装をまとった機体が地上展示された。デモフライトは約20分実施され、短距離離陸やローパス、そして同機の大きな特徴であるホバリングや垂直着陸が披露された。また記念塗装機は、稲妻をあしらった青が基調のイラストを描いて注目を集めた（撮影：神達也）。



垂直尾翼やラダー、リフトファンのドア内側、前脚のカバーに青を基調としたイラストを描かれて地上展示された航空自衛隊仕様のF-35B（59-8201）。エンジンダクト・ノズル下部のドアを開いた状態で展示された。







①第23飛行隊のF-15×10機による大編隊飛行。②F-15DJ（12-8052）には、垂直尾翼と増槽にエアフェスタ開催を記念したマーキングが施された。③朝陽を浴びて展示飛行の時を待つF-35B 206号機。製造から日が浅い機体らしい、汚れや褪色のない機体色のグレーは、見る角度や部位により、やや光沢を感じさせる。④⑤201号機の垂直尾翼とラダーには、青を基調に稲妻をデザインしたイラストが描かれている。また宮崎県の地図をあしらったデザインも見られる（④）。リフトファン用空気吸入口のドアの内側には、宮崎県の地図をあしらったデザインのイラストがある（⑤）。⑥前脚庫カバー。ラダー同様「NYUTABARU AIR BASE」の文字がある。







海外の模型ショーで活躍する

前川 環 氏にインタビュー

この連載インタビューでは日本と関わりがあったり、日本のプラモデルに深い愛着を持つ多くの海外モデラーを紹介してきましたが、今回は攻守ところを変えて、海外の模型ショーで活躍する日本人を紹介します。日本のプラモデルが世界中で愛されるようになって久しいですが、遅まきながら日本人モデラーも海外の模型ショーで存在感を示す時代になりました。

構成：竹村典夫



前川 環
Tamaki Maekawa
（受賞歴）2012年ハセガワJMC大賞、2013年オラザク金賞、2014年英国ユーロミリテール銅賞、本誌やThe Weathering Magazineなどに作例を寄稿。MALCOM(東南アジア模型ショー審査員）など。大阪在住。

Q1. 前川さんは海外の模型ショーにも多く参加されていますが、元々模型を始めたきっかけは何でしたか？

A1. 結婚後しばらくして夫がモデラーだと知ったのがきっかけです。彼の買い物に付き合ううちになんとなく始めました。展示会に参加したり、吉岡和哉模型教室に入ったこともあり少しずつ仲間が増えていきました。吉岡教室に加え、最近ではLife on Wheelsというクラブにも所属しました。毎年、東京で展示会をするのですが、錚々たるメンバーの卓越した作品群に圧倒され続けています。

Q2. ハセガワJMC大賞をはじめ、国内外の有名模型ショーで受賞されていますね。

A2. 模型コンテストへの参加は「模型ショップR」という奈良のお店の行きつけになったのがきっかけでした。そこでJMCコンテストを知り、マシーネンにも興味があったので軽い気持ちで応募した結果、まさかの大賞をいただき本当に驚きました。

そして一念発起して英国の名高い模型コンテスト、ユーロミリテールに夫や模型仲間と共に参加しました。同コンテストは英国南東部のフォークストンという街で開催され会場近くのホテルに滞在しましたが、偶然にもそこは参加者が多く集まる場所で、初日の夜はホテルのバーで大勢の欧州のモデラーとの交流を楽しみました。

賞は2日目に発表されますが、展示卓は2段になっていて受賞した作品は下段に集められると聞きました。その朝、会場に入った時に自分の作品が下段にあるのが遠目で見えてドキンと胸が鳴りました。なんと銅賞をいただき、とりあえず落ち着かなければと会場を抜け出しカフェへ行ったことを覚えています。





英国ユーロミリテールで賞を頂いた私の作品。海外の模型ショーに出かけるきっかけになりました。



ベストオブショーを獲得した下谷岳久さんの作品。赤いのは彼岸花。周囲には多くの特別賞のメダルが置かれています。

Q3. その時の気持ちは、またその後あなたの模型趣味に何か変化はありましたか？

A3. 受賞後ある著名なモデラーが「実はユーロミリテールで賞を取るとね」と話しかけてくれました。「これから嫉妬とか悪口にも遭遇するかもしれない。自分がそうだったけれど、でも模型をやめないでね、負けないでね」と真剣に励まされたので、私はえらいことになってしまったとかなり狼狽えました。

この入賞をきっかけにミグ・ヒメネスさんのウェザリングマガジンで雑誌デビューし、自分の作品を世界中のモデラーに見ていただけることになりました。その後数珠つなぎのようにマレーシアのペナン島で開催されるMALCOM（東南アジアホビーショー）へ招待されるという出来事もありました。現在はそこの審査員という大役をいただいています。

Q4. この10月に欧州最高の模型コンテストであるSMC（スケールモデル・チャレンジ）



ウェザリングマガジンに掲載された私の架空ジオラマ「鉄の墓標」



アムステルダムに到着した吉岡和哉教室の面々。





いよいよ授賞式が始まります。



吉岡和哉さんの作品。吉岡さんの参加は大きなセンセーションとなりました。



私のジオラマ。審査員長から「詩的な抒情性」があると評されました。



本誌のライターでもあるエーギルさんの作品。マスタークラスの銅賞を受賞。

に参加されましたね。

A4. 同行したメンバーは吉岡和哉さん、下谷岳久さん、本誌ライターのエーギルさんと私の４人で、吉岡模型教室の仲間です。道中は乗っていた電車が突然運行中止になったりと色々翻弄されましたが、陽気なメンバーだったので終始ゴキゲンな旅でした。

由緒あるホテルの会場に集まった約2300もの作品は、36のカテゴリー、4つのクラス（技術レベル）に分けられ厳正に審査されます。予め設定された各賞の基準評点を越えた作品には全てその賞が贈られます。私は、他人と比べて順位を付けることをしないこの方法はたいへん好ましく思いました。結果的に何人ものメダル獲得者が生まれ、勝ち負けというより素直にお互いをリスペクトする気持ちになるからです。事実、会場は朗らかな顔と会話で溢れていました。会場ではとにかく吉岡和哉さんが大人気で常に誰かに話しかけられていました。私も大勢と挨拶が出来ました。2014年に英国のユーロミリテールで知り合った人達との再会もあって、なんと当時私が渡した名刺を握りしめて挨拶に来てくれた方もいてとても嬉しかったです。

Q5. 前川さんたちチーム４人のコンテスト結果はいかがでしたか？

A5. 私たち４人は最上位のマスタークラスに参加しました。私は「ストーリーのあるジオラマ及びビネット」部門に出品。戦車の単品部門へ参加した吉岡さん以外の３人はこのカテゴリーです。この部門はものすごく出品が多く、素晴らしい作品が所狭しと並んでいます。どれも当たり前のように施された深い陰影、緻密なグラデーション、繊細なウェザリング、そんな美術品のような作品群の中に自分のジオラマを置いた時、私はこのまま埋もれてしまいそうな心許ない気持ちになりました。

そして翌日いよいよ賞の発表です。入賞作品には２種類の特別なシールが貼られます。前日に知り合った面々が「君の作品はどれだい？」と話しかけてきたのでとりあえず一緒に展示卓に向かうと、誰かが「シールあるじゃん！おめでとう！これ色付きだよ！」と言いました。見ると私の作品にシールが貼られていました、しかも色付きの。私は何がなんだかピンと来ず呆然とするだけでした。結果、吉岡さんは銀賞、私とエーギルさんは銅賞をいただきました。そしてなんと下谷さんは「ベストオブショー」を獲得したのです。その名の通り２千数百点の作品の頂点に立つ快挙です。受賞式の壇上でメダルを授与されたことは大変誇らしく、また照れくさいものでした。

高名なモデラーで審査員長のアイヴァン・コッカーさんからは、「あなたの作品にはペル・オラーフ（ノルウェーのジオラマ作家でまるで絵画のような作品で有名）の抒情性を感じる」との言葉をいただきました。お昼時には物販フロアのディーラーたちがテーブルの商品を下げて、美味しいワインやパン、チーズ、ソーセージなどを振る舞うところにも出くわし、とても自由で開放的な雰囲気を満喫しました。



会場では多くのモデラーに会いましたが、憧れのRoger Hurkmansさんにも会えて大感激。

Q6. 日本のモデラーに海外のショーへの参加を勧めるとしたら、どんな勧め理由がありますか？

A6. もし私の記事で海外の模型ショーに興味を持ってくださったなら、ぜひ参加してほしいと思います。先方からからすれば、私たちはわざわざ海を渡って来てくれた大事なお客様ですから、諸手を挙げて歓迎してくださるでしょう。英語が苦手でも全然大丈夫、グーグル翻訳が強い味方になってくれますから。

第10回 MA色彩ゼミナール

Welcome!

模型の塗装は分からないことだらけ!?塗装の方法は分かるけど、理屈が分からない!?「色を塗る」というシンプルだけど奥が深い作業について、深掘りするコーナーです！第10回では前回に引き続きエアブラシの実践テクニックをご紹介！

■協力：ターナー色彩株式会社
■構成：モデルアート編集部

エアブラシ実践テクニック！陰影表現に挑戦

POINT 成功のキモは希釈！

今回はエアブラシの細かいコントロールで下地を活かした塗り重ねをし、陰影のある塗装にチャレンジします。飛行機の胴体と戦車の車体を塗装サンプルに、年内発売予定のアクリルガッシュ エアブラシ用うすめ液を使用して希釈から実践までを解説します！







●撹拌には筆がGOOD!

▲下地色としてアクリルガッシュの9.ジェットブラックを使用します。まずは推奨の希釈率どおり絵具とエアブラシ用うすめ液を1:1の割合で混ぜます。絵具は模型用塗料などと比べて非常に粘度が高いので、攪拌する際は調色スティックなどでなく、筆を使って盛られた絵具を崩すように行なうと均一に綺麗に混ざりやすいです。水で希釈する場合も同様です。希釈後は筆で持ち上げてみて、少しとろみが残るぐらいの粘度が最も良好な結果が得られました。

▲ラッカー系塗料であればカップに直接塗料を入れても溶剤でうがいすることで吹ける場合がありますが、絵具はかなり粘度が高く一発で詰まってしまうので直入れは絶対NGです。



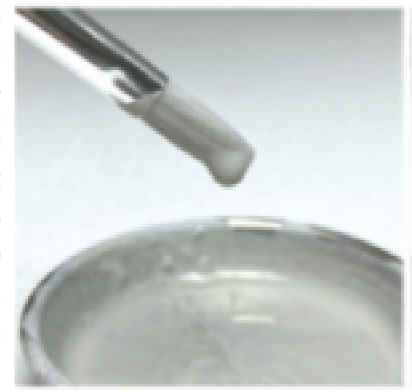


●水で洗浄可能!

◀キッチリ希釈できたら、飛行機の胴体パーツ全体を覆うようにジェットブラックを吹き付けます。塗装が完了したらなるべく早めに洗浄します。洗浄は水道水でもOKです。ドロップボトルなどを別途用意して塗装スペースに置いておくと便利です。

●重ね塗りの色は希釈率を変えてみる

▶吹き付けのコントロールがしやすいように、上塗りの3.ニュートラルグレー７はジェットブラックよりも薄めに希釈してみます。絵具：うすめ液=4:6ぐらいで希釈しました。下塗りのブラックをパネルラインに沿って残すようにグレーを細吹きしていきます。

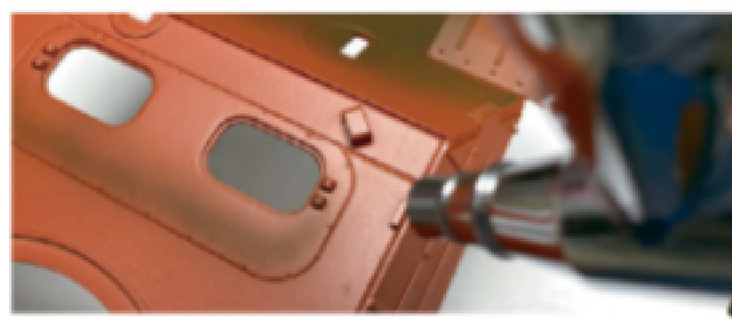






▲ブラックの下地を活かしノッペリしない、程良い情報量に仕上がっています。希釈したアクリルガッシュは濡れ色（暗）と乾き色（明）の変化が大きいため、一気に吹き付けず乾燥させながら全体のバランスを見て塗装すると綺麗に仕上がります。

●U-35アクリリックスでシャドーを表現





▲戦車の車体に模型用のオキサイドレッドサーフェイサーを吹き付け、その上から暗色を吹き付けます。ここではU-35アクリリックスを使用しました。124.アゾ イエロー ミディアム、249.ナフソールレッドミディアム、700.ジェットブラックを混ぜて作ったレッドブラウンでシャドーを入れるようにグラデーション塗装を行ないます。希釈率は1:1です。

◀適切な希釈率をしっかり把握していれば、アクリルガッシュもU-35も同様の感覚でエアブラシ塗装が可能です。塗装サンプルのように綺麗なグラデーションのカラーモジュレーション風塗装もバッチリです。

内藤あんもの戦車模型基本講座



内藤あんも氏が戦車模型の製作術を詳しく解説!基本からちょっとした応用、さらには時短テクニックといったプラスアルファのポイントを押さえて、カッコイイ作品に仕上げるためのスキルアップ連載です!

タミヤ1/35 日本陸軍97式中戦車 チハ
製作・文：**内藤あんも**





第21回 クッキリ迷彩を仕上げる

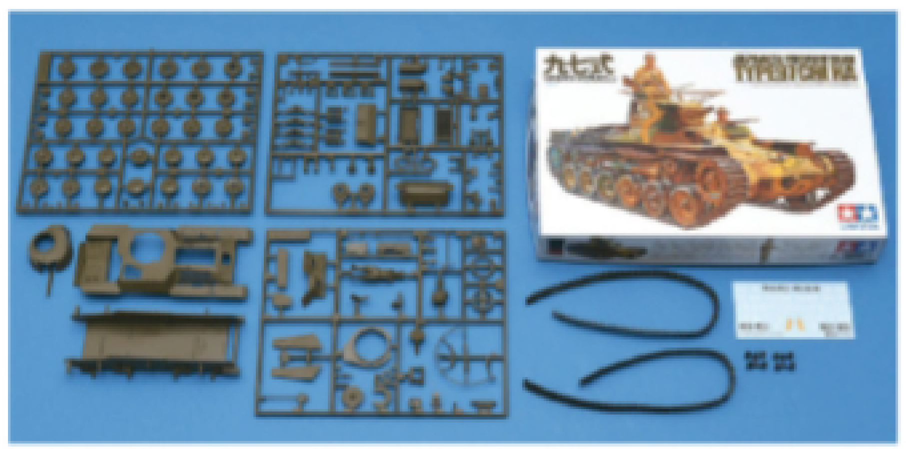
今回押さえるポイント

1. 工作は程々に!塗装の下準備に力を入れよう

よく出来たキット故に塗装に重きを置きたいところ。特に複雑な迷彩なので、塗装のことを考えながら組み立てていきます。何色から重ねるか、塗料の隠ぺい力はどうだろうか、どこまで筆塗りで仕上げるか…?普段よりも塗装工程をしっかり組み立てていきましょう。

2. 筆とエアブラシの併用で複雑な迷彩を仕上げてみよう

実物は刷毛塗りですが、模型的にはどうする?時短というわけではありませんが、エアブラシと筆塗りの併用が最も効果的ではないでしょうか。ある程度はウェザリングで誤魔化せるものの、極力綺麗に3色迷彩+黄色帯を仕上げていきたいですね!



お題のキットはこちら!

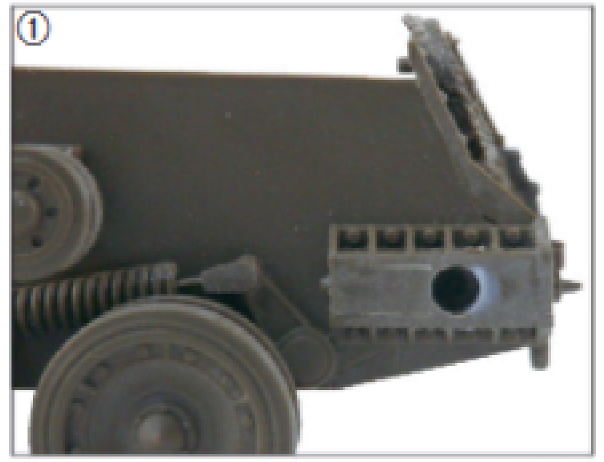
◀**タミヤ1/35 日本陸軍97式中戦車 チハ**（1/35ミリタリーミニチュアシリーズNo.75）。1975年初出で、シリーズ初の日本陸軍戦車。パッケージイラストには描かれていないが、砲塔上面の重機托架に搭載するための機関銃のパーツも用意する。履帯は焼き止め式の軟質樹脂製。フィギュアは戦車長の全身像と機関手の半身像の2体が付属。マーキングはマレー作戦時の戦車第1連隊所属車（中隊マークは第2～4中隊を用意）、本土決戦準備時の戦車第1連隊第3中隊所属車、ラバウルに進出した戦車第8連隊所属車、中国大陸の戦車第17連隊第5中隊所属車、昭和20年に奉天に展開した戦車第34連隊第2中隊所属車、千葉陸軍戦車学校所属車（3種）をセット。価格2,090円（税込)、全国の模型店などで発売中。

九七式中戦車チハは実物が靖国神社内の遊就館に展示されており、国内でも数少ない日本軍の戦車を見ることが出来る場所でもあります。どうしてもチハというと南方で英米軍の軽戦車に苦戦した印象があり、模型的にも他国の中戦車と比べてみると小柄な印象があります。ただ、件の遊就館で実物を初めて目にした時は「これは…鉄獅子だな!」という畏怖に近い感想を持ちました。普通にデッカイんですよね。

実はプラモデルのチハを購入したのは、この実物を見た後でした。中学生の頃から1/35MMシリーズを作ってきてはいたんですが、遊就館に行ったのはここ20年ぐらいのはずなので、中々日本戦車には手を出せなかったんですよね。前述したような太平洋戦争での負の印象もありますが、単純に「迷彩が難しそうだな」というものも大きかったように思えます。特に戦争前半のクッキリ3色迷彩+黄色帯という塗装するにあたって、面倒くさい要因がしっかり詰まった迷彩パターンに気後れをしていたのも事実。模型誌などでもハウツーが紹介されてはいましたが、エアブラシだけで済むドイツ軍や単色の連合軍戦車などを選びがちでした。

とはいえ塗装手順は何となく知ってはいるわけで、今回のように筆とエアブラシの併用で塗装する流れを覚えてからは日本軍戦車の完成品も増えてきました。昨今じわじわとブームになりつつある筆塗りですが、今回は筆とエアブラシの併用での複雑な日本軍戦車の塗装の流れを見てみましょう。

ポイント 1. 工作は程々に!塗装の下準備に力を入れよう



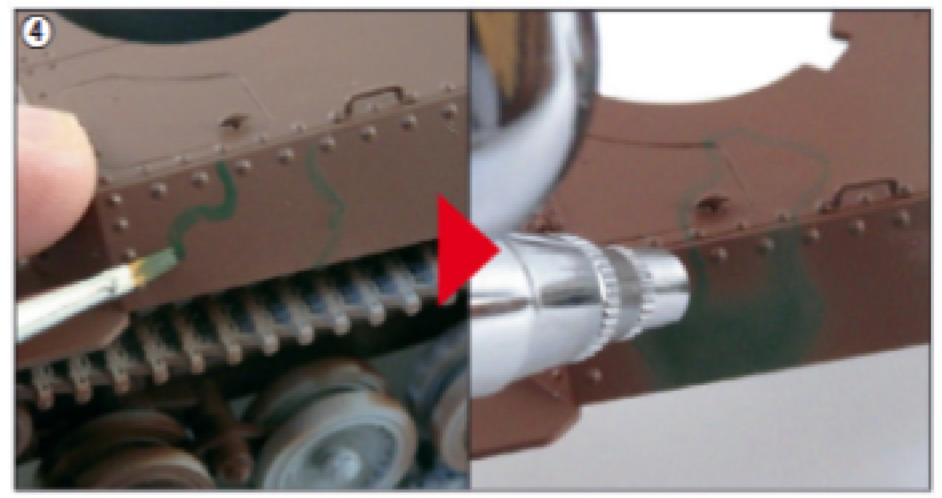
▲①初出は50年前ながらとても良く出来ている。丁寧に組めば隙間も出来ず、手を加えるところはほぼないと言ってもいい。唯一、履帯を弛ませるために誘導輪の基部を前にずらしてみた。



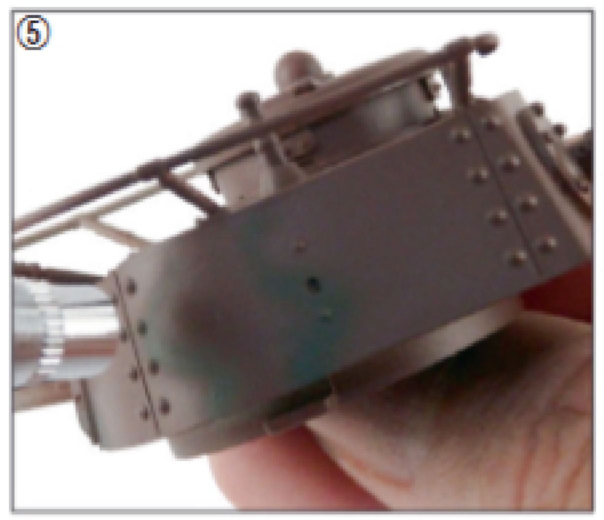
▲②今回は塗装に集中するためにハッチは全部閉めて組み立てた。履帯はタミヤのナイロン・PP用プライマーを吹き付け、弛み表現のためにセメダインの難接着材料用接着剤 PPXセットで塗装前に固定しておいた。付属のフィギュアはモールドもシャープでとても出来が良い。今回は車長のフィギュアをエポパテで改造し、外に立たせるようにしてみた。頭は好みで機関手の頭部と交換してある。



▲③サーフェイサーを吹き付けたら早速塗装だ。3色迷彩(緑色、茶色、土地色)は発色の関係から茶、緑、土地の順で重ねる。茶色はタミヤカラーラッカー塗料のLP-17 リノリウム甲板色を使ってみた。



▲④続いて緑色をLP-31 濃緑色2とLP-58 NATOグリーンを混色して再現する。少し青みがある緑にしたい。筆で輪郭を描き込み、その中をエアブラシで塗り潰していく。若干のはみ出しは後で修正するので気にしない。

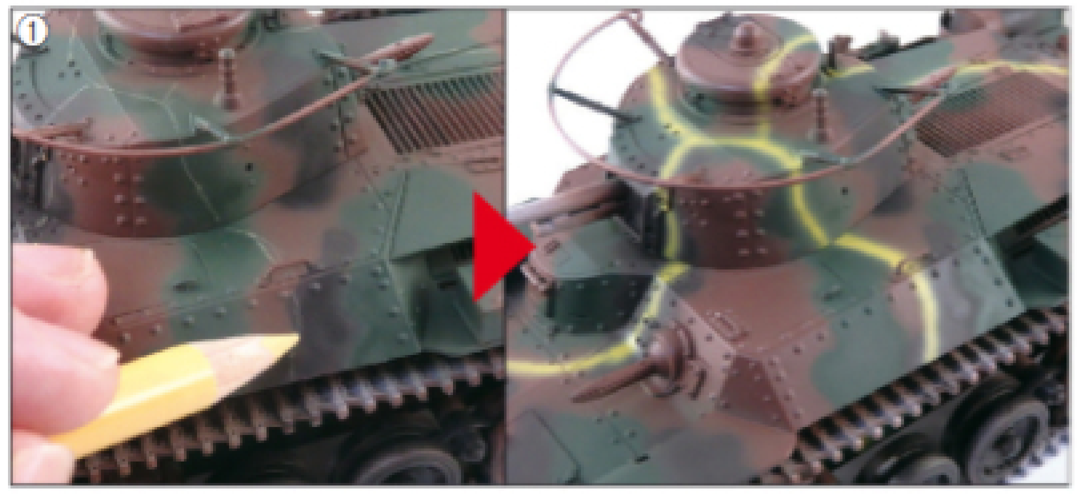


▲⑤砲塔は技法を変えてエアブラシで直接輪郭を描いて塗り潰す。ボケ足が出てしまうので後から修正必須だが、筆で輪郭を描く時も筆で修正は行う。

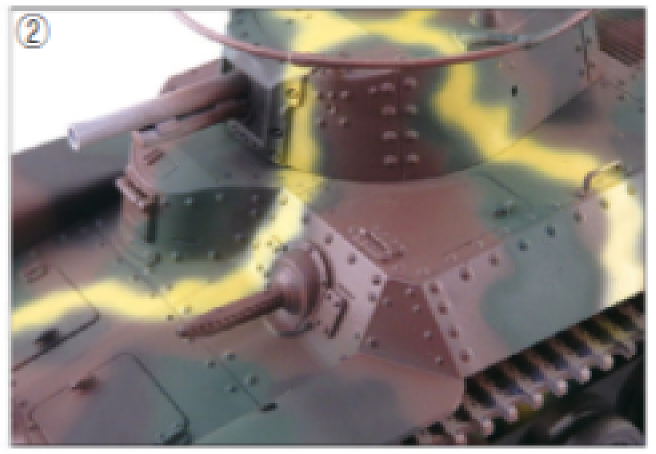


▲⑥土地色を入れて3色迷彩が完了した。土地色はLP-60 NATOブラックとLP-17の混色で再現してみた。砲塔と車体を比べるとやはりエアブラシのほうがボケ足が広い。これは結局筆塗りで修正することが前提であるため、工程を1つでも減らそうとしてトライしてみた技法ではあるが、結果としては予め輪郭線が描いてあるほうが塗りやすいと感じた。

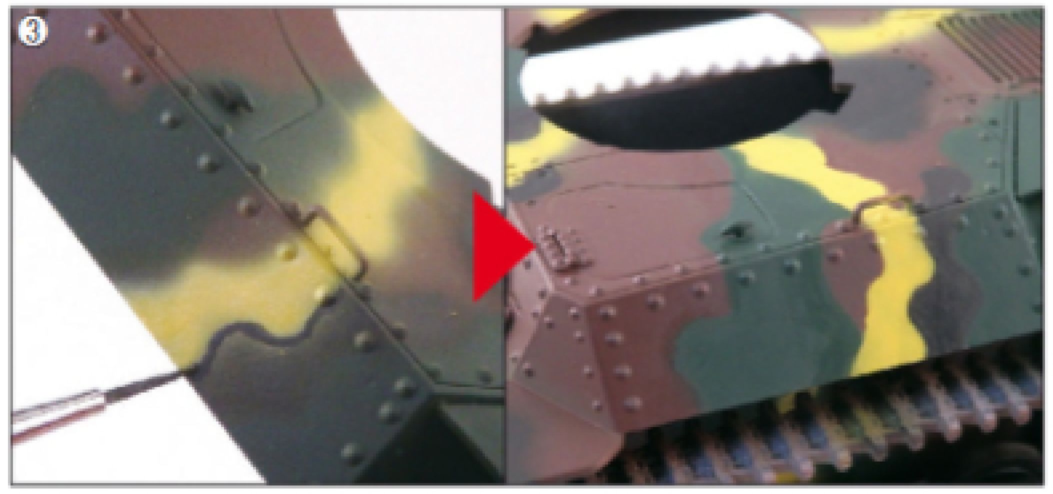
ポイント 2. 筆とエアブラシの併用で複雑な迷彩を仕上げてみよう



▲①日本軍初期迷彩の鬼門でもある黄色帯を塗装する。まずは色鉛筆で下描きをする。面倒なディテールを避けたりする理由もあるが、結局そういうところに線を引きがちにはなる。下描きが終わったらエアブラシの細吹きで黄色帯を入れる。最初は極力細く線を入れる。



▲②黄色帯は直線的なものと不規則にうねるものがあるが、今回は後者にしてみた。エアブラシで少しずつ太くしていくが、腱ぺい力の問題でどうしても吹き付け過ぎて塗面が汚くなりがちだ。後で綺麗に修正する。



▲③今回の山場でもある各境界線の修正をしていく。筆で輪郭を再生するが、エアブラシの塗装面と筆塗りの刷毛ムラでどうしてもギャップが出てしまう。トップコートを吹くことでそれなりに押さえつけられるが、全面に筆で色を乗せても良いだろう。



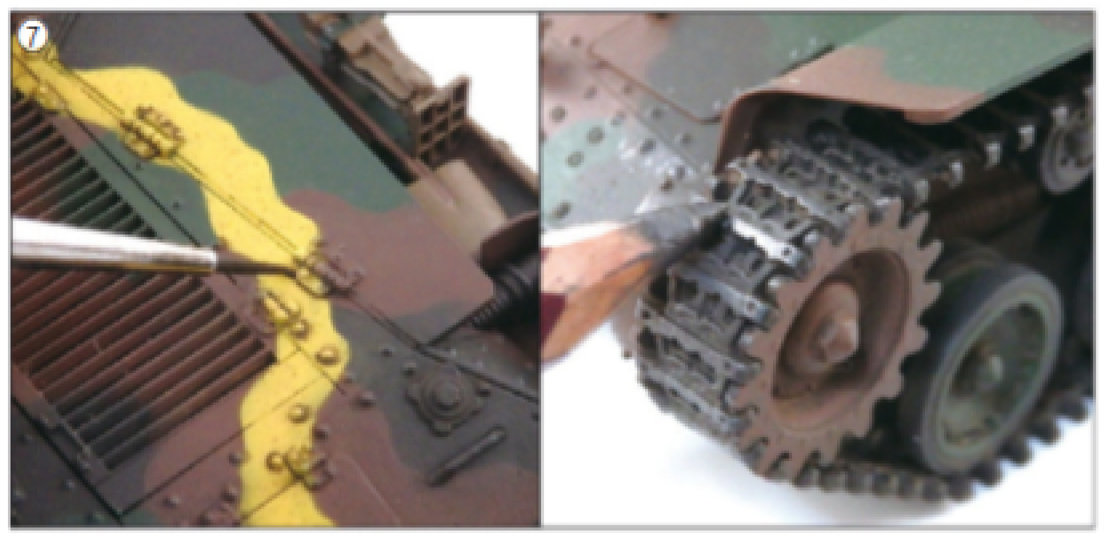
▲④実車では黄色帯は最後に刷毛で描かれているため、輪郭を黄色で再度描き込むと色の重なった感じが演出できる。ムラが気になる場合は薄めた塗料を何度か重ねよう。



▲⑤ツヤ消しクリアーを吹き付けたら光りものを塗装していく。正面の星章ははみ出さないように注意しながら筆塗りし、その他の部分はシルバーの下地にクリアーカラーを載せて再現してみた。アンテナ本体のカッパーなど、意外と塗り分けは多い。



▲⑥やっと基本塗装が終わる。日本軍の迷彩はここまでが山場と言えるだろう。実車が職人の刷毛塗り仕上げであるとはいえ、1/1の筆ムラと1/35のそれはイコールではないことは念頭に置きたい。



▲⑦後はいつもと同様にウォッシングやピンウォッシュ、履帯や足周りのウェザリングを行う。基本色が暗くなりがちなので、ウォッシングは濃くなり過ぎないように気を付けたい。履帯は接地面が広いため、ギラリと輝かせるとアクセントになって良い。10Bの鉛筆で磨いてみた。



▲⑧フィギュアはラッカー系塗料で塗り分け、ツヤ消しクリアーでコートしてエナメル塗料で影を入れる。目のモールドがはっきりしているため瞳を塗ってみた。

Finish!

刷毛塗りのクッキリとした塗り分けと黄帯の組み合わせが特徴的な日本戦車の代表格、チハが完成しました。





▲日本軍戦車の特徴でもある鉢巻型アンテナ。そもそも細く、雑に扱うと簡単に折れてしまう。しかしパーティングラインもそれなりに目立つので、ランナーから切り出す前にカンナ掛けの要領で処理しておくと安心だ。

フィギュアを横に並べてみると、小さい印象があるチハも十分大柄だと言えるだろう。リベットだらけの車体も、ハイライトや影を描き込まずともライティングだけではっきりリベットが出てきて嬉しいものである。



今回のまとめ

どうしても二の足を踏んでしまう日本軍特有の黄色帯。さらに刷毛塗りのクッキリ迷彩がセットになるので悩ましさ全開ですが、今回のようにエアブラシと筆の併用で綺麗に仕上げることが出来ました。他にも黄色の発色優先で考えて先に黄色を吹き付け、帯状にマスキングして他の3色を塗るという方法もあったりしますが、今回はあくまで実車と同様の重ね方を優先してみました。他にも色々やり方もあるかと思うので、機会があれば挑戦していきたいところですね!

次回予告

第二次大戦後期のドイツ戦車によく見られたツィンメリットコーティングを攻略。手軽なシートを使ってパンサーG初期型を製作します。



内藤あんも
ammo naitoh

幼少時より模型製作を趣味とし、気が付けばそれがお仕事に。「丁寧かつ早く作る」が得意技。模型誌作例を手掛ける傍ら、専門学校や短大で造形の講師も勤める。飛行機やキャラクターモデルも作るがやっぱり戦車模型が好き。

@ammonaitoh

WWII ドイツ軍
ドイツ軍の対戦車砲 5cm Pak 38 その 2

PHOTO&TEXT : STEINER

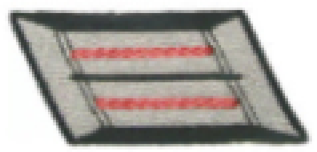
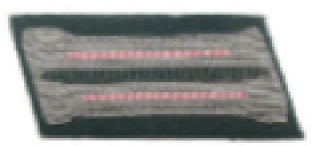
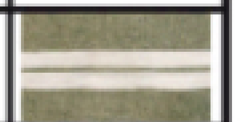
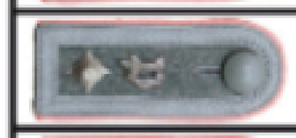
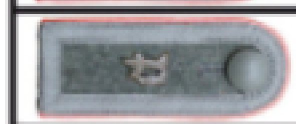
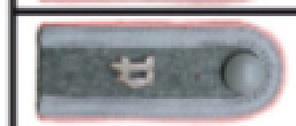
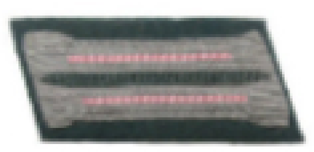
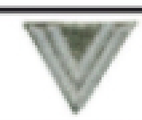
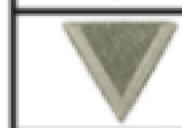
今月は、5cm Pak38 が 1940 年 7 月に部隊配備される際に策定された、自動車化対戦車中隊 : Panzerabwehrkompanie (mot) の編制表から、1 個小隊 : Panzerabwehrzug の部分を抜粋して紹介する。

編制表は部隊編成の際の指針であり、実際の編成とは異なる場合があるが、設定資料としては間違いないものである。

編制表には兵員の役職と職域、人数、携行火器と車輌及び火砲等の数量が記されており、情景作品や単品制作の際に組合わせる車輌やフィギュアの階級を選ぶ参考資料となるだろう。

なお、本稿で【 】で示したアルファベットは、ドイツ陸軍の階級毎にできる職務を表す職域記号で、編制表では階級ではなくて職域の記号で記されている。これに関しては最初に階級と職域対照表を載せたので併せて参考にされたい。また職域記号の後の小火器は、その兵士の携行火器を示すものである。

階級と職域対照表

階級		職域	記号	襟章	肩章	袖章
尉官	大尉 Hauptmann	中隊長 Kompanieführer	K			
	中尉 Oberleutnant	小隊長 Zugführer	Z			
	少尉 Leutnant					
下士官	本部付曹長 Stabsfeldwebel	上級下士官 (小隊長) Oberfeldwebel	O			
	先任曹長 Hauptfeldwebel					
	曹長 Oberfeldwebel					
	軍曹 Feldwebel					
	下級軍曹 Unterfeldwebel	分隊長 Gruppenführer	G			
	伍長 Unteroffizier					
兵	兵長 Obergefreiter					
	上等兵 Gefreiter	兵卒 Mannschaft	M			
	一等兵 Oberschütze					
	二等兵 Schütze					

各国の階級や職域の訳語には、何に注目するかで説が分かれることがあるので、本稿では原語併記としている。
軍隊では各自に階級が付与されているが、これは給与体系であり、それとは別に個々人が受けた訓練・教育、取得した資格に応じて、どの役職ができるかを示す職域がある。
ドイツ軍の場合はベルサイユ条約で将校の数に制限が加えられていた経緯から、下士官を２つの職域に別け、上級下士官には本来将校が指揮する小隊長を務めることができる教育を施していたため、下級軍曹までは分隊長を意味する [G] であるのに対して軍曹以上は小隊長ができる [O] となっていた。また、兵長は兵階級であるが、分隊長教育が施されていたため、職域は [G] とされていた。
なお、先任曹長は本来階級呼称ではなく役職名であるが、中隊内の下士官のまとめ役として重要な役職であったため、当時の階級と職域一覧に記されているのを踏襲し対照表に記してある。

対戦車小隊：Panzerabwehrzug

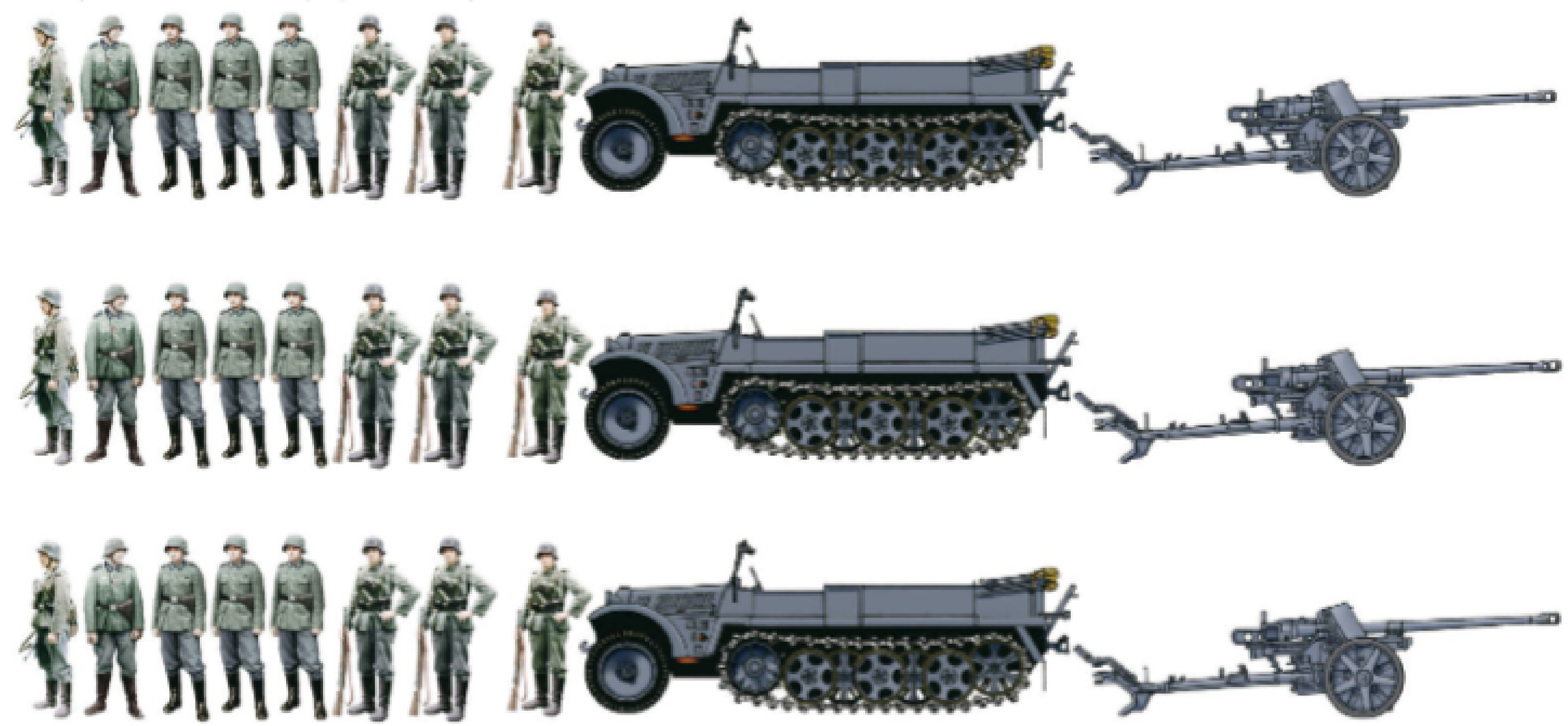
小隊本部 (小隊本部班)



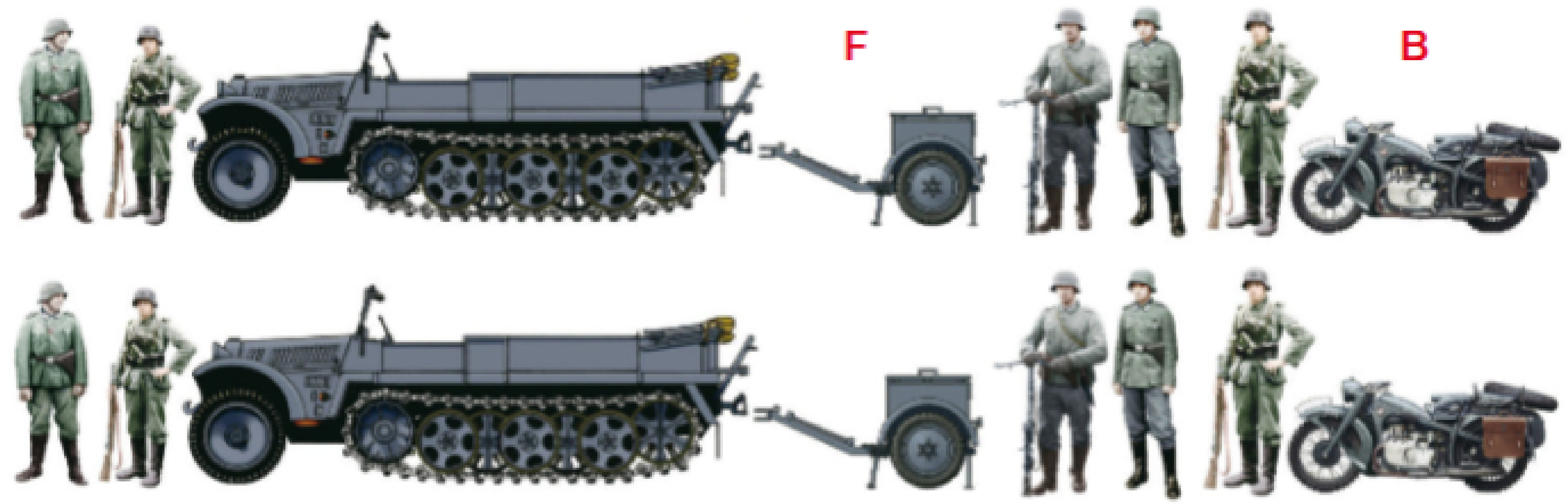
ドイツ語では本部とは記されておらず､原文の直訳は指揮官と小隊班であるが、小隊長がいる所が本部機能を果たすと言う意味で、本稿では小隊本部と小隊本部班とする。

1. 小隊長 [Z] 拳銃、 2. 測距兵 [M] 拳銃、3. 乗用車運転兵 [M] 小銃、A 牽引装置付中型乗用車 (Kfz.12)、4. 観測係下士官兼小隊本部班長 (サイドカー) [G] 機関短銃、5. オートバイ兵 [M] 小銃、B サイドカー付き重オートバイ、6. オートバイ兵 (伝令兼務) [M] 小銃、 C 中型オートバイ

小隊 (対戦車砲３門)



1. 砲長 [G] 機関短銃、 2. 砲員 [M] 拳銃、3. 砲員 [M] 小銃、4. 牽引車運転兵 [M] 小銃、D 小型牽引車 1t (Sd.Kfz.10) E 5cm Pak 38



1. 機関銃長 [G] 拳銃、 2. 牽引車運転兵 [M] 小銃、F 弾薬用トレーラー (1 軸) (Sd.Ah.32) 3. 機関銃手 [M] 軽機関銃、拳銃、3. 機関銃兵 [M] 拳銃、4. オートバイ兵 [M] 小銃、B サイドカー付き重オートバイ

今回は 1940 年に発布された自動車化対戦車中隊の編制表から「小隊」の部分を抜粋して紹介したが、中隊全体の編制表は中隊本部に始まり、上記の小隊が３個（合計対戦車砲９門)、車輌整備班を含む中隊段列と、中隊行李から構成されている。

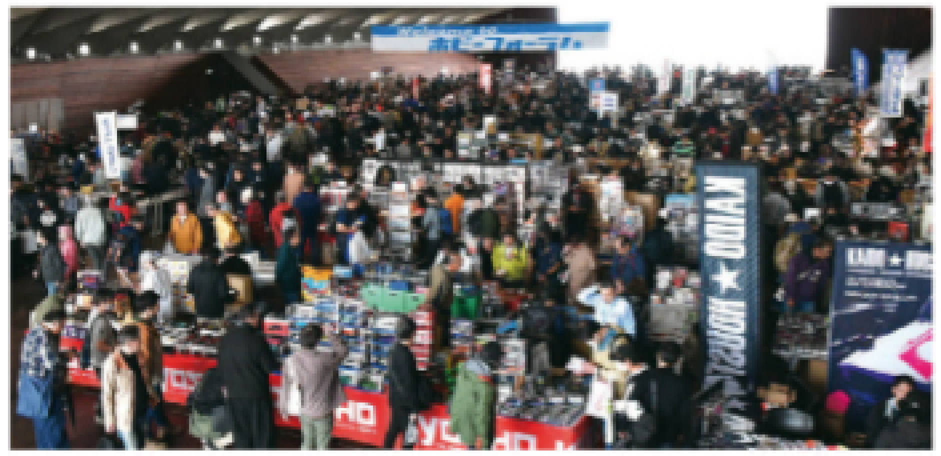
段列には弾薬運搬用 1.5t トラック１輌、燃料運搬用 1.5t トラック２輌の他、弾薬用トレーラー（Sd.Ah.32）と、牽引装置付中型乗用車（Kfz.12)、250 人分の調理が可能な大型調理機材積載の 1.5t トラック、機材係下士官用中型オートバイが各１輌配備されていた。

MA EVENT REPORT

ホビーフォーラム 2025

11月9日、横浜港大さん橋国際客船ターミナル内の大さん橋ホールにて、毎年恒例のホビーフォーラムが開催された。開場前は冷たい雨が降りしきっていたが、それを跳ね返すような盛況ぶりだったホットな会場内の様子をお届けしよう。

写真・報告：編集部

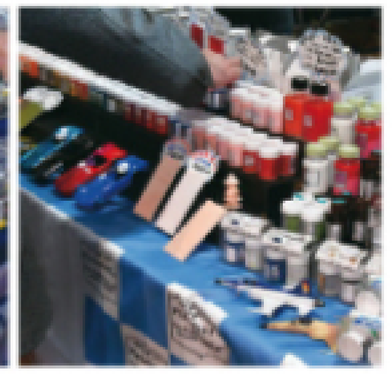




▲プラスアルファブースでは本誌やオートモデリングなどでも取り上げた3Dプリントパーツを多数販売。また、ブースにて新刊「プラスアルファ秋葉氏のデジタルカーモデリング＆プリンティング」の発売をサプライズ発表。詳しくは6頁を要チェックだ！







▲モデルガレージ ロムはF1のミニカーや、ロム40周年記念の特注アイテムを会場にて先行販売。オートモデリG.Tブースではフィニッシャーズカラーの新色やレアキットを多数取り揃えていた。







▲本誌ライターのKen-1氏が代表を務めるチームKen-1ブースには、上村アキヒロ氏製作のデイトナスパイダー（オートモデリングVol.38掲載）も登場。







▲北澤志朗氏や高橋浩二氏などが手掛け、研ぎ出しによるグロスが美しいブルーエンジェルスの編隊飛行は、カーモデル以上に注目を集めていた!?



雨のヨコハマにクルマ好き大集結！日本最大のミニチュアカーの祭典

カーモデラーやミニカー好きにはお馴染みのホビーフォーラムが今年も開催された。会場前半分の物販ブースでは限定アイテムやお宝キットが販売され、朝10時の開場前から入口は大混雑。外国人の来場者も多く見受けられた。

後ろ半分は展示ブースとなっており、各クラブが珠玉の力作を多数持ち寄った。スポーツカーやF1マシン、バイク、大型建機、そして1/43キットの作品などがズラリとテーブルを埋め尽くし、悪天候ながらいつにも増して盛り上がった1日となった。

MA EVENT REPORT

タミヤフェア 2025

ENJOY THE ENTHRALLING WORLD OF TAMIYA!

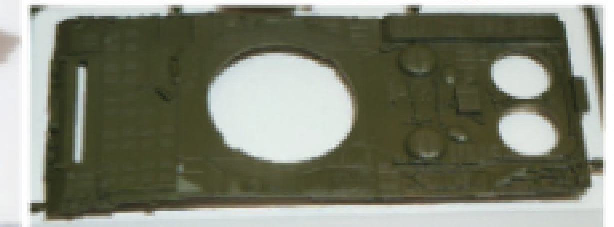


11月17、16日の2日間、ツインメッセ静岡にて「タミヤフェア2025」が開催された。南館では企画展や新製品発表、タミヤRCカーワールドチャンピオン決定戦が行われ、北館ではミニ四駆レースや親子で楽しめる体験コーナーなどを展開。世代を超えて楽しめるタミヤの魅力が凝縮されたイベントとなった。ここでは、その賑わいに満ちた会場の様子をお届けする。

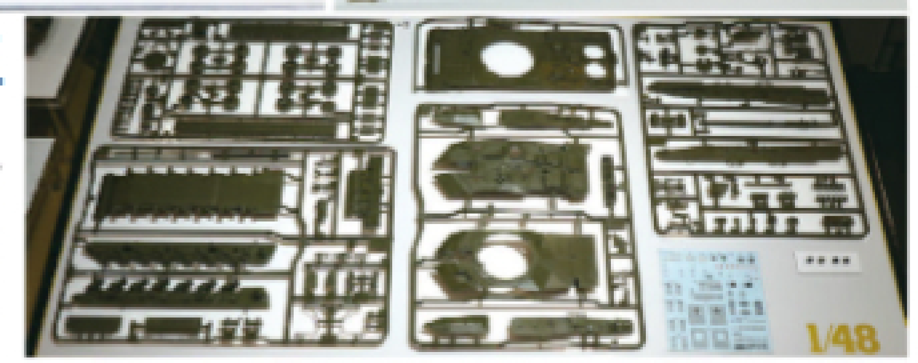
会場発表アイテム 1/48MM シリーズ初のドイツ連邦軍アイテム







1/48 ドイツ連邦軍主力戦車 レオパルト2 A7V



完全新設計。1/35、1/16RCとタミヤを代表する各スケールで次々と立体化されたEU最新鋭戦車が1/48でも登場。OVMは車体と一体、履帯は片側8パーツで再現するなど、パーツ数を抑えながらも、車体各部を詳細にモデル化。車長の半身像1体とデカール2種付き。1月24日頃発売予定、価格3,630円（税込）。キットの詳細はP122へ。

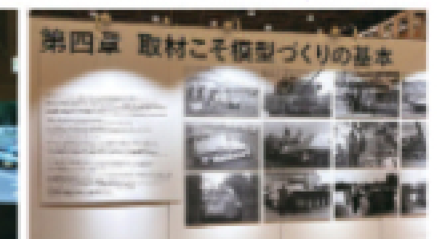
「RA272 エンジンサウンド体験会」を開催



▲Honda「RA272」「RA273」の実車を展示。「RA272」はエンジン始動デモンストレーションが開催され、V12エンジンのサウンドが秋空に高らかに響き渡った。16日には元Hondaワークスライダー宮城 光氏によるエンジン始動手順やマシン構造などの実車解説が行われ、来場者は熱心に耳を傾けていた。

「田宮模型の仕事展」～田宮俊作の軌跡を辿る～





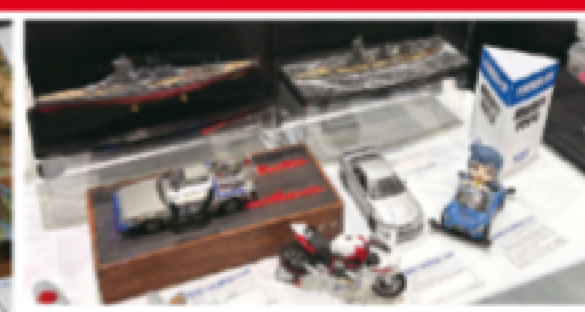


▲田宮俊作会長を偲び、著書「田宮模型の仕事」（文芸春秋 刊）に収録の数々のエピソードと共に当時の貴重な資料や製品、実車などを展示し、その軌跡を辿る企画展。その歩みと情熱を改めて感じさせる内容となっていた。

初開催！大学生による模型展示会









◀▲北館の一角では、大学生による模型展示会「MOKEI CAMPUS タミヤフェア学生模型祭」が初開催された。スケールモデルやキャラクターモデルまで実に多彩に並ぶこのコーナーは若い世代の模型熱を強く感じさせる、非常に印象的な展示となっていた。

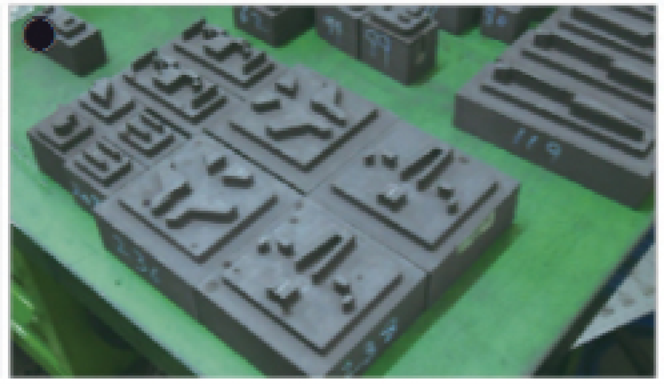
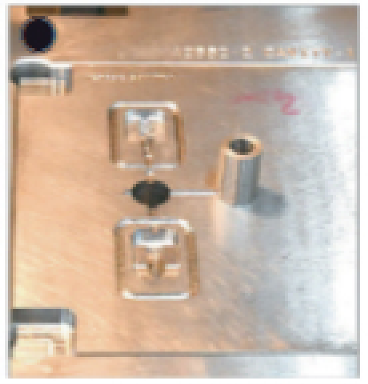
編集Kが行く 韓国出張記
第1回 アカデミー社訪問編

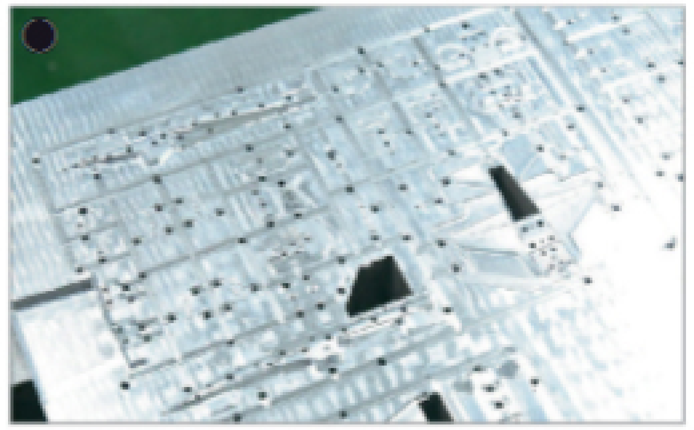
今年も韓国出張の季節がやってきました！今回はとある重大任務を全うすべく単身渡航。第1回目は、日本でもお馴染みのアカデミー社への訪問と同社が主催するプラモデルコンテストの模様をお届けします。（報告：編集部）



モデルアートオリジナルキットの開発現場に潜入！



◀①第63回全日本模型ホビーショーで公開したこちらのポスター。SNSを中心に多くの反応をいただいた。②放電加工用の電極（マスターモデル）。キットの形状やモールドを決定する重要なパーツだ。③～④製作途中の金型。パーツの形状はほぼ出来上がっており、ここからモールドの彫刻を行なうようだ。③はクリアーパーツとなるキャノピー部。ランナーは２つ確認できるが…？④モデルアートプロデュースのプラモデルはF-20だけじゃない‼現在製作中の金型にはエアモデル２種分の加工が施されている。気になるもう1機の詳細は追ってお知らせしよう。お楽しみに!ちなみに、こちらは雌型（キャビティー・凹部）。パーツの表面側で、この面を中心にモールドが彫刻されていく。⑤は雄型（コア・凸部）。パーツの裏側となる部分で、エジェクターピン（押し出しピン）用の穴が確認できる。

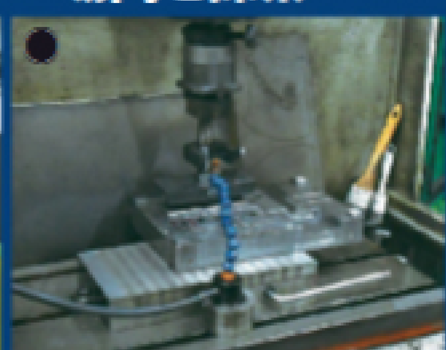
■弊社初のプラモデル開発です

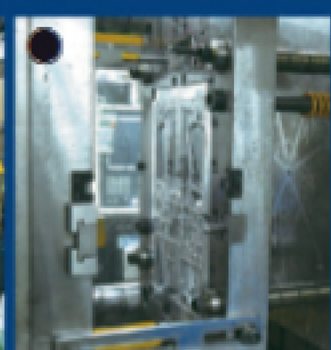
モデルアート社初のプラモデルとして「エリア88 モデリングミッション2」（2026年春発売予定）の付録である、1/144 F-20タイガーシャークを開発中。そろそろ読者の皆様にお見せできる状態まで来ましたよ!というわけで、金型の製作をお願いしているアカデミー社へ取材に伺ってまいりました。

アカデミー社はソウル近郊のウィジョンブ市に本社を構え、金型製造からパッケージングまで行なっています。当日は、開発部長のイ氏や同じく開発部のジョウン氏、海外営業チームのマーク氏との打ち合わせを終えた後、工場内の見学をさせていただきました。

肝心のキットですが、大まかなパーツ形状とランナーの外枠などが彫り上がり、モールドの彫刻と微修整を残すのみとなりました。発売に向け急ピッチで作業を進行中です。テストショットが到着次第、改めてご紹介しましょう。また、詳細はまだ明かせませんが、1/144エアモデルをもう1機開発中。どちらも良いキットに仕上がっています。どうぞご期待ください！

アカデミーの心臓部 工場内を探索!





◀▲①はマシニングセンタ。様々な先端工具を駆使し金属加工を行なう金型製造の要。②は放電加工の様子。工作物（金型）に放電加工用の電極を近づけて放電を起こすと、工作物が電極の形どおりに融解する。この作業を繰り返し金型に彫刻をしていく。③④射出成型機が並ぶ製造ライン。写真の反対側にもマシンがあり、次々とランナーが出来上がっていく。⑤こちらは金型倉庫。アカデミー社が管理する金型が万全の体制下で保管されている。⑥は自動製箱機。奥では流れ作業でパッケージングが進められていく。

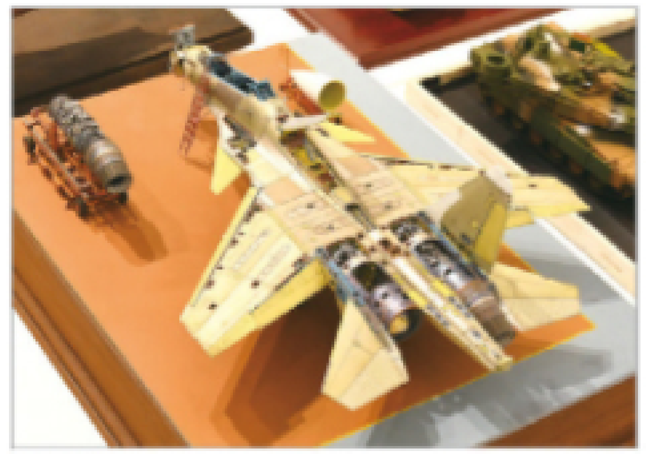
2025 アカデミーサイエンスプラモデルコンテスト







◀▲昨年は出品作品にレギュレーションが設けられていたが、今年はオールジャンルとなり作品数も大幅に増えた。右の作品は最優秀賞に輝いたハンさんの作品。車の上のテントはプラ材によるフルスクラッチだ。

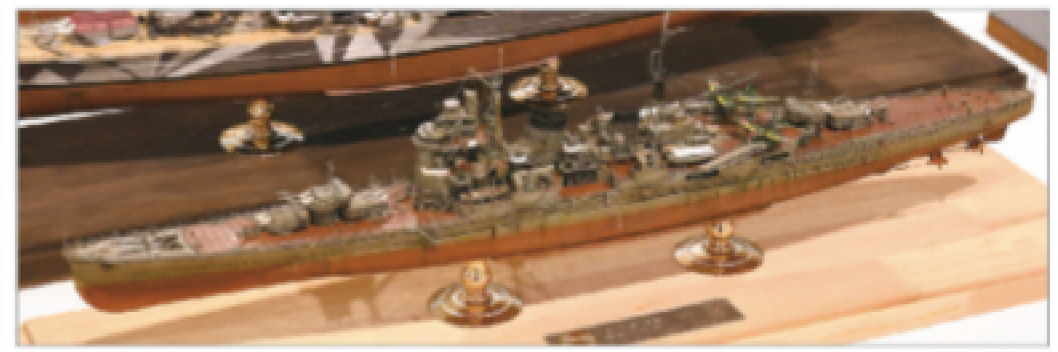




▲Netflix上で公開されたアニメ作品『KPOPガールズ！デーモン・ハンターズ』のヒロイン３人をフルスクラッチ。見事フィギュア部門賞を獲得した。







■韓国ホビーシーンをチェックです

所変わり、アカデミー社ソウルオフィスビルでは、11月15～23日にかけて第2回目となるアカデミーサイエンスプラモデルコンテストを開催。今年はオールジャンルでの開催となり、昨年以上の賑わいを見せました。特に活況だったのが韓国陸軍の現用車両で、ジョウン氏曰く『徴兵制度のある韓国では、ミリタリーモデルへの関心が高いように思います。また、徴兵の際は多くの人が陸軍*へ入営します。兵役時代に乗っていた車両を懐かしく思い、手に取る方が多いんです。』とのこと。慣れ親しんだものを作りたくなるのはモデラー共通でありますな。都市部ということもありますが若年層の模型ファンが多く、終日活気に満ちたイベントでした。

また、昨年もお邪魔したウルフモデラーズクラブの展示会が同ビルの地下1階で開催されました。こちらの詳細は次号たっぷりとお届けします。お楽しみに。

Next month's lineup
- WULF MODELERS CLUB
- Korean Model Shop
- War Memorial of Korea etc.

※大韓民国国軍約50万人の内、40万人近くが陸軍に所属する。経済借款返済の一環として、ロシア製の装備（T-80UやBPM-3Mなど）を配備する数少ない自由主義国（西側）でもある。

2026年 1~2月発売 ハセガワ新製品情報

Hobby kits

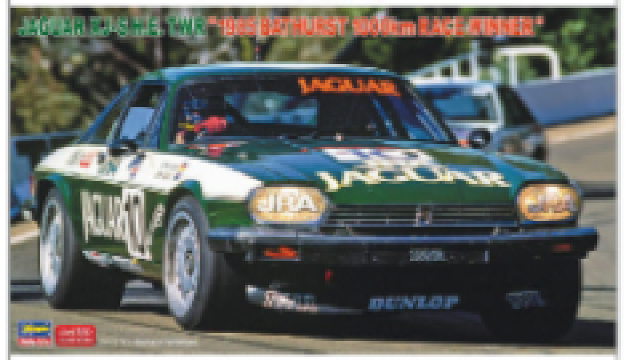
本誌ウラ表紙掲載の新製品もご覧ください

1:24 新デカール 限定生産版 2026NEW
ジャグヮー XJ-S H.E. TWR "1985 バサースト 1000km レース ウィナー"

品番：20800 発売：1月21日ごろ 価格：¥4,700（税込価格 ¥5,170）

1985年 バサースト 1000kmレース優勝車！

[ボディパーツカラー] ホワイト



【デカール】 PHOTO：Richard Whitford
1985年バサースト1000km レース 出場車（1985年10月6日）
トム・ウォーキンショー・レーシング チーム
- 優勝 CAR No.10 ドライバー：ジョン ゴス/アルミン ハーネ
- 3位 CAR No.8

1:48 新デカール 限定生産版 2026NEW
F/A-18D ホーネット "VMFA-232 レッドデビルズ 2025"

品番：07562 発売：1月24日ごろ 価格：¥7,400（税込価格 ¥8,140）

レッドデビルズ部隊創設100周年記念塗装機！

- 胴体上面のアンテナはアップデート部品をセットします。



【デカール】 PHOTO:TAKASHI SAGAWA
- アメリカ海兵隊 第232海兵戦闘攻撃飛行隊 "レッドデビルズ" 部隊創設100周年記念塗装機「WT00」（岩国基地：2025年9月）

1:48 新デカール 限定生産版 2026NEW
川崎 キ45改 二式複座戦闘機 屠龍 丁型 "飛行第4戦隊 回天制空隊"

品番：07561 発売：1月28日ごろ 価格：¥4,200（税込価格 ¥4,620）

回天制空隊の屠龍を再現！

回天制空隊は、武装を外し、後席を塞いだ特別仕様の機体でB-29への体当たり攻撃を敢行した部隊です。



【デカール】
- 飛行第4戦隊 第1回天制空隊 隊長 山本 三男三郎 少尉 乗機（山口県小月飛行場：1945年）
- 飛行第4戦隊 第1回天制空隊 所属機（山口県小月飛行場：1945年）

1:24 新デカール 限定生産版 2026NEW
三菱 ランサー GSR エボリューションIII "1995 香港-北京 ラリー ウィナー"

品番：20801 発売：1月21日ごろ 価格：¥5,200（税込価格 ¥5,720）

1995年 APRC 第5戦で優勝したマシンを再現！

MITSUBISHI MOTORS Official Licensed Product



【デカール】 PHOTO:Toshiyuki IIJIMA
1995年 アジア パシフィック ラリー選手権 第5戦 香港-北京 ラリー出場車
- 優勝 Car No.2 ドライバー：ケネス エリクソン
- 2位 Car No.3 ドライバー：アリ バタネン

1:200 限定生産版 2026NEW
川崎 C-1 "飛行開発実験団 初号機 フェアウェル 2025"

品番：10869 発売：1月24日ごろ 価格：¥2,800（税込価格 ¥3,080）

2025年3月に退役した銀塗装の初号機を再現。



【デカール】 PHOTO:HAJIME ISHIHARA
- 航空自衛隊 飛行開発実験団 所属機「001」（岐阜基地）

1:12 新規レジン製フィギュア 限定生産版
12たまごガールズ コレクション No.50 "ハク リンファ"（水着）

品番：SP674 発売：1月31日ごろ
価格：¥5,000（税込価格 ¥5,500）

競泳水着姿のハク リンファを立体化！



イラスト：藤沢 孝 氏 ※イラストはイメージです。
- フィギュアの原型製作は、つるぎ だん 氏が担当。

【デカール】 ●瞳デカール

1:350 限定生産版 新価格 2026NEW
日本海軍 軽巡洋艦 酒匂

品番：40125 発売：1月21日ごろ 価格：¥15,200（税込価格 ¥16,720）

大戦末期に竣工した阿賀野型4番艦「酒匂」を再現！

- 独自形状の航空甲板はエッチングパーツで精密に再現。



【製品仕様】
- 第11水雷戦隊 旗艦 対空兵装強化後（1945年）
- 第11水雷戦隊 旗艦（1944年12月）

1:72 限定生産版 新価格 2026NEW
F-14B トムキャット "VF-103 ジョリー ロジャース" w/ハイディテール ノズルパーツ

品番：SP673 発売：1月28日ごろ 価格：¥5,600（税込価格 ¥6,160）

ハイディテールなエンジンノズルが付属！



【3Dプリント部品】 PHOTO:TETSUJI UENO
- エンジンノズル（開状態）×2

【デカール】
アメリカ海軍 空母USS ジョン F. ケネディ搭載 第103戦闘飛行隊 "ジョリー ロジャース"（2004年）
- 飛行隊長機「AA103」 ●CAG機「AA100」

1:12 新規レジン製フィギュア 限定生産版
12リアルフィギュア コレクション No.45 "バニーコスプレ"

品番：SP676 発売：2月4日ごろ
価格：¥5,000（税込価格 ¥5,500）

かわいさ満点！ セクシー＆キュートなもこもこバニーを立体化♡

2026NEW



- フィギュアの原型製作は、バーミリオン 氏が担当。

※画像は製作中のCGです。

- 完全新金型：新規に金型を開発した完全新企画のアイテムです。 ●新金型追加：一部の部品に、新規金型を開発したアイテムです。
- 限定生産：生産数を限定したアイテムです。ご購入はお早めに。 ●新デカール：新規開発のデカールにより再現されたアイテムです。
- 輸入商品：ハセガワによる輸入取り扱い商品です。 ●特別仕様：新デカールに加え、プラ、レジン、金属パーツなどを追加したアイテムです。

接着剤が別途必要となります。
- プラ部品：プラモデル用接着剤
- レジン・エッチング部品：瞬間接着剤

輸入新製品情報

日本総輸入代理店：株式会社ハセガワ

日本国内で発売される新製品をご紹介します。輸入品の最新情報はウェブサイトでもチェックできます。

Zimiモデル 新製品

1:35 輸入商品 2026NEW
AH-6J リトルバード ナイトストーカーズ

品番：ZM50001 発売：2026年1月以降予定 価格：¥9,700（税込価格 ¥10,670）



- 金属製バレル付属 ●エッチングパーツ付属 ●クリアパーツ付属 ●デカール3種付属

1:35 輸入商品 2026NEW
MH-6J リトルバード ナイトストーカーズ

品番：ZM50002 発売：2026年1月以降予定 価格：¥9,700（税込価格 ¥10,670）



- メインローターハブを3Dプリント部品で再現 ●エッチングパーツ付属 ●クリアパーツ付属 ●デカール付属

1:35 輸入商品 2026NEW
ストライカー M1296 ICV-Dragoon

品番：ZM35045 発売：2026年1月以降予定 価格：¥6,800（税込価格 ¥7,480）



ボーダーモデル社 新製品

1:35 輸入商品 完全新金型 2026NEW
WWII ドイツ爆撃機 ハインケル He111H-6

品番：BF018 発売：2026年2月以降予定 価格：¥31,500（税込価格 ¥34,650）



- エッチングパーツ付属 ●マーキング4種選択式 ●クリアー部品付属
- エンジン、コックピット、内装をフルインテリアで再現
- MG15機銃を再現した機体上部銃座 ●SC250爆弾、SC1000爆弾、LT F5b魚雷付属

1:35 輸入商品 新規レジン製フィギュア 2026NEW
ドイツ爆撃機 He111パイロットクルー 5体セット（戦闘配置）

品番：BR008 発売：2026年1月以降予定 価格：¥9,300（税込価格 ¥10,230）



1:35 輸入商品 新規レジン製フィギュア 2026NEW
ドイツ爆撃機 He111パイロットクルー 5体セット（地上待機）

品番：BR009 発売：2026年1月以降予定 価格：¥9,300（税込価格 ¥10,230）



株式会社 ハセガワ
〒425-8711 静岡県焼津市八楠3-1-2 TEL（054）628-8241 FAX（054）627-8046

- ハセガワの製品・輸入品は、全国の模型取り扱い店にてお買い求めいただけます。
- 表示の価格は標準小売価格です。 ● 製品の仕様、価格、発売時期は一部変更になる場合がございます。

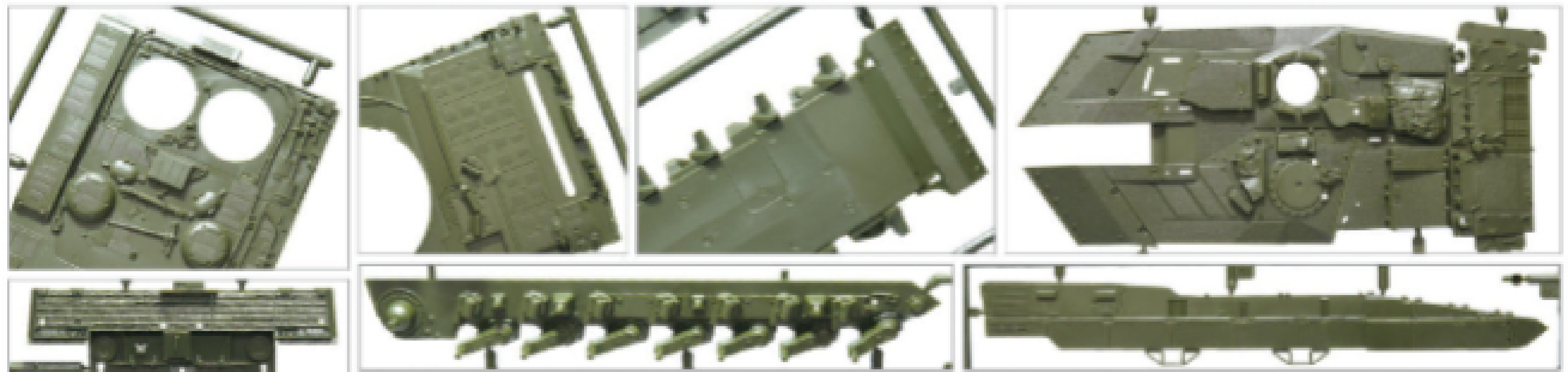
Let's check it!
最新・詳細情報はウェブサイトで

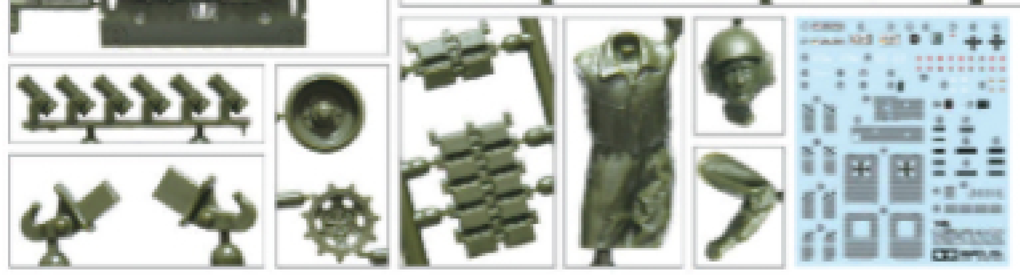
ハセガワ公式ウェブサイト www.hasegawa-model.co.jp/
ハセガワ公式SNS https://x.com/hasegawa_model
ハセガワ営業部SNS https://x.com/hasegawa_sales

PICK UP

タミヤ1/48MMシリーズに初のドイツ連邦車両が登場!







❶ドイツ連邦軍主力戦車 レオパルト2 A7V❷タミヤ1/48❸3,630円❹1月24日頃発売予定❺完全新設計。履帯は片側8パーツとパーツ点数を抑えつつも実感豊かに再現。OVMの一部や砲塔天板の防水シートは車体と一体成型。車体各所の滑り止めも見事な仕上がりとなっている。牽引ワイヤーは1/35と同様にプラパーツのものをセット。砲塔側面バスケットのメッシュはデカールで表現する。フィギュア1体付き❻タミヤ

ベルファインより1/72 ダークスターのインジェクションキットが登場!







❶ダークスター プラスチックモデルキット❷ベルファイン1/72❸7,480円❹発売中❺映画『トップガン マーヴェリック』に登場する米海軍の極超音速有人航空実験機ダークスターを完全新金型でモデル化。ターボジェットエンジンとスクラムジェットエンジンを切り替えるスプリッターは可動式。キャノピーと主脚は差し込み式で、完成後も開閉と飛行/駐機状態を組み換え可能。また、キャノピーはクリアー成型のものと、フレームとクリアーパーツを分割した2種を用意する。コーションマークなどのデカールも付属。無塗装でも作中の雰囲気を楽しむことが出来る❻ベルファイン

1/32 楽プラ スナップキット最新作!
『頭文字D』より真子のシルエイティと涼介のFCが登場!

※画像はテストショットです。実際の製品とは異なります。







❶頭文字D 真子のシルエイティ❷アオシマ1/32❸2,860円❹発売中❺完全新金型。碓氷峠をホームとする走り屋、佐藤真子のマシンをモデル化。リアガラスは3面一体のクリアーパーツで、リアクォーターウィンドウの黒セラはシールで再現。タイヤと別体のホイールは塗り分けに合わせ、ホイールリムとホイールディスクの2パーツ構成。マフラーやライト鏡面、ホイールリムはメッキパーツとなる。初回生産特典として、つながる!『峠』ジオラマペーパークラフトが付属する❻青島文化教材社



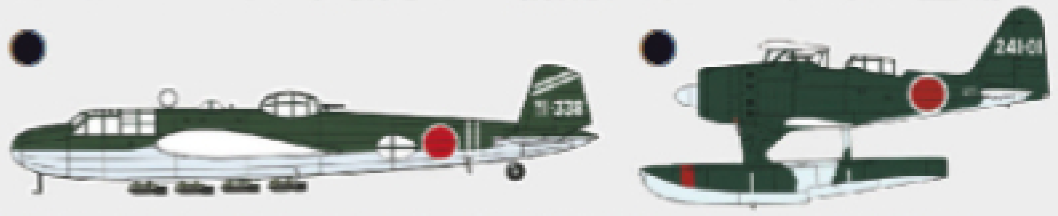




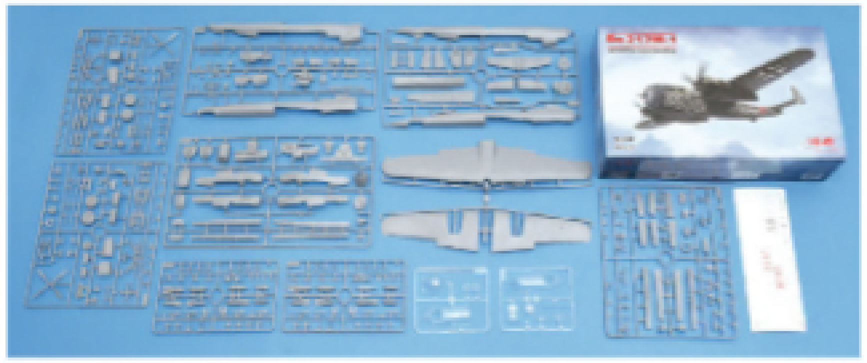
❶頭文字D 涼介のFC❷アオシマ1/32❸2,860円❹発売中❺完全新金型。フロントリップスポイラーやホイール、カスタムステアリングなど、劇中の仕様を再現。リトラクタブルライトは開閉選択式。ホイール、マフラーなどはメッキパーツを用意。また、「RedSuns」や「RE garage」などのステッカーを再現したシールが付属する。初回生産特典のつながる!『峠』ジオラマペーパークラフトをセット❻青島文化教材社



飛行開発実験団創設70周年スペシャルマーキング機などの新規デカールキットが登場!

Ⓐ❶F-15Jイーグル "飛行開発実験団 創設70周年記念塗装" ❷1/72❸4,620円
Ⓑ❶三菱 G3M3 九六式陸上攻撃機23型 "第755航空隊" ❷1/72❸3,960円
Ⓒ❶三菱 F1M2 零式水上観測機11型 "大和搭載機" ❷1/48❸4,070円
❹Ⓐ2月26日頃発売予定ⒷⒸ2月28日頃発売予定❻ハセガワ



❶ドルニエ Do217M-1 ドイツ爆撃機❷ICM 1/48❸18,150円❹発売中❺バリエーションキット。キャノピーや胴体などを新規パーツで追加し、K型より改められた機首形状などを詳細にモデル化。爆弾倉は開閉選択式で、内部の爆弾も用意する。マーキングは蛇行迷彩機4種から選択可能❻ハセガワ




❶AH-6J リトルバード ナイトストーカーズ❷Zimiモデル1/35❸10,670円❹1月以降発売予定❺成型品はキティホーク製。第160特殊作戦航空連隊機を再現。GAU-19やM134用の金属砲身をセット。シートベルトや弾帯などのエッチングパーツが付属する❻ハセガワ



❶F-35B ライトニングII "アメリカ海兵隊 VMFA-242 バッツ" ❷アカデミー1/72❸4,620円❹発売中❺新規デカールキット。2025年岩国基地フレンドシップデーにてお披露目されたVMFA-242のスペシャルマーキング機を再現。RAMコーティング用のデカールもセットする❻インターアライド



❶RWD-13「ポーランド」❷RSモデル1/72❸6,270円❹2月以降発売予定❺完全新金型。マーキングはポーランド空軍機を含む4種から選択可能。シートベルト用のデカールをセットする❻ハセガワ

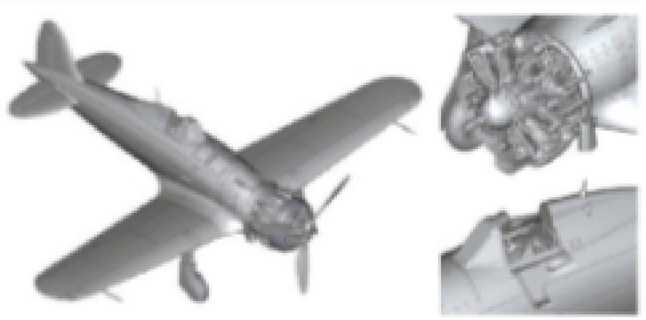


❶クフィール C2/C7❷アカデミー1/72❸3,960円❹1月発売予定❺AMKのクフィルがアカデミーパッケージで登場!マーキングはコロンビア空軍機、米国民間アドバーサリー機(ATAC)を含む5種をセットする❻インターアライド



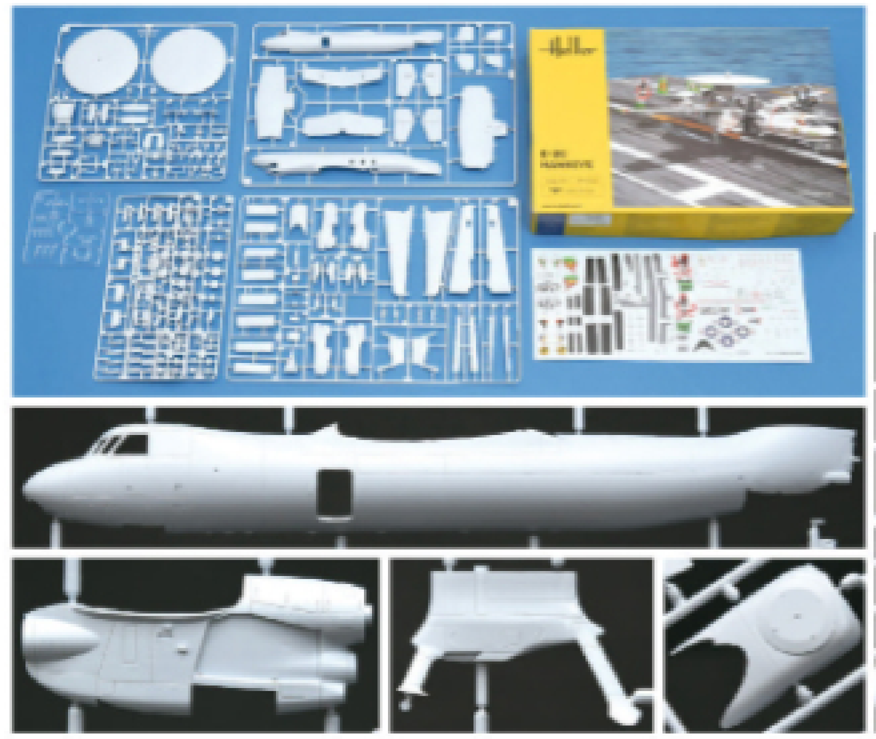
❶航空自衛隊 F-86F-40 セイバー❷モノクローム1/48❸4,620円❹1月発売予定❺-40用の主翼の新規パーツを追加。マーキングは1SQ、4SQ、5SQ、6SQ各1種と8SQ所属機2種(1967年/1979年)、百里基地雄飛園展示機の計7種をセット❻インターアライド

イタレリ1/32サエッタの発売迫る!

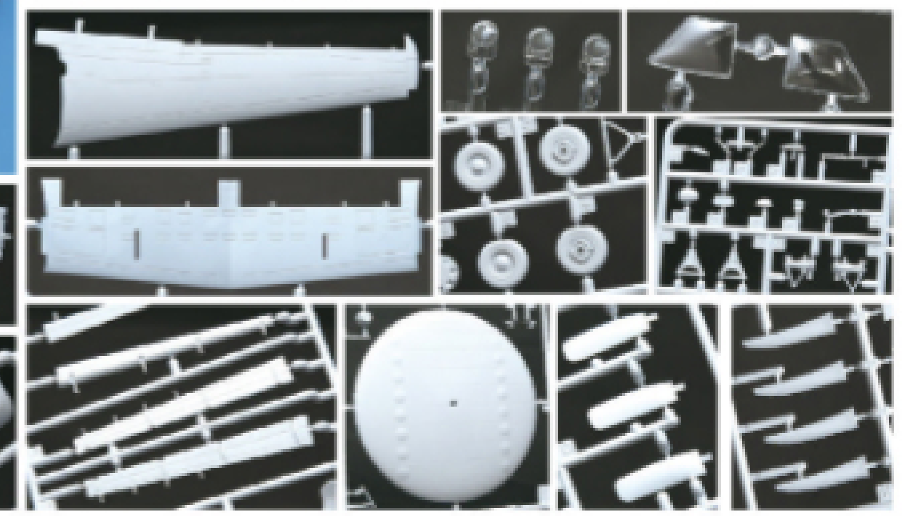



❶イタリア空軍 マッキ MC.200(日本語対訳補足説明書付属)❷イタレリ1/32❸19,800円❹1月発売予定❺完全新金型。コクピットやエンジン架、エンジン周辺の補器類なども詳細にモデル化。主翼と胴体の留め具などの細部はエッチングパーツで再現する。計器盤用の3Dデカールと、特徴的な迷彩模様を手軽に再現できる大判デカールをセット。マーキングは伊空軍機6種から選択可能❻プラッツ

待ちに待った!エレールのE-2Cが遂に発売開始!!



❶アメリカ海軍 E-2C ホークアイ❷エレール1/72❸10,890円❹発売中❺完全新金型。スケール相応の雰囲気の良いモールドがポイント。全長24.4㎝、34㎝と大柄なキットだが、十分強度に配慮された設計となっている。主脚やアレスティングフックなども繊細な仕上がり。主翼の折り畳み/展張や、プロペラの枚数(4枚翅/8枚翅)、昇降ドアの開閉などを選択可能。マーキングは米海軍VAW-115所属機(厚木基地 2017年)をセットする❻プラッツ



エイチエムエーの人気キットが再登場!



※本誌2022年4月号掲載作例

❶MiG-31 フォックスハウンド❷エイチエムエー1/144❸3,300円❹2月発売予定❺完成時全長約15.5㎝とコンパクトかつ控えめなパーツ数ながら、エンジンやノーズコーン内のレーダーまで精密に再現。脚庫扉は閉状態のパーツも用意され、飛行姿勢でも製作可能。着座姿勢のパイロット2体をセット。デカールにはソビエト/ロシア空軍の国籍マークと機体番号を収録する❻エイチエムエー

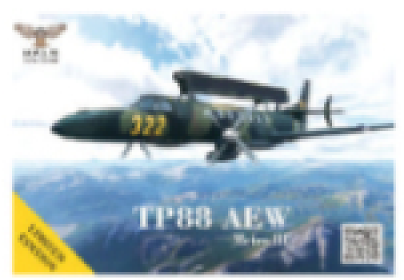
細部の作り込みは3Dプリントパーツにお任せ!



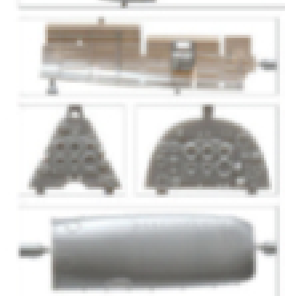
❶アビア S-199(エルラキャノピー)ハイブリッドエディション❷エデュアルド1/48❸9,900円❹発売中❺インジェクションパーツは最低限に抑え、コクピットや脚庫、主脚、排気管などの3Dプリントパーツを多数セット。組み立てやすさとディテールを最新テクノロジーで両立させた注目キットだ。主脚タイヤと尾輪はレジン製パーツ。マーキングはチェコスロバキア空軍機とイスラエル空軍機各3種の計6種をセット❻ウィリング、GSIクレオス、ビーバーコーポレーション



❶P-47D-11RE サンダーボルト ベーシックキット❷ミニアート1/48❸8,250円/9,900円❹発売中❺バリエーションキット。新規パーツを追加し、レイザーバックタイプをモデル化。マーキングは62FSと379FSの2種から選択可能❻GSIクレオス/プラッツ

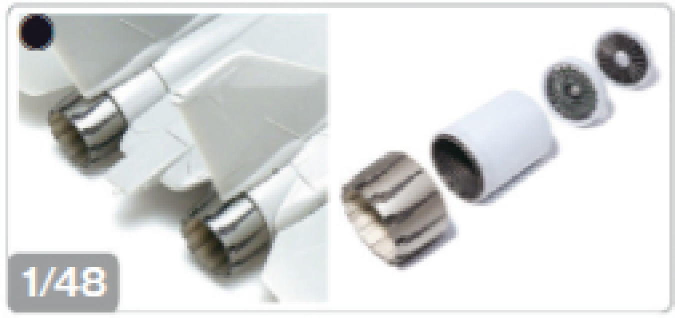


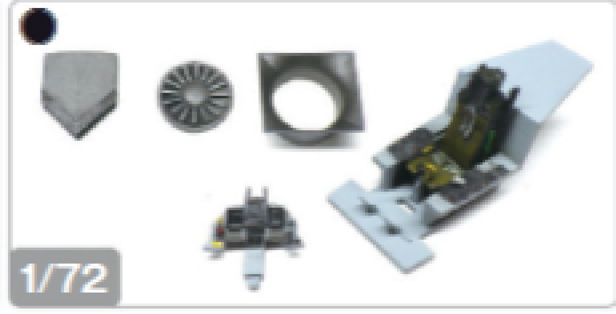
❶TP88 AEW 試作早期警戒機❷ソヴァーM 1/72❸14,850円❹1月発売予定❺完全新金型。SA-226ACをベースに開発された試作早期警戒機をモデル化。キャノピー塗装用のマスクシールをセットする❻ウィリング、ビーバーコーポレーション

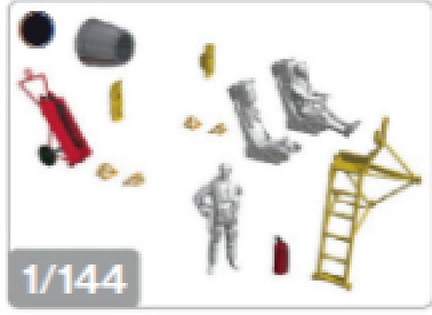



❶スーパーマリーン スピットファイア Tr.9❷エアフィックス1/48❸6,930円❹発売中❺完全新金型。Mk.IXを改修し製造された複座練習機で、1/48では初のキット化。カウリング上部パネルはスライド金型を使用し優美なラインを追求。キャノピーは開閉選択式で、キャノピー取り付け用の治具をセット。マーキングはアイルランド空軍所属機を含む3種から選択できる❻GSIクレオス

AIR MODEL

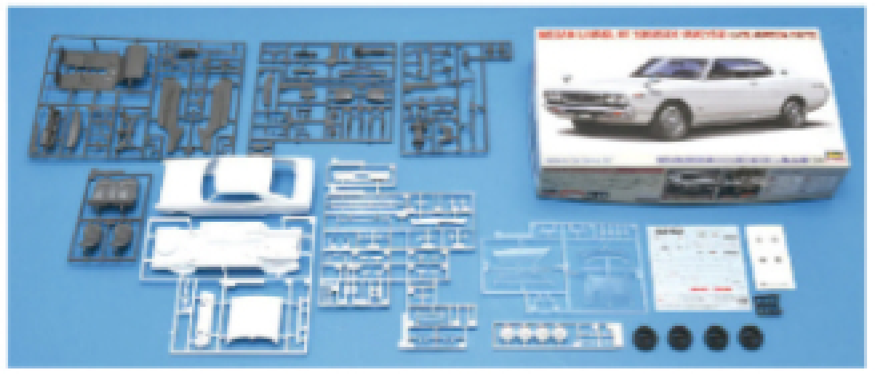






Ⓐ❶F-14Dエンジン　Ⓑ❶YF-23ディテールセット
Ⓒ❶JAS39 グリペンディテール
❷モデリンクⒶ1/48Ⓑ1/72Ⓒ1/144❸Ⓐ3,850円Ⓑ3,190円Ⓒ3,025円❹1月発売予定❺いずれも3Dプリント製ディテールアップパーツセット。ⒶⒷのデータ設計はV1modelsが担当。ⒸはMach3 Models。ⒶF110エンジン2本をセット。最低限の工作で精密感を高めることが出来る。Ⓑコクピットとエンジンを再現。コンソールやシートベルトなどのモールドも繊細な仕上がり。Ⓒノズル、シート、パイロットに加え、乗降ラダーやメンテナンス機材を多数セット。ジオラマの製作にうってつけの内容となっている。また、ノズルは電飾工作がしやすい構造となっている❻モデリンク

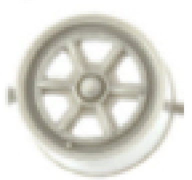
AUTO MODEL



❶ニッサン ローレル HT 2000SGX（KHC130）後期型（1973）❷ハセガワ1/24❸3,630円❹発売中❺完全新金型。ブタケツローレルの最上位グレードSGX後期型をモデル化。流麗なボディラインや立体感豊かなシャシー裏、ゴージャスな内装など、細部まで見事な仕上がり。通常車高とローダウンを選択可能。窓の塗り分けシール付き❻ハセガワ



❶ニッサン スカイライン RSターボ（DR30）"1986 JTC チャンピオン"❷ハセガワ1/24❸3,740円❹2月21日頃発売予定❺トランクフードやダッシュボード、バケットシート、ホイールなどの新規パーツを追加。1986年JTCチャンピオンのニスモチームNo.23を再現する❻ハセガワ





Ⓐ❶ランチア 037 ラリー "1985 ラリー リモーネ ウィナー"
Ⓑ❶トヨタ セリカ ターボ 4WD "1994 カタルニア ラリー ウィナー"
❷ハセガワ1/24❸Ⓐ4,400円Ⓑ5,500円❹2月18日頃発売予定❺新規デカールキット。ボディパーツの成型色は共にホワイト。Ⓐ1985年IRCラリー優勝車のNo.7をモデル化。Ⓑ1994年 世界2ℓラリー選手権 第7戦優勝車 No.10を再現する❻ハセガワ　※Ⓐのキットは実車と一部仕様が異なります。



Ⓐ❶BMW 320 E21 ターボ Gr.5 1980 DRM ゾルダー ウエスト ファーレンカップ ウィナー
Ⓑ❶BMW 320 E21 ターボ Gr.5 1980 DRM ゾルダー ウエスト ファーレンカップ ウィナー用ディテールアップパーツ
❷プラッツ/BEEMAX 1/24❸Ⓐ5,280円Ⓑ3,080円❹発売中❺Ⓐ完全新金型。1980年代のドイツツーリングカー選手権で活躍したシルエットフォーミュラマシンをモデル化。エクステリアの再現にこだわったキットで、太ぶりなオーバーフェンダーやフロントエアダム、リアウイングなどスパルタンなスタイルを見事にモデル化。また、ロールバーが張り巡らされたインテリアも抜かりない仕上がりとなっている。マーキングはDRM第10戦でクラス優勝を果たしたNo.55をセット。窓枠塗り分け用のマスキングシートが付属する。Ⓑは専用ディテールアップパーツセット。ボンネットピンやブレーキディスク、メッシュなどのエッチングパーツとシートベルト用のリボン素材などを収録する❻プラッツ



❶S15 シルビア'99 エアサスカスタム（ニッサン）❷アオシマ1/24❸4,620円❹3月発売予定❺人気キットに新規構シャシーを組み合わせたエアサスカスタムシリーズの第3弾。完成後も車高とキャンバー角、ステアリングを変更可能。気分に合わせたスタリングを楽しむことが出来る。また、新規ホイール（RAYS CE28N plus 18インチ）をセットする❻青島文化教材社



❶プレリュード（BF1）フルセット❷アク・ステオン1/24❸5,940円❹発売中❺タミヤ用ディテールアップパーツセット。フロントインテークメッシュやワイパー、ナンバープレート、スピーカーメッシュ、シートベルトバックルといったエッチングパーツにシートベルト用布素材やステンレス製のエアーバルブ、LED用反射板ボックスを収録。各ディテールをよりシャープに仕上げることが出来る。上級者向け❻アク・ステオン

AUTO MODEL





Ⓐ❶ヤマハ FZR750R（OW01）Ⓑ❶マツダ サバンナ RX-7
❷タミヤⒶ1/12Ⓑ1/24❸Ⓐ4,180円Ⓑ3,520円❹Ⓐ12月13日頃発売予定Ⓑ1月24日頃発売予定❺Ⓐヤマハのレーステクノロジーを結集した最高峰マシンが再登場。フロントカウルは一体成型のクリアーパーツで用意。デカールは高品質なカルトグラフ製。また、実車写真を収録したリーフレットを用意する。Ⓑ26年ぶりの再生産。モーターライズ時代のキットながら、足回りやインテリアも実感豊かにモデル化。サンルーフとリトラクタブルヘッドライトは完成後も開閉可能。エンブレムなどの新規デカールと、クォーターウインドウ用のマスクシールをセットする。ドライバーのフィギュア1体付き❻タミヤ

懐かしの名車を支えたタイヤを精密再現



❶オールデイズタイヤ・ホィールセット TYPE A❷スタジオミド1/24❸3,630円❹発売中❺1960年代のレーシングカーに装着されていたタイヤとホイールをモデル化。タイヤ、ホイール、スピンナーをセットし、トレッドパターンも繊細な仕上がり。対応車種はR381、382など❻スタジオミド

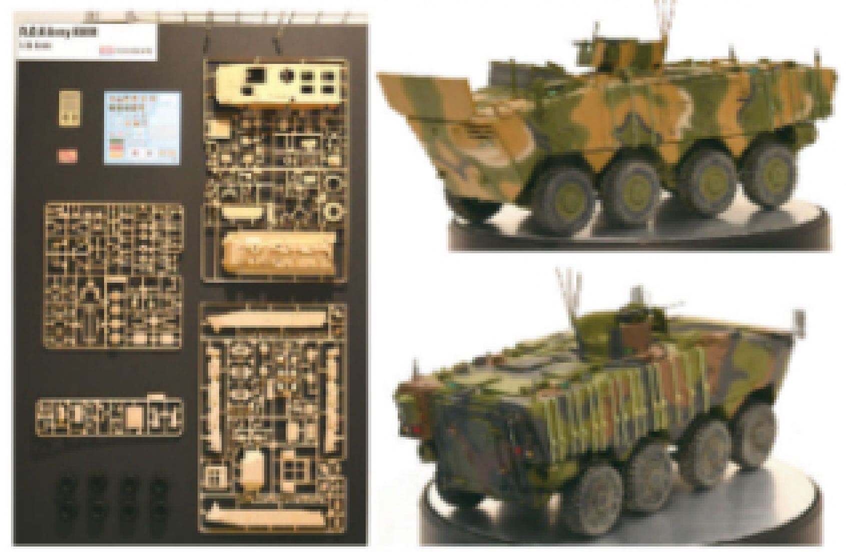
オールデイズタイヤ・ホィールセットは全8種をラインナップ！



▲トレッドパターンや各部寸法にこだわった珠玉のタイヤセット。詳細は右のQRコードからチェック！

AFV MODEL

アカデミーより韓国陸軍現用車両が登場！



❶装甲兵員輸送車 K808 ペクホ❷アカデミー1/35❸5,280円❹2月発売予定❺K200装甲兵員輸送車の後継車両として開発された装輪式装甲車を完全新金型でモデル化。パーツ点数を抑えつつも複雑な足回りやシャープな車体形状を再現。機関室上部やハイドロジェット用メッシュなどのエッチングパーツが付属する。K808を配備する韓国陸軍各歩兵師団のデカールとペリスコープ用の偏光シールをセット❻インターアライド



❶III号戦車 N型 "北アフリカ戦線"❷アカデミー1/35❸6,380円❹発売中❺バリエーションキット。7.5cm KwK 37 L/24を搭載した火力支援用戦車をモデル化。キットはL型ベース車両を再現しており、渡渉能力を向上させるために追加された円筒形排気マフラーや吸気口防水カバーに加え、シュルツェンなどもパーツ化。砲塔上部のジェリカンラックや吸気口グリル、チェーンなどのエッチングパーツをセットする。マーキングは北アフリカ戦線2種、東部戦線2種、イタリア戦線1種の計5種から選択可能❻インターアライド



Ⓐ❶イギリス チャレンジャー 2 増加装甲型
Ⓑ❶イギリス チャレンジャー 2 イラク戦争仕様 テリック作戦
❷ホビーボス1/48❸各8,580円❹1月発売予定❺共にバリエーションキット。Ⓐは車体後部のスラットアーマーやERAを装備した姿を再現。ⒷはERAや複合装甲を追加した砂漠地帯仕様をモデル化する❻童友社

クラシックベンツの通信兵仕様です



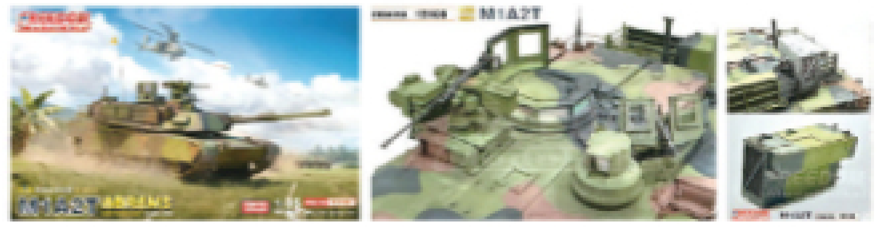
❶Kfz.2 ドイツ軍通信車 170VK型❷ミニアート1/35❸6,600円/8,800円❹3月発売予定❺バリエーションキット。メルセデス ベンツ170VKの軍用型を再現。エンジンやサスペンションをはじめ、後部座席に設置された通信設備や後部トランクなども詳細にモデル化。ワイパーやフロントグリルなどのエッチングパーツが付属する❻GSIクレオス/プラッツ

AFV MODEL

久しぶりのキット化です



❶**M50 Mk2 スーパーシャーマン（M4A4車体 HVSS）通常版**❷ライフィールドモデル1/35❸12,760円❹12月発売予定❺バリエーションキット。M4戦車にフランス製の61.5口径75㎜戦車砲CN-75-50を搭載し開発されたM50モデル化。キットはディーゼルエンジンに換装し、機関室上部に排気装置を取り付けた第四次中東戦争以降のタイプを再現する。マズルブレーキや車載機銃、スモークディスチャージャーなどは3Dプリントパーツで用意する。サスペンションと履帯は可動式。ライトガードなどのエッチングパーツ付き。また、フェンダーや雑具箱などのエッチングパーツと3Dプリント製のジェリカンなどを収録した**M50 Mk2 スーパーシャーマン（M4A4車体 HVSS）アップグレード版**（18,810円）も同時期発売予定❻ビーバーコーポレーション



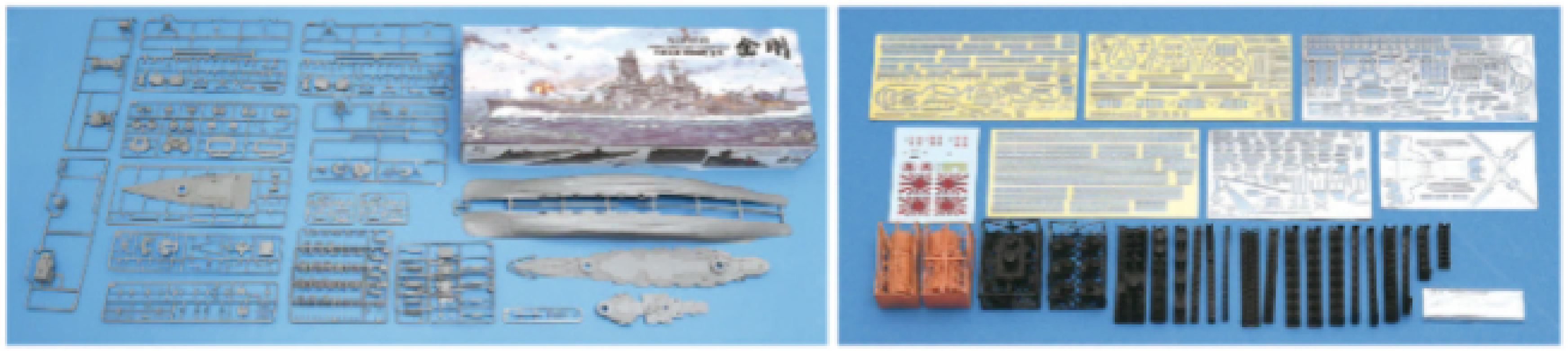
❶**M1A2T エイブラムス 主力戦車 中華民国陸軍 漢光軍事演習 2025年（限定版）**❷フリーダムモデルキット1/35❸14,630円❹12月発売予定❺ライフィールドモデル製の成型品にACPSなどの3Dプリントパーツをセットし、M1A2SEPv2をベースとした台湾輸出仕様を再現。砲塔バスケットのメッシュなどのエッチングパーツをセット。履帯は連結可動式❻ビーバーコーポレーション

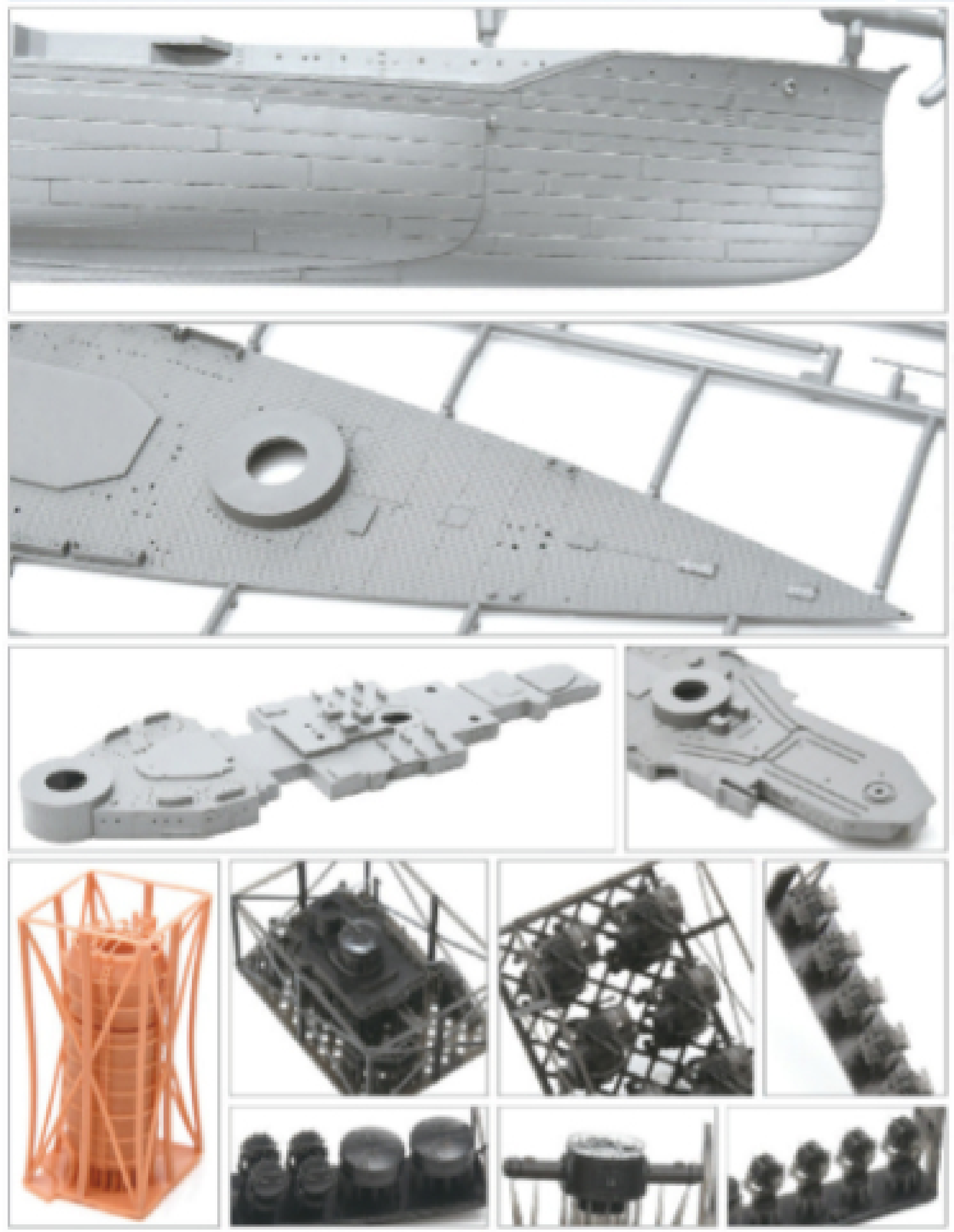


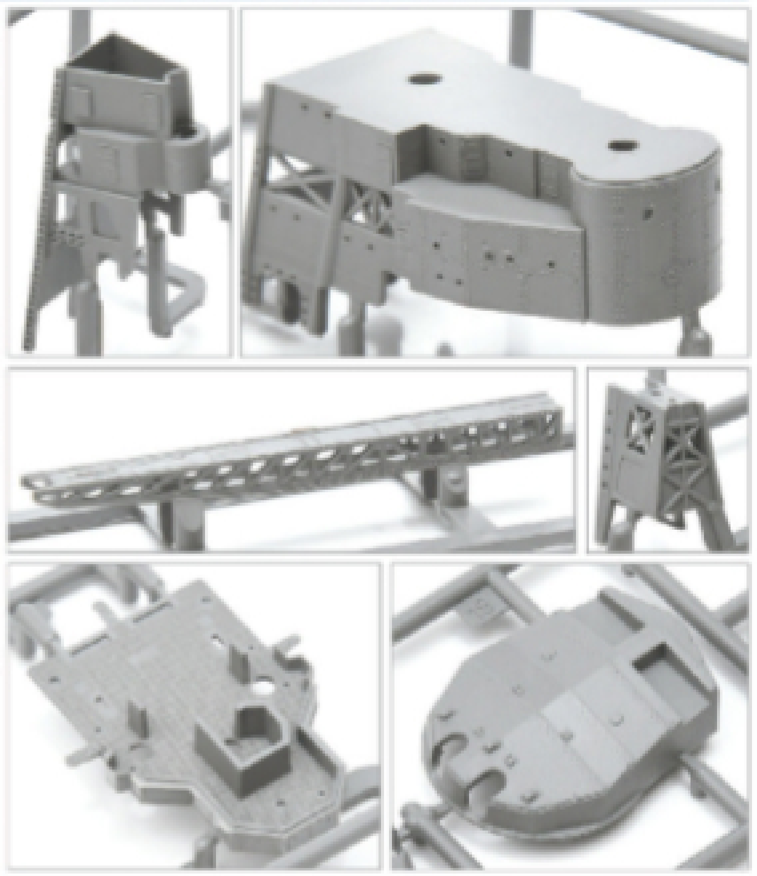
❶**Sd.Kfz.251/1 Ausf.D 装甲兵員 輸送車型 後期型**❷ヴェスピッドモデル1/35❸10,010円❹11月発売予定❺成型品はスノーマンモデル製。エンジンやトランスミッションなども詳細に再現。車間指示棒などの金属パーツとクランプなどのエッチングパーツをセットする❻ビーバーコーポレーション

SHIP MODEL

ボーダーモデル艦船模型第2弾の1/350「金剛」が登場！







❶**日本海軍 高速戦艦 金剛"レイテ沖海戦"**❷ボーダーモデル1/350❸32,780円❹発売中❺完全新金型。スライド金型をふんだんに使用した贅沢なランナー構成が特徴。各モールドはクッキリとした濃いめの味付けで、メリハリのある仕上がりを楽しむことが出来る。艦橋、煙突、砲身基部のキャンバスカバー、パラベーン、伝声管付望遠鏡、スピーカー、双眼鏡、ホーサーリール、測距儀、水上機運搬用レール、サーチライトなど、艦上構造物の多くを3Dプリントパーツで再現。副砲指揮所の基部はインジェクションパーツとエッチングパーツから選択可能。手摺りやタラップ、クレーンなど、艦船模型ではお馴染みのエッチングパーツも多数セット。金属砲身と錨鎖用の金属チェーン付き❻ハセガワ

DEMONO HATSUMONO

SHIP MODEL

超精密3Dプリントパーツでディテールを底上げ！



Ⓐ❶**日本海軍 雪風 1945天一号作戦 ディテールアップセット（タミヤ/ハセガワ用）**
Ⓑ❶**大和 ディテールアップセット天一号作戦A（仮）**
Ⓒ❶**大和 ディテールアップセット天一号作戦A（仮）**
❷バンカースタジオⒶ1/350ⒷⒸ1/700❸Ⓐ3,520円ⒷⒸ未定❹Ⓐ発売中ⒷⒸ未定❺3Dプリント製ディテールアップパーツセット。手摺りや砲身まで一体で成型。切り出して取り付けるだけで精密感を向上させることが出来る。細部の塗り残しが目立ちにくい黒い成型色なのも嬉しい。繊細なパーツが多いためサポートの切り離しは慎重に❻ビーバーコーポレーション



❶**海上自衛隊 掃海艇 やしま型**❷紙でコロコロ1/700❸2,200円❹発売中❺レジンキット。フルハル/洋上モデルを選択可能。米国から供与されたブルーバード級掃海艇である「やしま」をモデル化。艦名と艦番号のデカールをセット。台座付き❻紙でコロコロ



❶**アメリカ空軍アンダーセン基地**❷ピットロード1/700❸6,490円❹1月発売予定❺米空軍の一大拠点であるグアムのアンダーセン基地をイメージしたジオラマセット。B-1B、B-2A、B-52Hなどの航空機に加え、掩体壕や管制塔、格納庫などのストラクチャーをセット。飛行場情景ペーパーベース（18×28㎝）4枚入り❻ピットロード

OTHER

ソフビレガシーにバーニングゴジラとウルトラマンが仲間入り！



❶**ゴジラ 1995**❷ソフビレガシー/南国堂❸9,680円❹1月1日発売予定❺ソフトビニール製組み立てキット。映画『ゴジラVSデストロイア』に登場した通称「バーニングゴジラ」をモデル化。造型スタッフとして参加した若き日の酒井ゆうじ氏が、その経験と貴重な資料を基に造型した作品で、躍動感溢れる魅力的な造形となっている❻海洋堂高知/南国堂



❶**ウルトラマン（Cタイプ）**❷ソフビレガシー/南国堂❸7,700円❹1月1日発売予定❺ソフトビニール製組み立てキット。端正な顔立ちとマッシブな体型が特徴のCタイプを再現。しっかりとしたデッサン力が持ち味の造形作家、田熊勝夫氏が手掛けた作品で、リアル志向の玄人が喜ぶような至極の造形となっている❻海洋堂高知/南国堂

グローサーフント武装強化型3機種が好評につき再登場！



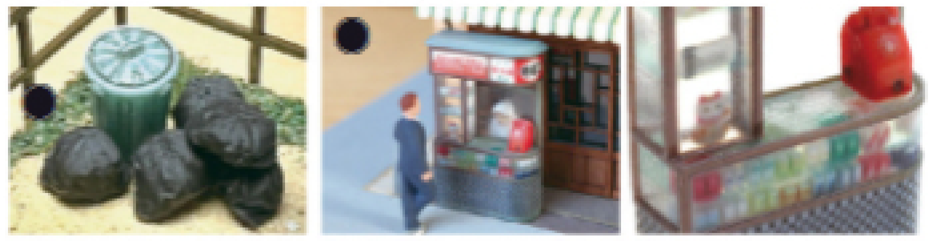


❶**マシーネンクリーガー ファイナルフントセット&ジェリ缶おじさん**❷海洋堂1/35❸6,820円❹3月頃発売予定❺グローサーフントの武装強化型であるダックスフント（成型色:ダークグリーン）、マスカレード（レッドブラウン）、キュクロープ（ダークイエロー）の3体をセット。頭部と肘は角度を変更して組み立て可能で、動きのあるポージングを楽しむことが出来る。『S.F.3.D.』に登場したジェリ缶おじさんのフィギュア1体が付属。ナンバーや部隊マークなどのマーキングを多数セットする❻海洋堂



Ⓐ❶愛しのエリー　Ⓑ碧　Ⓒ❶魔法の壺の精霊ジニー
❷福田工芸Ⓐ約22.2㎝（台座を含む）Ⓑ1/6Ⓒ1/12❸Ⓐ6,000円ⒷⒸ8,000円❹Ⓐ発売中Ⓑ近日発売予定❺いずれもレジンキット。Ⓐ船上のウエイトレスをフィギュア化。トレイ上のアイテムはビール、ワイン、ハンバーガー、七面鳥より選択可能。エプロンはペーパー製。Ⓑピンナップをモデルに立体化。絶妙なポージングが堪らない逸品。Ⓒはアラビアンナイト風の美少女。壺と少女は金属線で接続する。綿などで煙を再現すると良いだろう。フィギュアと壺の別売も可能（各4,000円）❻福田工芸

梅桜堂 3Dプリント製アクセサリーパーツ



Ⓐ❶ゴミ袋❷1/83、1/150❸1/83：1,100円、1/150：990円
Ⓑ❶たばこ屋カウンターA❷1/83、1/150❸1/83：1,540円、1/150：990円
❹発売中❺共に1/83と1/150の2スケールを展開。ⒶはUVレジン製3Dプリントパーツ。黒いレジンを使用しているため、塗装せずにそのまま使用可能。1/83はゴミ袋5パターン各2袋の計10個入り。1/150は5パターン各4個の計20個入り。Ⓑフルカラー3Dプリント製。赤電話やショーケースの中身まで精密に再現。ストラクチャーと組み合わせることで懐かしいたばこ屋の情景を作ることが出来る❻梅桜堂



Ⓐ❶HGマイクロスクレーパーセット【スクレーパー３種+グリップ（緑）】
Ⓑ❶電動ルーター用ダイヤモンドビット【円盤型】３本組
❷ウェーブ❸Ⓐ4,180円Ⓑ1,485円❹発売中❺ⒶはRラインに刃付けをした小型のスクレーパー。対象に点で当ててピンポイントに切削したり、刃幅全体を使用して丸くへこんだ凹状態に削ったりとマルチに活躍可能。刃幅の異なる３種をセットする。Ⓑゆるやかなカーブが特徴の円盤型ダイヤモンドビット。リューターに装着することで奥まった平面部の研磨を行なうことが出来る。ビットの粒度は#180相当で、軸径は2.35㎜。直径の異なる３種をセット❻ウェーブ



❶凄！ホビー用 缶スプレートリガー❷童友社❸1,078円❹発売中❺缶スプレー塗装を楽に行うことが出来る凄！なアイテム。缶スプレーの装着部は径に応じて調整できるため、各メーカーの製品に対応可能。吹き付け量も容易に調整できる❻童友社

Mr.カラーGGXに半光沢クリアーが登場!



❶GGXクリアー UVカット 半光沢❷GSIクレオス❸935円❹発売中❺GSIクレオス初となるUVカット効果付きの半光沢クリアー。落ち着いたツヤ感に仕上げることが出来る。大容量の60㎖入り❻GSIクレオス



❶タミヤモデルマガジン№360
❷ADH Publication❸1,540円
❹発売中❺イギリスの月刊模型誌。オールカラーA4判、68頁。掲載作例は、装備品を満載したアメリカ駆逐戦車M36（タミヤ1/35）や、足回りにこだわったルノー５ターボ（タミヤ1/24）など。また、マーカス・ニコルズ編集長が田宮俊作会長との思い出を語る追悼記事も掲載。一部記事は日本語訳付き❻タミヤ



Ⓐ❶Mr.ジャスト ゼリー状タイプ
Ⓑ❶Mr.ジャスト 低白化タイプ
Ⓒ❶Mr.ジャスト 高強度タイプ
❷GSIクレオス❸ⒶⒷ550円Ⓒ495円❹発売中❺各4g入りⒶタレにくく、染み込まない高粘度タイプ。小パーツの接着にも◎。Ⓑは刺激臭と硬化後の白化現象を低減。硬化時間が少し緩やかなに調整されており、位置決めがしやすくなっている。Ⓒ耐衝撃性に優れた瞬間接着剤。エッチングパーツの取り付けなどにオススメ❻GSIクレオス

でものはつもの掲載商品問合せ先一覧

青島文化教材社	〒420-0922 静岡県静岡市葵区流通センター 12-3 ☎054-263-2595
アク・ステオン	〒501-0427 岐阜県本巣郡北方町栄町1-58 ☎058-324-2157
インターアライド	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町543-1 ☎045-549-3031
ウィリング	〒270-1423 千葉県白井市南山3-1-9 ☎047-498-3537
ウェーブ	(Webサイト) https://www.hobby-wave.com
エイチエムエー	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-3-4 第一蔵王ビル8階 ☎03-5643-5015
海洋堂	〒571-0041 大阪府門真市柳町19-3 ☎0120-351-177
海洋堂高知／南国堂	(Webサイト) https://sofubi.fun
紙でコロコロ	(E-mail) qg9h-mysk@asahi-net.or.jp
GSIクレオスホビー部	〒105-0014 東京都港区芝3-8-2 ☎0570-041-223
スタジオミド	〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-21-15 ☎03-5876-3633
タミヤカスタマーサービス	〒422-8610 静岡県静岡市駿河区恩田原3-7 ☎054-283-0003、☎03-3899-3765
童友社	〒116-0002東京都荒川区荒川4-27-21 ☎03-3803-4747
ハセガワ	〒425-8711 静岡県焼津市八楠3-1-2 ☎054-628-8241
梅桜堂	(Webサイト) https://www.baiodo.com
ピットロード	(Webサイト) http://pit-road.jp
ビーバーコーポレーション	(Webサイト) https://beavercorp.jp
福田工芸	〒333-0866 埼玉県川口市芝高木1-17-39 ☎048-266-6452※
ブラッツ	〒424-0886 静岡県静岡市清水区長崎64-1 ☎054-345-2047
ベルファイン	〒171-0021東京都豊島区西池袋2丁目39-6 池袋ツルミビル2F (Webサイト) https://bellfine.co.jp
モデリンク	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-8 VORT秋葉原Ⅳ 2F ☎03-4363-2796 (E-mail) info@modelinkjapan.com

※封書によるお問い合わせの際はご自身の電話番号とご都合の良い時間帯も明記してください。

BOOK REVIEW
ブックレビュー　－新刊和書／洋書－

Hawker Hurricane Mk I



Anirudh Rao著
Kagero Publishing 刊
5,280円（ウィリング調べ）
カゲロウのトップドローイングスNo.139はホーカー ハリケーン Mk.I。図面は1/72で羽布張り主翼・2翅プロペラの初期型、金属板張り主翼・3翅プロペラの後期型、シーハリケーンの6面図、1/5の計器板、1/32の主脚庫と機首などを掲載する。1/48は大サイズの別刷りに6面図を収録。カラーイラストは302SQのWX-W、32SQのGZ-B、310SQのNN-D、303SQのRF-Gの４種を収録する。16（カラー6）頁。

ネイビーヤード Vol.60



大日本絵画 刊
3,200円
特集はワンランク上を目指す艦橋ディテールアップ術。艦艇の顔とも言うべき艦橋をクローズアップし、その構造とモデリングにおけるポイントを解説。作例はベリーファイアの1/350「高雄」、フジミの1/700「摩耶」と「金剛」、タミヤの1/700「阿武隈」など。連載陣はウォーターライン夜話、（虹）作戦の「アドミラル・ヒッパー」、翔鶴型空母の艦橋部、笹原 大のナノ・テクノロジー工廠は1/700「夕張」、「アークロイヤル」vs「U-81」、日本海軍小型給糧艦など。112頁。

ジミ艦3 ～だれも見たことないジミなマイナー艦船模型の世界～



米波保之 著
大日本絵画 刊
4,290円
あまり日の目を見ることのない、マイナーな艦船ばかりを選んで取り上げている著者の、ネイビーヤード誌記事集成の3冊目。通報艦「最上」から2次防ヘリコプター空母まで24編を収録。ジミ艦とはいっても、結構インジェクションキットも含まれてはいるのだが、やはりそれらと遜色なく仕上げられたスクラッチビルド作品の数々が興味深い。インジェクションキットにしても、時期を変えたり、ディテールアップが楽しめる。96頁。

両大戦間の日米英駆逐艦



海人社 刊
3,410円
世界の艦船12月号増刊。両大戦間に主要３ヵ国が建造または計画した駆逐艦の全容ガイド。巻頭の写真頁では全タイプについてデータと写真で解説。本文ではかつての掲載記事の再録により、多数の側面図やデータと共に、各国艦艇の特徴や、この期間の駆逐艦建造の発注史をまとめている。巻頭のカラー頁には、柚木武士氏による日本海軍駆逐艦のイラスト、アメリカ駆逐艦の戦闘被害公式図と洋上補給シーンを収録する。200（カラー8）頁。

重戦車 ティーガーII [1]



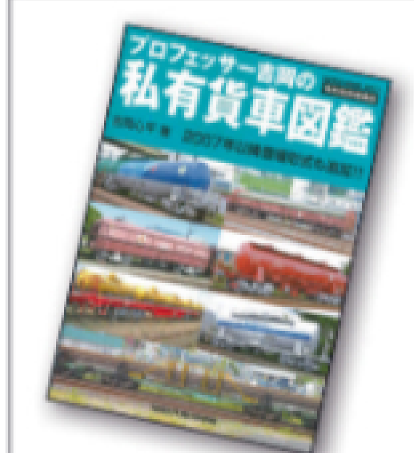
アルゴノート社 刊
2,550円
ウォーマシン・リポートのNo.154は、ティーガーII写真集のパート1。まず巻頭ではカラー頁が復活し、現存車両の写真と、側面イラスト3点を掲載。本文では開発と生産が12頁、ディテール（1）が34頁で、共に写真とイラストが多数。続いてSS第101（501）、SS第502、SS第503重戦車大隊毎に写真を掲載していく。時期的に破壊されたり遺棄されたものが多くなるが、貴重なコレクションとなっている。112（カラー8）頁。

ゲパルト／ZSU-23-4 シルカ 対空戦車写真集



ホビージャパン 刊
3,630円
AFVのディテール写真集、HJミリタリーフォトアルバムのVol.24で、東西を代表する対空戦車であるゲパルトとシルカを取り上げている。前者は開発史とバリエーション、海外での使用に続いて、ディテール写真となるが、これにはB2、B2L（1A1）、1A2を主体に、PRTL CA、PRTL CA1、マタドール30ZLAが含まれる。後者も開発史とバリエーションに続いて、ZSU-23-4V、4V1、4Mを主体に、4M-Z、4MB、4M-A、4MPをカバー。112頁。

プロフェッサー吉岡の私有貨車図鑑 令和復刻増補版



吉岡心平 著
ネコパブリッシング 刊
3,200円
鉄道会社ではなく、一般企業などが所有する私有貨車についてまとめた労作。初版は平成8年で、その時点で現役だった全てをカバー。さらに平成19年と令和7年に補遺が行われ、その後の車両が追加されている。始めに各部の名称解説、タンク体、台枠、台車などの構造、歴史について解説。あとは膨大な車輛が、各1頁に写真と寸法入り二面図と共に解説されていく。巻末の資料には車両数変遷、索引など。402（カラー27）頁。

NGKスパークプラグの挑戦 世界の頂点に立つ



グランプリ出版 刊
2,640円
かつてNGKでスパークプラグの技術開発に携わっていた著者による、同社が世界一となるまでの経緯。1973年、本田宗一郎からのCVCCエンジン用のプラグ依頼に始まり、世界への進出の様々なエピソードを経て、1995年に生産数が世界一になるまで、規制や新技術への挑戦の内情が、まさに当事者によって解き明かされている開発ドキュメント。また、スパークプラグの発祥など、興味深い技術的な記述も随所に織り込まれる。212頁。

※価格は税込表記です。問合先はアルゴノート社が☎03・5225・6995、ウィリングが☎047・498・3537、海人社が☎03・3268・6351、グランプリ出版が☎03・3295・0005、大日本絵画が☎03・3294・7861、ネコパブリッシングが☎049・257・4731。

九州 北九州市 小倉店 福岡市 井尻店 HOBBY BOX

プラモデル買い取りいたします。

HOBBY BOX

ご自宅で眠っているプラモデル、
もう作らないプラモデルを売ってください。
戦車、飛行機、艦船、自動車、バイク、
ガンプラ、キャラクターモデルなど

通信販売

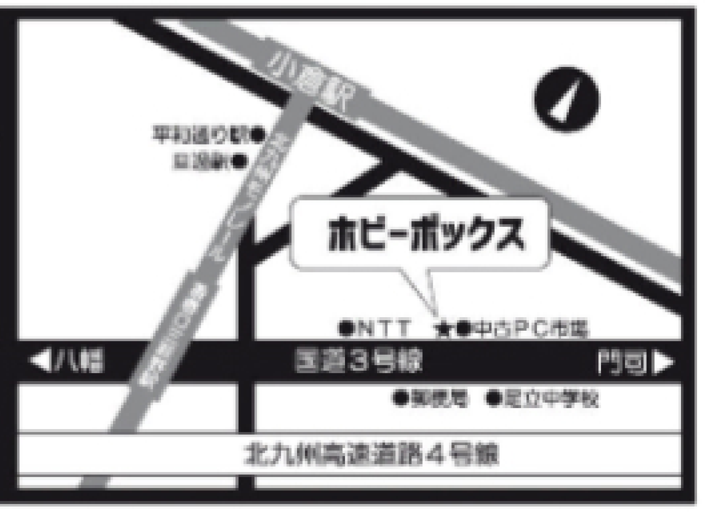
オンラインショップが使いやすくリニューアル！
www.hobby-box.jp
ご注文はウェブ お電話 FAXでどうぞ

ホビーボックス小倉店

●〒802-0083
福岡県北九州市
小倉北区江南町7-1
●TEL 093-922-0240
●FAX 093-922-0250

1月の臨時休業
19日（月）は
お休みさせていただきます。

★北九州モノレール
香春口三萩野駅から
歩いて8分



ホビーボックス福岡井尻店

●〒811-1302
福岡県福岡市
南区井尻5-25-14
●TEL 092-573-4740
●FAX 092-573-4750

★西鉄井尻駅から
歩いて5分
★JR鹿児島本線
笹原駅から歩いて15分



営業時間のご案内●月-土 11:00~20:00●日祝日 10:30~20:00●定休日 毎週火曜日(祝日の場合営業)

最新情報は毎日更新のホームページをチェック！ スタッフブログも見逃せない！

35,000種以上の豊富な品揃えでお待ちしています♪

www.hobbyland.jp
ウェブショップはこちら ▶
SNS発信中
こんにちは！ハートの「ネエサン」です。
私が発信する最新入荷情報も見てねっ！

メーカー	品番	スケール / 種別	商品名	価格
ポントス	37038F1	1/350 ディテールアップパーツ	戦艦 ローマ 1943 アドバンスド トランペッター用	44,880円(税込)
ポントス	37039F1	1/350 ディテールアップパーツ	戦艦 ウォースパイト 1942 アドバンスド トランペッター用	42,240円(税込)
ファイブスター	FS351201	1/350 ディテールアップパーツ	軽巡洋艦 五十鈴 コンプリート アオシマ用	38,423円(税込)
ファイブスター	FS352012	1/350 ディテールアップパーツ	戦艦 フィリプス・ウニティス 1912 トランペッター用	30,800円(税込)
ファイブスター	FS700156	1/700 ディテールアップパーツ	CVN-68 ニミッツ 1975 トランペッター用	30,261円(税込)
シードホビー	SH350004	1/350 レジンパーツ	日本海軍 八九式 12.7cm連装高射砲 (防盾無) 初期型	1,540円(税込)
シードホビー	SH350022	1/350 レジンキット	日本海軍 橘立型砲艦	22,561円(税込)
シードホビー	SH700047	1/700 レジンキット	日本海軍 甲標的 甲型	3,080円(税込)
ウォーペイント	149	洋書	アエロ L-39, L-59, L-139 & L-159 アルバトロス	5,500円(税込)
ウォーペイント	150	洋書	イギリス空軍 ハリアーII	5,500円(税込)
エアマーク	AMMRG08	洋書	プロフィール&スケール A-4 スカイホーク	5,500円(税込)
エアマーク	AMM27	洋書	モデラーズマニュアル F-86 セイバー&FJ1 フューリー	3,960円(税込)
フェニックス	R2RRED03	洋書	Red series ワイルド・ウィーゼル	7,700円(税込)
フェニックス	R2RRED15	洋書	Red series F-100 スーパーセイバー	7,700円(税込)
フェニックス	R2RRED14	洋書	Red series シーハリアー	7,700円(税込)
フェニックス	ORANGE01	洋書	第二次世界大戦 イギリス空軍機モデリング	4,950円(税込)
フェニックス	ORANGE01	洋書	第二次世界大戦 アメリカ海軍機モデリング	4,950円(税込)
ガイドライン	SAMMCOMP05	洋書	カラー・コンナンドラム コンペンディウム 5	6,050円(税込)
DPキャスパー	48030	1/48 デカール	1978年 ソベラニア作戦 & 1982年 ロサリオ作戦	4,950円(税込)
DPキャスパー	72064	1/72 デカール	フランティック作戦 1944年夏	5,830円(税込)
DPキャスパー	72065	1/72 デカール	PQ-18船団 オレイター作戦 1942年	4,950円(税込)
DPキャスパー	72066	1/72 デカール	フリークエント・ウィンド作戦 1975年 サイゴン	4,950円(税込)
トゥーボブス	48289	1/48 デカール	F-15A イーグル Fightin' 49ers	3,630円(税込)
トゥーボブス	48290	1/48 デカール	A-10C インヒアラント・リゾルヴ・ホグス	3,630円(税込)
DEFモデル	DW30040A	1/35 レジンパーツ	Sd.Kfz.9 ファモ 自重変形タイヤセット(1) タミヤ/トランペッター用	1,584円(税込)
DEFモデル	DW30083	1/35 レジンパーツ	Sd.Kfz.9 ファモ 自重変形タイヤセット(2) タミヤ/トランペッター用	1,584円(税込)
DEFモデル	DW35182	1/35 レジンパーツ	M1008 CUCV 自重変形タイヤセット AKインタラクティブ用	2,112円(税込)
DEFモデル	DW35183	1/35 レジンパーツ	ウルフ SSA 自重変形タイヤセット(1) ネバーランドホビー用	2,376円(税込)
DEFモデル	DW35184	1/35 レジンパーツ	ウルフ SSA 自重変形タイヤセット(2) ネバーランドホビー用	2,376円(税込)
DEFモデル	DW35185	1/35 レジンパーツ	エイタン 装輪装甲車 自重変形タイヤセット ホビーボス用	3,960円(税込)
DEFモデル	DM35158	1/35 ディテールアップパーツ	M36 90mm M3砲身 中期型 2 タミヤ用	1,320円(税込)
DEFモデル	DD48004	1/48 エッチングパーツ付	エレファント 駆逐戦車 ツィメリットコーティング タミヤ用	1,056円(税込)
DEFモデル	DS48031	1/48 レジンパーツ	F-14D SJU-17/A (Mk.14) 射出座席 タミヤ用	1,980円(税込)
DEFモデル	DS144001	1/144 マスキングシール	B-2A スピリット RAMパネル アカデミー用	1,056円(税込)
DEFモデル	JD72014	1/72 デカール	F-14A トムキャット VF-33 スターファイターズ	792円(税込)
DEFモデル	JD72015	1/72 デカール	F-14A トムキャット VF-142 ゴーストライダース	792円(税込)

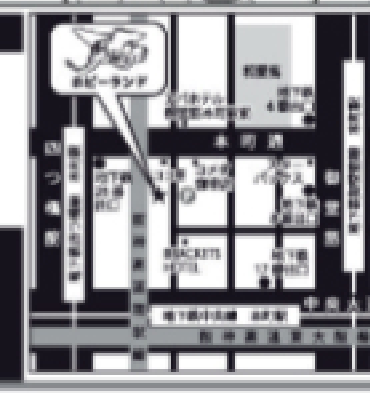
広告掲載商品の他にも海外、国産各メーカーのキット、ディテールアップパーツ、デカールなど
各種商品をたくさん取り揃えております。品切れ中の商品もお取り寄せいたします。
お探しの商品がございましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください♪

www.hobbyland.jp

ミリタリースケールモデル専門店 HOBBY SHOP ホビーランド

通信販売で全国にお届けします。実店舗は大阪で営業中！
税込15,000円のご注文で送料無料（北海道・沖縄は対象外）
ご注文は、WEB・お電話・メールでどうぞ！お探し物もお気軽にお問い合わせ下さい。
お支払い方法は、クレジットカード、着払い（代金引換）、お振込み、現金書留で承ります。

大阪地下鉄 本町駅より徒歩3分 大阪地下鉄 梅田(大阪)・難波駅から本町駅まで5分 新大阪駅から本町駅まで10分
〒541-0053 大阪市中央区本町4-8-6 横堀ビル3F TEL：06-6281-2811
定休日：毎週火曜日(祝日営業) 営業時間：平日 12:00~20:00 日祝日 11:00~19:00
WEB：www.hobbyland.jp e-MAIL：shop@hobbyland.jp



読者の、読者による、読者のためのスペース

READER'S CLUB

Readers Voice
Events
Infomation
Etc…

◆モデルアート誌に対する感想
◆展示会・イベント開催のお知らせ
◆展示会・イベントのレポート
◆作品投稿
……などなど、すべてのお便りのあて先は
〒110-0016
東京都台東区台東2-3-9 KHビル4F
モデルアート・リーダーズクラブ係
またはreaders@modelart.jp(E-mail)まで。
なお編集作業の都合上、イベント開催のお知らせなどは**掲載希望号発売日の１ヵ月前**までに届くようにお願いいたします。

リーダーズクラブからの注意事項

本誌及びリーダーズクラブでは、皆様からのご意見やご感想をいただいておりますが、お手紙やメールによる弊社からの個別の返信は基本的にしておりませんので、ご了承ください。また、模型作品投稿以外の読者様による本誌特集企画のアイデア、著作物などの書類やデータを、添付して送ることはご遠慮ください。それらが弊社に送られた場合は、原則として開封せずに破棄させていただきますことを、何卒ご了承ください。

読者からのお便り

特集の感想。「メキシコのビートル」もう最高でした。この風景をヴィネットにするなんて、私には思い付きもしませんでした。早速参考にさせていただきます。また、床用の補修材が建物の外壁に使えるなんて目から鱗でした。こちらも次の作品で試してみたいと思います。
千葉県　飯嶋 正さん

※どんな風景にも馴染んでくれるビートルで、情景作品を楽しんでください。

50年程前に、友人の愛車であったビートルに乗せてもらったことがあります。当時の国産車(私は日産サニーに乗っていました）に比べてもエンジン音は喧しいし、シートは硬すぎて乗り心地は悪いしとあまり良い思い出ではありませんでした。しかし、その外観は何とも言えずカッコ良く、ちょっとうらやましかったのを思い出しました。
大阪府　中村一夫さん

※現代の車に慣れていると空冷エンジンのけたたましさには驚かされます。

タミヤ1/24 Honda プレリュード(BF1)。静岡ホビーショーでの発表時から注目しており、キットも手に入れたタイミングでしたので読み込みました。記事を参考にシャシーの塗り分けも頑張ります。
山形県　鷲尾永政さん

※ホンダ側からの売り込みで実現したキット。その仕上がりは折り紙付きです。

内藤あんもの戦車模型基本講座。タミヤの1/35MMには中学生の頃にかなり凝りました。ただ、当時はドイツ軍アイテムを作るだけで手一杯、ずっと気になっていた25ポンド砲＆ガントラクターは、数年前にプラモ作りを再開した際、いの一番に購入しました。まだ手を付けてはいませんが、作例のカーキグリーンの塗装には、大いに触発されました。
東京都　伊藤勇治さん

※無骨なシルエットとメカニカルな25ポンド砲が堪らないですね!

イベントのお知らせ

ワンダーフェスティバル2026[冬]はウルトラ怪獣ワンフェスに注目!



2026［冬］のワンフェスでは、ウルトラマンシリーズ60周年を迎える円谷プロダクションとのワンフェスコラボ企画「ウルトラ怪獣ワンフェス」を開催します。先日、本企画のキービジュアルとともに第1弾情報が解禁されました。一般ディーラーの作品が集まる「特設ブース」をはじめ、多種多様なウルトラマンを始めとした円谷プロの関連商品を取り扱う企業の出展やグッズ販売、そしてなんとウルトラヒーローショーの実施も予定しています。その他ウルトラ怪獣ワンフェスを盛り上げる豪華ステージも登場予定!ぜひ会場へ足をお運びください。

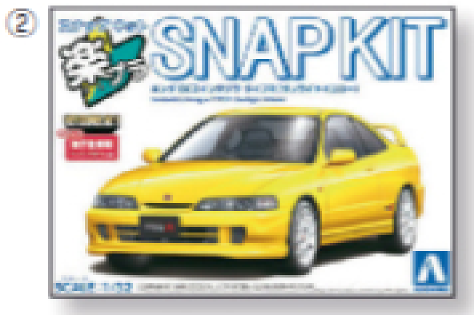
Wonder Festival 2026[Winter]

開催概要
日　時：2月8日(日) 10:00～17:00
場　所：幕張メッセ　国際展示場1～8ホール（千葉市美浜区中瀬2-1）
主　催：ワンダーフェスティバル実行委員会／海洋堂
※イベントの詳細はワンダーフェスティバル特設サイトをご確認ください。スマートフォンは右のQRコードから!
（Webサイト）https://wonfes.jp/specialsite

入場券情報
前売り入場券：3500円
前売り入場券（U22割）：2200円※1
前売り入場券（午後割）：2300円※2
当日券：4000円
・前売り入場券はいずれの券種でも小学生以下無料（要、保護者同伴）
※1 22歳以下対象※2 13時から入場可

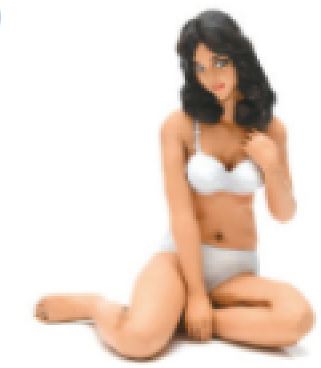
読者プレゼント

①

②

③

④

⑤

⑥


※④⑤はソフビキットです。ご自身での組み立て･塗装が必要となります。

①タミヤ 1/72 グラマン F-14D トムキャット………1名様（提供：タミヤ）
②アオシマ 1/32 ホンダ DC2インテグラ タイプR………3名様（提供：青島文化教材社）※カラーはランダムでお届けします。
③アカデミー 1/35 UH-1Y ヴェノム"アメリカ海兵隊" ………1名様（提供：インターアライド）
④ソフビレガシー ゴジラ1995………1名様（提供：海洋堂高知／南国堂）TM & © TOHO CO., LTD.
⑤ソフビレガシー ウルトラマン（Cタイプ）………1名様（提供：海洋堂高知／南国堂）©円谷プロ
⑥碧………1名様（提供：福田工芸）

応募はハガキにⒶ希望賞品、Ⓑ今月号で1番面白い記事（その理由も合わせて）、Ⓒ特集の感想、Ⓓ本誌の購入先（インターネット or 書店）Ⓔ住所、Ⓕ氏名、Ⓖ年齢、Ⓗ電話番号、Ⓘ「2025年で1番面白かった特集」の回答を明記のうえ
〒110-0016 東京都台東区台東2-3-9 KHビル4F モデルアート社 月刊モデルアート「2月号プレゼント」係までご応募下さい。
締め切りは1月31日（当日消印有効）。※当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※Eメールでご応募の場合は、Dokupure@modelart.jpまで送信してください（必要記入事項はハガキの場合と同様です）。
※お預かりした個人情報は、感想の誌面掲載、プレゼント発送、弊社刊行物のご案内の送付以外の目的に使用することはありません。

新製品のお知らせ

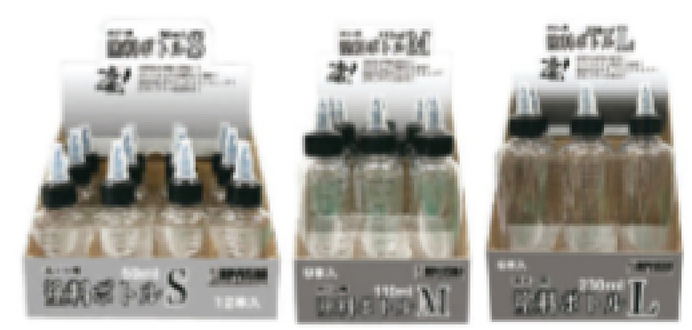
ドラパス マジックペンで簡単吹き付け塗装
マーカースプレイヤー(M) Ver.2

ドラパスより、マーカースプレイヤー（M）Ver.2が登場です。市販のエアダスター缶に装着し、マーカーをセットすることで吹き付け塗装が楽しめるアタッチメントです。対応のマーカー軸径は13～16㎜の中字タイプで、対応マーカーはリキテックスマーカー、ぺベオアーティストマーカー、ホルベイン アクリリック、マービーデコカラープレミアムなど。均一な塗装が難しい金属色やラメ、パール系のマーカーにもオススメ。エアダスター缶、マーカーは別売です。3,520円（税込）、発売中。




童友社
凄!ホビー用 塗料ボトルS/M/L


・ワンタッチで楽々開閉
・撹拌用ガラス玉入り



Ⓐ凄!ホビー用 塗料ボトルS（50㎖）
Ⓑ凄!ホビー用 塗料ボトルM（110㎖）
Ⓒ凄!ホビー用 塗料ボトルL（230㎖）
模型用ツールを多数展開する童友社より、用途に合わせて選べる凄！ホビー用 塗料ボトルが登場します。ボトルサイズは50㎖、110㎖、230㎖の全3種で、撹拌に便利なガラス玉入り。ボトルの側面には目盛が付いており、調色や塗料の希釈にとても便利です。キャップはネジ式で、片手で回すだけで開閉可能。価格Ⓐ330円Ⓑ396円Ⓒ440円（税込）、1月発売予定。

イベントのお知らせ

軍事学セミナー 1月例会

軍事学セミナーは1977年に創立され、1978年からは月例公開講座を開設し、今年で48周年を迎えます。軍事専門誌やTVなどでおなじみの先生をお招きして講演していただいた後、その場で皆さんの質問にも直接お答えをいただけます。

日　時：1月24日（土）18：00～21：00
場　所：ルームス水道橋店 第6会議室
（東京都千代田区神田三崎町3-4-10 庄司ビル5F）
演　題：高市政権の防衛政策
一台湾有事、原潜、武器輸出
講　師：福好昌治（軍事評論家）
会　費：2,000円
問合先：「大寄浩志」☎080-6781-3876
（E-mail）anschluss@neo.famille.ne.jp

第6回 ふりも展示会

下記のとおり展示会を開催いたします。製作、展示する作品は自由ですが、それ以外にも毎回テーマを決めてそれに準ずる作品も展示しています。皆様のお越しをお待ちしております。

日　時：1月31日（土）11：00～17：00
2月1日（日）　9：00～15：00
場　所：佐賀県立生涯学習センター アバンセ 1F 展示コーナー
（佐賀県佐賀市天神3-2-11）
入場料：無　料
テーマ：「ムービーキャラクター」「1985年」「1995年」
問合先：（E-mail）gungal@po.bunbun.ne.jp
※詳細はブログ（https://xpfrlnh7tfap.blog.fc2.com）をご覧ください。

第2回 陸模展

陸上自衛隊模型同好会 陸戦模型製作部合同展示会を陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）にて開催します。第2回 陸模展では陸戦模型製作部の部員（全国の模型を趣味とする自衛官）が製作した各種の模型展示や一般来場者参加有りの「自衛隊装備品模型展示、架空等自衛隊装備品模型展示、陸戦系キャラロボ模型展示（コンペ）」を実施します。

日　時：2月15日（日）10：00～16：00
場　所：陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）
（埼玉県朝霞市栄町4-6）
入場料：無　料
問合先：「陸戦模型製作部」
（Xアカウント）@rikusenmokei
※参加申し込みは固定ポストよりお願いします。

横浜モデラーズクラブ合同展示会2026



本誌ライター陣も大勢参加する横浜モデラーズクラブ合同展示会が2年ぶりに開催されます。今回は40クラブを超え個人参加も30名近くとなり、過去最大の規模となります。また、会場内にはモデリンクによる物販エリアも設けられます。今回より例年の横浜ワールドポーターズから会場を移し、山下公園すぐそばの横浜産貿ホール マリネリアでの開催です。皆様のご来場をお待ちしております。

場　所：横浜産貿ホール マリネリア
（横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1F）
日　時：1月31日（土）12：00～17：00
2月1日（日）　9：30～15：00
入場料：無　料
（Webサイト）https://sites.google.com/view/ymcje

イベントレポート

モデラーズフェスティバル2025





去る11月1、2日に、大阪ATC ITM棟12階ITMホール、11階エコグリーンプラザ企画展示ルーム、セミナールーム、マルチゾーン、10階大阪デザイン振興プラザギャラリー、ショーケース、サロン及び多目的ルームにおきまして、モデラーズフェスティバル2025を開催いたしました。173団体、1,000名を超える出展者が趣向を凝らして、それぞれの特徴を活かした約7,000点にものぼる作品を展示して下さいました。約7,000名もの方々にご来場いただき、様々な作品を楽しんでいただくことができ、大盛況のうちにイベントを終えることが出来ました。次年度以降の開催については未定ですが、前向きに検討していきたいと思います。　（報告：実行委員会 伊藤直之）

模型製作も再開

波乱万丈の2025年を振り返る

模型製作が趣味のロードレーサー 大久保 光選手は、シーズンオフに突入し、来シーズンに向けての鋭気を養っています。趣味の模型製作も再開し、'脳内モデリング' も楽しんでいます。

皆様こんにちは！12月になりましていよいよ年末ですね。皆様今年1年はどのような年でしたでしょうか？私は色々なことがあった年となりました。まずレースですがチームエトワールとして24時間レース初完走、そして鈴鹿8時間耐久ロードレースのスーパーストッククラスでは初優勝をすることが出来ました。世界タイトルをかけた最終戦では悔しくもマシントラブルでリタイヤとなりましたが、1年を通してとても成長できた年となりました。まぁプライベート的にはお世辞にも良い年とは言えず…（笑）と、新たな人生に向けた仕切り直しと考えれば良いかもしれませんが…。

そんな波瀾万丈な2025年でしたが、来シーズンも引き続きチームエトワールから世界耐久選手権スーパーストッククラスに参戦します。3年目の正直というところで、2026年シーズンこそは世界タイトルを獲得できるように頑張っていきたいと思います。

シーズンオフになりましたのでプラモデル作りも再開しました。今はいっちょんちょんのミラージュ2000ウクライナ空軍仕様を作っている最中です。少ない資料の中でしっかり雰囲気の出るものを作っていけたらと思っております。また、同じくいっちょんちょんのYF-23も作りたいと思います。こちらは架空で航空自衛隊仕様にするか、設計図どおりのものにするか絶賛考え中なところであります。

2026年はどのような年になるか今から楽しみでもあります。それでは皆様、良いお年をお迎えください！



●プロフィール
大久保 光（おおくぼ・ひかり）
1993年8月11日生まれ。東京都小平市出身のロードレーサー。2020年までスーパースポーツ世界選手権に参戦。MotoE参戦を経て、2024年から再びスーパースポーツ世界選手権に参戦。

イベントレポート

第3回 月一プラモ倶楽部合同展示会





M.S Models店舗で開催している月一プラモ倶楽部、カーモデル教室、ミニチュア講座の作品が勢ぞろいしての合同展示会。11月22日（土）と23日（日）の二日間に亘りトヨペットスマイルホール大洗（大洗町民会館）で開催されたました。今回はゲスト展示として、模型誌上で数々のジオラマ記事を発表されている嵩瀬 翔氏や、大型ジオラマの第一人者、青木周太郎氏が参加するなど幅広いジャンルを網羅した模型の楽しさを体験できる展示会となりました。　（M.S Models 平山）

特別講座のお知らせ

21世紀アカメイデアが運営するデザイナー・アカデミー専門学校［東京・大阪・名古屋・福岡］では、入学をご検討中の方を対象としたスペシャル講座「オリジナルガレージキット組み立て講座」を開催します。生き物やクリーチャーなどの造形を得意とする蟹龘修造氏が原型製作を手掛けたキットを題材に、整形～組み立てまで（時間があれば塗装も）を体験できる特別講座です。東京校、大阪校、名古屋校、福岡校の4校で開催いたします。ぜひともご参加ください。

東京デザイナー・アカデミー
大阪デザイナー・アカデミー
名古屋デザイナー・アカデミー
福岡デザイナー・アカデミー



▲造形作家・蟹龘修造氏によるオリジナルガレージキット ピラルクーを題材に、ガレージキット製作の基礎を体験できます。

オープンキャンパス 特別講座
オリジナルガレージキット組み立て講座

日　時：1月18日（日）13：00～16：30
場　所：デザイナー・アカデミー専門学校
東京校（〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-6）
（Webサイト）https://www.tdg.ac.jp
大阪校（〒530-0003 大阪市北区堂島2-3-20）
（Webサイト）https://www.odc.ac.jp
名古屋校（〒460-0008 名古屋市中区栄5-1-3）
（Webサイト）https://www.n-designer.net
福岡校（〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-8-24）
（Webサイト）https://www.kdg.ac.jp
参加費：無　料

参加申し込みはこちらから

▲東京校　▲大阪校
▲名古屋校　▲福岡校

コンテストのお知らせ

あいち航空ミュージアム第6回航空機プラモデルコンテスト

愛知県の「あいち航空ミュージアム」で、航空機を対象としたプラモデルコンテストが今年も開催されます。

■テーマ：「私の愛する航空機」
※実在した機体のみならず、物語などに登場する架空の機体も可。ただし、宇宙船や大気圏外専用の機体、ロボットなどの人型メカは不可

■募集期間
2026年1月2日（金）から1月31日（土）まで（必着）

■募集部門
〇ジュニアモデラー（15歳未満）
・ルーキー部門（経験年数2年未満）
・マスター部門（経験年数2年以上5年未満）
・エキスパート部門（経験年数5年以上）
〇シニアモデラー（15歳以上）
・ルーキー部門（経験年数2年未満）
・マスター部門（経験年数2年以上5年未満）
・エキスパート部門（経験年数5年以上10年未満）
・オールドハンド部門（経験年数10年以上）
〇ジオラマ部門
年齢、経験年数を問いません

※年齢は2026年1月1日現在とします。
※経験年数は延べ年数で自己申告とします。
※ジオラマで製作した作品で、航空機のみで審査を受ける場合は、ジオラマ以外の部門でご応募ください。

■応募条件
1人1作品まで。2025年1月以降に自身が製作し、他のプラモデルコンテストで入賞実績のない作品に限ります（既成のプラモデルキットをベースとしないフルスクラッチ作品等はコンテストの応募対象外です。※フルスクラッチ：新規に材料から模型全体を作りあげること）。
・スケールは自由です。
・完成状態で幅60㎝×奥行40㎝×高さ60㎝の空間に収まるサイズとしてください。自己の責任による会場への作品の持込みと撤収が可能な方に限ります（代理人でも可能です）。過去の本コンテストにおいて最優秀賞を受賞された方は殿堂入りとし、「第〇回プラモデルコンテスト最優秀賞受賞者作品」として展示させていただき、コンテストの対象からは外させていただきます。

■応募方法
応募開始日に開設されるあいち航空ミュージアムのWebページの「第6回プラモデルコンテスト」エントリーフォームに必要事項をご記入の上、写真デジタルデータを1点添付してご応募ください。
※写真データはJPEG形式に限ります（データサイズは1MBを推奨）。
※写真データの作品の向きは自由です。
※詳細はあいち航空ミュージアムのWebページ（https://aichi-mof.com）をご確認ください。

■審査方法
一次審査は写真審査により約145点程度を選定します。一次審査の結果は2026年3月1日（日）に、あいち航空ミュージアムのWebページにて発表します。一次審査通過作品は3月20日（金・祝）から23日（月）までに自己の責任でミュージアム会場及び指定場所への設置まで行なっていただきます。
二次審査は3月28日（土）に審査員による実物審査を行ない、各賞を決定します。

■審査結果発表
3月29日（日）11:00から、あいち航空ミュージアムにて審査結果発表を行ないます。

ショーケース



▲製　作：中田安彦さん
使用キット「1/24 CE9A ランサー GSRエボリューションⅢ 1995 スコーティアホワイト/クイーンズシルバー/ダンデライオンイエロー」。アオシマから発売の楽プラ スナップカーを製作してみました。キット自体はシンプルに製作し、気なる窓枠やインテリアなどはアクリル塗料にて塗装。キットの素材がとても綺麗だったので、車体仕上げには軽くコンパウンドをかけ、光沢感を表現して無事完成です。とても楽しいキットでした！
※スミ入れで強調されたパネルラインが良いアクセントになっていますね！

模型はいつ壊れるか分からない、実にはかないもの。そこでモデルアートの誌面上に、貴方の成果を残してみませんか!このコーナー（ショーケース）では読者の皆様からの作品投稿をお待ちしております。※紙面の都合上、投稿作品の全てを掲載することは出来ません。投稿の際には必ず製作やキットに関するコメントもお願いします。なお、お送りいただいた写真は原則として返却できません。投稿先は展示会のお知らせやイベントレポートなどの送り先と同じです。写真を郵送の場合は〒110-0016 東京都台東区台東2丁目3−9 KHビル4F モデルアート・リーダーズクラブ係まで、写真データ（JPG）での投稿の場合はreaders@modelart.jp（E-mail）まで、お願いいたします。

レースレポート

スーパー耐久シリーズ第7戦
S耐FINAL大感謝祭







11月15、16日の2日間、富士スピードウェイにて、スーパー耐久シリーズの今季最終戦が行われた。今回は8クラスに加え、試験的にST-USAクラスも導入。コルベットC7とマスタングの2台が参戦した。16日の決勝レースでST-Xクラスの666号車seven x seven PORSCHE GT3R（BANKCY/渡会太一/藤波清斗）が総合優勝を飾り、参戦初年度で今季クラスチャンピオンに輝いた。レース以外のイベントも多数開催され、中でもNASCARマシンによるショーランは大きな注目を集めた。　（写真：門脇 滋）

DOUBLE XCELLENT MODEL
DXM DECALS
Product of Taiwan

カルトグラフ製 高品質のデカールと3DパーツのDXM DECALS

人気のホーネット、ファイティングファアルコンのデカールが登場

1/48 アメリカ海兵隊
F/A-18C/D ホーネット VMFA-312
チェッカーボーズ 岩国基地
5,170円



1/72 アメリカ海兵隊
F/A-18C/D ホーネット VMFA-312
チェッカーボーズ 岩国基地
3,850円



1/72 アメリカ空軍
F-16 ファイティング ファルコン
149FW/425FS/310FS/174FS
予価3,410円



Raf Avi.
#Raf.Avi.

3Dモデリングによる精密パーツ RafAvi.の新製品

F-8クルセイダーをアップデートして作ろう

F-8E/J サブエアインテーク（2個セット）(ハセガワ用)
880円



好評発売中



ハセガワ製 F-8E/J に合わせて形状を調整しており、AOA(迎え角)センサーも付属しています。いずれも 2個セット です。

《4868》F-8E/J スピードブレーキ
予価6,050円



2026年1月末月発売予定



飛行中の全閉に近い状態と、駐機中に油圧が抜けて下がった状態のいずれかを選択して再現できるようにしました。キットのパーツ構成上、主脚室前側の隔壁も本キットに含まれます。

C&CRAFT
creation design & production

フィギュアペイントに最適な最新ツールが登場！

《TMH-13》フィギュア ペインター タイプ3

タイプ 3 で最大の特徴は、マグネットで着脱可能なグリップヘッドです。これにより、ペイント中に複数のフィギュアを簡単に切り替えられるだけでなく、ご自身のスタイルに合わせてグリップヘッド単体で使用することもできます。

2026年1月発売予定　予価4,840円



グリップヘッドとグリップはマグネットの着脱式

詳しくはモデルアートウェブで

Gemo UV硬化パテ

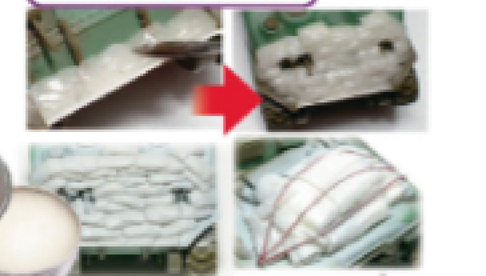
粘土タイプ

UV硬化パテ



品番：Gemo-001
内容量：45g
価格：1,870円（税込）
発売元：モデルアート社
主成分：アクリル
特徴：3W～5W、395nmのUV光で硬化／造形のしやすい粘土タイプ

成形重視ならコレ！



Gemo

UV硬化パテ

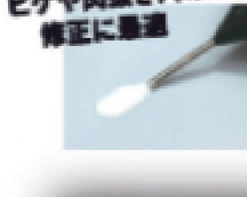
リキッドタイプ

狙った場所にピンポイントで塗れる専用ノズル採用。

UV硬化パテ
容量：30g
主成分：アクリル
価格：1,650円（税込）
販売元：モデルアート社
特徴：3W～5W、395nmのUV光で硬化／中粘度タイプの液状パテ

補修重視ならコレ！

ヒケや肉抜き穴の修正に最適





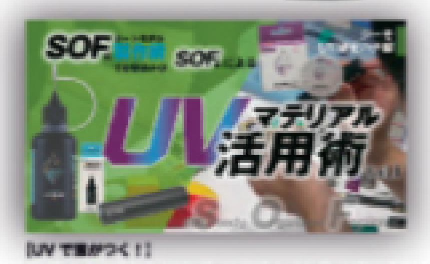
Gemo

強力硬化UVライト

UV Torch Light

出力：3W～5W 395nm
価格：1,540円（税込）
付属品：USBType-C
充電アダプター
携帯用ストラップ





【UV で差がつく！】
UV 硬化マテリアル活用術！ Vol.1 ジーモ編
「SOF 氏が教える最新工作テク！ [全日本模型ホビーショー]

動画公開中
モデルアート公式チャンネル
@modelartmagazine

MODEL Art

定期購読のご案内

スケールモデル総合雑誌
月刊モデルアート

毎月模型の楽しさをお届け！

Enjoy Modeling Life

【注文方法】
①公式Webショップよりご注文
・QRコードから定期購読ページへアクセス
・備考欄にご希望の開始月号をご記入下さい。
＜決済方法＞
-クレジットカード、三菱UFJ銀行、郵便振替
-Amazon pay　-PayPal
②電話でのご注文
・下記の電話番号よりご注文ください。
＜決済方法＞
-代引き(+手数料330円)
-三菱UFJ銀行、郵便振替

ANYZ 超精密ピンセットでお馴染みのAnyzから新商品登場！

ダイヤモンドヤスリ

精度と完成度を追求するモデラーのために開発された ANYZ ダイヤモンドヤスリセット（平テーパー形状）。スケールモデルの細かい加工に最適で、作業の質を一段と高めてくれます。

Q. なぜテーパー形状(先細り)なのか？

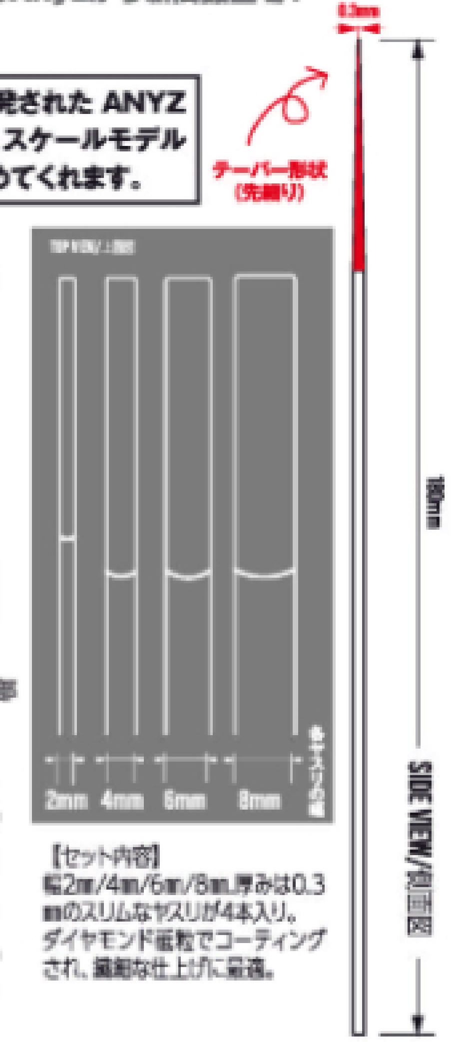
1 極小の隙間にも厚さ 0.3mだからスムーズに入り込むことができる
エッジ（側面部）にもダイヤモンド加工あり!

2 不要な所の切削を防ぎ、キレイな面出しと安定した切削が可能！

3 しなりのない状態で切削できるため均一に力が伝わる



ANYZロゴ＆品番入り　ダイヤモンド加工部



AN108A
ダイヤモンドヤスリ4本セット
平#400　(2/4/6/8mm)
8,360円（税込）

AN109A
ダイヤモンドヤスリ4本セット
平#140　(2/4/6/8mm)
8,360円（税込）

【セット内容】
幅2㎜/4㎜/6㎜/8㎜,厚みは0.3㎜のスリムなヤスリが4本入り。ダイヤモンド砥粒でコーティングされ、繊細な仕上げに最適。

単品販売（各サイズ取り揃えております）

AN108B	平 #400	幅2㎜	1,980円(税込)	AN109B	平#140	幅2㎜	1,980円(税込)
AN108C	平 #400	幅4㎜	2,090円(税込)	AN109C	平#140	幅4㎜	2,090円(税込)
AN108D	平 #400	幅6㎜	2,200円(税込)	AN109D	平#140	幅6㎜	2,200円(税込)
AN108E	平 #400	幅8㎜	2,310円(税込)	AN109E	平#140	幅8㎜	2,310円(税込)

ジャンル：ツール（ダイヤモンドヤスリ）
サイズ：180mm　素材：ステンレス　販売エリア：全国模型店・通販サイト
メーカー：エニーズ（ドイツ）

バックナンバー毎月25日追加！

購入情報は
↑こちらから

▶バックナンバーは、Amazon Kindle、Fujisan、ヨドバシ・ドット・コム電子書籍ストア、楽天Kobo、マガストア、シナノブックドットコム、ebook japanより購入可能。

▶新刊配信は、さらに、BookLiveからも購入可能。



2,178円（税込）

飛行機模型スペシャルNo.32
●ザ・スパイプレーン ～戦略偵察機の系譜

本号では、気球時代から現代まで続く戦略偵察機の系譜を紹介。大日本帝国陸軍の司令部偵察機が戦後開発へ与えた影響、冷戦期のU-2やSR-71など、発達した技術と多様化する偵察手法を概観し、その歴史的進化を辿ります。



2,178円（税込）

飛行機模型スペシャルNo.33
●アメリカ海兵隊の翼

本号では、即応性と強力な展開力を誇るアメリカ海兵隊の現用航空戦力を特集。F-35BやMV-22Bの登場で広がった任務能力と近年の戦力強化の実像を、豊富な資料と模型作例を交えて詳しく解説します。



2,178円（税込）

飛行機模型スペシャルNo.34
●本土防空！高空を侵入するB-29を撃墜せよ！日本海軍 夜間戦闘機

本号では、日本海軍夜間戦闘機の誕生と発展を紹介。ラバウルでのB-17夜間爆撃に対抗するため、現地案の「斜め銃」を搭載した二式陸偵＝月光が投入され大きな戦果を挙げた。その後も戦況悪化の中、既存機への応急改造で夜戦化が進められた過程を追います。



2,178円（税込）

飛行機模型スペシャルNo.35
●ザ・ライバル F-4ファントムⅡ vs MiG-21フィッシュベッド

本号では、海軍の艦隊防空要求から生まれたF-4ファントムと、軽量・高性能を狙ったMiG-21の「ライバル対決」を特集。ベトナム戦争で実戦交戦を重ねて明らかになった長所・短所と派生型の変遷、製造数の規模まで、模型を通して徹底比較します。



2,178円（税込）

飛行機模型スペシャルNo.36
●空母の上の F-14トムキャット

今号では、タミヤ1/48発艦セットで再現できる迫力のF-14発艦シーンを軸に、空母という限られた舞台で航空機運用を支える設備・機材・クルーの役割を紹介。ニミッツ級を例に、空母上でF-14がどのように扱われ、発艦へ至るのかを詳細に解説します。



3,190円（税込）

オススメ
トムキャットスコードロン1

VF-1からVF-84までのF-14搭載飛行隊の歩みを、精密な塗装図と新規イラスト、写真で紹介。装備に至る経緯からその後の変遷までを解説し、塗装・マーキングの由来やエピソードも詳細に振り返ります。納得のボリュームかつ、資料として重宝する事間違えないこちらは電子版も大好評発売中。

電子書籍 ebook

“Always Something Wonderful”



モデルアートプロフィール 15

F-35 ライトニングⅡ

見どころポイント!

待望のシリーズ新刊!

最新鋭戦闘機の“新発見”続々

ジャンル:飛行機
#F-35 #ロッキードマーチン
#第5世代ジェット戦闘機
#A、B、C型
電子版:配信未定

Size:B5判 ページ数:160
発売日:2025年12月22(月)発売
定価:2,860円(税込)

運用国が増え、各種エアショーなどでのデモフライトや展示の機会も多くなりつつあるロッキードマーチンの F-35 ライトニングⅡ。人目に触れる機会は多くなってきたものの、まだまだベールに包まれている部分が多い第 5 世代ジェット戦闘機。久々に発行の「モデルアートプロフィール」では、そんな最新鋭戦闘機に迫ります。A、B、C 各型の解説はもちろん、これまで見たことがないような画像を通じて、最新鋭機の実像を紹介します。実機の解説・紹介に加えて、模型の製作記事も展開。



F-14 トムキャット細部写真集

見どころポイント!

再版商品

本書では各地の博物館の展示機だけでなく、1970年代~2000年代に撮影された、「現役バリバリ」の機体を見ることができます

ジャンル:飛行機
電子書籍:配信未定

Size:A4判 ページ数:152
発売日:2025年12月10日再版
定価:2,970円(税込)

F-14 トムキャットがアメリカ海軍から退役してはや 14 年。しかし、F-14 はいまだにその人気に衰えが見られない人気戦闘機だ。この本ではそんな F-14 を迫力のディテール写真で紹介する。現役時代の“生きているトムキャット”の貴重な写真を再コレクションするとともに、現在全米各地のミュージアムに展示される保存機を取材。コクピットはもちろん、機首先端からジェットエンジンノズルまでそのすべてを 余すところなく誌上に再現した。さらに、モデラーに夢を与える数多くの塗装図も詳細な解説とともに収録。



トムキャットスコードロン 1

見どころポイント!

塗装図で振り返る
F-14 飛行隊のヒストリー

ジャンル:飛行機
#VF-1 #VF-2 #VF-11 #VF-14
#VF-21 #VF-24 #VF-31 #VF-32
#VF-33 #VF-41 #VF-51 #VF-74
#VF-84
電子書籍:好評配信中 e-books

Size:A4判 ページ数:128
発売日:2024年3月28日
定価:3,190円(税込)

その飛行隊がどの様にしてトムキャットを装備するに至ったか?そしてその後は?
現在、飛行機模型スペシャルに好評連載中の TOMCAT SQUADRON' S。今回そのうち VF-1 から VF-84 までが 1 冊に纏まりました。新しいイラストと写真も加え、F-14 トムキャットが所属したアメリカ海軍飛行隊の歴史を精密な塗装図で振り返ります。もちろん各イラスト、写真には詳細な解説が付き、塗装とマーキングの由来や様々なエピソードを紹介しています。

もっと知りたいあなたへ 関連本はこちら

モデルアートプロフィール 7
航空自衛隊 F-2 戦闘機

見どころポイント!

ヒストリーから、コクピット、エンジンなどの細部まで、F-2 戦闘機の魅力を余すところなく誌面に再現



ジャンル:飛行機
電子化:配信未定

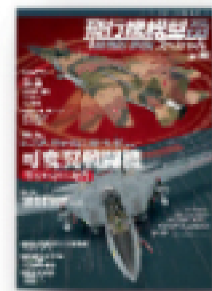
Size:B5判 ページ数:150 折込付
発売日:2022年10月 再版
定価:2,619円(税込)

もっと知りたいあなたへ 前号はこちら

飛行機模型スペシャル No.30
可変翼戦闘機~華やかなりし時代

見どころポイント!

翼が動く、その瞬間にドラマが生まれる――世界の“可変翼戦闘機”が集結!



ジャンル:飛行機
電子化:好評配信中
e-books

Size:A4判 ページ数:128
発売日:2022年1月
定価:2,178円(税込)

もっと知りたいあなたへ デカールはこちら

1/72 USN VF-2/VF-33/VF-101/VF-102/VF-201
F-14 Tomcat Collection #6

見どころポイント!

DXM デカール モデルアート Web ショップにて販売中



ジャンル:飛行機
メーカー:DXM

Scale:1/72
定価:3,600円(税込)
▲ 公式通販サイト・ご購入情報はこちら

▶2026年1月中旬発売予定! Webショップより予約受付開始!



バックナンバーご購入方法

バックナンバーご希望の方は、全国の書店、模型店にて、ご注文下さい。また、通信販売も行っていますので、直販部までお申込み下さい。

代金引換サービス 送料 ¥660 +代引き手数料 ¥330

メール、又はお電話にて直接お申込み下さい。在庫確認後、当日または翌営業日に発送し1~2日で到着します。

郵便振替 送料(ネコポス) 1冊各¥260

郵便振替用紙をご利用し、通信欄に商品を明記して下さい。お振込確認まで4日前後かかります。確認後発送致します。
■加入者名 有限会社モデルアート社
■振込口座 00140-6-196313

現金書留 送料(ネコポス) 1冊各¥260

商品名明記のうえ代金をお送り下さい。到着後発送致します。

MODEL Art Web ショップ ご注文いただけます!

合計価格 8,800円(税込)以上で
送料弊社負担!!

お問い合わせ
TEL:03-6240-1936
FAX:03-6240-1937
営業時間 平日 10:30~18:30

モンモデル



1/72 ドイツ重戦車 キングタイガー(ポルシェ砲塔) 価格未定 発売時期未定

タコム



1/35 中国 100式戦車
価格未定 発売時期未定

タコム



1/35 中国 無人地上車両 ZRY222 & 狼型ロボット兵器
価格未定 発売時期未定

ダイナモモデルズ



1/35 APX 47mm S.A 37 フランス対戦車砲
¥9,130 2月発売予定

ダイナモモデルズ



1/35 オチキス 25mm S.A 34 タイプⅠフランス対戦車砲
¥6,600 2月発売予定

エデュアルド



1/48 アビアS-199 バブルキャノピー ハイブリッドエディション
¥10,560 1月発売予定

コータリモデルス



1/32 スピットファイア Mk.Vb 初期型
価格未定 発売時期未定

マジックファクトリー



1/48 A-4M スカイホーク アグレッサー部隊
価格未定 発売時期未定

ミクロミル



1/72 プルート計画 超音速低高度ミサイル
¥9,900 2月以降発売予定

スペシャルホビー



1/48 SMB-2 シュペルミステール フランス初超音速戦闘機
¥10,780 1~2月発売予定

スペシャルホビー



1/72 メッサーシュミット Bf109E-4/4B/7 “中隊長乗機”
¥4,950 1月発売予定

モデルズビット



1/48 カーチス XP-55 アセンダー 試作戦闘機 1号機
¥9,900 1月発売予定

モデルズビット



1/72 ミラージュ G8.02 試作単座可変翼迎撃機
¥11,880 1月発売予定

ドラウィングス



1/72 ビーバー AL.1
¥8,800 12月以降発売予定

ドラウィングス



1/48 フェアリー デルタ2 イギリス超音速実験機
¥8,580 2月以降発売予定

A&Aモデルズ



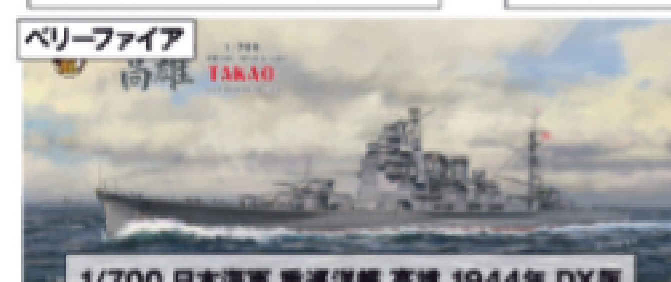
1/72 BAe ホーク209 インドネシア空軍 軽戦闘機
¥9,020 1月発売予定

ドリームモデル



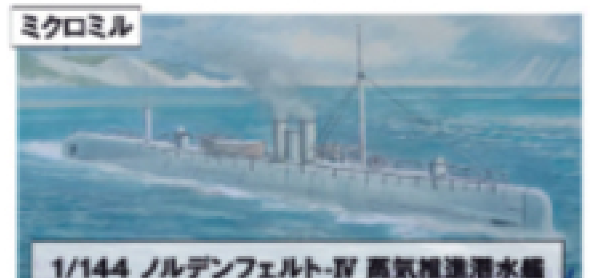
1/72 カモフKa-52K “カトレン” 艦上攻撃ヘリコプター
¥11,880 1~2月発売予定

ベリーファイア



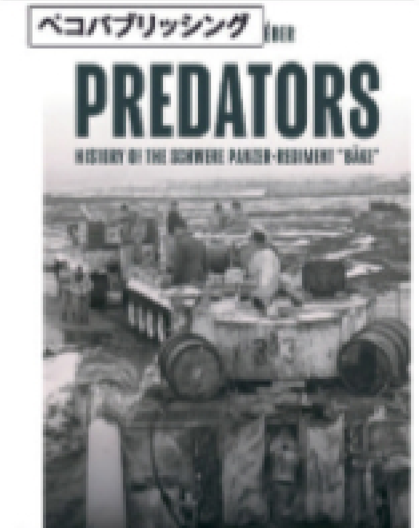
1/700 日本海軍 重巡洋艦 高雄 1944年 DX版
¥15,510 1月発売予定

ミクロミル



1/144 ノルデンフェルト-Ⅳ 蒸気推進潜水艦
¥5,500 2月以降発売予定

ベコパブリッシング



プレデターズ: ベーケ重戦車連隊の戦歴 1944年1月~2月
¥13,090 1月発売予定

マスターボックス



1/35 デッドリー・レイド イギリス軍コマンド部隊 ディエップ 1942年
¥3,520 1月以降発売予定

マスターボックス



1/35 バッファロー・クラン「盗人追跡2」
¥8,250 1月以降発売予定

WWP



大戦初期のGP 1/4トン ユーティリティトラック イン・ディテール
¥6,050 1月発売予定

![MODEL Art MODELING MAGAZINE]

月刊モデルアート2026年3月号は
1月26日(月)発売
一部地域は発売日が遅れることがございます。

社員募集！
募集概要・詳細は当社HPをご覧ください。
https://www.modelart-shop.jp

－次号予告－

■特　集：超音速戦闘機 F-104（仮題）

ビジュアル面でも性能面でも個性的な飛行機は星の数ほどあるわけですが、超音速で突っ走る鉛筆のような細長い胴体、ナイフのような薄い主翼、多数のバリエーションで今なお輝きを放ち続けている「マルヨン」にフォーカス。ファインモールドのニューキットを中心に魅力に迫ります。

■ニューキットレビュー
・ハセガワ1/24 ニッサン ローレル HT 2000SGX（KHC130）後期型（1973）
・プラッツ/BEEMAX 1/24 BMW 320 E21 ターボ Gr.5
1980 DRM ゾルダー ウエストファーレンカップ
・タミヤ1/35 ドイツ 5cm対戦車砲 Pak38
・アカデミー 1/35 K21歩兵戦闘車
・ホビーボス1/350 HMS ロード・クライヴ

編集後記



●毎年この時期にツインメッセ静岡で開催される総合ホビーイベント「クリスマスフェスタ」。その中で第2回全国プラモデル選手権大会が開かれ審査してきました。全国の高校が模型で競うアツい大会で、初開催の昨年と比べ参加校は倍増。スペースも倍に! そのうちツインメッセを埋め尽くしそうです。詳細は次号にて!　T倉



●2025年もご購読ありがとうございました。本号のインテRも合わせて、アオシマの1/32スナップキットを1年間で6個作っていました。さて、その中の1つ、先月号で進捗を掲載したアオシマの1/32ビートルも完成しました。Mr.カラーのC383 暗緑色（川西系）で塗装しましたが良い色ですね～ Ⓡ



●昨年に引き続き、韓国へ行って参りました。諸々の詳細はレポート記事にてご確認ください。今回、ソウル近辺の地理をあまり考えずにホテルを予約したのですが、韓国に着いてびっくり、ソウル駅から電車で30分の地域にとってしまいました。おかげで現地民ばりに電車移動を重ねる羽目に…。まあ、近くにおいしい焼肉屋さんがあったので良しとします。　キブチ

●わたくし飛行機がどうにも苦手で、これまで極力避けていたのですが、今回11時から小倉で母方の祖父の13回忌でしたので覚悟を決めて搭乗しました。離陸や飛行中は快適に過ごせるのですが、問題は着陸態勢に入った時。少しづつ高度を下げているはずですが、私にだけとんでもないGが掛かっているのでしょうか?ジェットコースターで落ちる時のような浮遊感と気圧の変化による耳の痛み、そして油断すると吐き気…。陸に降りたときにはグロッキーです。姉家族が迎えに来てくれたのですが、気分が落ち着くまで待ってもらいました。帰りの羽田空港着は着陸後の滑走路の移動も長いのでさらに苦しみました。当分乗りたくないな。　P

広告案内

◆広告に掲載されている商品は当社ではお答えできません。直接、お店・メーカーにお問い合わせ下さい。
◆弊社、発行物に関するご質問はお手紙・往復葉書にてお問い合わせいただければ幸いです。　◆広告掲載に関するお問い合わせは、企画営業部（☎03-6240-1941）までご連絡下さい。